

JILPT 調査シリーズ

No. 228

2023年3月

# 暮らしと意識に関する NHK・JILPT 共同調査

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



JILPT 調査シリーズ No.228

2023年3月

# 暮らしと意識に関する NHK・JILPT 共同調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
The Japan Institute for Labour Policy and Training

## まえがき

日本では、かつて「一億総中流」と言われていたように、多くの人が自分は中流階級に属すると思っていた。しかし、この30年来、全世帯の所得分布における中央値の水準が大幅に低下するとともに、統計面における中所得者層の所得域に属する人口の割合も低下した。同時に意識面においても自分が『中流』に属すると思っている人が減少した。近年、「中流の崩壊」という言葉も頻繁に聞くようになった。安定した収入や持ち家、マイカー、子どもへの充実した教育の提供など、『中流』を想起させる暮らしぶりが多くの人にとって、手が届きにくくなっているように見える。日本社会が「一億総中流」から「中流の崩壊」へ移行するプロセスで、人々の暮らし向きの構造変化と共に、将来の見通しや社会に関する考え方などの意識がどう変化しているのだろうか。親よりも子どもの方が経済的に豊かになれないと感じる人や将来の見通しに対して不安を持つ人も、増えている可能性があるのではないだろうか。

こうした問題意識に基づき、日本放送協会（NHK）と独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）は、日本における所得環境とそれに伴う人々の暮らし向きや意識の変化に着目し、人々の暮らし向きの様子や『中流』に対するイメージ、将来の見通しや社会に関する考え方などを把握するため、「暮らしと意識に関するNHK・JILPT共同調査」を実施した。共同調査を通じて、日本社会の全体像を把握すると共に、個人属性による暮らし向きの状況の違い、『中流』の暮らしや将来の見通し、社会に対する考えの違いを把握することを試みた。

数多くの調査研究がある中で、本共同調査は、暮らし向きの各種客観的な指標を用いて、『中流』という共通定義のない課題にアプローチし、人々がイメージする『中流』の暮らしや「中流の崩壊」が意識面にもたらす負の影響の可能性を把握しようとした。

本調査シリーズでは、この共同調査から得られた各種情報を取りまとめた。分析では、性別、配偶状態、学歴、就業形態、年収階級などの個人属性による違いに焦点を当てた結果、多くの興味深い結果が得られている。本調査シリーズの結果が、日本における格差研究や階層研究の有益な参考情報になることを期待する。

なお、本共同調査は、JILPTが第5期中期計画に基づき、2022年度から「格差、セーフティネットと政策効果に関する研究」をスタートしたところ、NHKからの提案により実現したものであり、その結果は2022年9月18日に放映された「NHKスペシャル“中流危機”を越えて「第1回 企業依存を抜け出せるか」」でも引用されている。このような調査を共同実施する貴重な機会をいただいたNHKに、この場を借りて感謝申し上げる。

2023年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 樋口 美 雄

## 執筆担当者

氏名	所属	担当
か ほう 何 芳	労働政策研究・研修機構 研究員	第1章、第2章1～6の執筆、および全編の図表、付属統計表の作成
な かい まさゆき 中井 雅之	元労働政策研究・研修機構 主席統括研究員	第2章7～9の執筆
た か み ともひろ 高見 具広	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第2章10～12の執筆

「暮らしと意識に関する NHK・JILPT 共同調査」検討メンバー（除く執筆者、五十音順）

な か ほ ら しん い ち 中原 慎一	労働政策研究・研修機構 統括研究員
ま う し ょ う 馬 宇翔	日本放送協会大阪放送局 ディレクター
み や ざ き り ょ う た 宮崎 良太	日本放送協会報道局社会部 記者
よ こ さ と せい じ ろ う 横里 征二郎	日本放送協会大阪放送局 チーフディレクター

# 目 次

第Ⅰ部 調査・研究の概要	1
本調査で明らかになったこと	2
第1章 調査の概要	7
1. 調査の趣旨・目的	7
2. 本調査の実施方法	8
第2章 調査結果の概要	9
1. イメージする「中流の暮らし」について	9
1.1 イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収	9
1.2 イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件	14
1.3 イメージする「中流の暮らし」をしているか	16
2. 階層帰属意識	19
3. 現在の生活水準の感じ方	23
4. 現在の消費スタイル	26
5. 項目ごとの消費行動	31
6. 将来の暮らし向きの見通し	36
7. 理想とする働き方、所得と実現するための条件	39
7.1 理想とする働き方、所得	39
7.2 理想とする働き方を実現するための条件	43
8. 努力に対する考え	46
9. よい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと	48
10. 親より経済的に豊かになれると思うか	51
11. 親より経済的に豊かになれない理由	56
12. 親より経済的に豊かになれないことの影響	57
参考文献	62
第Ⅱ部 資料	63
資料1 調査票	64
資料2 付属統計表	77

# 第Ⅰ部 調査・研究の概要

## 本調査で明らかになったこと

### 1. イメージする「中流の暮らし」について

#### 1.1 イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収

＜有配偶者は「600万円以上」と「800万円以上」、無配偶者は「400万円以上」と「600万円以上」の 카테고リーに回答が集中し、各々「600万円以上」の割合がもっとも高い＞

調査対象者（調査会社の登録モニターのうち20～69歳の男女）に、イメージする「中流の暮らし」を送るには、少なくともどれぐらいの年収が必要なのかを、有配偶者には夫婦合計年収、無配偶者には個人の年収について尋ねると、有配偶者は「600万円以上」と「800万円以上」、無配偶者は「400万円以上」と「600万円以上」の 카테고リーに回答が集中し、各々「600万円以上」の割合がもっとも高くなっている。女性は男性より低い年収階級を選択し、学歴が高いほど必要な年収を高く回答する傾向がある。有配偶者では、20代から50代までは、年齢階級の上昇に伴い、必要な年収を高く設定する傾向があるが、無配偶者では、年齢階級による傾向は見られなかった。

#### 1.2 イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件（複数回答）

＜世帯主が正社員（63.0%）、持ち家（61.2%）、自家用車（59.5%）が「中流の暮らし」の条件として多く選択＞

調査対象者に、イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件について尋ねると、「世帯主が正社員として働いている」（63.0%）がもっとも多く選択されており、次いで、「持ち家に住んでいる」（61.2%）、「自家用車を持っている」（59.5%）の順となっている。女性は男性よりほとんどの項目において割合が高くなっており、学歴が高いほど、「世帯主が正社員として働いている」、「結婚して、子どもを育てている」、「子どもに高等教育を受けさせることができる」などの項目を選択する割合が高く、「持ち家に住んでいる」の項目を選択する割合が低い。20代では、「持ち家に住んでいる」と「自家用車を持っている」ことを条件として選択する割合が他の年齢階級より低い。

#### 1.3 イメージする「中流の暮らし」をしているか

＜過半数（55.7%）は「中流より下の暮らしをしている」、4割弱（38.4%）は「中流の暮らしをしている」と回答＞

調査対象者に、イメージする「中流の暮らし」をしているかについて尋ねると、過半数（55.7%）は「中流より下の暮らしをしている」、5.9%は「中流より上の暮らしをしている」、38.4%は「中流の暮らしをしている」と回答している。無配偶者は有配偶者と比べ、「中流より上の暮らしをしている」と回答する割合が低く、「中流より下の暮らしをして

いる」と回答する割合が高い。学歴が高いほど、「中流より上の暮らしをしている」と回答する割合が高く、「中流より下の暮らしをしている」と回答する割合が低い。

## 2. 階層帰属意識

＜生活水準に関する階層帰属意識では、全体の 55.3%が中間層と回答しており、学歴が高いほど中間層と回答する割合が高く、下位層と回答する割合が低い。20代と40代は、他の年齢階級と比べ、中間層と回答する割合が低く、下位層と回答する割合が高い＞  
調査対象者に、「生活水準」を5つの層（「上」、「中の上」、「中の下」、「下の上」、「下の下」）に分けるとすれば、自分の生活水準はどれに入ると思うかについて尋ねると、男性の 53.4%、女性の 57.0%、全体の 55.3%は自分が中間層（「中の上」と「中の下」）に入ると回答している。有配偶者は無配偶者と比べ、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が高く、下位層（「下の上」と「下の下」）に入ると回答する割合が低い。学歴が高いほど自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が高く、下位層に入ると回答する割合が低い。20代と40代は、他の年齢階級と比べ、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が低く、下位層に入ると回答する割合が高い。

## 3. 現在の生活水準の感じ方

＜現在の生活水準について、過半数（56.7%）は暮らしに余裕はないと回答＞

調査対象者に、現在の生活水準について、どのように感じているかについて尋ねると、「暮らしにかなり余裕がある」の回答割合は 3.1%、「どちらかと言えば暮らしに余裕がある」は 40.2%、「どちらかと言えば暮らしに余裕はない」は 41.8%、「暮らしに余裕は全くない」は 14.9%となっており、過半数（56.7%）は暮らしに余裕はないと回答している。学歴が低いほど、「暮らしに余裕はない」と回答する割合が高い。「暮らしに余裕はない」の合計（「どちらかといえば」と「全く」の合計）は、40代では 61.5%、50代では 60.7%を占め、他の年齢階級より高い。就業形態別では、「暮らしに余裕はない」の合計は、非正規雇用者・フリーランスでもっとも高く（64.2%）、会社等の経営者・役員でもっとも低い（36.1%）。本人の年収階級別では、年収が低いほど、「暮らしに余裕はない」と回答する割合が高くなっている。

## 4. 現在の消費スタイル

＜現在の消費スタイルについて、約1割は「節約を最優先に、生活を切り詰めている」、6割弱は「節約のため、無駄な消費をしない」と回答＞

調査対象者に、現在の消費スタイルについて尋ねたところ、「節約せず、いまの消費を重視している」割合は 3.0%、「節約をあまり意識せず消費している」割合は 27.4%、「節約のため、無駄な消費をしない」割合は 58.8%、「節約を最優先に、生活を切り詰めてい



る」割合は 10.4%となっている。「節約を最優先に、生活を切り詰めている」割合は、男性（12.1%）は女性（8.8%）より高く、無配偶者（13.6%）は有配偶者（7.9%）より高く、高卒以下（13.6%）は高専・短大卒（9.3%）、大学・大学院卒（8.1%）より高い。就業形態別では、非正規・フリーランスと無業者では、「節約している」割合が高い。本人の年収階級別では、年収が低いほど、「節約している」割合が高い。本人の昨年の仕事による税込み年収 600 万円以上の個人に限定して、15 歳時の家庭の生活水準による現在の消費スタイルの違いについて確認すると、15 歳時に、「暮らしに余裕は全くなかった」個人が、現在では、「節約のため、無駄な消費をしない」割合（58.3%）や「節約を最優先に、生活を切り詰めている」（18.8%）割合も高く、成長期における出身家庭の生活水準は、その水準に伴う当時の消費スタイルを通じて、成人後の消費スタイルにも影響を与える可能性を示唆する。本人の昨年の仕事による税込み年収 600 万円以上の個人に限定して、将来の暮らし向きの見通し別に現在の消費スタイルを確認すると、将来の暮らし向きの見通しに関する認識によって、現在の消費スタイルに影響を与え、悪い見通しは節約につながる可能性が示された。

## 5. 項目ごとの消費行動

<節約する項目は衣服（71.3%）、食料品（64.9%）の順に割合が高く、もともと支出していない項目は書籍の購入・教育（24.2%）、交際費（16.1%）、娯楽・レジャー（12.5%）の順に割合が高い>

「食料品を購入する費用」、「衣服を購入する費用」、「書籍の購入・教育にかかる費用」、「交際費」、「娯楽・レジャーの費用」の5つの項目ごとに、節約の有無や支出の有無といった消費行動を確認したところ、「衣服を購入する費用」を節約している割合は 71.3%でもっとも高く、その次は「食料品を購入する費用」（64.9%）、「娯楽・レジャーの費用」（53.6%）、「交際費」（50.7%）、「書籍の購入・教育にかかる費用」（41.6%）となっている。さらに、もともと支出していない割合については、「書籍の購入・教育にかかる費用」（24.2%）、「交際費」（16.1%）、「娯楽・レジャーの費用」（12.5%）、「衣服を購入する費用」（6.3%）、「食料品を購入する費用」（3.2%）の順となっている。食料品と衣服は必需品で、書籍や教育サービスは家庭によって必要度が低い傾向があることが伺える。性別、配偶状態、学歴、年齢階級、就業形態、本人の年収階級別にも項目ごとの節約の消費行動の異なる傾向が確認された。

## 6. 将来の暮らし向きの見通し

<自分の将来の暮らし向きの見通しについて、53.2%は「今の暮らし向きを維持できる」、37.2%は「今より暮らし向きは悪くなる」と回答>

調査対象者に、将来の暮らし向きの見通しについて尋ねると、「今より暮らし向きは良

くなる」の回答割合は 9.6%であり、「今の暮らし向きを維持できる」は 53.2%、「今より暮らし向きは悪くなる」は 37.2%となっている。就業形態別では、「今より暮らし向きは良くなる」の割合は、非正規雇用者・フリーランスがもっとも低く、その次は無業者であり、「今より暮らし向きは悪くなる」の割合は無業者がもっとも高く、その次は非正規雇用者・フリーランスである。本人の年収階級別では、年収が低いほど、「今より暮らし向きは悪くなる」と回答する割合が高くなる。

## 7. 理想とする働き方、所得と実現するための条件

＜「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」が過半数（50.5%）ともっとも高く、実現するためにもっとも必要なことは「仕事と生活の両立支援」（29.4%）が約3割ともっとも高い＞

調査対象者に、理想とする働き方、所得について尋ねると、「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」が過半数（50.5%）ともっとも高く、その割合は年齢階級が高くなるほど高くなる傾向にある一方、「所得にこだわらず、負担の軽い仕事を選び続ける」、「なるべく働かず、投資などの不労所得で生活していく」の割合は年齢階級が低いほど高くなる傾向にある。また、理想とする働き方を実現するためにもっとも必要なことは、「仕事と家庭の両立支援」（29.4%）、「企業経営の安定」（19.7%）、「十分な社会保障制度」（17.4%）の順になっている。

## 8. 努力に対する考え

＜努力さえすれば誰でも豊かになることができるかについては3分の2（65.6%）が「思わない」と回答＞

調査対象者に、日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができるかについて尋ねると、「どちらかと言うと思わない」（47.7%）、「どちらかと言うと思う」（31.5%）、「全く思わない」（17.9%）、「強く思う」（3.0%）の順となっており、「思わない計」（「どちらかと言うと思わない」と「全く思わない」の合計）は 65.6%と約3分の2では努力しても豊かになれないと回答している。「思わない計」は年齢階級別には40代以降が高く、年収階級別には年収が低い階層の方が高い。

## 9. よい人生を送るための条件

＜もっとも割合が高い「真面目に努力すること」は若い世代ほど重視していない＞

調査対象者に、よい人生を送るための条件としてもっとも重要なことについて尋ねると、「真面目に努力すること」（46.1%）、「よい教育を受けられること」（16.7%）、「人脈やコネに恵まれること」（15.5%）、「景気のいい時代に生まれ育つこと」（14.8%）、「親の収入や学歴が高いこと」（6.9%）の順となっている。「真面目に努力すること」は年齢階級が高

くなるほど高く、また、「人脈やコネに恵まれること」は年齢階級が高くなるほど低くなる傾向にある。

#### 10. 親より経済的に豊かになれると思うか

＜「なれないと思う」割合が4割弱。30～40代や非正規雇用者・フリーランスで相対的に高い＞

調査対象者に、親より経済的に豊かになれると思うかについて尋ねると、「なれないと思う」(36.2%)、「同じくらいの豊かさになると思う」(27.7%)、「なれると思う」(18.6%)の順となっている。「なれないと思う」は、年齢階級別では、20代(31.3%)から30代(41.3%)、40代(42.5%)にかけて高くなり、就業形態別では、非正規雇用者・フリーランス(41.8%)は、正規雇用者(34.1%)に比べて高い。

#### 11. 親より経済的に豊かになれない理由

＜親より経済的に豊かになれない理由は、「親の時代と景気が異なるから」が約6割でもっとも高く、給与水準の違い、生活コストの上昇、雇用形態が異なることが次ぐ＞

「親より経済的に豊かになれないと思う」の回答者に、その理由について尋ねると、「親の時代と景気が異なるから」(60.9%)がもっとも高く、「親とは就業先の給与水準が異なるから」(41.9%)、「親に比べて、生活コストが上がっているから」(39.1%)、「親とは雇用形態が異なるから」(30.3%)が次ぐ。年齢階級別では、「親の時代と景気が異なるから」は40代(66.7%)、50代(63.5%)、30代(58.5%)、「親とは就業先の給与水準が異なるから」は30代(53.7%)、20代(50.2%)で相対的に高い。

#### 12. 親より経済的に豊かになれないことの影響

＜親より経済的に豊かになれないと思う個人は、「日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができる」と考える割合が約25.8%と低く、「自分ひとりが活動しても社会は変わらない」と考える割合が5割弱と高い＞

「日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができると思うか」への回答傾向についてみると、「親より経済的に豊かになれると思う」と回答した個人では、「強く思う」が5.4%、「どちらかと言うと思う」が37.8%であるのに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」と回答した個人では、「強く思う」が1.6%、「どちらかと言うと思う」が24.4%と相対的に低く、「どちらかと言うと思わない」(48.9%)、「全く思わない」(25.3%)の割合が高い。また、「親より経済的に豊かになれると思う」個人では、「社会のためになる活動ならば、参加したい」が54.1%であるのに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」個人では、その割合は35.3%と低く、「自分ひとりが活動しても社会は変わらない」(46.1%)、「社会の変化に対して関心がない」(18.6%)の割合が相対的に高い。

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の趣旨・目的

日本においては、長期に渡る経済の停滞とともに賃金の伸びも低い状態が続き<sup>1</sup>、それとともに世帯の所得分布において中央値の水準が低下しており、中間所得層（中間層）の減少と低所得層の増加が懸念されている<sup>2</sup>。

所得指標で計測した中間層の縮小は、厚生労働省「国民生活基礎調査」と総務省「全国家計構造調査」、「全国消費実態調査」を用いた分析のいずれからも確認されている。内閣府が「全国家計構造調査」と「全国消費実態調査」を用いて行った1994年と2019年の所得階級ごとの世帯分布の比較<sup>3</sup>によれば、この25年間における中間所得層世帯の減少と低所得層世帯の割合の増加が確認されている<sup>4</sup>。また、田中（2020）では、「国民生活基礎調査」の個票データを用いて、所得域を各年で設定した場合と1985年の所得域で固定した場合のいずれの計測方法を用いても、1985年から2015年の中間層規模の縮小が観察されている。

日本の所得環境がこのような状況にある中で、日本放送協会（NHK）と独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）は、人々の暮らし向きの様子や中流に関するイメージ、社会に関する考え方などを把握するため、「暮らしと意識に関するNHK・JILPT共同調査」を実施した。調査を通じて、1) 若い世代ほど親より経済的に豊かになれないのか。2) 親より経済的に豊かになれないことが社会的にどのような負の影響を与えるのか。3) かつて「一億総中流」という言葉があったが、人々は何を持って中流の暮らしと考えているのか。4) 年齢、学歴、性別などの個人属性別にみて、イメージする「中流の暮らし」と実際の暮らしにどのような乖離があるのか。5) 生活水準を指標にした場合、人々は自分がどの階層にあると考えているのか等についての実態把握を行った。本資料により、調査

---

1 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～」(令和4年6月7日閣議決定)基礎資料集(p.2)によると、先進国の1人あたり実質賃金が、1991年から2019年にかけて、英国は1.48倍、米国は1.41倍、フランスとドイツは1.34倍に上昇しているのに対して、日本は1.05倍にとどまる。(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii\_sihonsyugi/pdf/ap2022.pdf)

2 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～」(令和4年6月7日閣議決定)においては、「Ⅱ. 新しい資本主義を実現する上での考え方」の中で「分厚い中間層の形成は、民主主義の健全な発展にとって重要であり、新たな資本主義における経済社会の主要な担い手である中間層が潤うことで、格差の拡大と固定化による社会の分断を回避し、持続可能な経済社会を実現できる。」としている。(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii\_sihonsyugi/pdf/ap2022.pdf)

3 資料出所：内閣府経済財政諮問会議令和4年第2回諮問会議資料4-1 (https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2022/0303/agenda.html)

4 具体的には、全世帯再分配前所得の中央値は、1994年には550万円だったものの、2019年には372万円に低下した。再分配後の所得の中央値は509万円から374万円に低下した。この25年間における所得分布の構造変化は、65歳以上の高齢者世帯の増加(20%→36%)と単身世帯の増加(26%→38%)から影響を受けていることも考えられるが、世帯主年齢の年齢階級ごとに所得分布の変化を確認しても、すべての年齢階級における所得の中央値の低下と再分配前の55～64歳のグループを除き、各年齢階級における低所得世帯の増加が確認された。

から得られた結果を紹介する<sup>5</sup>。

## 2. 本調査の実施方法

### 調査対象の抽出

本調査は、日本における20～69歳の男女を対象にしている。サンプル抽出では、「国勢調査」（2020）の性別、年齢、就業形態、居住地域の構造に比例するように行った。具体的に、性別×年齢階級（5階級）×就業形態（正規・非正規・自営業等・無業の4区分）×居住地域（8ブロック）の320セルで、サンプルの割り付けを行った。

### 調査方法

調査会社の登録モニターを対象としたWEB調査

### 調査時期

2022年7月29日～2022年8月1日、2022年8月1日現在の状況について調査している。

### 有効回答数

5,370人

### 調査項目

本調査の調査項目を大まかに示すと、性別、年齢、居住都道府県、婚姻状態、就学状態と学歴、卒業（予定）年、就業状態、職業、雇用形態、現職に関する考え方、年収（本人、配偶者、世帯）、結婚意欲、子ども数、理想の子ども数、イメージする「中流の暮らし」、イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収、暮らし向きの様子、15歳時の家庭の状況、経済的豊かさに関する親との比較、階層帰属意識、消費スタイル、今後の生活に関する考え、よい人生を送るための条件、理想とする働き方、努力と豊かさとの関係に関する考え方、社会的に成功している人への感情、社会への関わり方に対する考えとなる。

---

<sup>5</sup> 本資料で示す%は、すべて小数点第2位を四捨五入した結果であり、内訳の合算が必ずしも100%にならない場合や、合算%が内訳%の合計とは必ずしも一致しない場合がある。

## 第2章 調査結果の概要

### 1. イメージする「中流の暮らし」について

中流とは何かについて、人によってその定義が異なるが、本調査では、イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収、イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件、回答者自身がイメージする「中流の暮らし」をしているかを尋ねることによって、人々の中流に関する認識と暮らし向きの様子を把握した。

#### 1.1 イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収

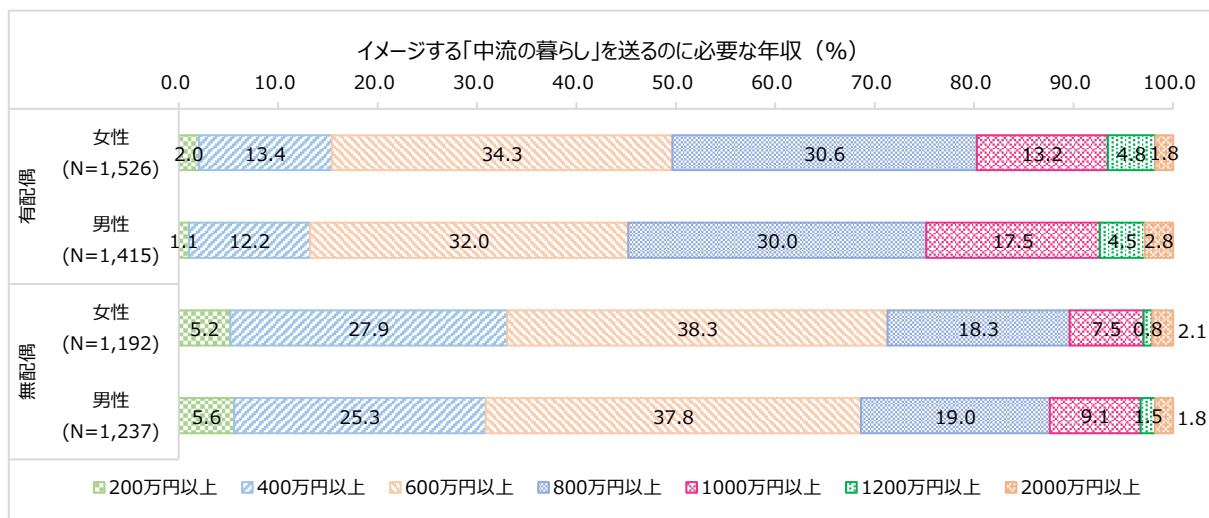
イメージする「中流の暮らし」を送るには、少なくともどれぐらいの年収が必要なのかを、有配偶者には夫婦合計年収、無配偶者（未婚、離別・死別）には個人の年収について尋ねると<sup>6</sup>、有配偶者は「600万円以上」と「800万円以上」、無配偶者は「400万円以上」と「600万円以上」の категорияに回答が集中し、各々「600万円以上」の割合がもっとも高くなっている（図1-1）。

男女別にみると、女性は男性より低い年収階級を選択する傾向がある。具体的には、有配偶者では、女性の19.7%、男性の24.8%は、イメージする「中流の暮らし」を送るには1000万円以上（「1200万円以上」などを含めた割合の合計）の年収が必要と回答している。無配偶者では、女性の28.7%、男性の31.4%は、イメージする「中流の暮らし」を送るには800万円以上（「1000万円以上」などを含めた割合の合計）の年収が必要と回答している。

---

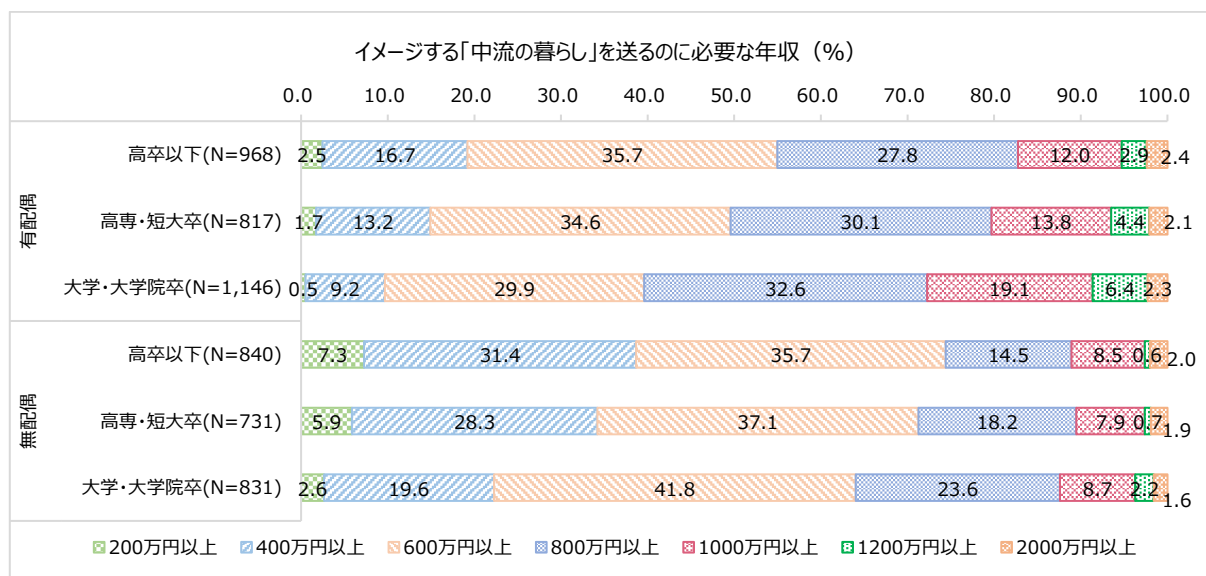
<sup>6</sup> 所得の観点から中流、あるいは中間層を把握する場合、中位所得の倍率を用いて中間層の所得域を決定することが多い。例えば、田中（2020）は、等価可処分所得の中央値の0.75~1.25,1.5,1.67,2.0,3.0倍の範囲を中間層の所得域と設定した場合、総人口のうち中間層の人口が占める割合を計測し、その時系列推移を考察した。中間層の所得域の下限と上限を同時に調査することが難しいため、本調査では、下限値について調査した。

図 1-1 性、配偶状態別にみたイメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収



イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を学歴<sup>7</sup>別にみると、学歴が高いほど、必要な年収を高く回答する傾向があることが確認された（図 1-2）。有配偶者では、高卒以下の 17.3%、高専・短大卒の 20.3%、大学・大学院卒の 27.7%は、イメージする「中流の暮らし」を送るのに 1000 万円以上（「1200 万円以上」などを含めた割合の合計）の年収が必要と回答している。無配偶者では、高卒以下の 25.6%、高専・短大卒の 28.7%、大学・大学院卒の 36.0%は、イメージする「中流の暮らし」を送るのに 800 万円以上（「1000 万円以上」などを含めた割合の合計）の年収が必要と回答している。

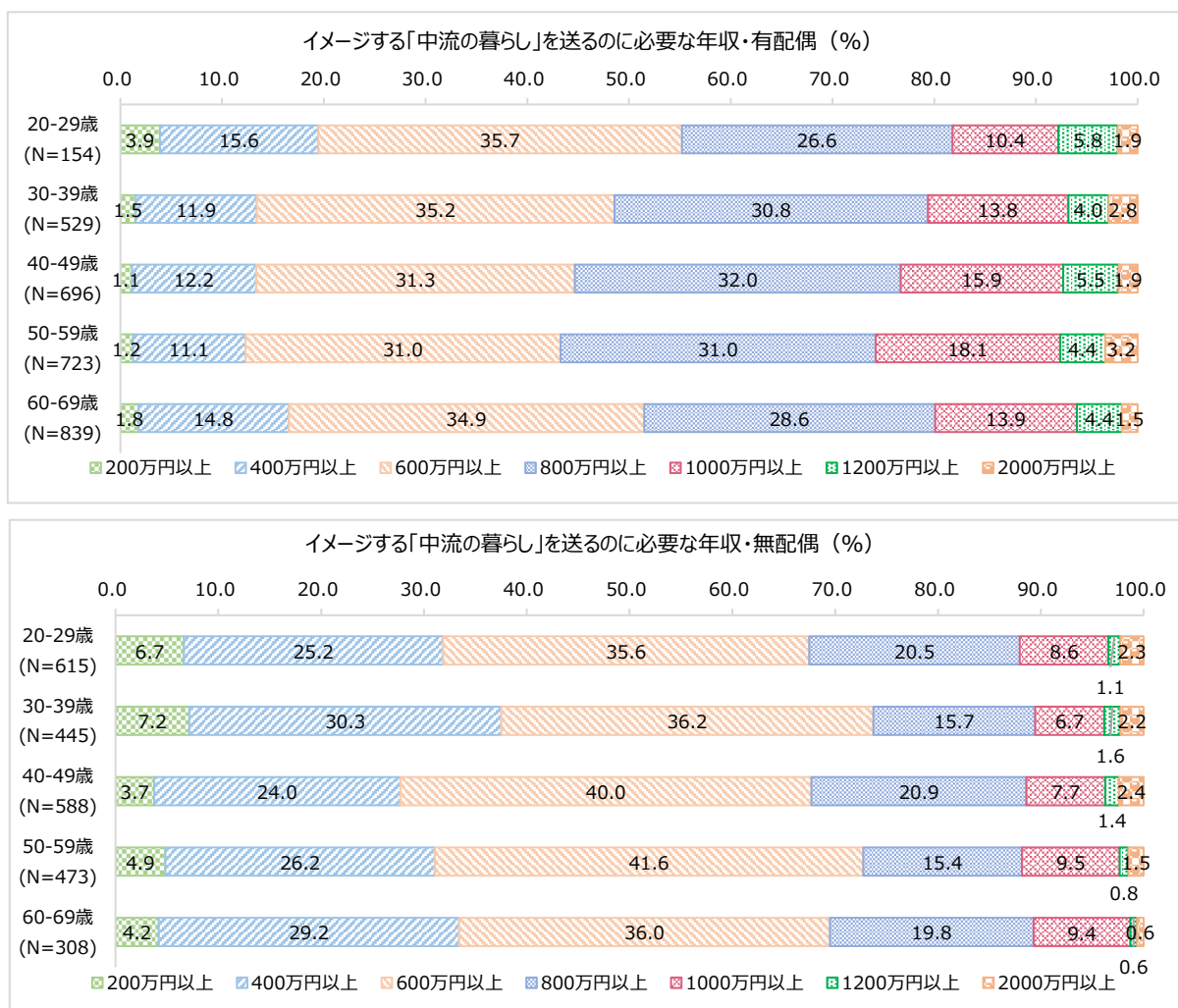
図 1-2 学歴、配偶状態別にみたイメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収



<sup>7</sup> 学歴の作成に、就学状態の情報も利用した。具体的に、専門学校、短大・高専に通学中・中退の場合、最終学歴を「高卒以下」、大学に通学中・中退の場合、最終学歴を「高専・短大卒」、大学院に通学中・中退の場合、最終学歴を「大学卒」とみなしている。

イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を年齢階級別に見ると、有配偶者では、20代から50代までは、年齢階級の上昇に伴い、必要な年収を高く回答する傾向があるのに対して、無配偶者では、年齢階級による傾向は見られなかった（図1-3）。日本の平均的な賃金プロファイルでは、年齢の上昇に伴い賃金が上昇しており、有配偶者では、イメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を回答する際に、自分と同じ年齢グループの他の個人の所得水準も意識して回答する可能性があると考えられる。年齢階級別の無配偶者の回答は、年齢による特徴が見られなかった理由について、無配偶者の個人属性は、「中流の暮らし」を送るのに必要な年収の判断に影響を与える年齢以外の要素のばらつきが有配偶者より大きい可能性があると考えられる。

図1-3 年齢階級別に見たイメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収



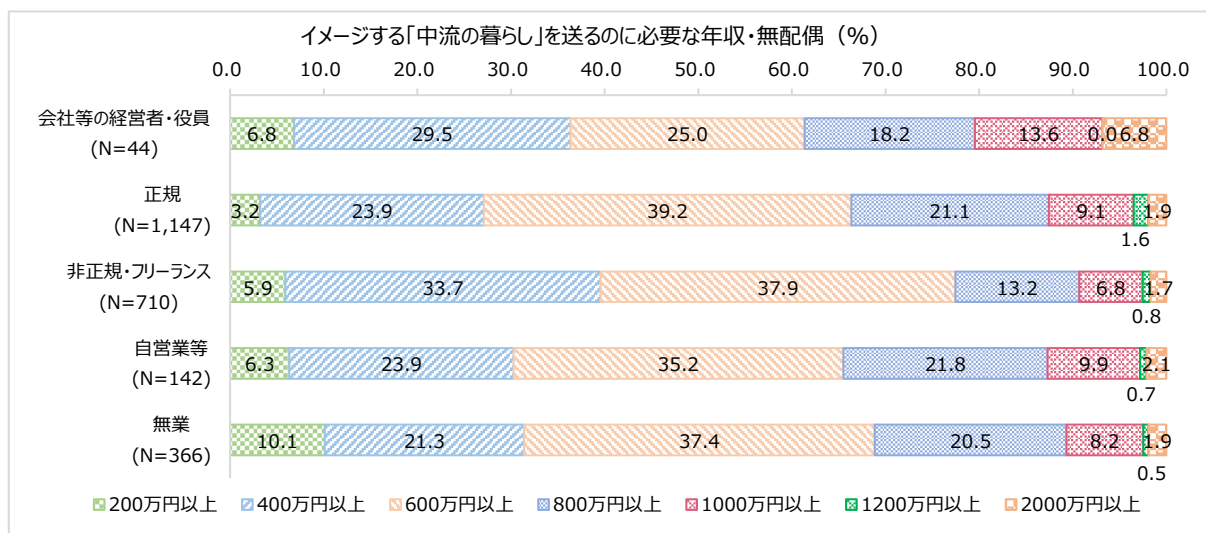
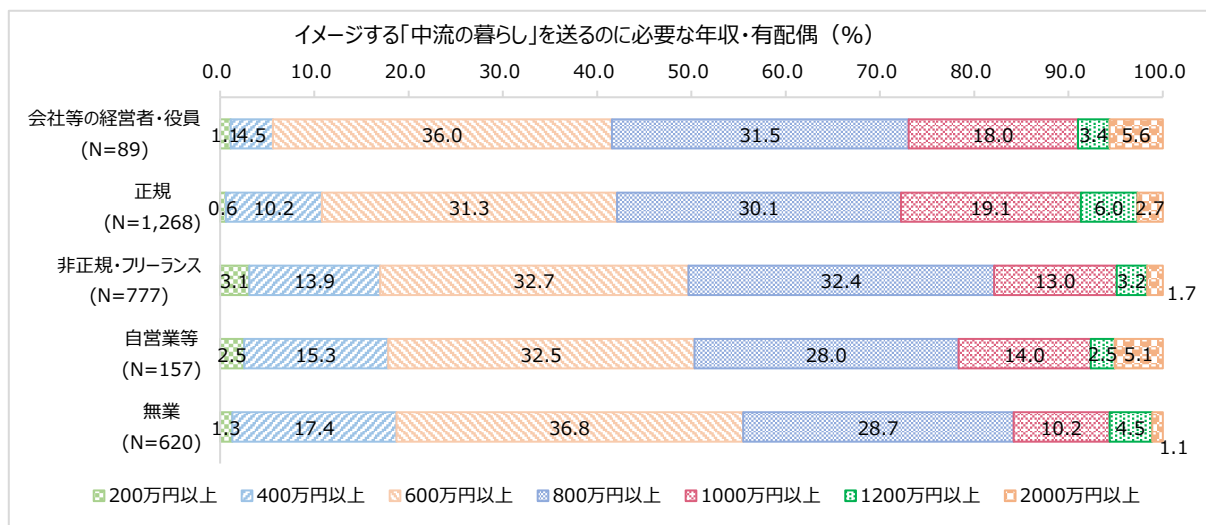


次に、会社等の経営者・役員、正規雇用労働者（以下、正規雇用者）、非正規雇用労働者・フリーランス（以下、非正規雇用者・フリーランス）、自営業者等、無業者の就業形態別<sup>8</sup>にイメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を確認する（図1-4）。有配偶者では、正規雇用者の27.8%、会社等の経営者・役員の27.0%、自営業者等の21.7%、非正規雇用者・フリーランスの17.9%、無業者の15.8%は、1000万円以上（「1200万円以上」などを含めた割合の合計）の年収が必要と回答している。無配偶者では、会社等の経営者・役員の38.6%、自営業者等の34.5%、正規雇用者の33.7%、無業者の31.1%、非正規雇用者・フリーランスの22.5%は800万円以上（「1000万円以上」などを含めた割合の合計）の年収が必要と回答している。

---

<sup>8</sup> 非正規雇用者・フリーランスには契約社員、アルバイト・パートタイマー、派遣社員、嘱託、会社と雇用関係のない在宅就労・内職、委託労働・請負（雇用関係にない者）、自営業者等には自営業主（飲食店・卸小売店・農業等）、自由業者（医者・弁護士・会計士・税理士・作家等）、家族従業者（飲食店・卸小売店・農業等の家族従業者）を含む。フリーランス（会社と雇用関係のない在宅就労・内職、委託労働・請負（雇用関係にない者））については、就業形態としては自営業主に含まれるが、実態としての就労の不安定性と年収水準が非正規雇用者に近いことを踏まえ、本稿においては、非正規雇用者・フリーランスをまとめて集計、分析している。さらに、就業形態に関して、「その他」と回答したサンプルは分類不能のため集計から除外した。就業形態別の集計における合計サンプルは5,320人となる。

図1-4 就業形態別にみたイメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収

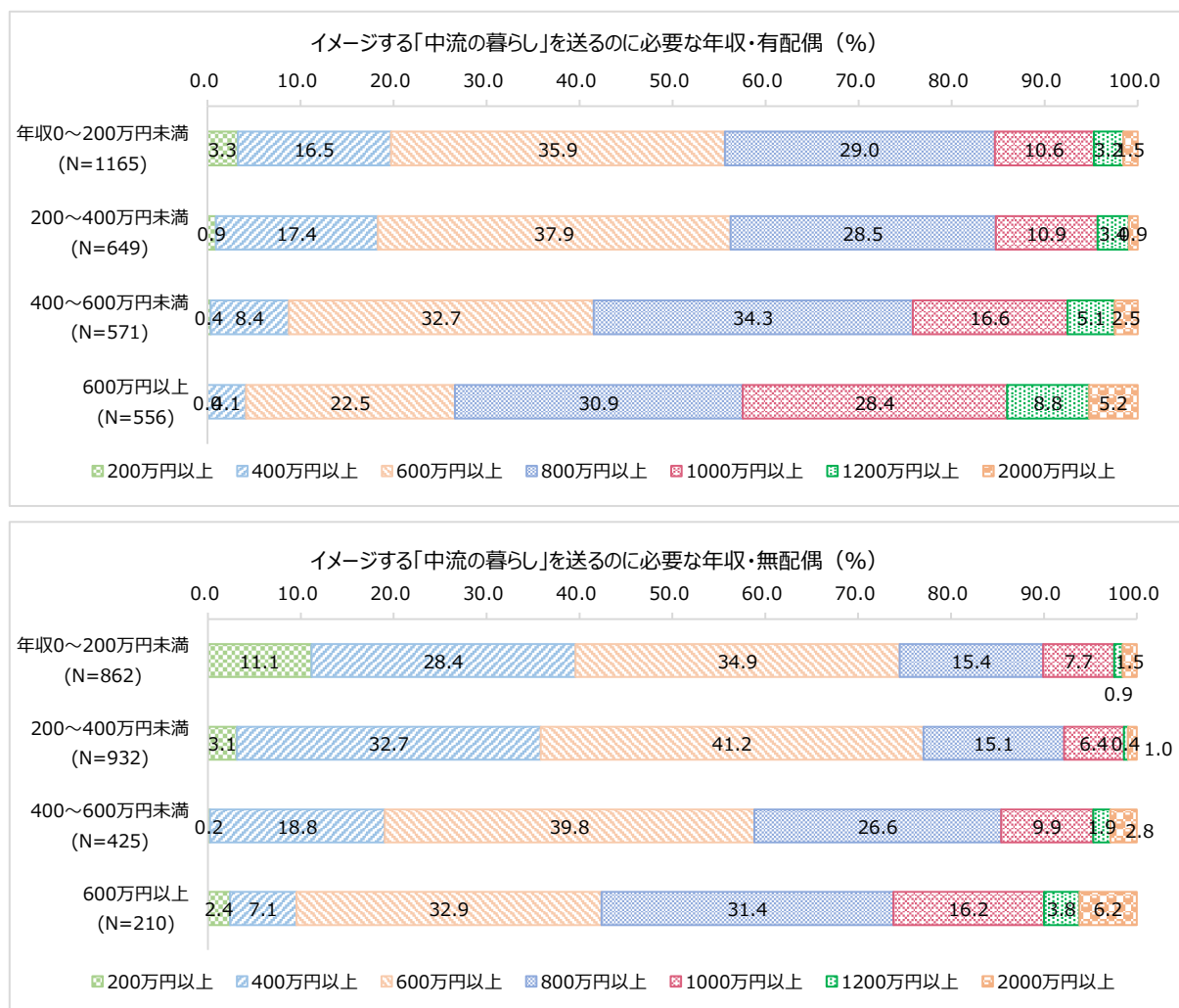


最後に、本人の昨年の仕事による税込み年収<sup>9</sup>の階級別に、「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を確認する（図1-5）。有配偶者では、1000万円以上（「1200万円以上」などを含む）が必要と回答する割合の合計は、昨年の年収200万円未満のグループでは15.4%、200～400万円未満のグループでは15.3%、400～600万円未満のグループでは24.2%、600万円以上のグループでは42.4%である。年収200万円未満と200～400万円未満のグループの間にはあまり差がなく、この2つのグループと年収400～600万円未満や600万円以上のグループとの差が大きい。無配偶者では、800万円以上（「1000万円以上」などを含む）が必要と回答する割合の合計は、年収200万円未満のグループでは25.5%、200～400万円未満のグループでは23.0%、400～600万円未満のグループでは41.2%、

<sup>9</sup> 昨年（1月～12月）の仕事の収入、複数の仕事を持つ場合、その総額について調査している。また、税金、社会保険料などが差し引かれる前の金額について調査している。

600万円以上のグループでは57.6%である。無配偶者の年収が200万円以上のグループに関して、年収が高いほど、「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を高く回答する傾向がある。年収200万円未満の無配偶者のグループに関して、親との同居などで親の暮らし向きを参照にして「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を回答している個人が含まれている可能性があるため、200～400万円未満のグループより「中流の暮らし」を送るのに必要な年収を高く回答する個人の割合が高いことになっていると推測する。

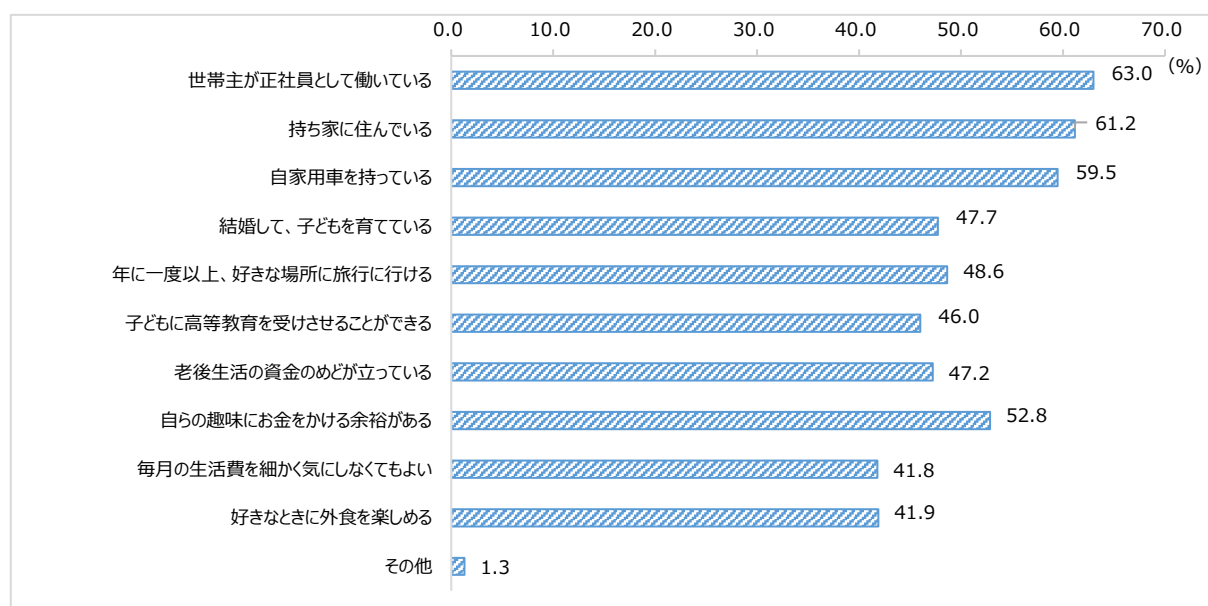
図1-5 本人の年収階級別にみたイメージする「中流の暮らし」を送るのに必要な年収



## 1.2 イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件

本調査では、人々のイメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件について、図1-6が示す11項目を用いて複数回答方式で尋ねた。11項目の中で、「世帯主が正社員として働いている」(63.0%)がもっとも多く選択されており、次いで「持ち家に住んでいる」(61.2%)、「自家用車を持っている」(59.5%)の順となっている。他にも、「自らの趣味にお金をかける余裕がある」(52.8%)が多く選択されている。

図1-6 イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件(複数回答)



男女別にイメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件を確認すると、11項目のうち、「結婚して、子どもを育てている」と「その他」の項目を除き、残りのすべての項目において、女性は男性より割合が高くなっている(表1-1)。学歴別に見ると、学歴が高いほど、「世帯主が正社員として働いている」、「結婚して、子どもを育てている」、「子どもに高等教育を受けさせることができる」などの項目を選択する割合が高く、「持ち家に住んでいる」の項目を選択する割合が低い。

表1-1 性、学歴別にみたイメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件(複数回答)

イメージする「中流の暮らし」	性別		学歴		
	女性	男性	高卒以下	高専短大卒	大学・大学院卒
世帯主が正社員として働いている	66.2	59.7	58.2	64.0	66.9
持ち家に住んでいる	64.8	57.5	63.2	61.6	59.3
自家用車を持っている	62.8	56.0	59.1	61.1	58.8
結婚して、子どもを育てている	47.4	48.1	44.1	46.7	52.3
年に一度以上、好きな場所に旅行に行ける	54.5	42.7	44.8	49.9	51.5
子どもに高等教育を受けさせることができる	50.7	41.1	37.2	45.7	54.7
老後生活の資金のめどが立っている	52.1	42.3	45.1	48.0	48.8
自らの趣味にお金をかける余裕がある	55.9	49.7	49.8	54.9	54.4
毎月の生活費を細かく気にしなくてもよい	46.8	36.7	39.8	43.6	42.6
好きなときに外食を楽しむ	47.7	35.9	38.2	44.7	43.0
その他	1.1	1.4	1.6	1.3	0.9
サンプルサイズ	2,718	2,652	1,808	1,548	1,977

年齢階級別に、イメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件を見ると、30代と40代では、「世帯主が正社員として働いている」ことを選択する割合が高く(それぞれ67.7%と67.5%)、60代では、引退過程の年齢層であることもあり、「世帯主が正社員として働いている」ことを選択する割合が低い(表1-2)。もう1つ特徴的なのは、20代では、

「持ち家に住んでいる」と「自家用車を持っている」ことを選択する割合が他の年齢階級より低い。年齢階級による差をみると、60代の72.5%は「持ち家に住んでいる」を選択しているのに対して、20代ではその割合は49.5%しかなく、両者では23%ポイントの差が開いている。「自家用車を持っている」ことについて、30代の59.3%、40代の59.8%、50代の62.4%、60代の62.8%が選択しているが、20代ではその割合は49.5%にとどまっている。

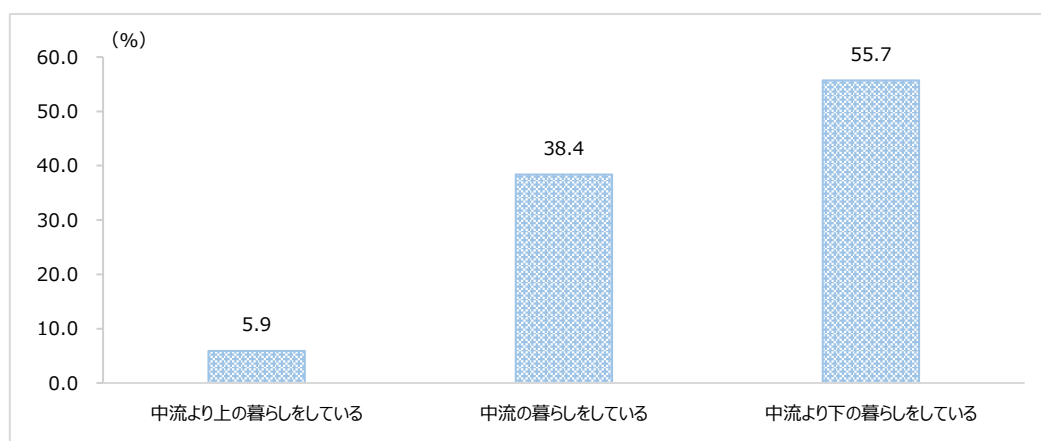
表1-2 年齢階級別にみたイメージする「中流の暮らし」に当てはまる条件(複数回答)

イメージする「中流の暮らし」	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
世帯主が正社員として働いている	63.5	67.7	67.5	64.0	52.5
持ち家に住んでいる	49.5	57.5	59.4	62.5	72.5
自家用車を持っている	49.5	59.3	59.8	62.4	62.8
結婚して、子どもを育てている	50.1	53.0	47.5	45.4	44.4
年に一度以上、好きな場所に旅行に行ける	45.1	51.6	49.4	46.0	50.4
子どもに高等教育を受けさせることができる	38.8	46.0	45.7	45.4	51.8
老後生活の資金のめどが立っている	32.2	43.4	46.1	47.6	61.4
自らの趣味にお金をかける余裕がある	47.6	51.2	52.6	52.2	58.8
毎月の生活費を細かく気にしなくてもよい	33.6	40.9	41.6	40.6	49.7
好きなときに外食を楽しめる	39.0	45.1	41.9	40.8	42.2
その他	1.6	1.5	1.0	1.3	1.1
サンプルサイズ	769	974	1,284	1,196	1,147

### 1.3 イメージする「中流の暮らし」をしているか

あなたは、あなたがイメージする「中流の暮らし」をしているかについて尋ねると、調査回答者の55.7%は「中流より下の暮らしをしている」、5.9%は「中流より上の暮らしをしている」、38.4%は「中流の暮らしをしている」と回答している(図1-7)。

図1-7 イメージする中流の暮らしをしているか

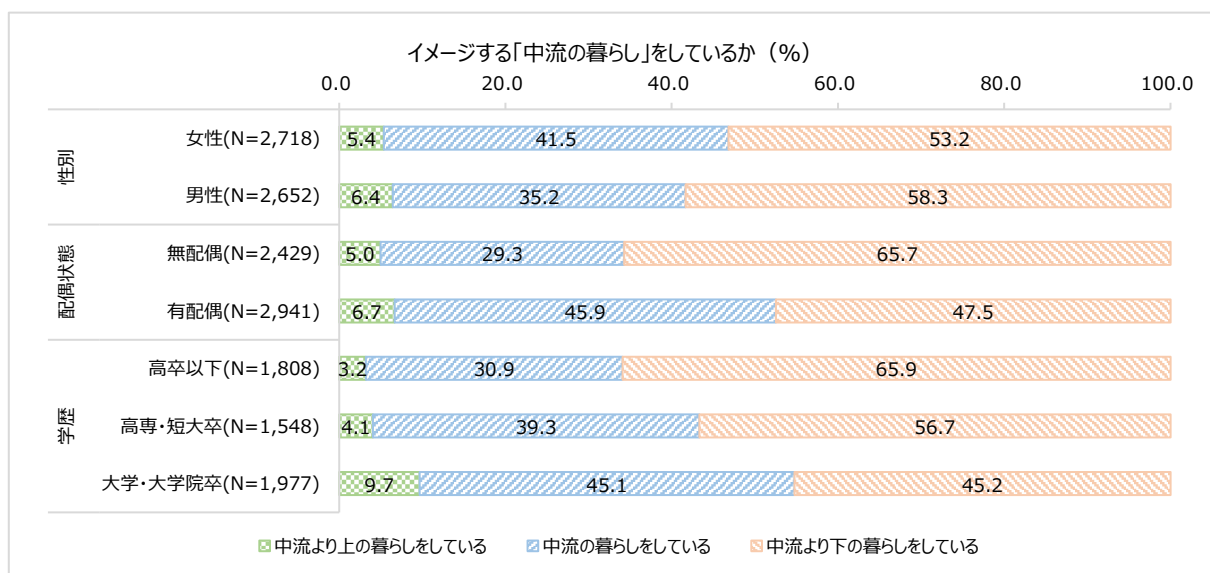


男女別にイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答を確認すると、男性の6.4%、女性の5.4%は「中流より上の暮らしをしている」、男性の58.3%、女性の53.2%は「中流

より下の暮らしをしている」と回答している（図1-8）。中流より上の暮らしと下の暮らしをしていると回答する割合のいずれも男性は女性より高い。配偶状態別に見ると、無配偶者は有配偶者と比べ、「中流より上の暮らしをしている」と回答する割合が低く、「中流より下の暮らしをしている」と回答する割合が高い。

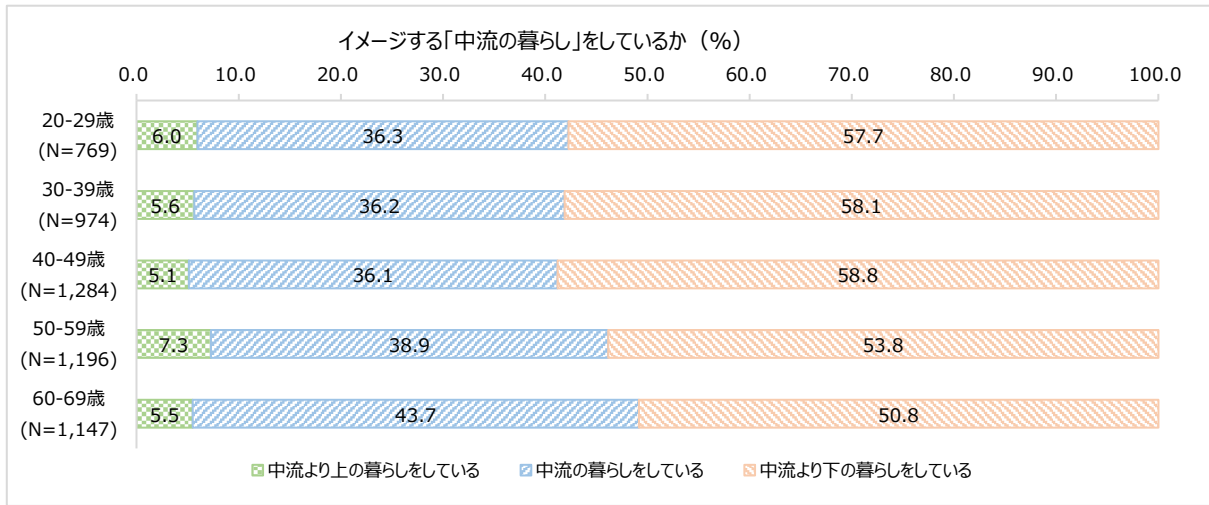
学歴別に見ると、学歴が高いほど、「中流より上の暮らしをしている」と回答する割合が高く、「中流より下の暮らしをしている」と回答する割合が低い。具体的には、大学・大学院卒の9.7%、高専・短大卒の4.1%、高卒以下の3.2%は、「中流より上の暮らしをしている」と回答しており、高卒以下と大学・大学院卒では6.5%ポイントの差が開いている。さらに、高卒以下の65.9%、高専・短大卒の56.7%、大学・大学院卒の45.2%は、「中流より下の暮らしをしている」と回答しており、高卒以下と大学・大学院卒では20.7%ポイントの差が開いている。

図1-8 性、配偶状態、学歴別にみたイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答



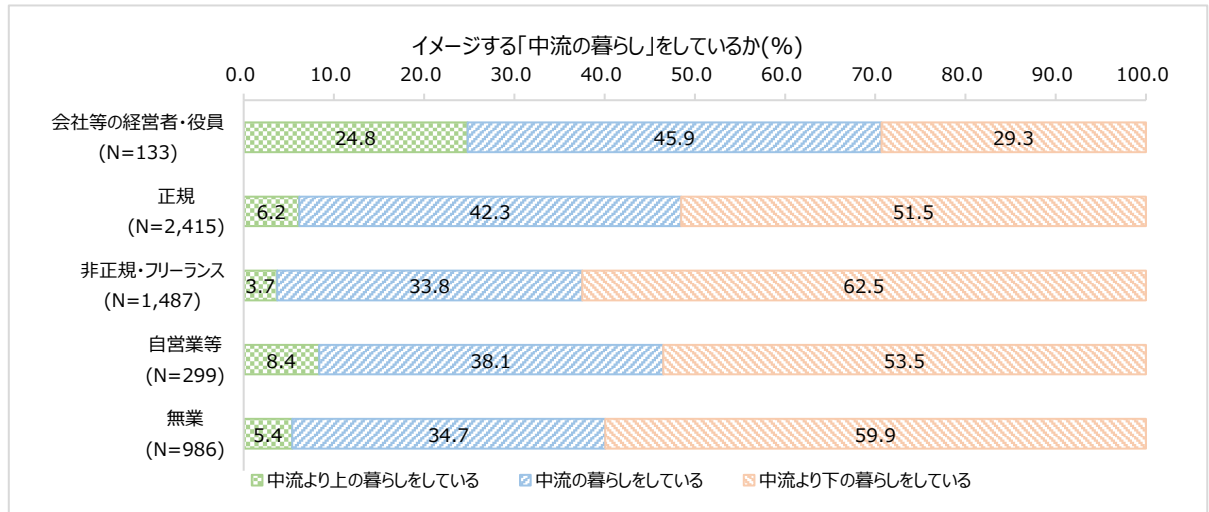
年齢階級別にイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答を見ると、20代の57.7%、30代の58.1%、40代の58.8%、50代の53.8%、60代の50.8%は「中流より下の暮らしをしている」と回答しており、60代の割合がもっとも低い（図1-9）。さらに、20代の6.0%、30代の5.6%、40代の5.1%、50代の7.3%、60代の5.5%は「中流より上の暮らしをしている」と回答しており、年齢階級による差が小さく、50代の割合がもっとも高い。

図1-9 年齢階級別にみたイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答



就業形態別にイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答をみると、「中流より上の暮らしをしている」と回答する割合は、会社等の経営者・役員（24.8%）がもっとも高く、非正規雇用者・フリーランス（3.7%）がもっとも低い。「中流より下の暮らしをしている」と回答する割合は、非正規雇用者・フリーランス（62.5%）がもっとも高く、会社等の経営者・役員（29.3%）がもっとも低い（図1-10）。

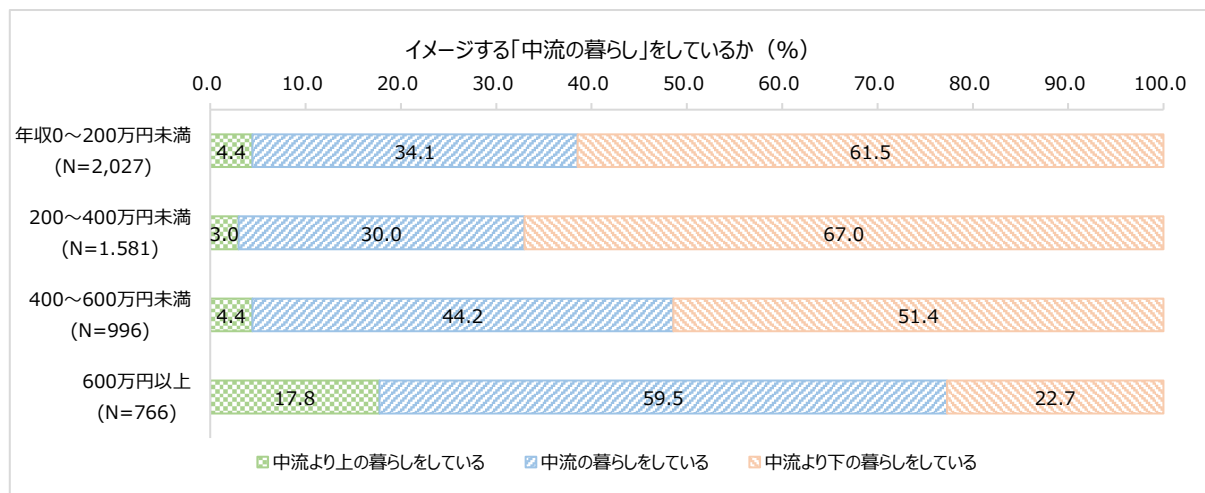
図1-10 就業形態別にみたイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答



最後に、本人の昨年の仕事による税込み年収別にイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答を見ると、「中流より下の暮らしをしている」と回答する割合は、年収 200～400 万円のグループがもっとも高く（67.0%）、年収 600 万円以上のグループがもっとも低い（22.7%）。「中流より上の暮らしをしている」と回答する割合は年収 600 万円以上のグループがもっとも高く（17.8%）、年収 200～400 万円未満のグループがもっとも低い

(3.0%) (図1-11)。

図1-11 本人の年収階級別にみたイメージする「中流の暮らし」をしているかの回答



## 2. 階層帰属意識

階層帰属意識に関しては、社会学者の研究グループである社会階層と社会移動調査研究会が実施する「社会階層と社会移動全国調査 (SSM 調査)」<sup>10</sup>において、継続的に調査されている。本調査において、SSM 調査の調査項目を参照して、階層帰属意識について調査してみた。具体的には、日本の中で「生活水準」を5つの層に分けるとすれば、あなた自身の生活水準は、次のどれに入ると思うかの質問において、「上」、「中の上」、「中の下」、「下の上」、「下の下」、「分からない」の6つの選択肢を設けた<sup>11</sup>。SSM 調査において、「日本の社会全体を5つの層に分けるとすれば」との記述を使っており、本調査では、「日本の中で生活水準を5つの層に分けるとすれば」との記述を利用している。「社会全体」という記述を用いる場合、何をもって5つの層に分けているのかを曖昧なままにしている面があると懸念し、本調査では、「生活水準」に着目して階層について調査した。さらに、SSM 調査は、面接法と留置き法の両方を用いる調査であり、本調査は、調査会社の登録モニターを対象としたWEB調査である。両調査の設問の表現と調査方法の違いが回答に影響を与える可能性は否めないが、似ている質問項目として、ここでは、その結果について比較を行う。

「中の上」と「中の下」の合計、いわゆる中間層の割合は、SSM 調査の20～69歳の男

<sup>10</sup> SSM 調査は第1回のみ日本社会学会によって実施されている。1955年以来、10年ごとに調査が実施されている。社会階層や不平等、社会移動、職業、教育、社会意識などを主な調査内容としている。当初は男性のみが調査対象であったが、1985年以降は女性も対象となっている。2005年調査まで、調査対象者の上限年齢は69歳であったが、2015年調査では79歳へと引き上げられた。

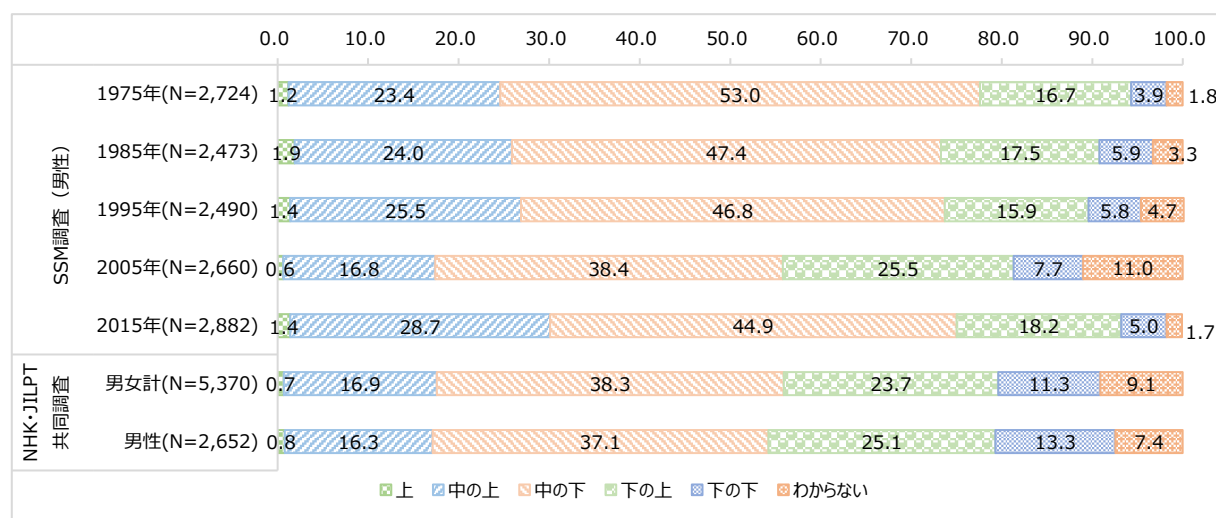
<sup>11</sup> SSM 調査においては、「かりに現在の日本の社会全体を5つの層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると思うか」と尋ねている。選択肢の設定は本調査と同じである。



性回答者について集計した場合、1975年調査では76.4%、1985年調査では71.4%、1995年調査では72.3%となっており、いずれも7割を上回っている。2005年調査になると55.2%までに下落し、自分が中間層に入ると考える個人の割合の低下が見られた。ただし、2015年調査では、中間層の割合は73.6%に上昇した(図2-1)。本調査において、同じ年齢層で、生活水準について中間層と自己評価した割合は男性では53.4%、男女計では55.3%となっている。女性は男性より、自分が中間層に入ると考える割合は若干高いことが伺える。本調査は2022年7月末～8月初めに調査しており、調査時期は、SSM調査の2015年調査に近いが、結果はむしろ2005年調査に近い。

上位層と自己評価した割合(「上」の割合)は、SSM調査の1975年調査、1985年調査、1995年調査、2015年調査では2%未満であり、2005年調査では1%未満である。本調査においては、男女計と男性サンプルについての集計のいずれも1%未満である。下位層(「下の上」と「下の下」の合計)と自己評価した割合は、SSM調査の1975年調査では20.6%、1985年調査では23.4%、1995年調査では21.7%、2005年調査では33.2%、2015年調査では23.2%である。本調査における下位層の割合は男女計では35.0%、男性では38.3%であり、SSM調査のいずれの調査年よりも高い。

図2-1 SSM調査と比較した階層帰属意識の分布



注：1) SSM調査の1975年～2005年の集計結果は神林(2015)より引用。2015年の集計結果はJILPT研究員森山智彦がSSM調査の個票データを用いて作成。NHK・JILPT共同調査の集計結果は筆者が作成。

2) 両調査とも年齢20～69歳について集計。

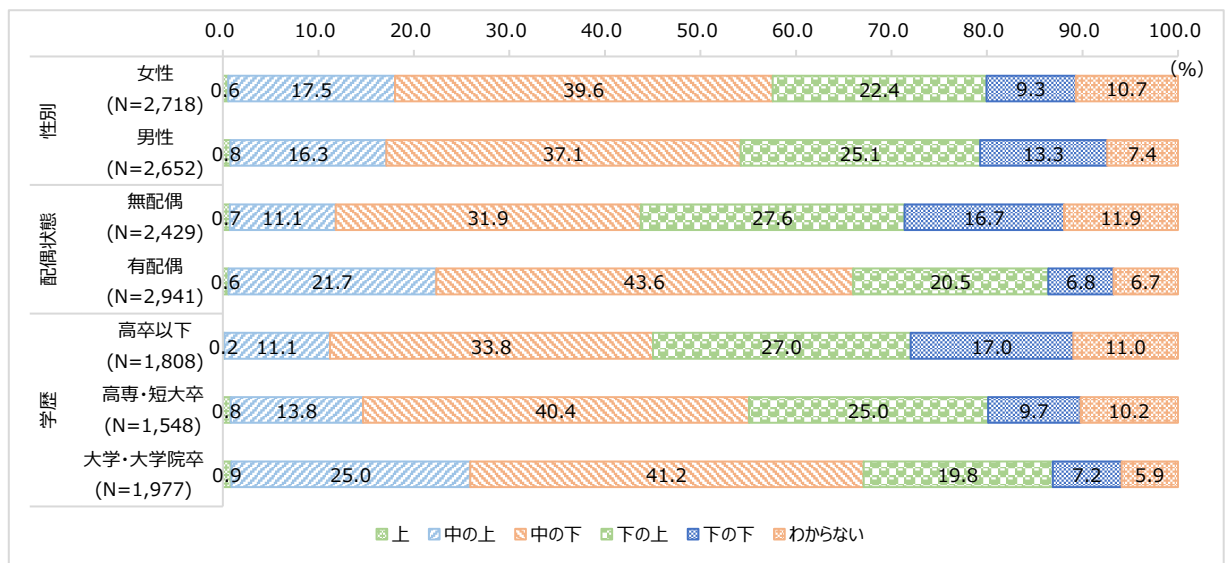
3) SSM調査は社会階層帰属意識、本調査は生活水準に関する階層帰属意識について調査している点に注意されたい。また、SSM調査は、面接法と留置き法の両方を用いる調査であり、本調査は、調査会社の登録モニターを対象としたWEB調査である。

男女別に階層帰属意識の分布を見ると、女性は男性と比べ、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が高く、自分が下位層に入ると回答する割合が低い。具体的には、女性の57.0%は自分の生活水準が中間層、31.7%は自分の生活水準が下位層に入ると回答しているのに対して、男性の53.4%は自分の生活水準が中間層、38.3%は自分の生活水準が下位層に入ると回答している（図2-2）。

配偶状態別に見ると、有配偶者は無配偶者と比べ、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が高く、下位層に入ると回答する割合が低い。しかも、両者の差は大きく開いている。有配偶者の65.4%は自分の生活水準が中間層、27.3%は自分の生活水準が下位層に入ると回答しているのに対して、無配偶者の43.0%は自分の生活水準が中間層、44.3%は自分の生活水準が下位層に入ると回答している。

学歴別に見ると、学歴が高いほど自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が高く、自分の生活水準が下位層に入ると回答する割合が低い。高卒以下の44.9%、高専・短大卒の54.3%、大学・大学院卒の66.2%は自分の生活水準が中間層に入ると回答し、高卒以下の44.0%、高専・短大卒の34.7%、大学・大学院卒の27.0%は自分の生活水準が下位層に入ると回答している。

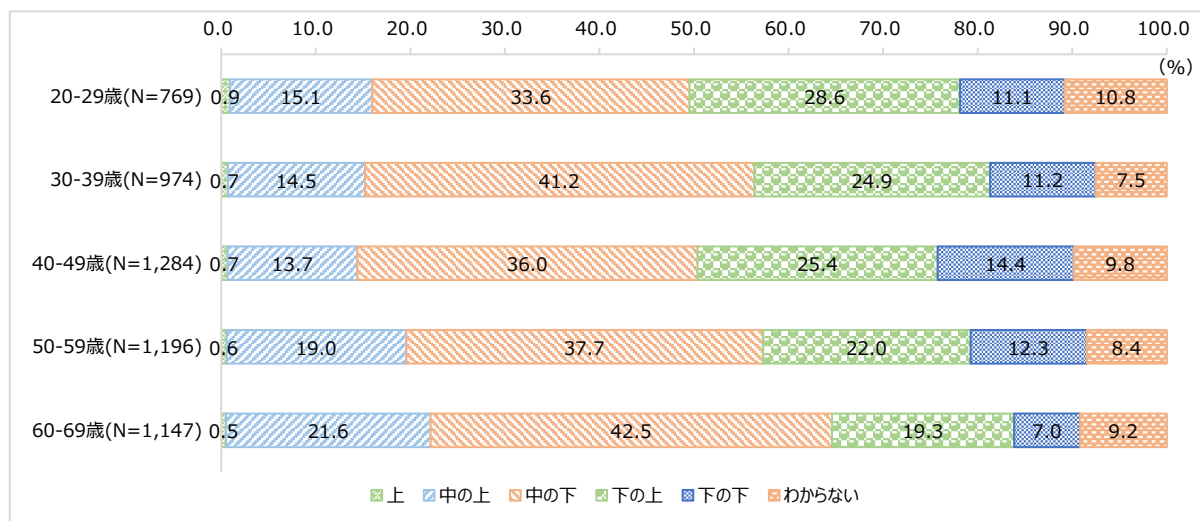
図2-2 性、配偶状態、学歴別にみた生活水準に関する階層帰属意識の分布



年齢階級別に生活水準に関する階層帰属意識の分布をみると、20代と40代は、他の年齢階級と比べ、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合（それぞれ48.6%と49.7%）が低く、自分の生活水準が下位層に入ると回答する割合（それぞれ39.7%と39.8%）が高いという特徴がある。また、60代では、自分の生活水準を中間層に入ると回答する割合（64.1%）がもっとも高く、自分の生活水準が下位層に入ると回答する割合（26.2%）がもっとも低い（図2-3）。一般的には、賃金は就業経験年数に応じて上昇するため、20

代は他の年齢階級より平均的に賃金が低いことが該当年齢層の生活水準に関する階層帰属意識の判断に影響を与えている可能性がある」と推測する。40代では中間層と自己評価した割合が低いことについて、ライフステージで考えて、子どもの教育やローンの返済など様々な出費が多い年齢階級であることやいわゆる就職氷河期世代<sup>12</sup>に相当する年齢階級であることが回答に影響を与えている可能性がある」と考える。60代では中間層と自己評価した割合が高いことについて、この世代は青少年期に日本経済のバブル崩壊前の高成長期を経験し、自分の親や自分の子どもの頃より経済的に恵まれた暮らしを送っている個人が多いと考えられ、自分の現在の生活水準に満足している個人が多いと考えられる。こうしたことは、生活水準に関する階層帰属意識の回答に反映している可能性がある」と推測する。

図2-3 年齢階級別にみた生活水準に関する階層帰属意識の分布

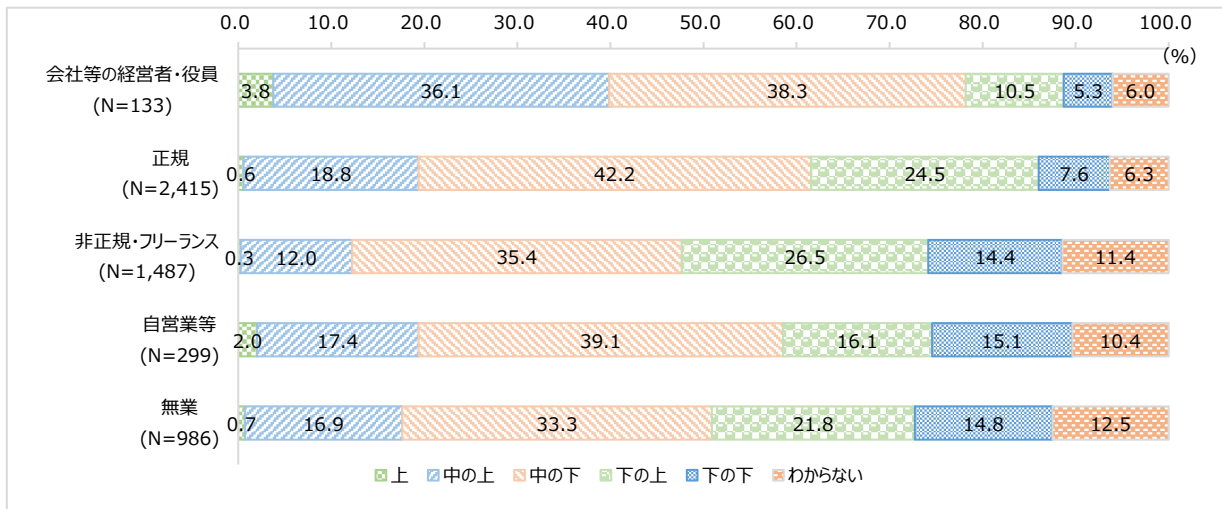


就業形態別に生活水準に関する階層帰属意識の分布をみると、非正規雇用者・フリーランスでは、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合（47.4%）がもっとも低く、自分の生活水準が下位層に入ると回答する割合（40.9%）がもっとも高い（図2-4）。会社等の経営者・役員は、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合（74.4%）がもっとも高く、自分の生活水準が下位層に入ると回答する割合（15.8%）がもっとも低い。

<sup>12</sup> 一般的に「バブル崩壊後の1990～2000年代、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った層」のことを「就職氷河期世代」と呼んでいる。就職氷河期対策について、政府は「就職氷河期世代支援プログラム」（経済財政運営と改革の基本方針2019（2019年6月21日閣議決定）に記載）を策定し、それを踏まえた「就職氷河期世代支援に関する行動計画2021」（2021年12月24日取りまとめ）に基づき、相談、教育訓練から就職、定着まで切れ目のない支援に取り組んでいる。

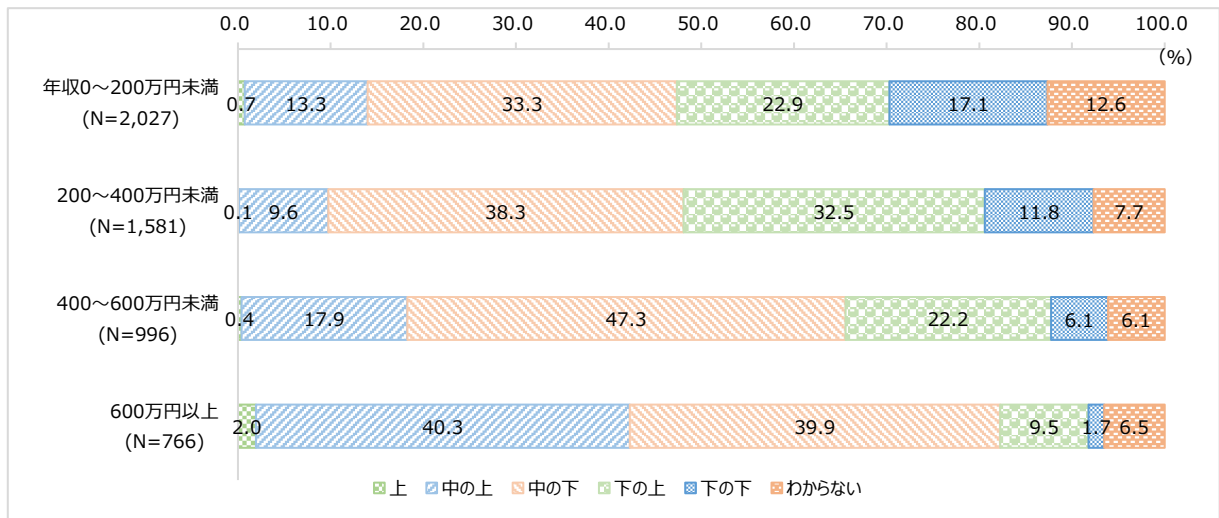
（[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/shushoku\\_hyogaki\\_s\\_hien.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/shushoku_hyogaki_s_hien.html)）

図2-4 就業形態別にみた生活水準に関する階層帰属意識



最後に、本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別に生活水準に関する階層帰属意識の分布をみると、本人の年収が高いほど、自分の生活水準が中間層に入ると回答する割合が高く、下位層に入ると回答する割合が低い（図2-5）。

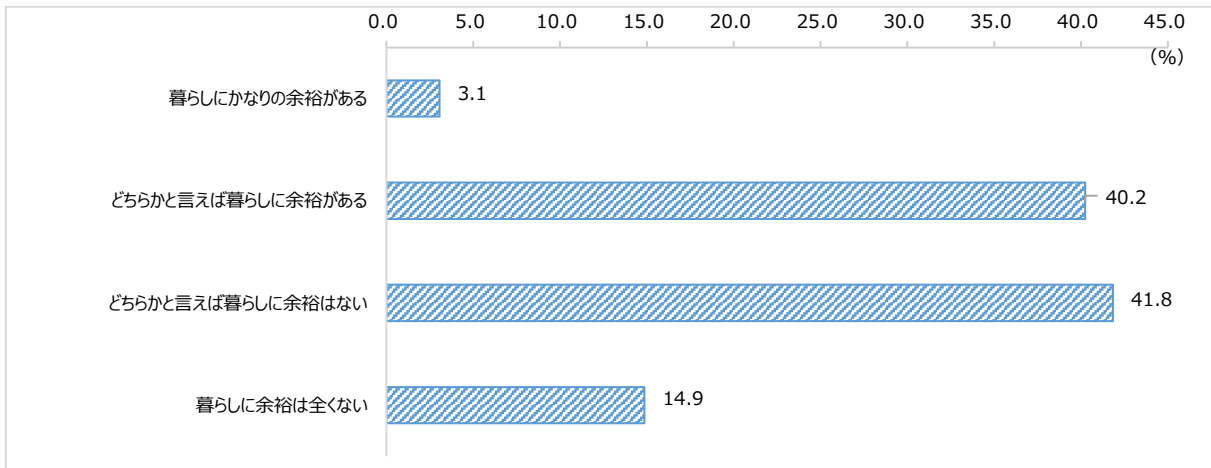
図2-5 本人の年収階級別にみた生活水準に関する階層帰属意識の分布



### 3. 現在の生活水準の感じ方

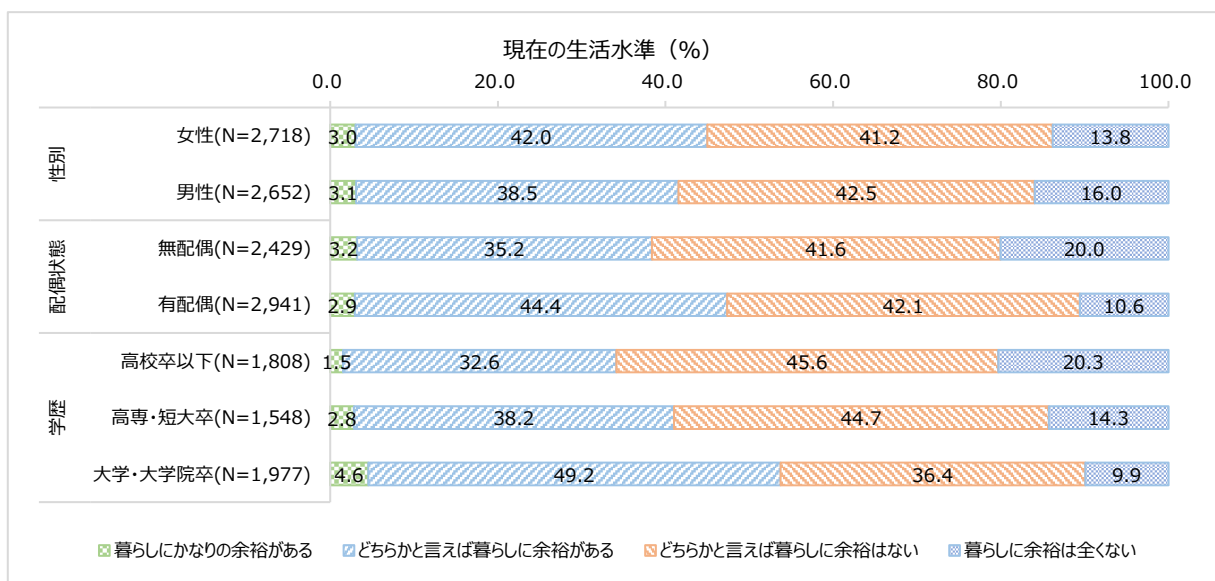
調査対象者に、現在の生活水準について、どのように感じているかについて尋ねると、「暮らしにかなり余裕がある」の回答割合は3.1%、「どちらかと言えば暮らしに余裕がある」は40.2%、「どちらかと言えば暮らしに余裕はない」は41.8%、「暮らしに余裕は全くない」は14.9%である（図3-1）。「どちらかと言えば暮らしに余裕はない」と「暮らしに余裕は全くない」と回答する割合は合計で全サンプルの56.7%を占める。

図3-1 現在の生活水準の感じ方



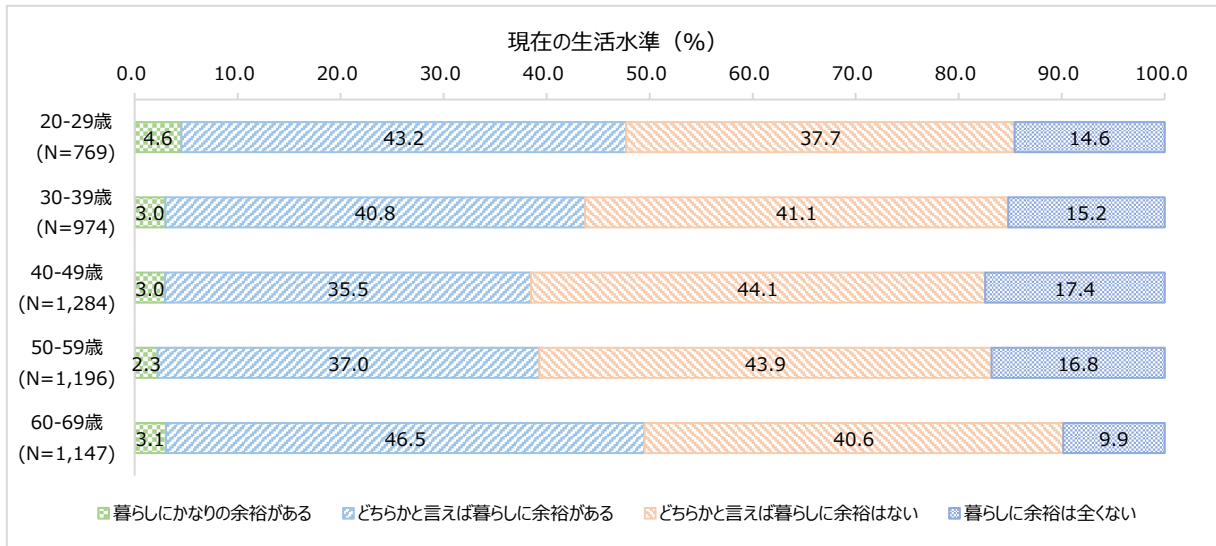
性、配偶状態、学歴別に現在の生活水準の感じ方をみると、男性は女性より、無配偶者は有配偶者より「暮らしに余裕がない」と回答する割合が高い。さらに、学歴が低いほど、「暮らしに余裕がない」と回答する割合が高い（図3-2）。

図3-2 性、配偶状態、学歴別にみた現在の生活水準の感じ方



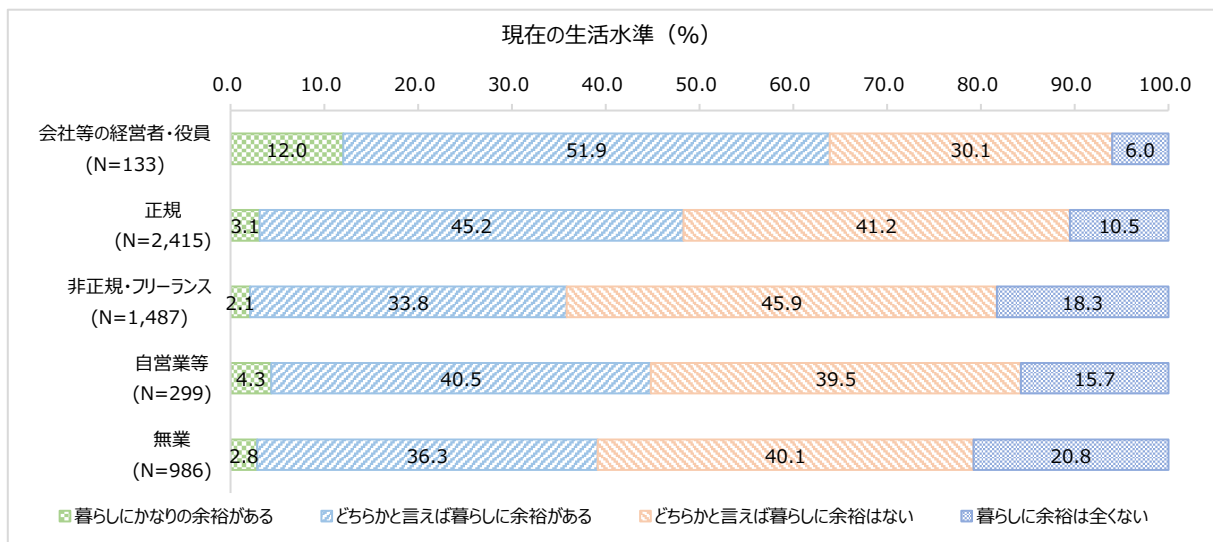
年齢階級別に現在の生活水準の感じ方をみると、「どちらかと言えば暮らしに余裕はない」と「暮らしに余裕は全くない」の合計は、40代では61.5%、50代では60.7%と、いずれも6割を超え、他の年齢階級より暮らしに余裕はないと感じる者が多い。それに対して、60代と20代では、その割合はそれぞれ50.5%と52.3%となっており、他の年齢階級より暮らしに余裕はないと回答する割合は低い（図3-3）。

図3-3 年齢階級別にみた現在の生活水準の感じ方



就業形態別に現在の生活水準の感じ方をみると、「どちらかと言えば暮らしに余裕はない」と「暮らしに余裕は全くない」の合計は、非正規雇用者・フリーランスでもっとも高く、64.2%となっており、会社等の経営者・役員ではもっとも低く、36.1%となっている。その他の就業形態について、無業では60.9%、自営業者等では55.2%、正規雇用者では51.7%となっている（図3-4）。

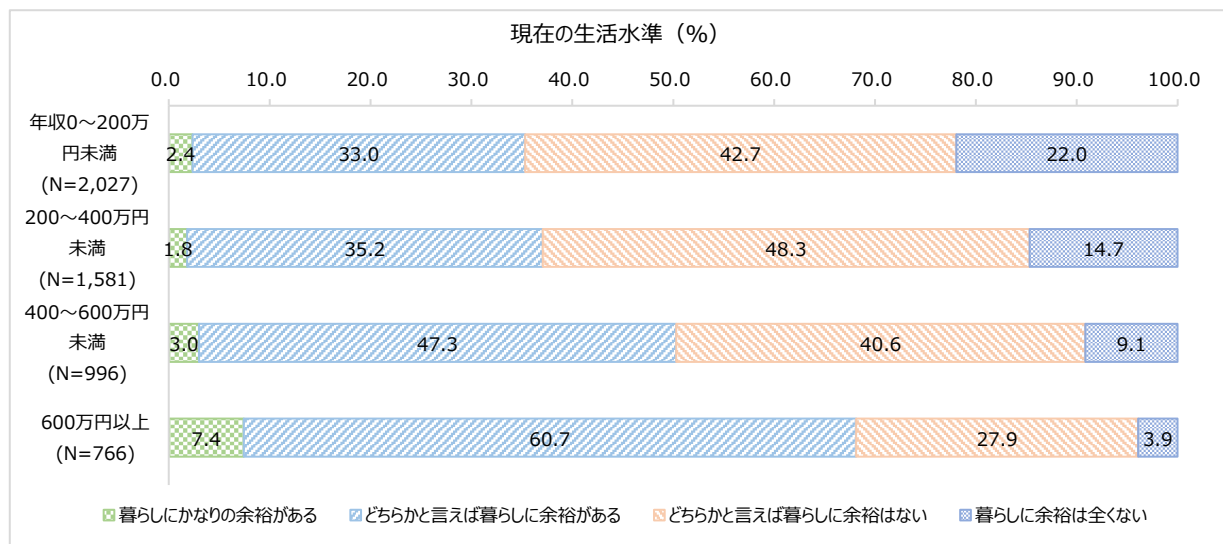
図3-4 就業形態別にみた現在の生活水準の感じ方



最後に、本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別に現在の生活水準の感じ方をみると、本人の年収が低いほど、暮らしに余裕はないと回答する割合が高いことが確認された。「どちらかと言えば暮らしに余裕はない」と「暮らしに余裕は全くない」と回答する割合

の合計は、年収 200 万円未満では 64.7%、200～400 万円未満では 62.9%、400～600 万円未満では 49.7%、600 万円以上では 31.9%となっている（図 3－5）。

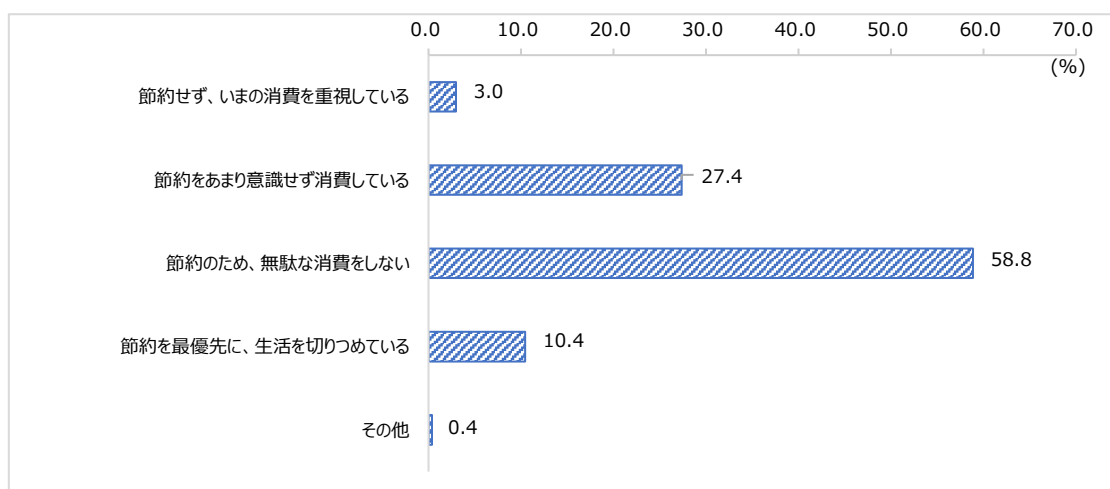
図3-5 本人の年収階級別にみた現在の生活水準の感じ方



#### 4. 現在の消費スタイル

まず、現在の消費スタイルについて尋ねたところ、「節約せず、いまの消費を重視している」割合は 3.0%、「節約をあまり意識せず消費している」割合は 27.4%、「節約のため、無駄な消費をしない」割合は 58.8%、「節約を最優先に、生活を切り詰めている」割合は 10.4%となっている。約 3 割の個人は、節約しない生活をしており、約 7 割の個人は節約を意識して生活している様子が伺える（図 4－1）。

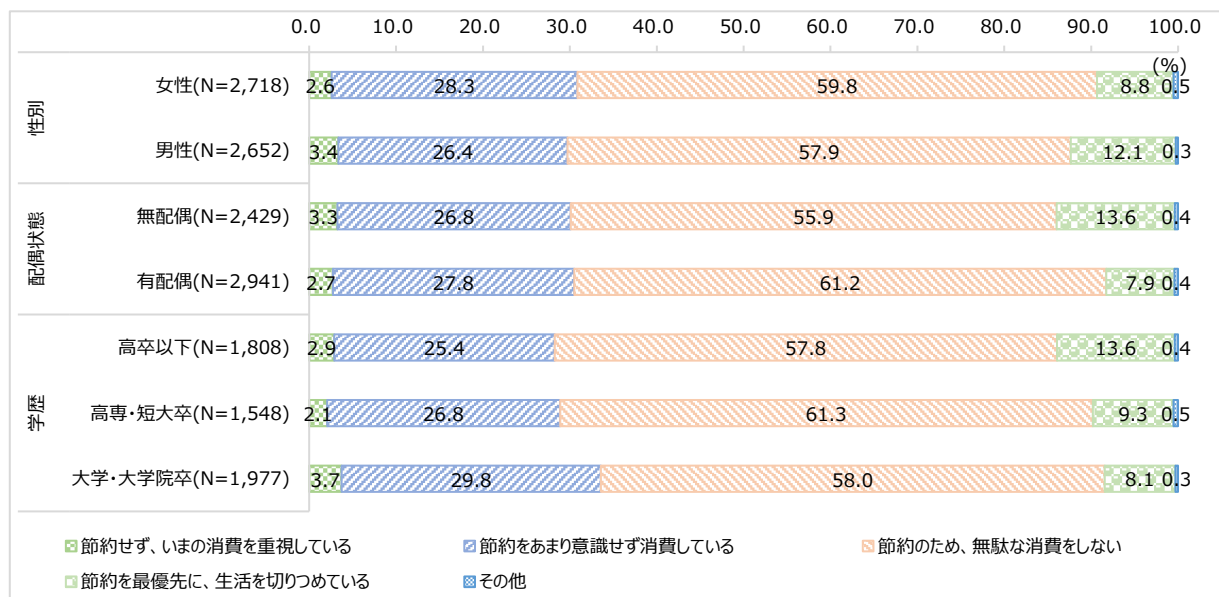
図4-1 現在の消費スタイル



性、配偶状態、学歴別に現在の消費スタイルをみると、「節約せず、いまの消費を重視している」と「節約をあまり意識せず消費している」の合計、いわゆる「節約しない」割合は、男女別と配偶状態別では大差がなく、女性では 30.9%、男性では 29.8%、無配偶者では 30.1%、有配偶者では 30.5%で、いずれも 30%±1%の範囲内に収まっている（図 4-2）。ただし、学歴別には違いが見られ、「節約しない」割合は、大学・大学院卒（33.6%）は、高卒以下（28.3%）と高専・短大卒（28.9%）より 5%ポイントほど高い。

「節約のため、無駄な消費をしない」の割合は、性、配偶状態、学歴の各属性グループでは、55.9%から 61.3%の間に推移しており、属性による違いが見られるが、いずれの属性グループでも、過半数以上の方は日頃無駄な消費をしないように心掛けていることが伺える。「節約を最優先に、生活を切り詰めている」割合は、男性（12.1%）は女性（8.8%）より高く、無配偶者（13.6%）は有配偶者（7.9%）より高く、高卒以下（13.6%）は高専・短大卒（9.3%）、大学・大学院卒（8.1%）より高い。属性による消費スタイルの差が浮き彫りになっている<sup>13</sup>。ここで確認できた性別、配偶状態、学歴による消費スタイルの差は、これらの属性間の所得水準の差や経済的に支え合う家族の有無の差を反映している可能性があると考えられる。

図4-2 性、配偶状態、学歴別にみた現在の消費スタイル



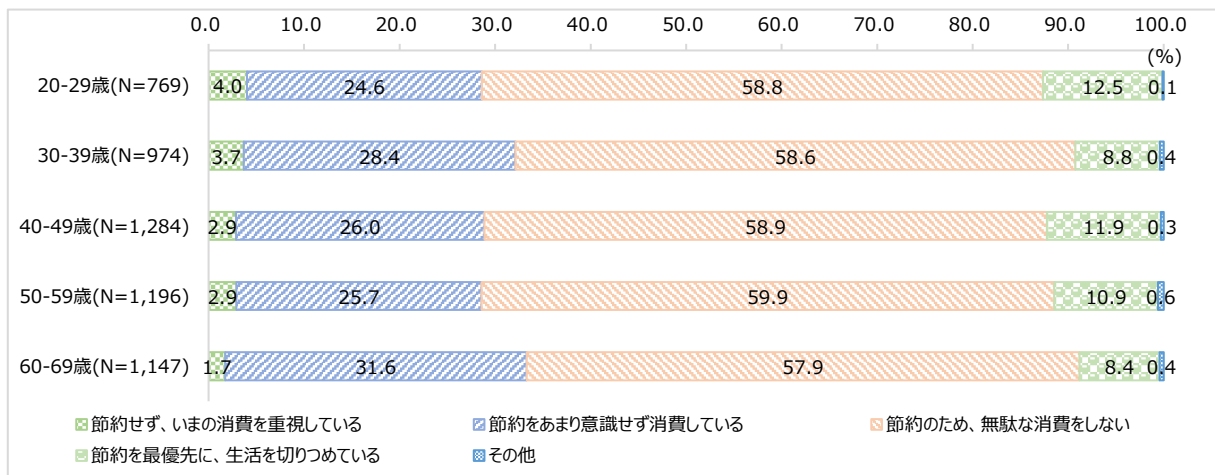
年齢階級別に、現在の消費スタイルをみたところ、「節約せず、いまの消費を重視している」と「節約をあまり意識せず消費している」といった「節約しない」割合は、20代では 28.6%、30代では 32.1%、40代では 28.9%、50代では 28.6%、60代では 33.3%であ

<sup>13</sup> ただし、ここでは、調査から得られた自己評価した消費スタイルの結果を紹介しており、属性によって、必要と考える消費額や消費項目に違いがある可能性があることに留意する必要がある。



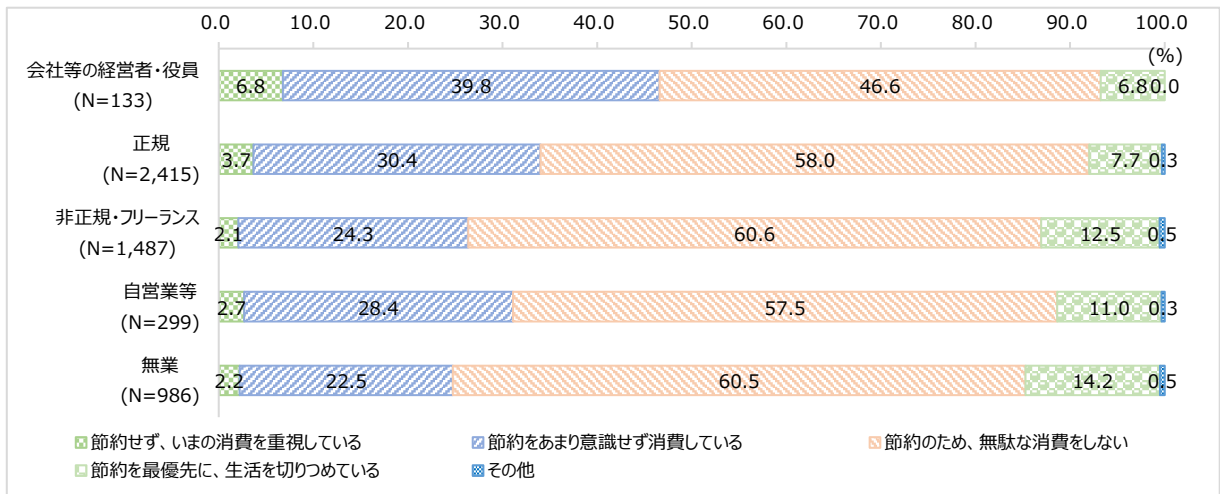
る（図4-3）。「節約のため、無駄な消費をしない」と「節約を最優先に、生活を切り詰めている」といった「節約している」割合は、20代では71.3%、30代では67.5%、40代と50代では70.8%、60代では66.3%である。消費スタイルの年齢階級別の特徴として、60代と30代では「節約しない」割合が相対的に高く、20代、40代と50代では「節約している」割合が相対的に高い。特に「節約を最優先に、生活を切り詰めている」割合については、20代（12.5%）と40代（11.9%）が高く、60代（8.4%）と30代（8.8%）が低い。このような年齢階級による消費スタイル（節約志向）の違いについては、年功賃金型の賃金プロファイルや年齢階級によるライフイベントの違いが影響している可能性があると考えられる。20代では、他の年齢階級と比べ、賃金水準が相対的に低く、40代と50代では、子どもの教育や住宅ローンの返済など、ライフステージ的に各種経済負担が大きいためという特徴がある。

図4-3 年齢階級別にみた現在の消費スタイル



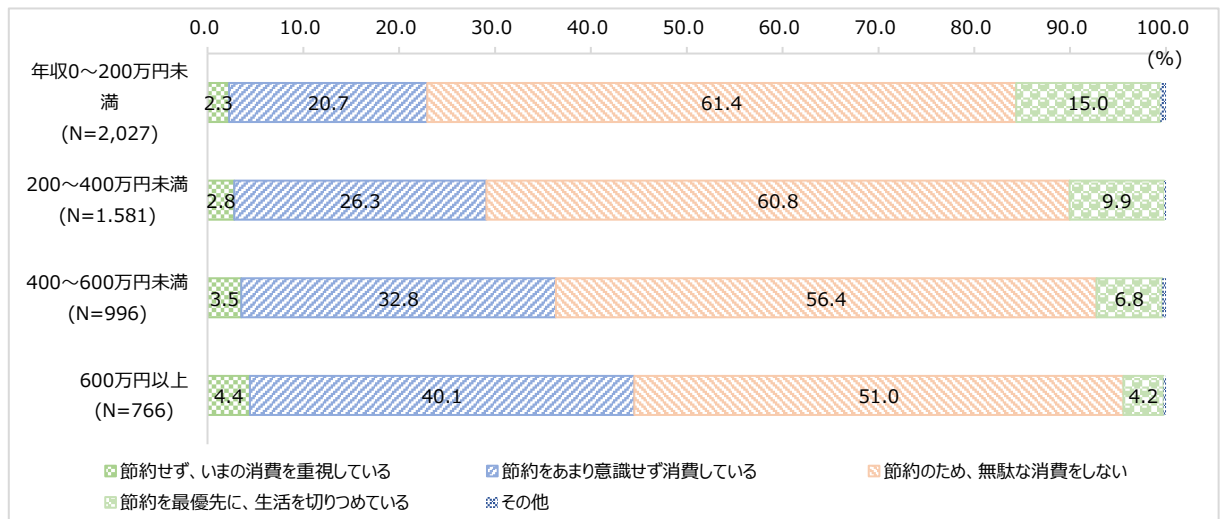
就業形態別に現在の消費スタイルを見ると、会社等の経営者・役員では「節約せず、いまの消費を重視している」（6.8%）と「節約をあまり意識せず消費している」（39.8%）といった「節約しない」割合が高く、非正規・フリーランスと無業者では、「節約のため、無駄な消費をしない」（それぞれ60.6%と60.5%）と「節約を最優先に、生活を切り詰めている」（それぞれ12.5%と14.2%）といった「節約している」割合が高い（図4-4）。

図4-4 就業形態別にみた現在の消費スタイル



本人の昨年の仕事による税込み年収<sup>14</sup>の階級別に、現在の消費スタイルをみると、年収が高いほど、「節約せず、いまの消費を重視している」や「節約をあまり意識せず消費している」割合が高く、「節約のため、無駄な消費をしない」や「節約を最優先に、生活を切り詰めている」割合が低い。所得水準が消費の予算制約となっており、節約の有無に影響を及ぼしているという想定通りの結果が示された（図4-5）。

図4-5 本人の年収階級別にみた現在の消費スタイル



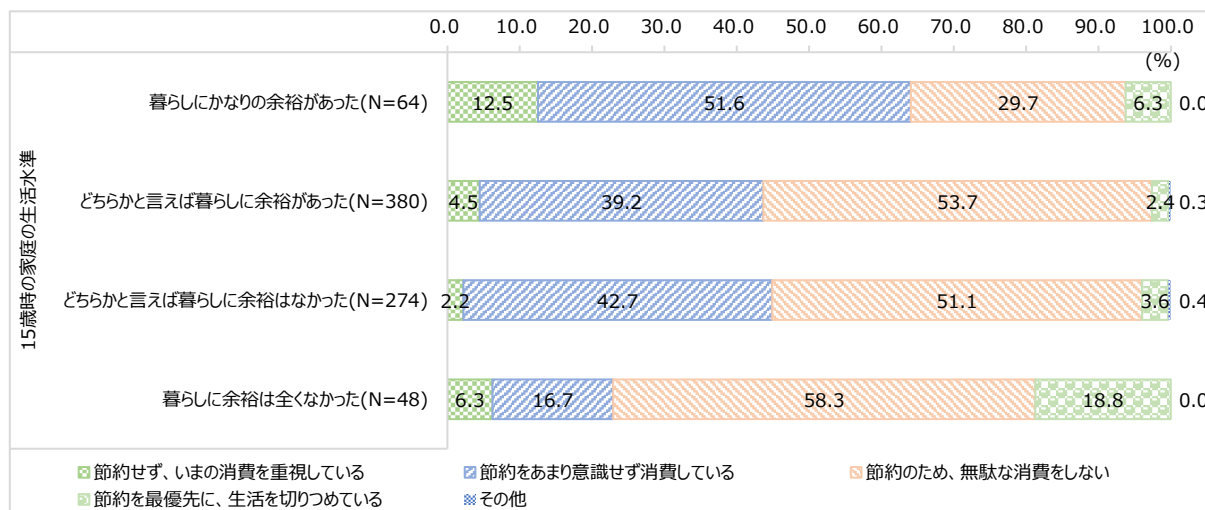
次に、本人の昨年の仕事による税込み年収 600 万円以上の個人に限定して、15 歳時の家庭の生活水準によって、現在の消費スタイルにどのような違いがあるのかを確認する。

<sup>14</sup> 昨年（1月～12月）の仕事の収入、複数の仕事を持つ場合、その総額について調査している。また、税金、社会保険料などが差し引かれる前の金額について調査している。

本人年収 600 万円以上の場合、所得による消費行動への制約が小さいと考える<sup>15</sup>。消費に関する予算制約の小さい個人に限定して、出身家庭の生活水準による現在の消費スタイルの傾向の違いを確認することで、出身家庭の生活水準が現在の消費スタイルに与える影響を把握する手掛かりになると考える。

15 歳時の家庭の生活水準別にみた現在の消費スタイルの結果を示す図 4-6 をみると、15 歳時に、「暮らしにかなりの余裕があった」個人が、現在では、「節約せず、いまの消費を重視している」割合（12.5%）や「節約をあまり意識せず消費している」割合（51.6%）が他のグループより高く、合計で 64.1%となっている。それに対して、15 歳時に、「暮らしに余裕は全くなかった」個人が、現在では、「節約のため、無駄な消費をしない」割合（58.3%）や「節約を最優先に、生活を切り詰めている」（18.8%）割合が高く、合計で 77.1%となっている。15 歳時に、「どちらかと言えば暮らしに余裕があった」個人や「どちらかと言えば暮らしに余裕はなかった」個人は、現在の消費スタイルに関して、「節約しない」割合はそれぞれ 43.7%と 44.9%で、「節約している」割合はそれぞれ 56.1%と 54.7%であり、両グループでは大差がない。上記の結果から、成長期における出身家庭の生活水準は、その水準に伴う当時の消費スタイルを通じて、成人後の消費スタイルにも影響を与える可能性があることを示唆する。

図 4-6 15 歳時の家庭の生活水準別にみた現在の消費スタイル



注：本人の昨年の仕事による税込み年収 600 万円以上の個人について集計。

最後に、本人の昨年の仕事による税込み年収 600 万円以上の個人に限定して、将来の暮らし向きの見通し別に現在の消費スタイルを確認する。将来の暮らし向きの見通しについて、「今より暮らし向きはよくなる」と思う個人では、「節約せず、いまの消費を重視して

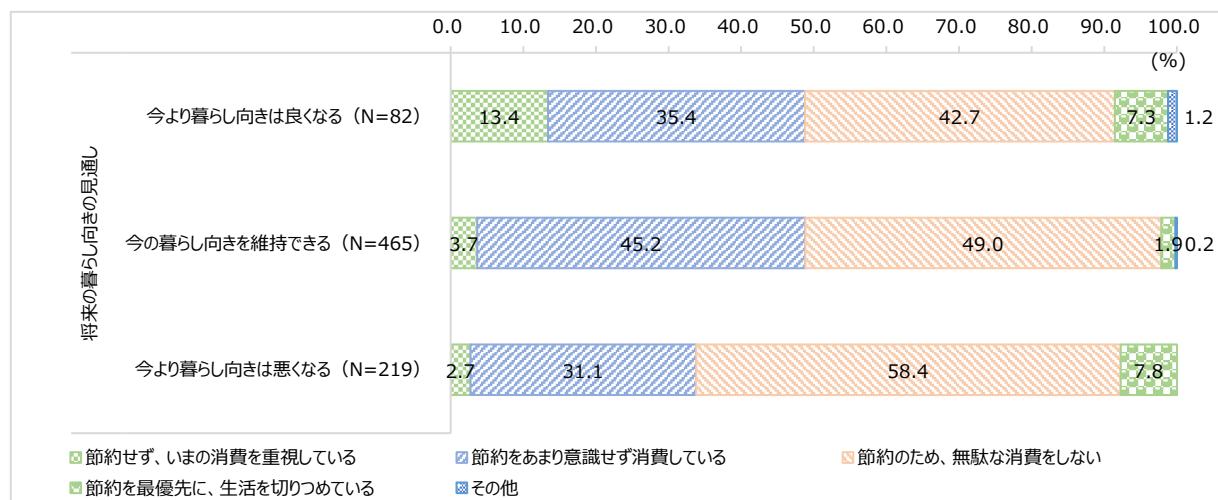
<sup>15</sup> 1.1 で示した通り、中流の暮らしを送るのに必要な年収を 600 万円以上とする割合が高い。

いる」割合が 13.4%であり、もっとも高い（図 4-7）。「節約せず、いまの消費を重視している」と「節約をあまり意識せず消費している」の合計、いわゆる「節約しない」割合は、「今より暮らし向きは良くなる」と思う個人と「今の暮らし向きを維持できる」と思う個人では同水準であり、48.8%となっている。

「今より暮らし向きは悪くなる」と思う個人では、「節約しない」割合は 33.8%であり、もっとも低い。「節約のため、無駄な消費をしない」と「節約を最優先に、生活を切り詰めている」の合計、いわゆる「節約している」割合に関して、「今より暮らし向きは良くなる」と思う個人では 50.0%、「今の暮らし向きを維持できる」と思う個人では 51.0%、「今より暮らし向きは悪くなる」と思う個人では 66.2%である。

将来の暮らし向きの見通しに関する認識によって、現在の消費スタイルに影響を与え、悪い見通しは節約につながる可能性が示された。もう 1 つ特徴的なのは、「今より暮らし向きは良くなる」と思う個人の 7.3%は、「節約を最優先に、生活を切り詰めている」と回答しており、その割合は「今より暮らし向きは悪くなる」と思う個人とは大差がない。

図 4-7 将来の暮らし向きの見通し別にみた現在の消費スタイル



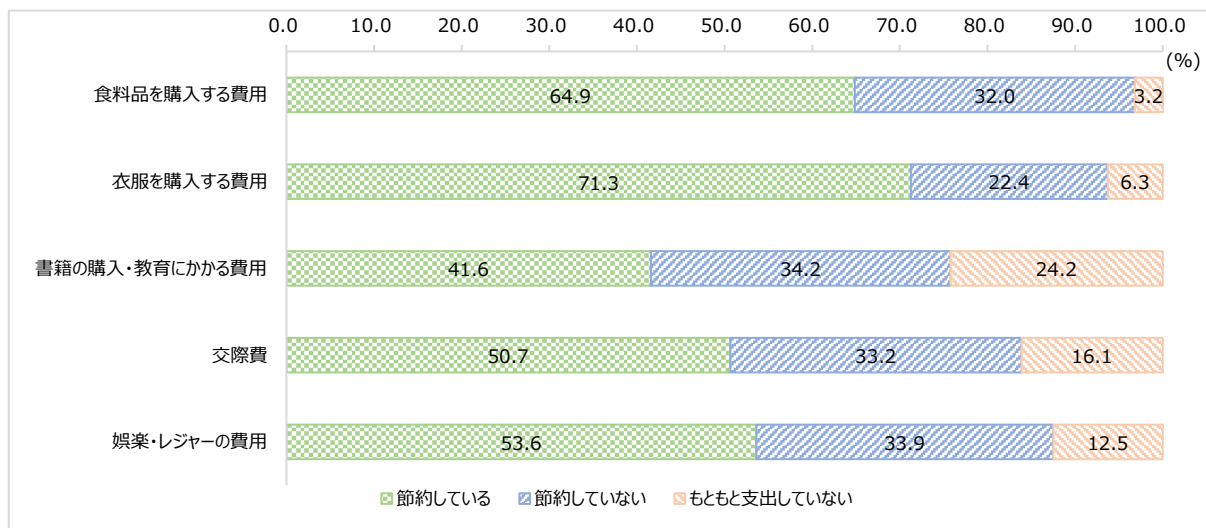
注：本人の昨年の仕事による税込み年収 600 万円以上の個人について集計。

## 5. 項目ごとの消費行動

本節では、調査で提示された「食料品を購入する費用」、「衣服を購入する費用」、「書籍の購入・教育にかかる費用」、「交際費」、「娯楽・レジャーの費用」の 5 つ項目に対して、この 2、3 年間の節約の有無について確認する。節約の有無について、「節約している」、「節約していない」、「もともと支出していない」の 3 つに分けて調査している。全サンプルを用いた図 5-1 の集計結果を見ると、「衣服を購入する費用」を節約している割合は 71.3%でもっとも高く、その次は「食料品を購入する費用」(64.9%)、「娯楽・レジャーの費用」(53.6%)、「交際費」(50.7%)、「書籍の購入・教育にかかる費用」(41.6%)となっ

ている。さらに、もともと支出していない割合については、「書籍の購入・教育にかかる費用」(24.2%)、「交際費」(16.1%)、「娯楽・レジャーの費用」(12.5%)、「衣服を購入する費用」(6.3%)、「食料品を購入する費用」(3.2%)の順となっている。食料品と衣服は必需品で、書籍や教育サービスは家庭によって必要度が低いと考えられていることが伺える。

図5-1 項目ごとの消費行動



次は、性、配偶状態、学歴別に、この2、3年間における各項目の節約の有無を確認する(表5-1)。ここでは、主に「節約していない」割合に着目して、属性による特徴をまとめる。「食料品を購入する費用」の「節約していない」割合について、女性(30.8%)は男性(33.1%)より、無配偶者(31.2%)は有配偶者(32.6%)より低く、学歴が低いほど低い。「衣服を購入する費用」の「節約していない」割合について、女性(22.0%)は男性(22.9%)より、有配偶者(21.5%)は無配偶者(23.6%)より低い。ただし、「衣服を購入する費用」の「もともと支出していない」割合は、男性(8.2%)は女性(4.4%)より、無配偶者(8.8%)は有配偶者(4.3%)より高い。学歴が低いほど、「衣服を購入する費用」の「節約していない」割合が低く、高卒以下の「もともと支出していない」割合(7.9%)が他の学歴グループより高い。

「書籍の購入・教育にかかる費用」の「節約していない」割合について、男性(33.6%)は女性(34.7%)より1.1%ポイント少ないが、「もともと支出していない」割合は、女性(25.8%)は男性(22.6%)より3.2%ポイント高い。学歴が低いほど、「書籍の購入・教育にかかる費用」の「節約していない」割合が低く、「もともと支出していない」割合が高い。

「交際費」の「節約していない」割合は、男性(29.6%)は女性(36.8%)より低く、「もともと支出していない」割合も男性(18.2%)は女性(14.1%)より高い。有配偶者と無

配偶者は、「交際費」の「節約していない」割合には大差がないが、「交際費」を「もともと支出していない」割合は無配偶者（20.3%）が有配偶者（12.6%）より高い。さらに、学歴が低いほど、「交際費」の「節約していない」割合が低く、「もともと支出していない」割合が高い。「娯楽・レジャーの費用」の「節約していない」割合について、男性（33.3%）は女性（34.5%）より、有配偶者（33.6%）は無配偶者（34.3%）より低く、学歴が低いほど低い。「娯楽・レジャーの費用」の「もともと支出していない」割合は学歴が低いほど高い。

表5-1 性、配偶状態、学歴別にみた項目ごとの消費行動

	性別		配偶状態		学歴			
	女性 (N=2,718)	男性 (N=2,652)	無配偶 (N=2,429)	有配偶 (N=2,941)	高卒以下 (N=1,808)	高専・短大卒 (N=1,548)	大学・大学院卒 (N=1,977)	
この2、3年の間に、節約しているか								
食料品を購入する費用	節約している	66.5	63.2	63.1	66.3	67.9	67.0	60.6
	節約していない	30.8	33.1	31.2	32.6	28.4	30.2	36.8
	もともと支出していない	2.7	3.7	5.7	1.1	3.7	2.8	2.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
衣服を購入する費用	節約している	73.6	68.9	67.6	74.3	72.8	75.3	67.0
	節約していない	22.0	22.9	23.6	21.5	19.2	20.2	27.3
	もともと支出していない	4.4	8.2	8.8	4.3	7.9	4.5	5.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
書籍の購入・教育にかかると費用	節約している	39.5	43.8	42.0	41.3	42.7	42.6	40.0
	節約していない	34.7	33.6	27.1	40.0	26.8	33.2	41.9
	もともと支出していない	25.8	22.6	30.9	18.7	30.5	24.2	18.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交際費	節約している	49.2	52.1	46.2	54.3	52.2	51.0	49.0
	節約していない	36.8	29.6	33.4	33.1	28.1	33.5	37.9
	もともと支出していない	14.1	18.2	20.3	12.6	19.7	15.4	13.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
娯楽・レジャーの費用	節約している	53.5	53.8	49.6	56.9	56.4	54.0	50.7
	節約していない	34.5	33.3	34.3	33.6	27.8	32.3	40.9
	もともと支出していない	12.0	13.0	16.1	9.5	15.8	13.7	8.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

年齢階級別にこの2、3年間ににおける各項目の節約の有無を見ると、「食料品を購入する費用」に関して、20代では、「節約していない」割合が低く、「もともと支出していない」割合が高い（表5-2）。「食料品を購入する費用」を「もともと支出していない」場合、家族との同居のケースが多いと推測する。60代では、「食料品を購入する費用」を「節約していない」割合がもっとも高く、36.3%となっている。「衣服を購入する費用」に関して、「節約していない」割合は、30代～50代では低く、60代（25.1%）と20代（24.8%）では高い。20代、30代、50代では、「もともと支出していない」割合も高く、それぞれ10.5%、6.9%、6.3%となっている。

「書籍の購入・教育費にかかると費用」に関して、20代は他の年齢層と比べ、「節約していない」割合（27.7%）が低く、「もともと支出していない」割合（30.7%）が高いことが特徴的である。「交際費」に関して、「節約していない」割合は、60代（36.7%）がもっとも高く、次は20代（35.8%）、30代（33.7%）、50代（32.2%）、40代（29.3%）の順とな

っている。「交際費」の「もともと支出していない」割合は、20代がもっとも高く（21.8%）、年齢階級が上がるほど、その割合が低くなっている。「娯楽・レジャーの費用」の「節約していない」割合は、20代がもっとも高く（39.1%）、次は30代（37.0%）、60代（33.5%）、40代（31.9%）、50代（30.6%）となっている。「娯楽・レジャーの費用」の「もともと支出していない」割合は、20代（13.9%）がもっとも高く、その次は50代（13.3%）、60代（12.7%）、30代（11.8%）、40代（11.2%）となっている。

表5-2 年齢階級別にみた項目ごとの消費行動

この2、3年の間に、節約しているか		20-29歳 (N=769)	30-39歳 (N=974)	40-49歳 (N=1,284)	50-59歳 (N=1,196)	60-69歳 (N=1,147)
食料品を購入する費用	節約している	62.7	64.6	65.7	67.3	63.1
	節約していない	28.1	31.3	32.0	30.8	36.3
	もともと支出していない	9.2	4.1	2.3	1.9	0.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
衣服を購入する費用	節約している	64.6	71.7	74.0	72.9	70.6
	節約していない	24.8	21.5	20.9	20.8	25.1
	もともと支出していない	10.5	6.9	5.1	6.3	4.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
書籍の購入・教育にかかる費用	節約している	41.6	39.1	41.9	43.6	41.4
	節約していない	27.7	36.4	36.9	33.9	33.7
	もともと支出していない	30.7	24.4	21.2	22.6	24.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交際費	節約している	42.4	48.6	55.8	53.3	49.4
	節約していない	35.8	33.7	29.3	32.2	36.7
	もともと支出していない	21.8	17.8	15.0	14.5	13.9
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
娯楽・レジャーの費用	節約している	46.9	51.2	56.9	56.1	53.8
	節約していない	39.1	37.0	31.9	30.6	33.5
	もともと支出していない	13.9	11.8	11.2	13.3	12.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

就業形態別にこの2、3年間における各項目の節約の有無をみると、「食料品を購入する費用」、「衣服を購入する費用」、「書籍の購入・教育にかかる費用」、「交際費」、「娯楽・レジャーの費用」のいずれの項目においても、「節約していない」割合が非正規雇用者・フリーランスと無業者では低く、会社等の経営者・役員では高いことが確認される（表5-3）

表5-3 就業形態別にみた項目ごとの消費行動

		会社等の経営者・役員 (N=133)	正規 (N=2,415)	非正規・フリーランス (N=1,487)	自営業等 (N=299)	無業 (N=986)
この2、3年の間に、	節約しているか					
食料品を購入する費用	節約している	57.1	61.7	68.2	62.5	69.6
	節約していない	38.3	35.6	28.4	35.5	26.4
	もともと支出していない	4.5	2.8	3.4	2.0	4.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
衣服を購入する費用	節約している	60.2	69.1	73.6	67.6	76.2
	節約していない	33.1	25.3	19.7	26.4	16.8
	もともと支出していない	6.8	5.5	6.7	6.0	7.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
書籍の購入・教育にかかる費用	節約している	37.6	40.3	44.0	43.1	42.0
	節約していない	49.6	37.5	29.6	37.8	29.8
	もともと支出していない	12.8	22.2	26.4	19.1	28.2
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交際費	節約している	45.1	51.9	50.7	50.8	49.0
	節約していない	45.9	35.7	29.6	37.8	29.4
	もともと支出していない	9.0	12.5	19.7	11.4	21.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
娯楽・レジャーの費用	節約している	46.6	53.3	54.0	54.5	54.8
	節約していない	46.6	38.7	29.2	34.4	27.4
	もともと支出していない	6.8	8.0	16.8	11.0	17.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別に、この2、3年間における各項目の節約の有無を見ると、いずれの項目においても、「節約していない」割合は年収が低いほど低くなっている（表5-4）。やはり所得の差は直接消費の差につながっていると考えられる。

表5-4 本人の年収階級別にみた項目ごとの消費行動

		昨年の年収			
		年収0~200万円未満 (N=2,027)	200~400万円未満 (N=1,581)	400~600万円未満 (N=996)	600万円以上 (N=766)
この2、3年の間に、	節約しているか				
食料品を購入する費用	節約している	69.8	66.9	62.3	50.9
	節約していない	26.0	29.8	36.0	46.7
	もともと支出していない	4.1	3.4	1.6	2.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
衣服を購入する費用	節約している	76.1	72.3	68.1	60.6
	節約していない	16.3	21.3	27.2	34.7
	もともと支出していない	7.6	6.4	4.7	4.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
書籍の購入・教育にかかる費用	節約している	44.4	43.0	40.8	32.4
	節約していない	28.4	28.4	39.1	54.8
	もともと支出していない	27.1	28.6	20.2	12.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
交際費	節約している	51.7	51.6	49.6	47.4
	節約していない	27.6	31.6	39.8	43.0
	もともと支出していない	20.7	16.8	10.6	9.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
娯楽・レジャーの費用	節約している	55.8	55.2	52.2	46.2
	節約していない	26.0	33.3	40.6	47.3
	もともと支出していない	18.1	11.5	7.2	6.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0



最後に、東京圏、名古屋圏、大阪圏の三大都市圏<sup>16</sup>と地方圏別に、この2、3年間に  
ける各項目の節約の有無を確認する。「食料品を購入する費用」の「節約していない」割合  
は、名古屋圏（29.2%）はもっとも低く、次は地方圏（30.7%）となっている（表5-5）。

「食料品を購入する費用」の「もともと支出していない」割合は、名古屋圏（5.1%）と大  
阪圏（4.3%）は相対的に高く、地方圏（3.1%）と東京圏（2.2%）は相対的に低い。「衣服  
を購入する費用」、「書籍の購入・教育にかかる費用」、「交際費」、「娯楽・レジャーの費用」  
のいずれの項目に関しても、「節約していない」割合は地方圏ではもっとも低い。東京圏  
では、「衣服を購入する費用」の「もともと支出していない」割合がもっとも低く（5.5%）、  
名古屋圏（6.9%）、大阪圏（6.7%）、地方圏（6.5%）と1%ポイントほどの差が開いてい  
る。「書籍の購入・教育にかかる費用」、「交際費」、「娯楽・レジャーの費用」の「もともと  
支出していない」割合も地方圏がもっとも高い。

表5-5 地域別にみた項目ごとの消費行動

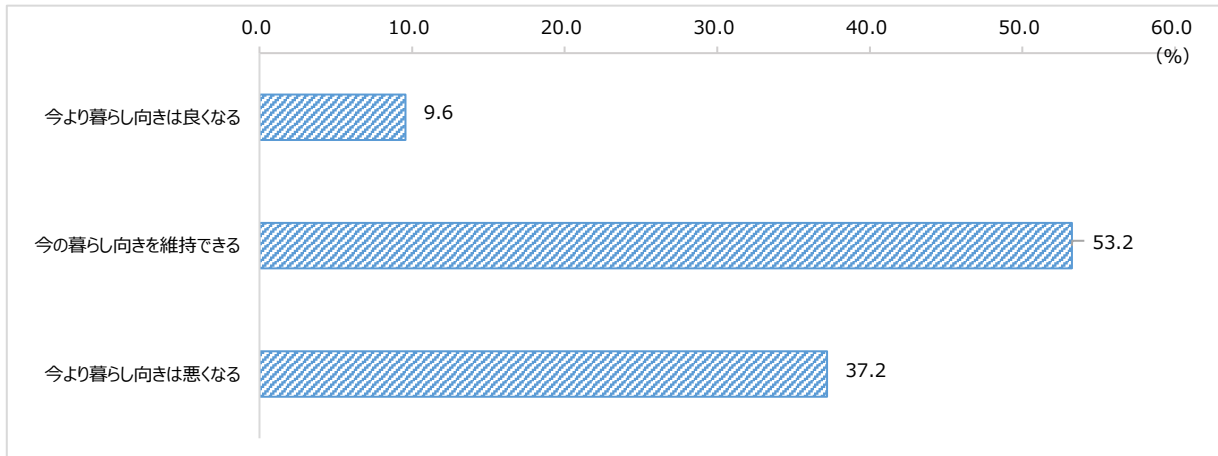
		東京圏 (N=1,458)	名古屋圏 (N=452)	大阪圏 (N=720)	地方圏 (2,740)
この2、3年の間に、節約しているか					
食料品を購入する 費用	節約している	63.6	65.7	61.5	66.2
	節約していない	34.2	29.2	34.2	30.7
	もともと支出していない	2.2	5.1	4.3	3.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
衣服を購入する費 用	節約している	69.4	69.0	66.3	73.9
	節約していない	25.1	24.1	27.1	19.5
	もともと支出していない	5.5	6.9	6.7	6.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
書籍の購入・教育 にかかる費用	節約している	38.8	44.5	40.6	42.9
	節約していない	38.7	34.3	34.9	31.5
	もともと支出していない	22.5	21.2	24.6	25.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
交際費	節約している	49.5	48.2	49.9	51.9
	節約していない	36.2	36.1	35.1	30.7
	もともと支出していない	14.3	15.7	15.0	17.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
娯楽・レジャーの費 用	節約している	51.6	55.1	51.0	55.1
	節約していない	37.7	33.6	37.6	30.9
	もともと支出していない	10.7	11.3	11.4	13.9
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

## 6. 将来の暮らし向きの見通し

調査対象者に、将来の暮らし向きの見通しについて尋ねると、「今より暮らし向きは良  
くなる」の回答割合は9.6%であり、「今の暮らし向きを維持できる」は53.2%、「今より  
暮らし向きは悪くなる」は37.2%となっている（図6-1）。

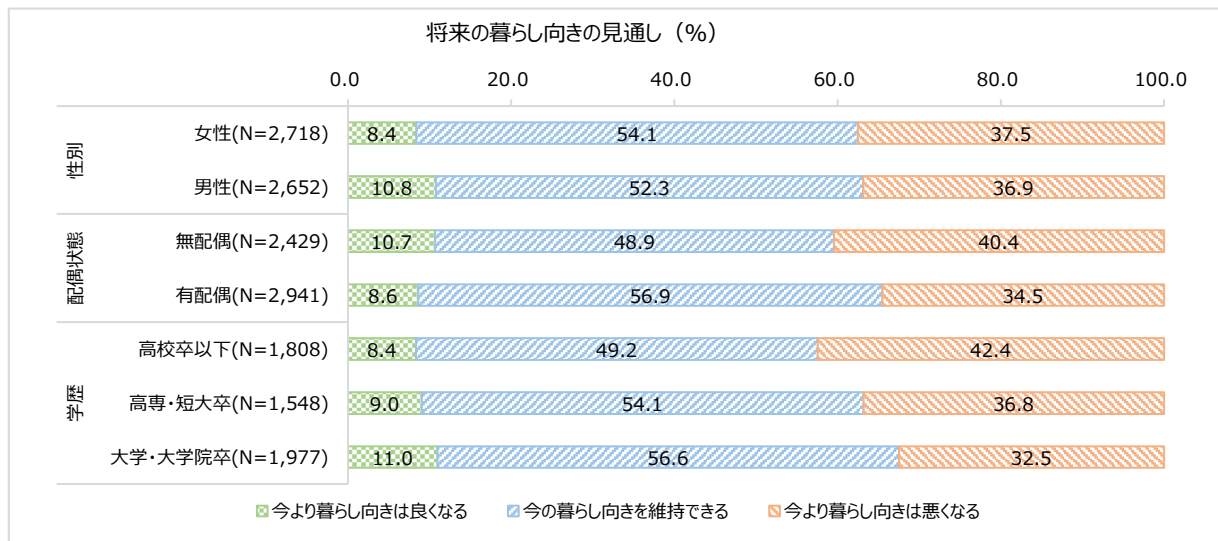
<sup>16</sup> 本稿における三大都市圏について、東京圏とは東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、名古屋圏とは愛知県、  
岐阜県、三重県、大阪圏とは大阪府、兵庫県、京都府、奈良県を指す。地方圏は全国から三大都市圏を除い  
た道県を指す。

図6-1 将来の暮らし向きの見通し



性、配偶状態、学歴別に将来の暮らし向きの見通しをみると、「今より暮らし向きは悪くなる」に関して、女性は男性よりわずかに（0.6%ポイント）高く、無配偶者は有配偶者より 5.9%ポイント、高卒以下は大学・大学院卒より 9.9%ポイント、高専・短大卒は大学・大学院卒より 4.3%ポイント高い（図6-2）。「今より暮らし向きは良くなる」に関して、女性は男性より 2.4%ポイント、有配偶者は無配偶者より 2.1%ポイント、高卒以下は大学・大学院卒より 2.6%ポイント、高専・短大卒は大学・大学院卒より 2.0%ポイント低い。

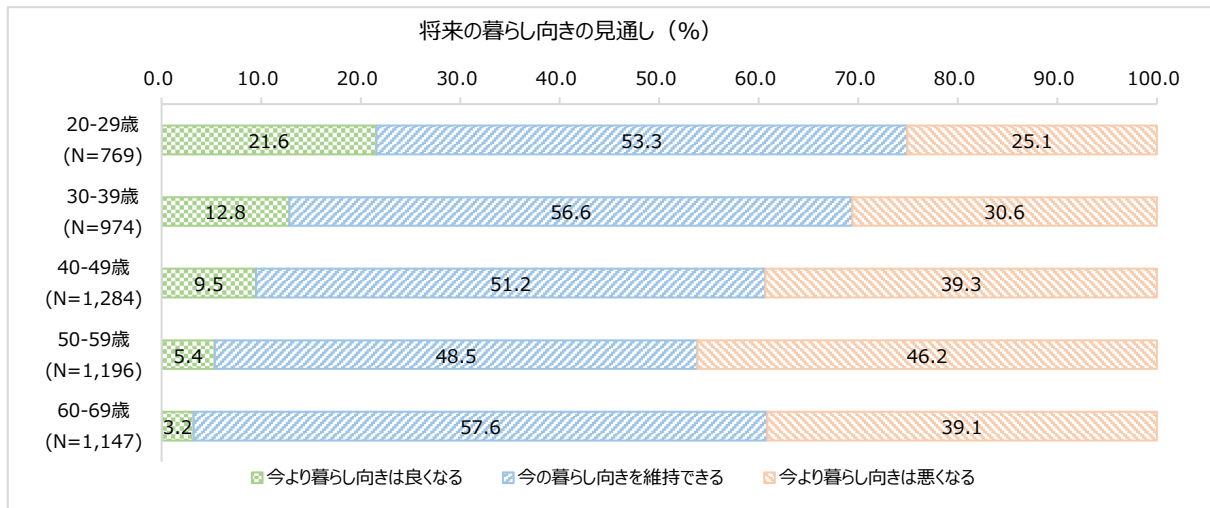
図6-2 性、配偶状態、学歴別にみた将来の暮らし向きの見通し



年齢階級別に将来の暮らし向きの見通しをみると、「今より暮らし向きは良くなる」の割合は、20代では 21.6%、30代では 12.8%、40代では 9.5%、50代では 5.4%、60代では 3.2%となっており、年齢階級の上昇に伴い、その割合は低下している（図6-3）。「今より暮らし向きは悪くなる」の割合は、20代では 25.1%、30代では 30.6%、40代では

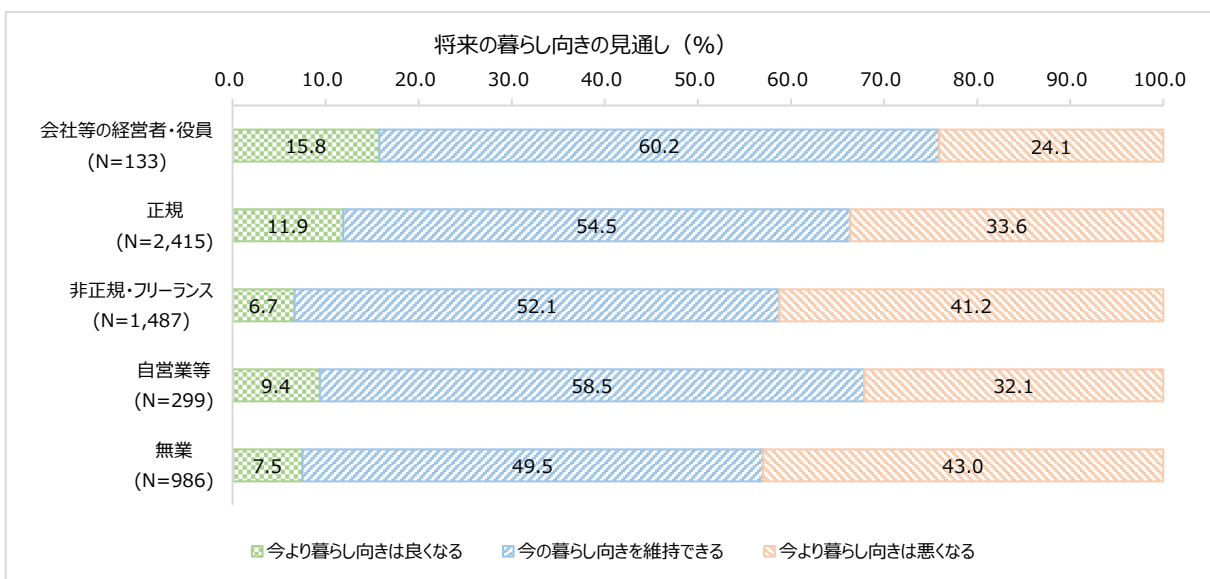
39.3%、50代では46.2%、60代では39.1%である。50代までは、年齢階級の上昇に伴い、「今より暮らし向きは悪くなる」の割合は上昇する。

図6-3 年齢階級別にみた将来の暮らし向きの見通し



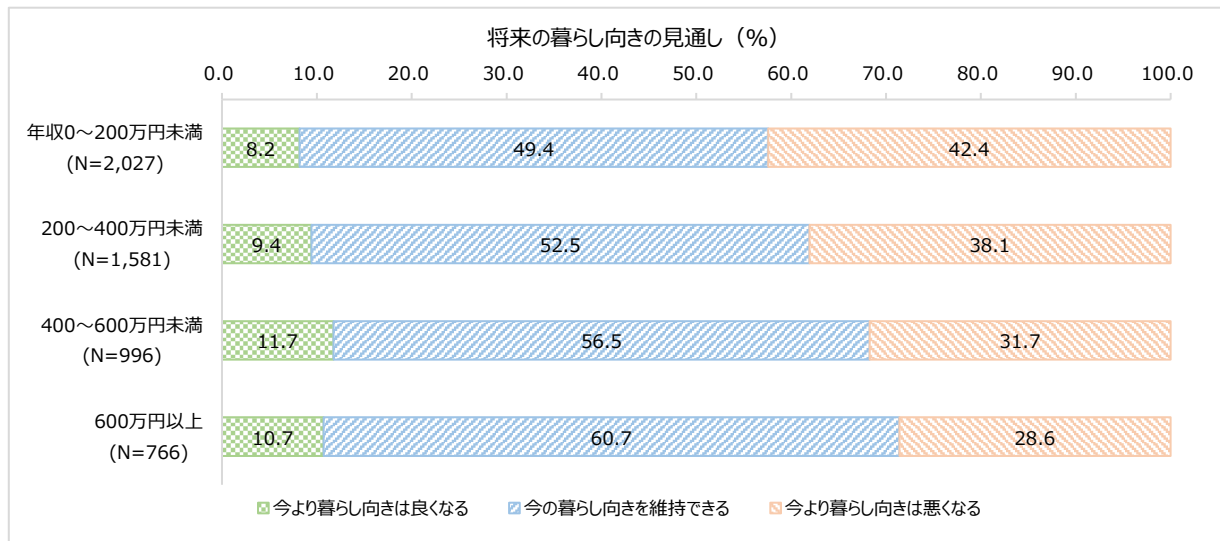
就業形態別に将来の暮らし向きの見通しをみると、「今より暮らし向きは良くなる」の割合は、非正規雇用者・フリーランスがもっとも低く、その次は無業者であり、「今より暮らし向きは悪くなる」の割合は無業者がもっとも高く、その次は非正規雇用者・フリーランスである（図6-4）。

図6-4 就業形態別にみた将来の暮らし向きの見通し



本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別に、将来の暮らし向きの見通しをみると、本人の年収が低いほど、「今より暮らし向きは悪くなる」と回答する割合が高くなる傾向が確認された（図6-5）。「今より暮らし向きは良くなる」の回答割合がもっとも高いのは昨年の年収400～600万円のグループであり、もっとも低いのは昨年の年収200万円未満のグループである。

図6-5 本人の年収階級別にみた将来の暮らし向きの見通し

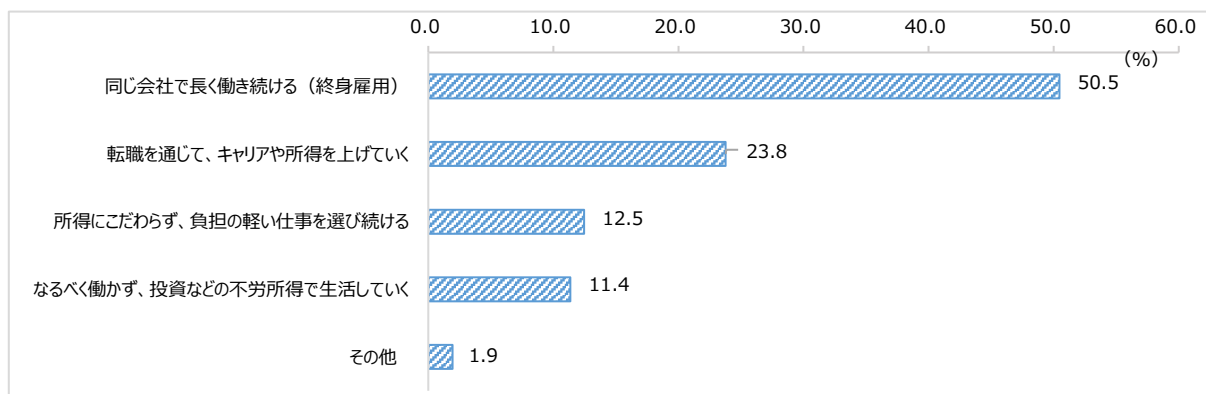


## 7. 理想とする働き方、所得と実現するための条件

### 7.1 理想とする働き方、所得

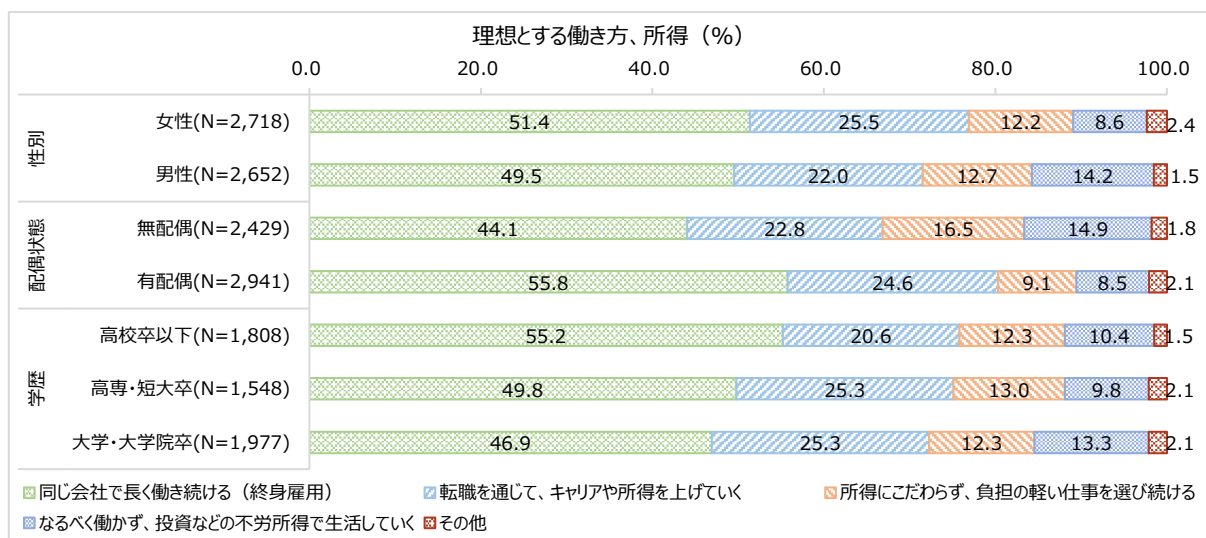
調査対象者に、理想とする働き方、所得について尋ねると、「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」の割合（50.5%）が過半数ともっとも高く、次いで「転職を通じて、キャリアや所得を上げていく」（23.8%）が4分の1弱、「所得にこだわらず、負担の軽い仕事を選び続ける」（12.5%）及び「なるべく働かず、投資などの不労所得で生活していく」（11.4%）が各々10%強となっている（図7-1）。

図7-1 理想とする働き方、所得について



性、配偶状態、学歴別にみると、「同じ会社で長く働き続ける (終身雇用)」は女性 (51.4%) の方が男性 (49.5%) よりも、有配偶者 (55.8%) の方が無配偶者 (44.1%) よりも、高校卒以下 (55.2%) の方が高専・短大卒 (49.8%) や大卒・大学院卒 (46.9%) よりも高くなっている (図7-2)。

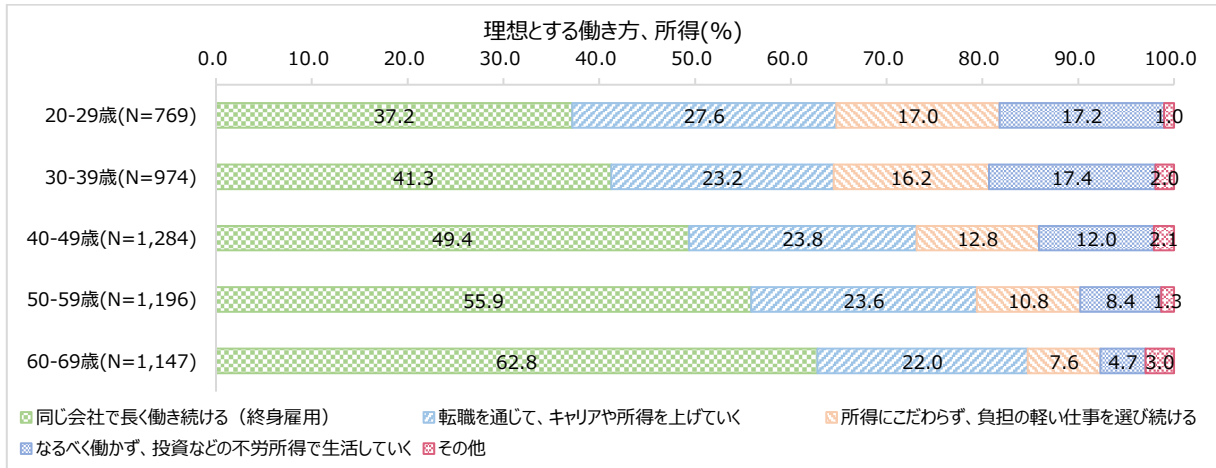
図7-2 性、配偶状態、学歴別にみた理想とする働き方、所得



年齢階級別にみると、「同じ会社で長く働き続ける (終身雇用)」の割合は年齢階級が高くなるほど高くなっており、60代 (62.8%) と20代 (37.2%) の間には25.6%ポイントの差がある。「転職を通じて、キャリアや所得を上げていく」は特に20代 (27.6%) で相対的に高く、30代以上よりも概ね4~5%ポイント高くなっている (図7-3)。

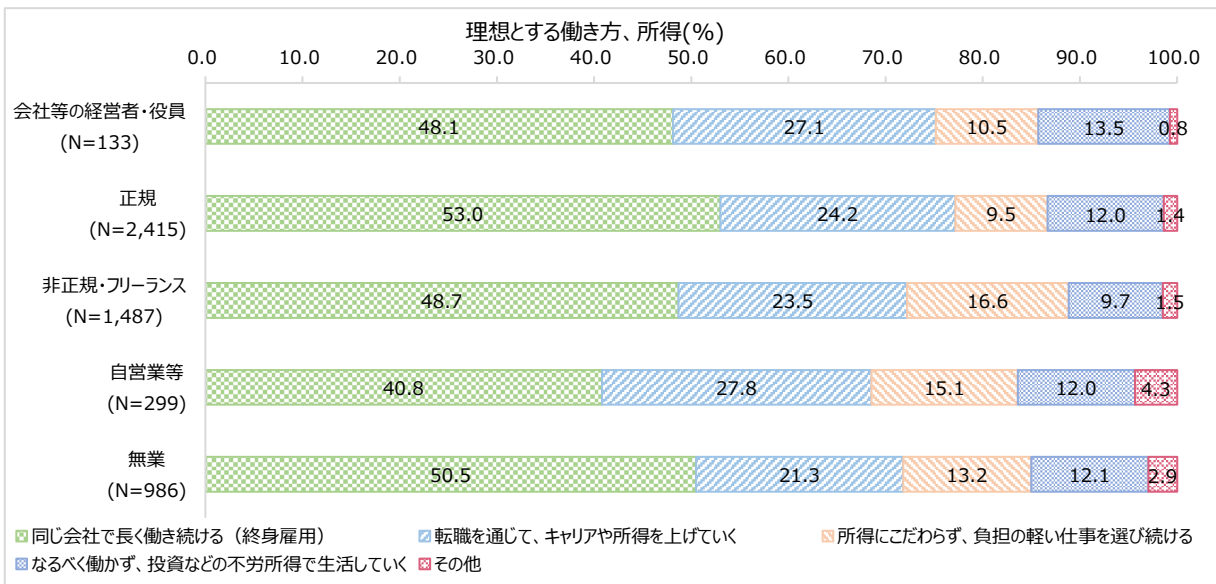
また、「所得にこだわらず、負担の軽い仕事を選び続ける」、「なるべく働かず、投資などの不労所得で生活していく」の割合は年齢層が低くなるほど高くなる傾向にある。

図7-3 年齢階級別にみた理想とする働き方、所得



就業形態別にみると、「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」については、正規雇用者（53.0%）、無業者（50.5%）、非正規雇用者・フリーランス（48.7%）の順に高く、自営業者等（40.8%）では相対的に低くなっている（図7-4）。

図7-4 就業形態別にみた理想とする働き方、所得

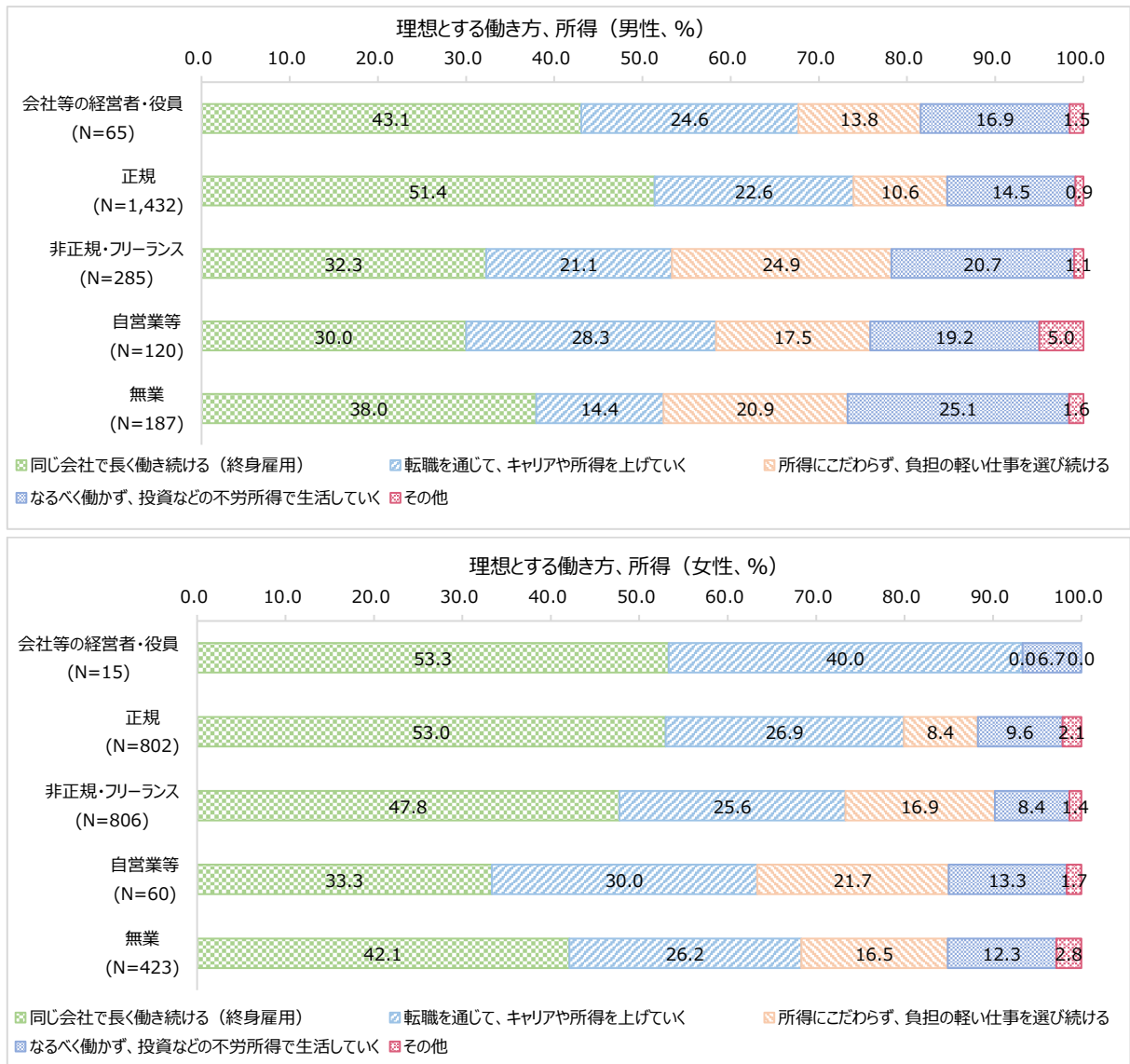


20～59歳の現役世代で性、就業形態別にみると、いずれの就業形態においても「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」の割合がもっとも高くなっているが、女性の方が男性よりもより高くなっている。また、「転職を通じて、キャリアや所得を上げていく」においても、いずれの就業形態でも女性の方が男性より割合が高くなっている（図7-5）。

一方、「所得にこだわらず、負担の軽い仕事を選び続ける」（自営業者等以外）、「なるべく働かず、投資などの不労所得で生活していく」は男性の方が女性よりも割合が高くなっ

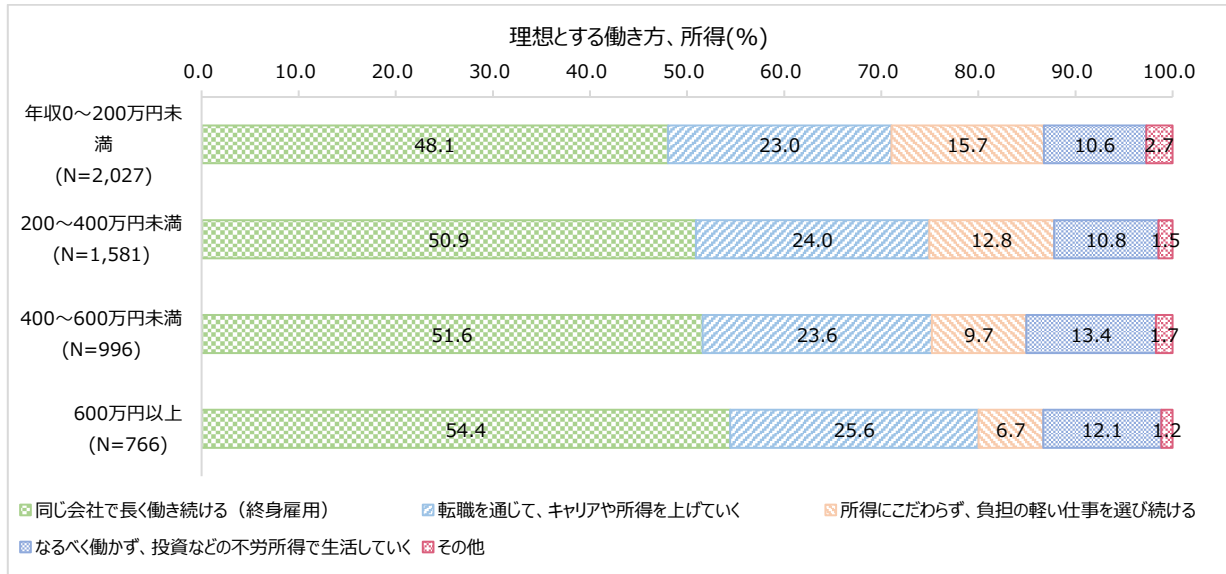
ている。

図7-5 性、就業形態別にみた理想とする働き方、所得（20～59歳）



本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別にみると、「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」の割合、「転職を通じて、キャリアや所得を上げていく」の割合いずれも、年収の水準が高くなるほど高くなる傾向がある（図7-6）。

図7-6 本人の年収階級別にみた理想とする働き方、所得

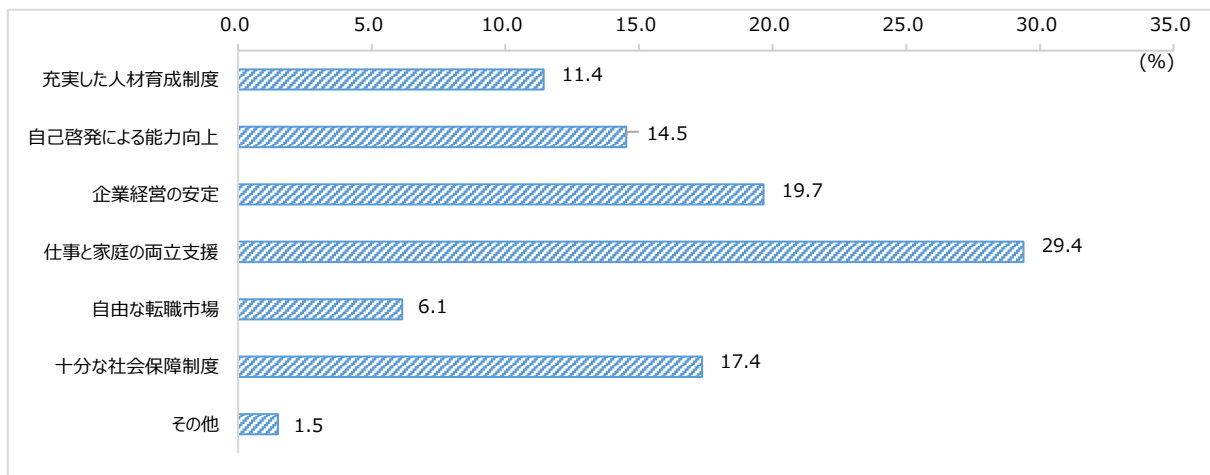


## 7.2 理想とする働き方を実現するための条件

調査対象者に、理想とする働き方を実現するためにもっとも必要と思うことについて尋ねると、「仕事と家庭の両立支援」の割合（29.4%）が約3割ともっとも高く、次いで「企業経営の安定」（19.7%）、「十分な社会保障制度」（17.4%）の順になっている（図7-7）。

一方、「自由な転職市場」（6.1%）、「充実した人材育成制度」（11.4%）、「自己啓発による能力向上」（14.5%）については相対的に割合が低くなっている。

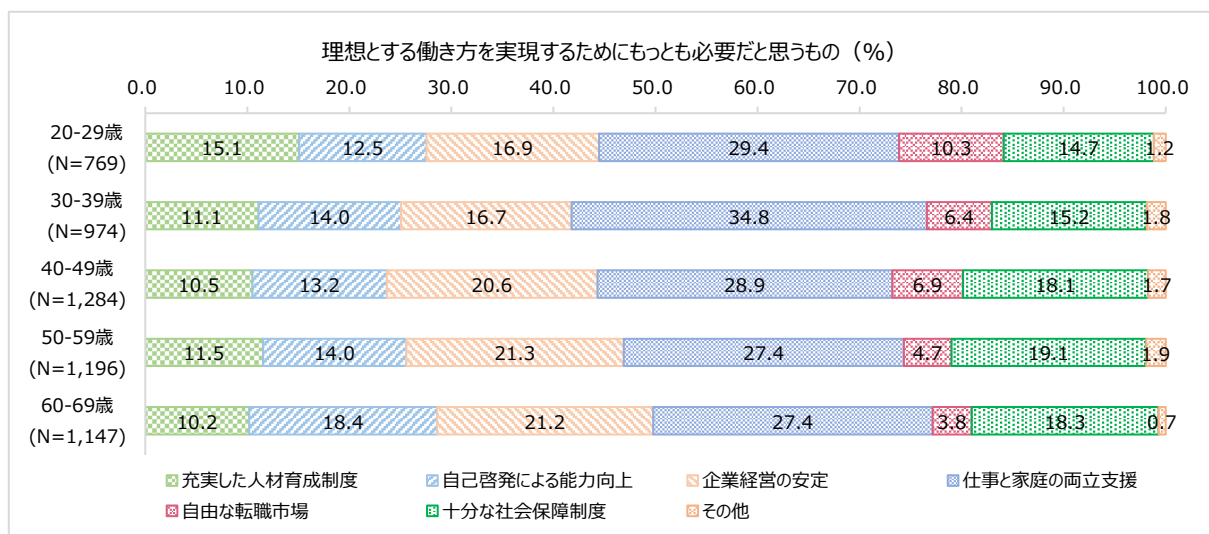
図7-7 理想とする働き方を実現するためにもっとも必要だと思うもの



年齢階級別にみると、「仕事と家庭の両立支援」は30代で相対的に割合が高くなっているが、各年代に共通してもっとも高い割合となっている（図7-8）。

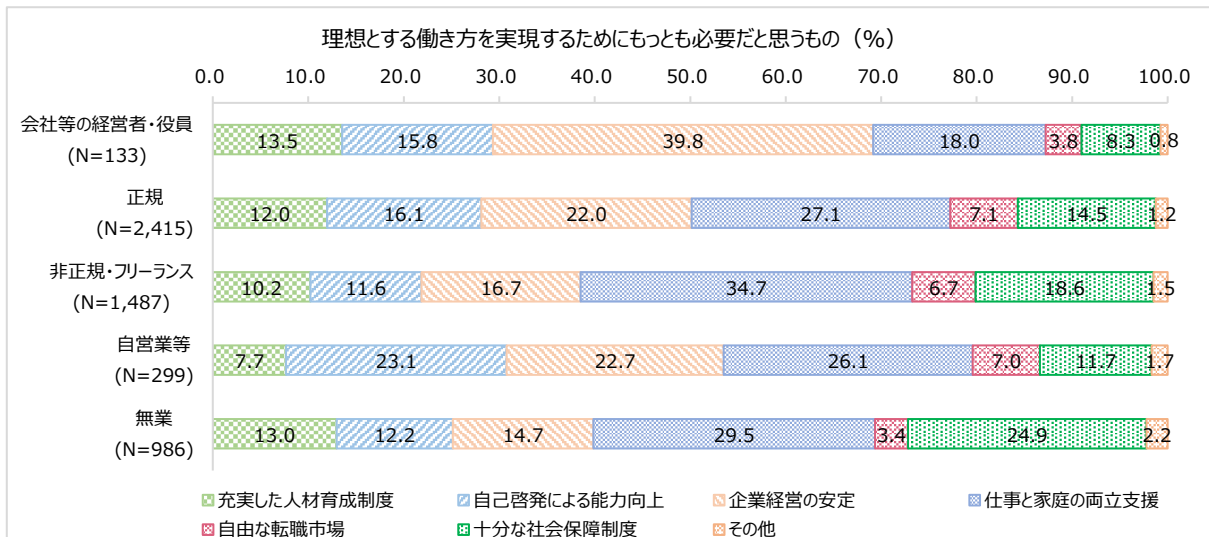


図7-8 年齢階級別にみた理想とする働き方を実現するためにもっとも必要だと思うもの



就業形態別にみると、「仕事と家庭の両立支援」については、非正規雇用者・フリーランス（34.7%）及び無業者（29.5%）で相対的に高くなっている（図7-9）。

図7-9 就業形態別にみた理想とする働き方を実現するためにもっとも必要だと思うもの

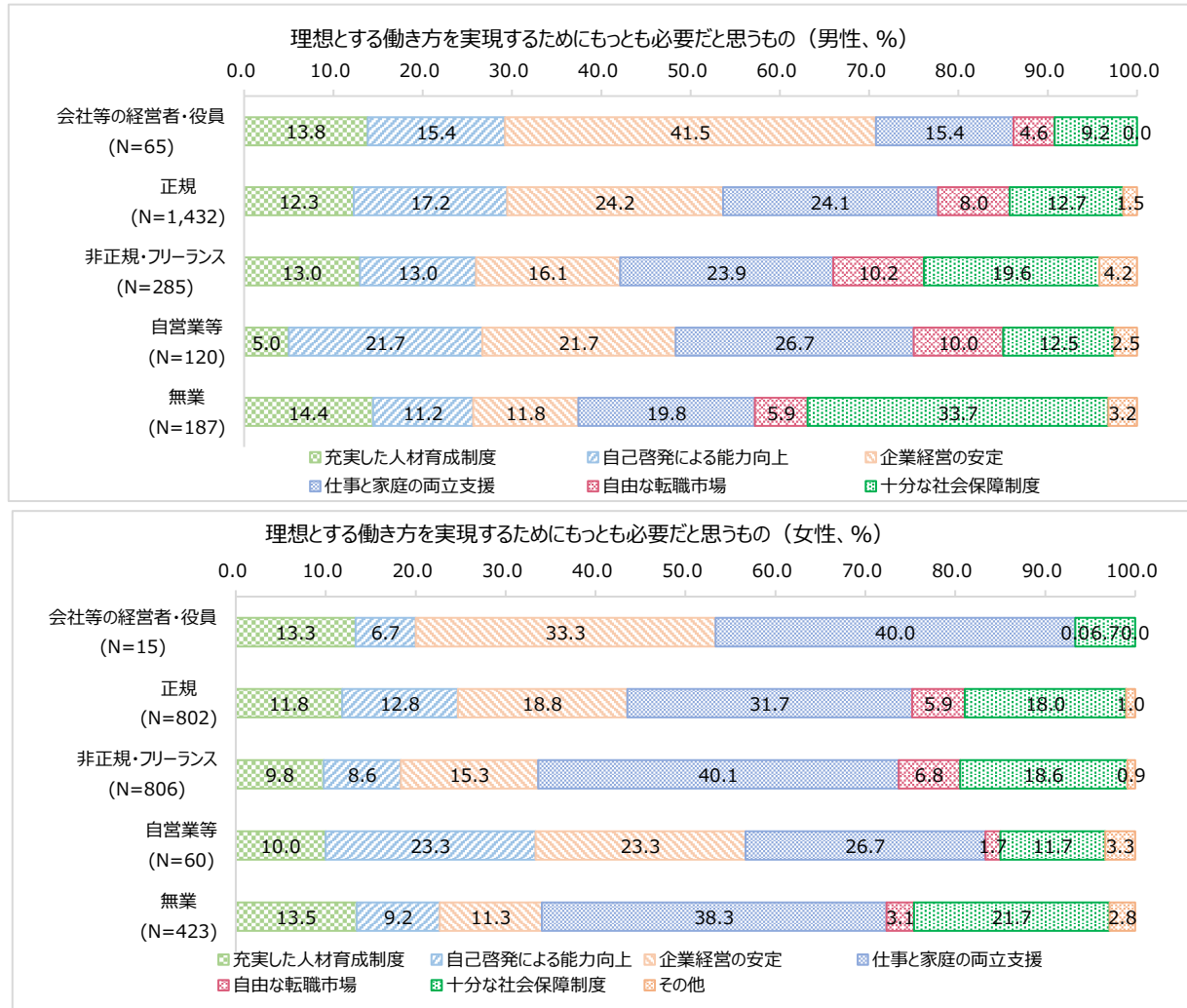


20～59歳の現役世代で男女別、就業形態別にみると、男性の会社等の経営者・役員、男性の正規雇用者の「企業経営の安定」、男性の無業者の「十分な社会保障制度」を除いた各々の就業形態において、「仕事と家庭の両立支援」の割合がもっとも高くなっている。男女別には女性の方がより高くなっている（図7-10）。

日本においては、これまで改善は進んできているものの、就業していた女性のうち、第

1子出産に伴う女性の退職者の割合は2015～2019年時点で30.5%<sup>17</sup>となっており（国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査 結果の概要」）、また、一旦退職した後に再就職する場合には非正規雇用での再就職が多い。先に見た女性の方がより「同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）」を重視していることと合わせると、実効ある「仕事と家庭の両立支援」を進めていくことが重要であると考えられる。

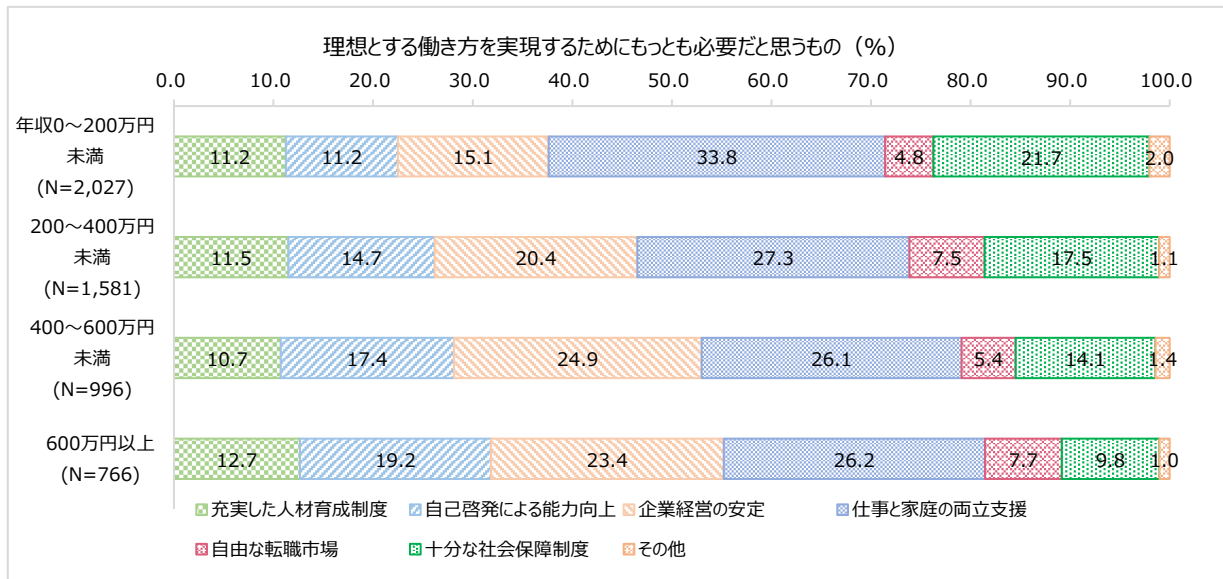
図7-10 性、就業形態別にみた理想とする働き方を実現するためにもっとも必要だと思うもの（20～59歳）



本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別にみると、「仕事と家庭の両立支援」、「十分な社会保障制度」については年収が低くなるほど割合が高くなっている。一方、「自己啓発による能力向上」については年収が高くなるほど割合が高くなっている（図7-11）。

<sup>17</sup> 「第16回出生動向基本調査 結果の概要」において、妊娠前無業と出産前後の就業形態不詳のサンプルも分母に含めて、出産退職の割合を計算しているが、ここでの引用データは、第1子の妊娠判明時に就業している個人を分母にして、子ども1歳時無職の個人を分子にして、出産退職の割合を再計算したものである。

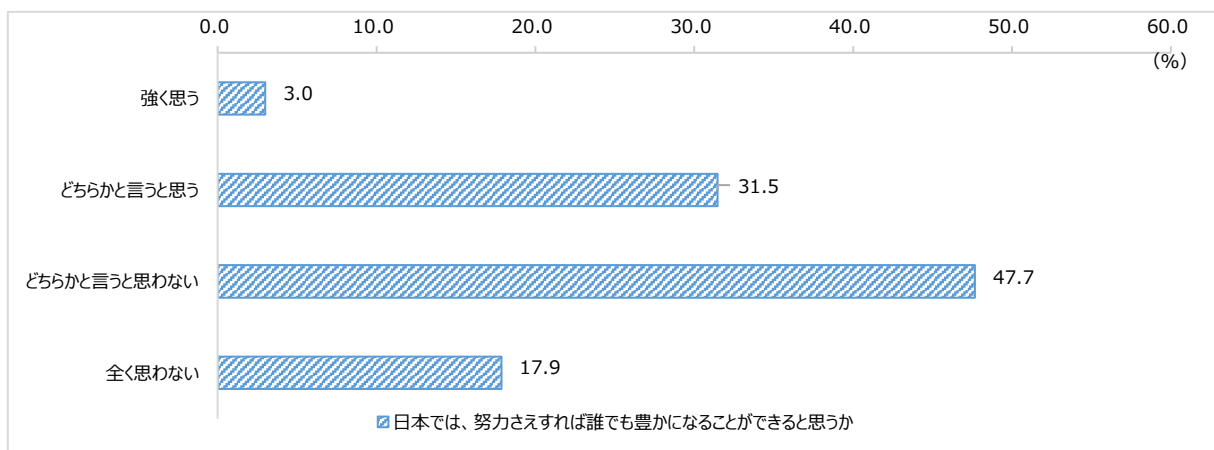
図7-11 本人の年収階級別にみた理想とする働き方を実現するためにもっとも必要だと思うもの



## 8. 努力に対する考え

調査対象者に、日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができると思うかについて尋ねると、「どちらかと言うと思わない」の割合(47.7%)がもっとも高く、次いで「どちらかと言うと思う」(31.5%)、「全く思わない」(17.9%)、「強く思う」(3.0%)の順となっている。「思わない計」(「どちらかと言うと思わない」と「全く思わない」の合計)は65.6%と約3分の2では努力しても豊かになれないと回答している(図8-1)。

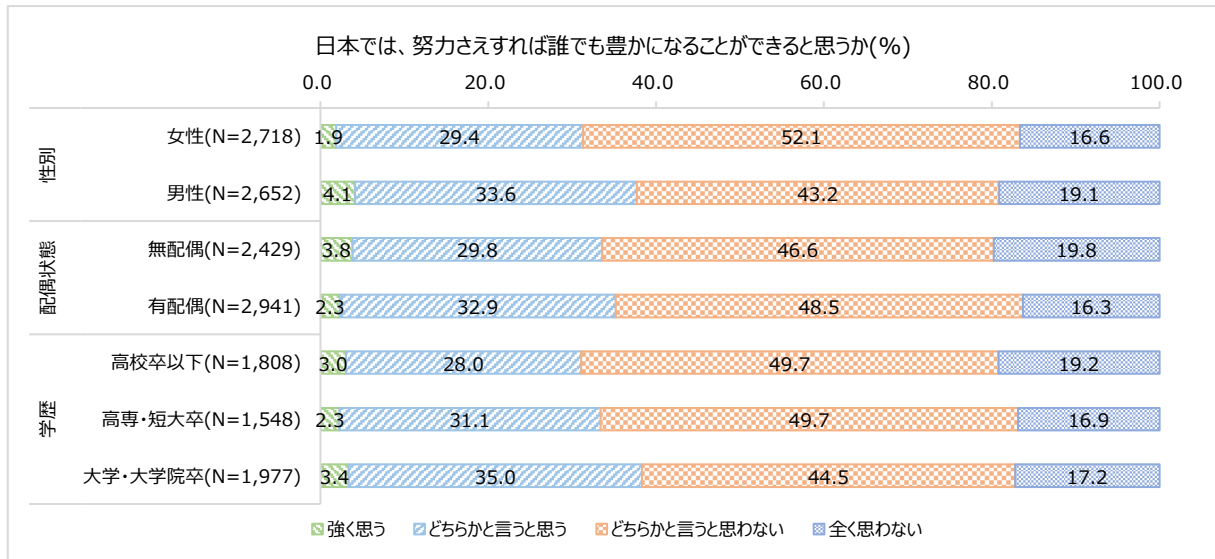
図8-1 努力に対する考え



性、配偶状態、学歴別にみると、「思わない計」の割合は、女性の方が男性より6.4%ポイント、無配偶者の方が有配偶者より1.6%ポイント高く、学歴では大学・大学院卒よりも高専・短大卒の方が5.0%ポイント高く、さらに高専・短大卒よりも高校卒以下の方が

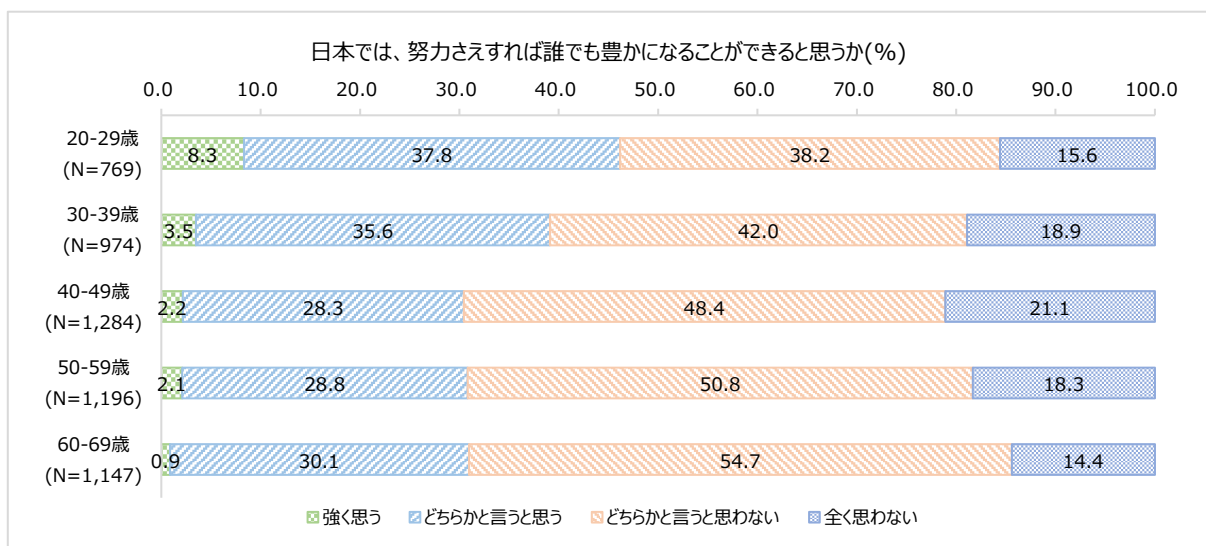
2.4%ポイント高くなっている（図8-2）。

図8-2 性、配偶状態、学歴別にみた努力に対する考え



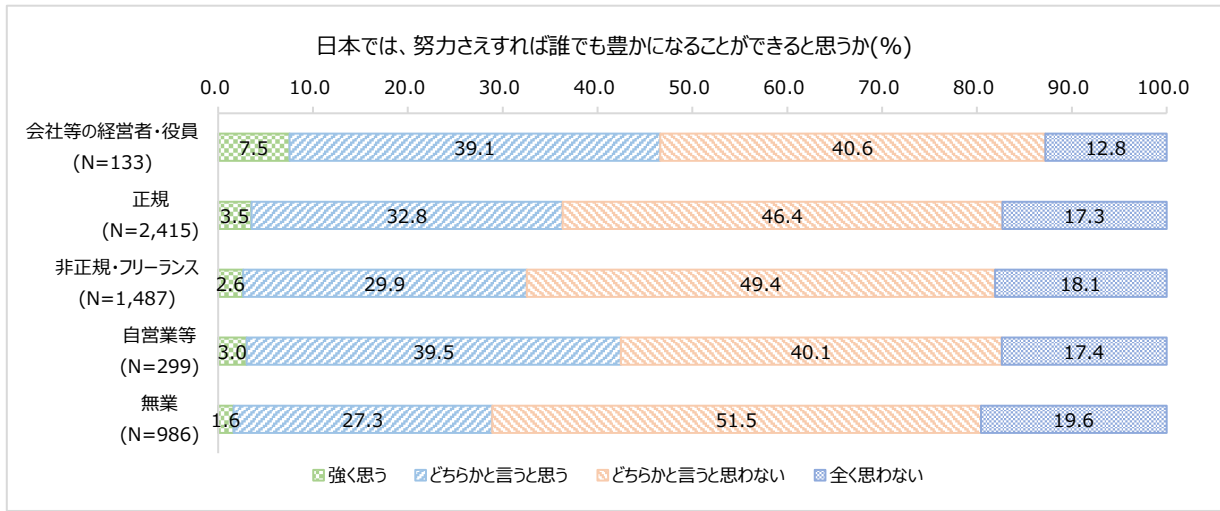
年齢階級別にみると、「思わない計」は20代（53.8%）から、30代（60.9%）、40代（69.5%）と上昇し、40代以降は7割弱の水準で概ね横ばいと相対的に高くなっている（図8-3）。

図8-3 年齢階級別にみた努力に対する考え



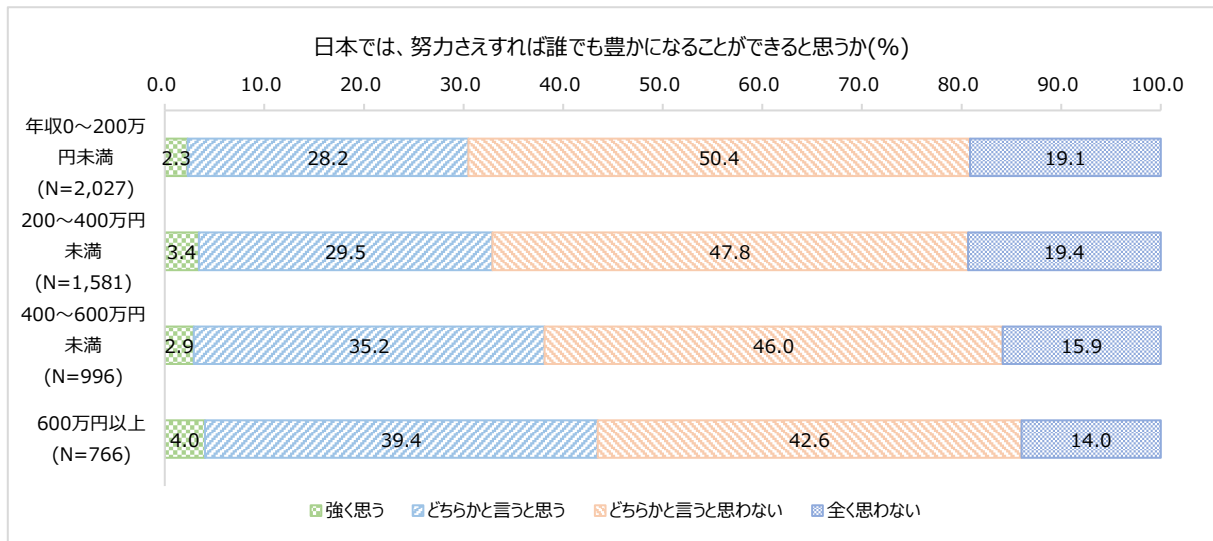
就業形態別にみると、「思わない計」は会社等の経営者・役員（53.4%）、自営業者等（57.5%）といった自律的に働ける傾向が高い就業形態で相対的に低い一方、無業者（71.1%）、非正規雇用者・フリーランス（67.5%）、正規雇用者（63.7%）の就業形態で高い（図8-4）。

図8-4 就業形態別にみた努力に対する考え



本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別にみると、年収が低くなるほど「思わない計」の割合が高くなり、600万円以上（56.6%）と0～200万円未満（69.5%）とでは12.9%ポイントの差がある（図8-5）。

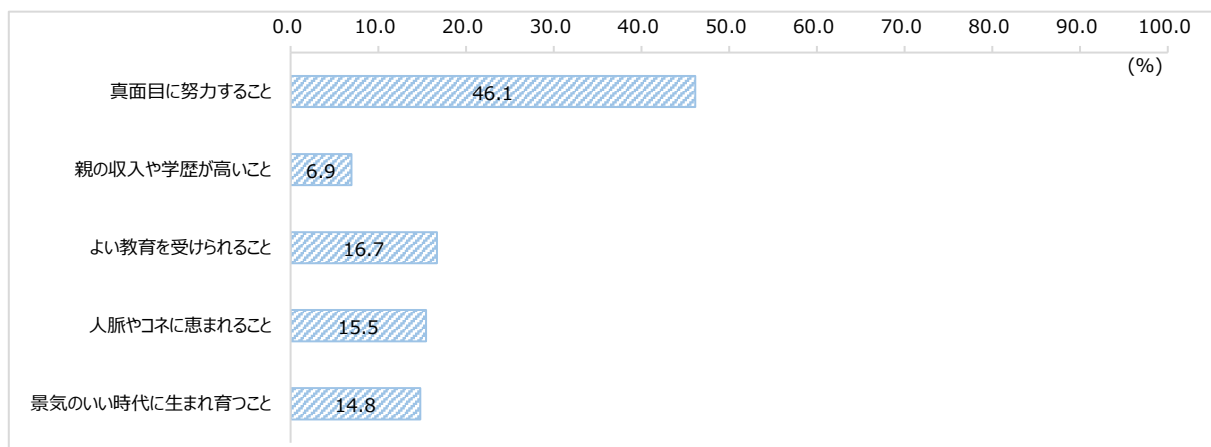
図8-5 本人の年収階級別にみた努力に対する考え



## 9. よい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと

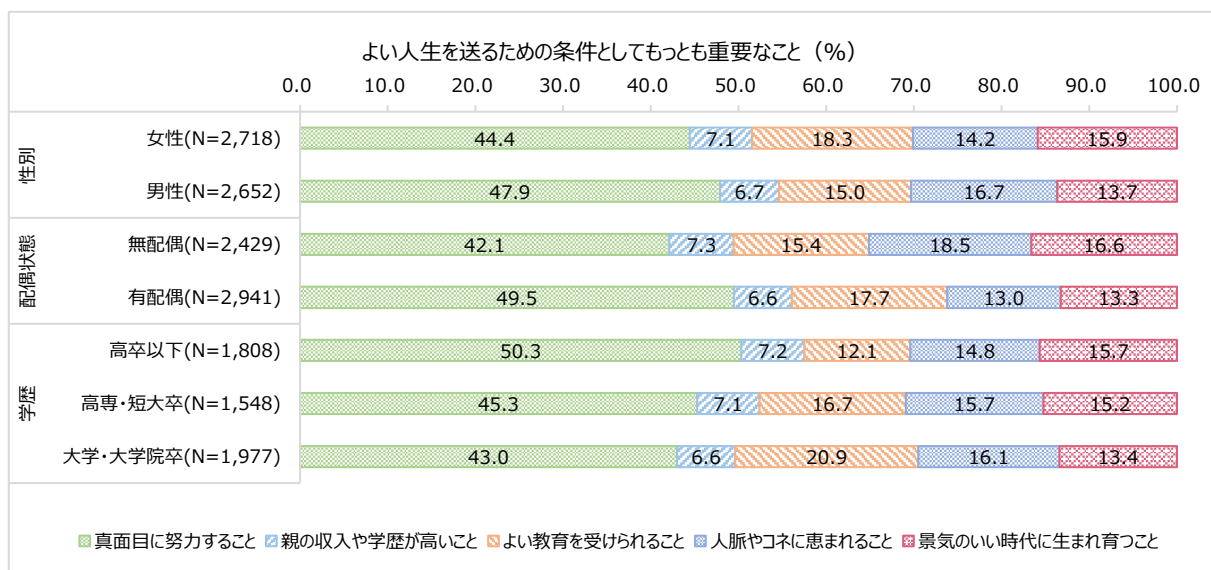
調査対象者に、よい人生を送るための条件としてもっとも重要なことについて尋ねると、「真面目に努力すること」の割合（46.1%）がもっとも高く、次いで「よい教育を受けられること」（16.7%）、「人脈やコネに恵まれること」（15.5%）、「景気のいい時代に生まれ育つこと」（14.8%）、「親の収入や学歴が高いこと」（6.9%）の順となっている（図9-1）。

図9-1 よい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと



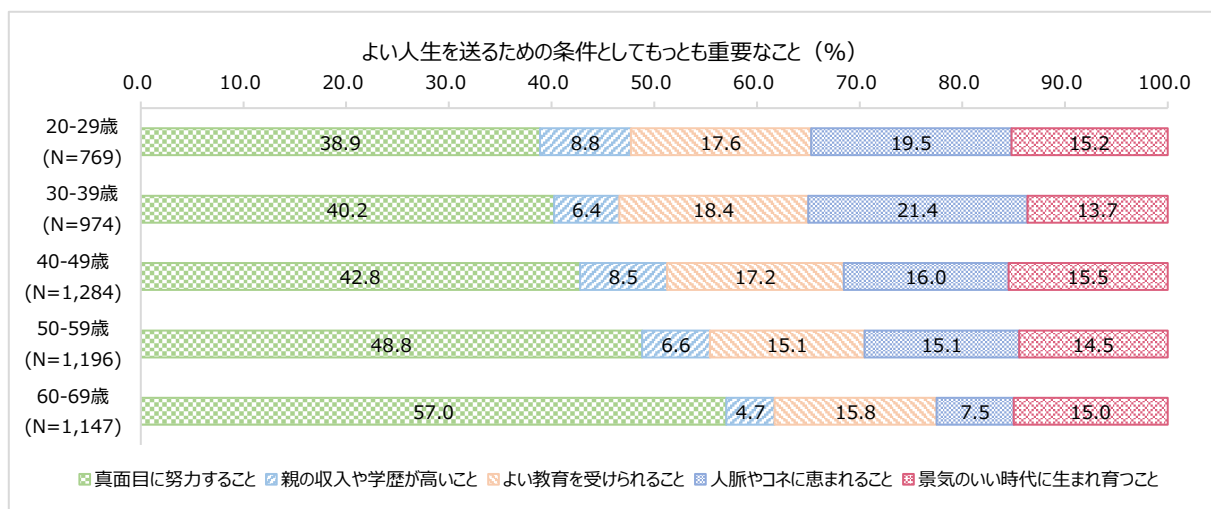
男女別にみると、「真面目に努力すること」は男性の方が 3.5%ポイント、「よい教育を受けられること」は女性の方が 3.3%ポイント高くなっている。配偶状態別にみると、「真面目に努力すること」は有配偶の方が無配偶よりも 7.4%ポイント高く、「人脈やコネに恵まれること」は無配偶の方が有配偶よりも 5.5%ポイント高く、「景気のいい時代に生まれ育つこと」は無配偶の方が有配偶よりも 3.3%ポイント高くなっている。学歴別にみると、「真面目に努力すること」、「親の収入や学歴が高いこと」、「景気のいい時代に生まれ育つこと」は学歴が低くなるほど高くなっており、一方、「よい教育を受けられること」、「人脈やコネに恵まれること」は学歴が高くなるほど高くなっている（図9-2）。

図9-2 性、配偶状態、学歴別にみたよい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと



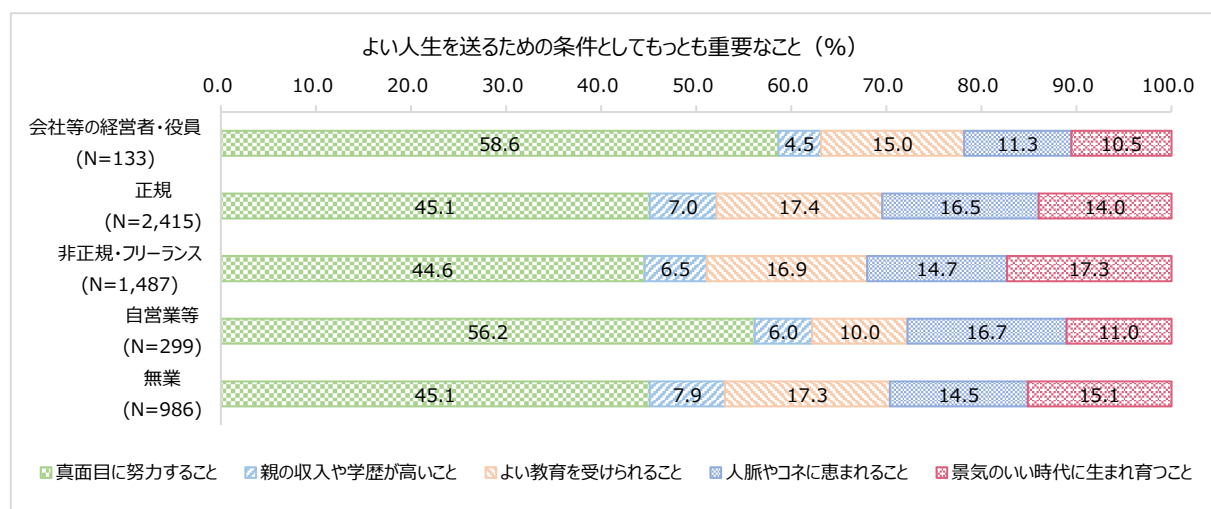
年齢階級別にみると、「真面目に努力すること」は年齢階級が高くなるほど高くなっており、60代（57.0%）と20代（38.9%）の間には18.1%ポイントの差がある。若い世代ほど、「真面目に努力すること」を重要視していないことが分かる。一方で、「人脈やコネに恵まれること」については、年齢階級が高くなるほど低くなる傾向にあり、もっとも高い30代（21.4%）ともっとも低い60代（7.5%）の間には13.9%ポイントの差がある（図9-3）。

図9-3 年齢階級別にみたよい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと



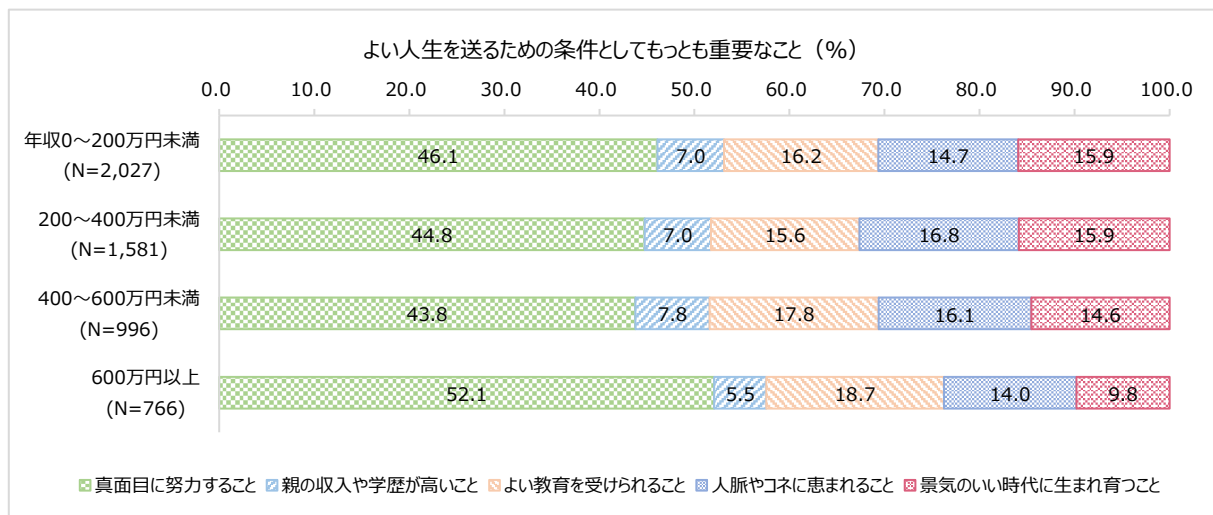
就業形態別にみると、「真面目に努力すること」は「会社等の経営者・役員」（58.6%）、自営業者等（56.2%）の割合が相対的に高く、その他の就業形態や無業者が40%台半ばであることと比較して差がある（図9-4）。

図9-4 就業形態別にみたよい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと



本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別にみると、「真面目に努力すること」は年収 600 万円以上の個人で 5 割を超えている一方、600 万円未満の個人では 4 割台半ばの割合となっている。一方で、「景気のいい時代に生まれ育つこと」については年収 600 万円以上の個人で 10%未満である一方、600 万円未満の個人では 10%台半ばと相対的に高くなっている（図 9－5）。

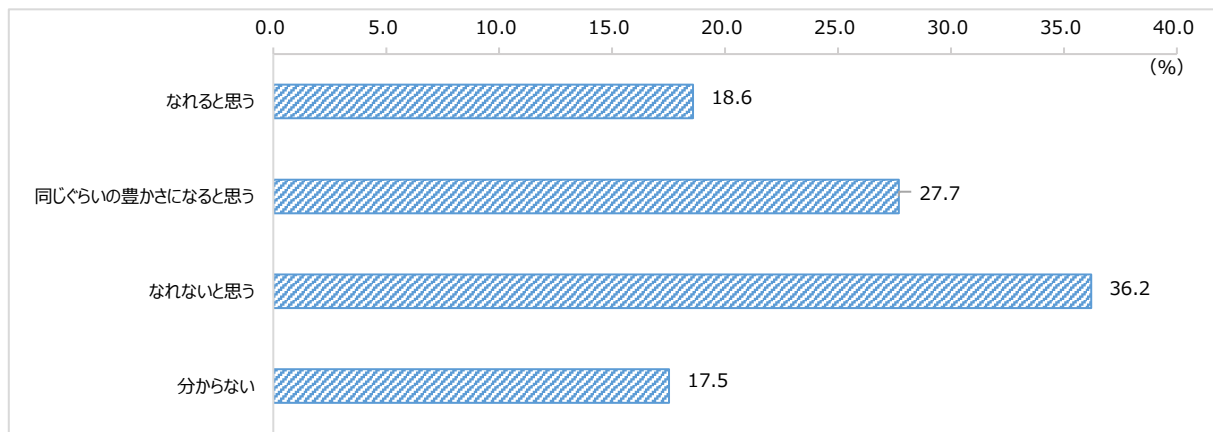
図9-5 本人の年収階級別にみたよい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと



## 10. 親より経済的に豊かになれると思うか

調査対象者に、親より経済的に豊かになれると思うかについて尋ねると、「なれると思う」が 18.6%、「同じくらいの豊かさになると思う」が 27.7%であるのに対して、「なれないと思う」という回答が 36.2%あり、割合がもっとも大きい。また、「分からない」は 17.5%である（図 10－1）。

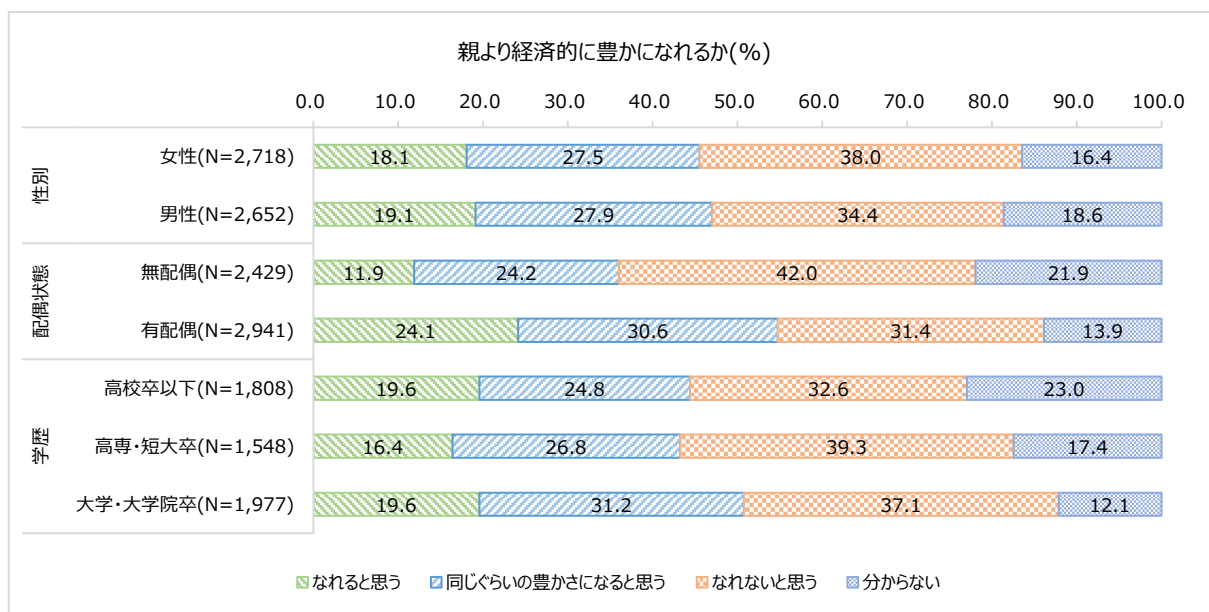
図 10－1 親より経済的に豊かになれると思うか





親より経済的に豊かになれると思うかの回答を男女別にみると、「なれないと思う」と回答した割合は、女性が38.0%、男性が34.4%である。配偶状態別でみると、無配偶者の42.0%、有配偶者の31.4%が、「なれないと思う」と回答しており、その割合は無配偶者の方が10.6%ポイント高くなっている。有配偶者では、「なれると思う」という回答が24.1%、「同じくらいの豊かさになると思う」という回答が30.6%あり、無配偶者より、それぞれ12.2%ポイント、6.4%ポイント高い。学歴別にみると、高校卒以下の32.6%、高専・短大卒の39.3%、大学・大学院卒の37.1%が、「なれないと思う」と回答している（図10-2）。

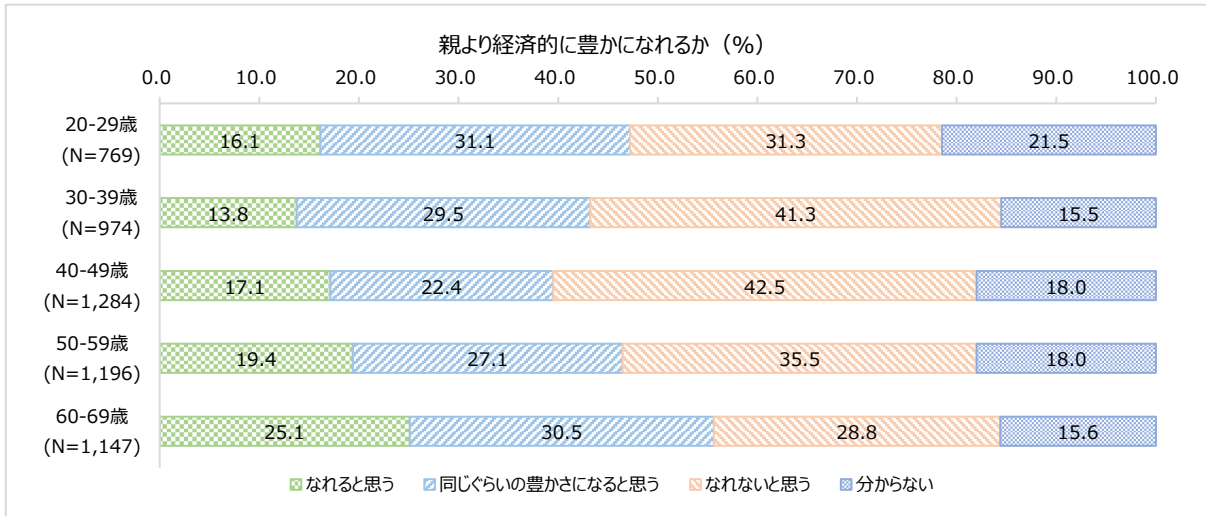
図10-2 性、配偶状態、学歴別にみた親より経済的に豊かになれると思うかの回答



親より経済的に豊かになれると思うかの回答を年齢階級別にみると、「なれると思う」は20代の16.1%から30代の13.8%に低下するが、その上の年齢階級では40代(17.1%)、50代(19.4%)、60代(25.1%)と年齢階級が上がるとともに上昇している。一方、「同じくらいの豊かさになると思う」は20代の31.1%から年齢階級が上がるると低下して、40代では22.4%ともっとも低くなるが、その上の年齢階級では上昇して60代では30.5%となっている。また、「なれないと思う」も、20代の31.3%から年齢階級が上がるると上昇して、40代では42.5%ともっとも高くなり、その上の年齢階級では低下して、60代では28.8%となっている<sup>18</sup>（図10-3）。

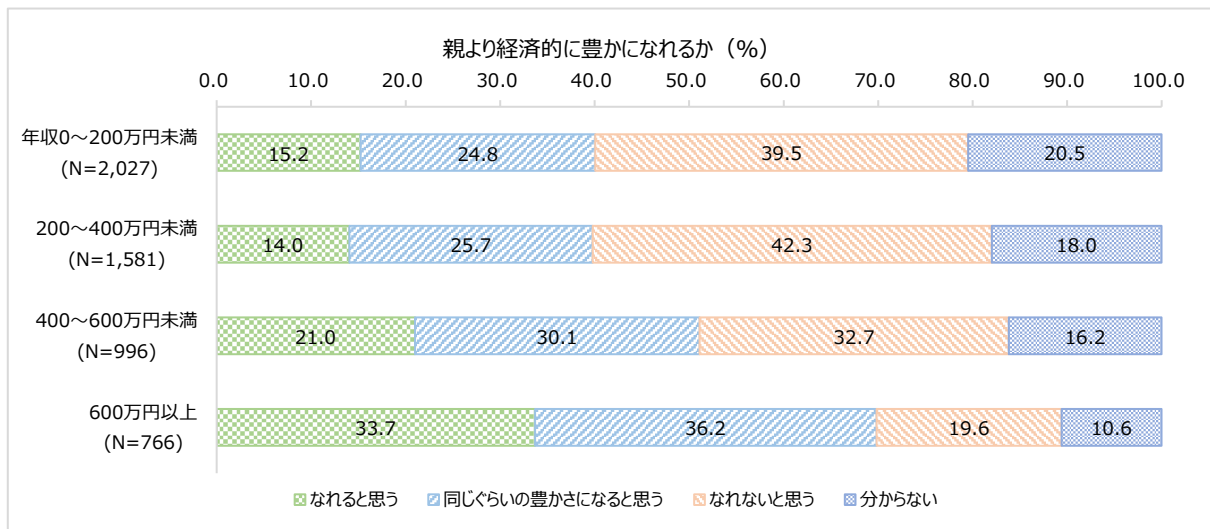
<sup>18</sup> 調査票のデザイン上、全年齢の回答者に同じ質問項目で調査しているが、年齢階級が上がるほど、「親より経済的に豊かになれるか」についての回答は予想ではなく、実現した結果に基づく回答が増える可能性があることに留意が必要である。

図 10-3 年齢階級別にみた親より経済的に豊かになれると思うかの回答



親より経済的に豊かになれると思うかの回答を本人の昨年の仕事による税込み年収の階級別にみると、「600万円以上」の個人で「なれると思う」という回答が33.7%、「同じくらいの豊かさになると思う」という回答が36.2%ある一方で、「200～400万円未満」では42.3%、「0～200万円未満」では39.5%が、「なれないと思う」と回答している（図10-4）。

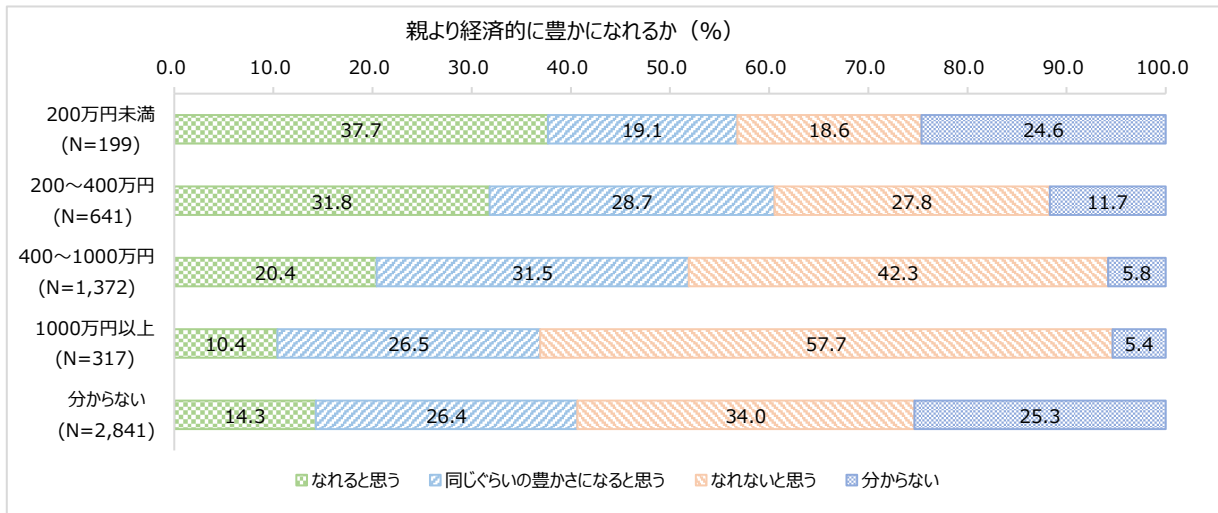
図 10-4 本人の年収階級別にみた親より経済的に豊かになれると思うかの回答



親より経済的に豊かになれると思うかの回答を15歳時の家庭の世帯年収階級別にみると、15歳時の家庭の世帯年収が高いほど、「なれると思う」割合が低くなり、「なれないと思う」割合は高くなる。15歳時の家庭の世帯年収「400～1000万円」の個人では、「なれると思う」という回答割合が20.4%、「同じくらいの豊かさになると思う」が31.5%とな

っている。一方で、「なれないと思う」という回答割合も 42.3%ある<sup>19</sup>（図 10-5）。15 歳時の家庭の世帯年収「1000 万円以上」の個人では、「なれると思う」という回答割合が 10.4%、「同じぐらいの豊かさになるとおもう」が 26.5%、「なれないと思う」が 57.7%となっている。

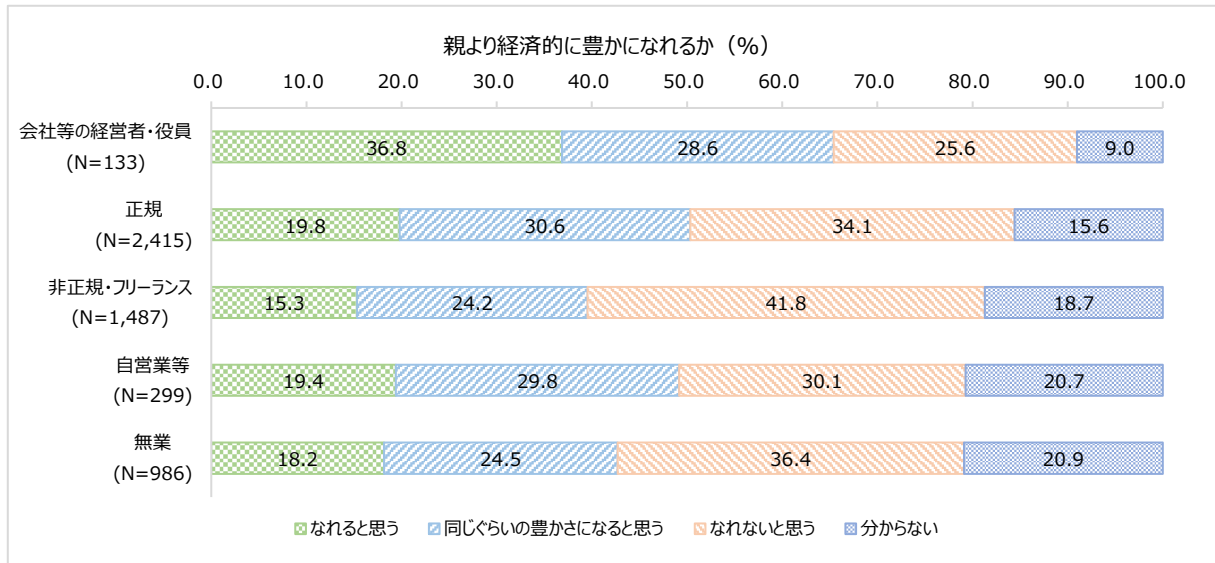
図 10-5 15 歳時の家庭の世帯年収階級別にみた親より経済的に豊かになれると思うかの回答



親より経済的に豊かになれると思うかの回答を就業形態別にみると、正規雇用者では、「なれると思う」という回答が 19.8%、「同じぐらいの豊かさになると思う」という回答が 30.6%、「なれないと思う」という回答が 34.1%あった。非正規雇用者・フリーランスでは、「なれると思う」という回答が 15.3%、「同じぐらいの豊かさになると思う」という回答が 24.2%、「なれないと思う」という回答が 41.8%ある。「なれないと思う」の割合は、非正規雇用者・フリーランスは正規雇用者に比べて 7.7%ポイント高い（図 10-6）。

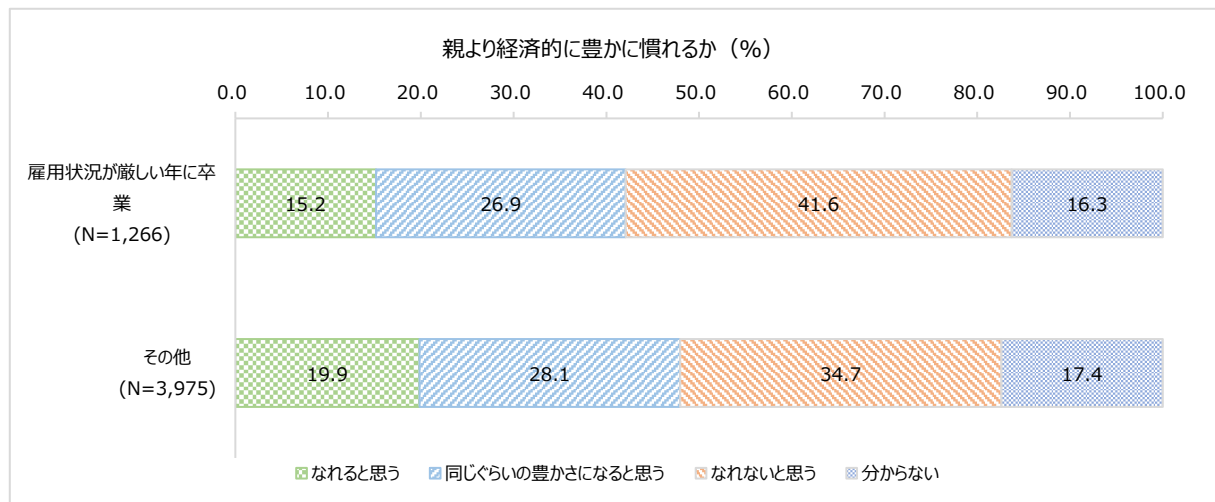
<sup>19</sup> なお、15 歳時の家庭の世帯年収については、分からないという回答の割合が小さくないため、回答傾向を読む際に留意が必要である。

図 10-6 就業形態別にみた親より経済的に豊かになれると思うかの回答



次に、「雇用状況が厳しい年」を、20～24歳の若年層の完全失業率が7.5%を超えた年と定義し、卒業時の労働市場の状況別に親より経済的に豊かになれると思うかの回答をみる。「雇用状況が厳しい年に卒業」の個人では、「なれると思う」という回答が15.2%、「同じぐらいの豊かさになると思う」という回答が26.9%、「なれないと思う」という回答が41.6%ある。「なれないと思う」の割合について、「雇用状況が厳しい年に卒業」は、「その他」に比べて、6.9%ポイント高い(図10-7)。

図 10-7 卒業時の労働市場の状況別にみた親より経済的に豊かになれると思うかの回答

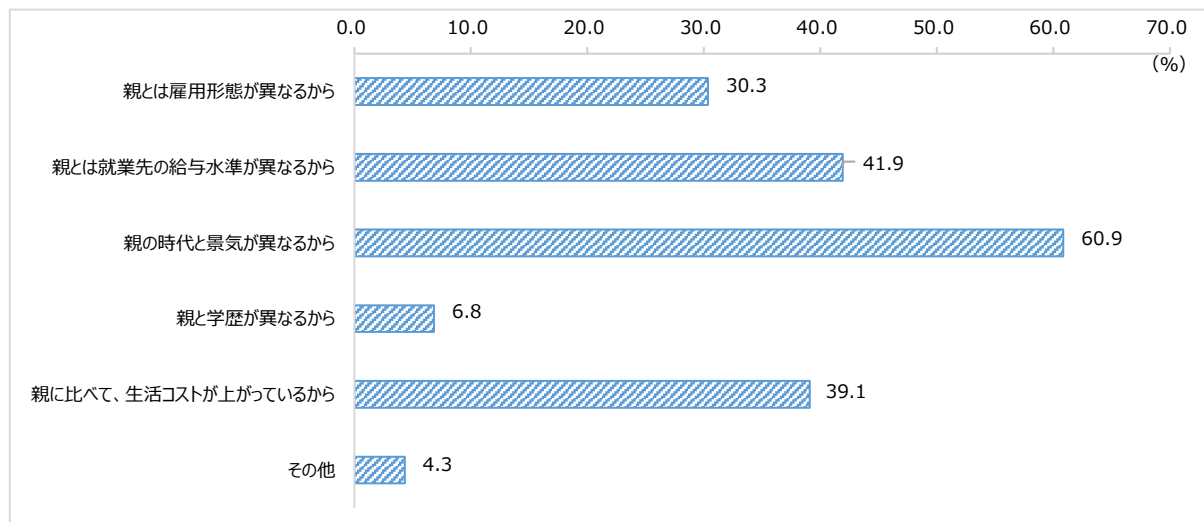


注：「雇用状況が厳しい年」を、20～24歳の若年層の完全失業率が7.5%を超えた年で定義する。具体的には、1999年～2007年、2009年～2012年を指す。

## 11. 親より経済的に豊かになれない理由

「親より経済的に豊かになれないと思う」と回答した個人に対して、その理由について尋ねると、「親の時代と景気が異なるから」が60.9%でもっとも高く、「親とは就業先の給与水準が異なるから」が41.9%、「親に比べて、生活コストが上がっているから」が39.1%、「親とは雇用形態が異なるから」30.3%である（図11-1）。

図11-1 「親より経済的に豊かになれないと思う」理由（複数回答）



注：N=1,944人。

親より経済的に豊かになれない理由の回答を男女別にみると、「親の時代と景気が異なるから」は女性62.7%、男性58.7%で、「親とは就業先の給与水準が異なるから」は女性40.9%、男性43.0%、「親に比べて、生活コストが上がっているから」は女性41.2%、男性36.7%、「親とは雇用形態が異なるから」は女性33.2%、男性27.1%である。配偶状態別で見ると、「親の時代と景気が異なるから」は無配偶者58.9%、有配偶者63.1%で、「親とは就業先の給与水準が異なるから」は無配偶者44.6%、有配偶者39.0%、「親に比べて、生活コストが上がっているから」は無配偶者35.7%、有配偶者42.9%、「親とは雇用形態が異なるから」は無配偶者36.0%、有配偶者24.1%である（表11-1）。

表11-1 性、配偶状態別にみた「親より経済的に豊かになれないと思う」理由（複数回答）

「親より経済的に豊かになれないと思う」理由	性別		配偶状態	
	女性	男性	無配偶	有配偶
親とは雇用形態が異なるから	33.2	27.1	36.0	24.1
親とは就業先の給与水準が異なるから	40.9	43.0	44.6	39.0
親の時代と景気が異なるから	62.7	58.7	58.9	63.1
親と学歴が異なるから	5.5	8.3	8.2	5.3
親に比べて、生活コストが上がっているから	41.2	36.7	35.7	42.9
その他	4.5	4.1	6.6	1.8
サンプルサイズ	1,033	911	1,021	923

親より経済的に豊かになれない理由の回答を年齢階級別にみると、就職氷河期世代である40代では「親の時代と景気が異なるから」が66.7%であり、他の年齢層に比べて高い割合となっている。30代では、「親の時代と景気が異なるから」が58.5%であるのに加え、「親とは就業先の給与水準が異なるから」が53.7%であり、他の年齢層に比べて高い割合となっている。20代では「親とは就業先の給与水準が異なるから」が50.2%であるのに加え、「親とは雇用形態が異なるから」が33.6%であり、他の年齢層に比べて高い（表11-2）。

表 11-2 年齢階級別にみた「親より経済的に豊かになれないと思う」理由（複数回答）

「親より経済的に豊かになれないと思う」理由	年齢階級				
	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
親とは雇用形態が異なるから	33.6	31.1	28.4	30.8	29.7
親とは就業先の給与水準が異なるから	50.2	53.7	45.1	33.9	26.7
親の時代と景気が異なるから	49.4	58.5	66.7	63.5	59.1
親と学歴が異なるから	14.1	10.0	6.6	4.2	1.5
親に比べて、生活コストが上がっているから	34.9	38.1	36.8	42.1	43.3
その他	3.7	3.5	4.4	4.0	6.1
サンプルサイズ	241	402	546	425	330

親より経済的に豊かになれない理由の回答を学歴別にみると、「親の時代と景気が異なるから」は、高校卒以下の60.0%、高専・短大卒の60.9%、大学・大学院卒の61.6%が回答しており、どの学歴層でも高い割合となっている。就業形態別に見ると、どの就業形態でも「親の時代と景気が異なるから」の割合が高いが、非正規雇用者・フリーランスにおいて「親とは雇用形態が異なるから」が47.0%、正規雇用者において「親とは就業先の給与水準が異なるから」が52.2%と、他の就業形態に比べて高い割合となっている（表11-3）。

表 11-3 学歴、就業形態別にみた「親より経済的に豊かになれないと思う」理由（複数回答）

「親より経済的に豊かになれないと思う」理由	学歴			就業形態				
	高校卒以下	高専・短大卒	大学・大学院卒	会社等の経営者・役員	正規	非正規・フリーランス	自営業等	無業
親とは雇用形態が異なるから	32.7	31.2	27.8	23.5	17.7	47.0	31.1	31.2
親とは就業先の給与水準が異なるから	36.3	44.0	44.8	20.6	52.2	38.8	15.6	32.9
親の時代と景気が異なるから	60.0	60.9	61.6	61.8	59.5	60.7	73.3	62.1
親と学歴が異なるから	7.3	8.4	5.2	2.9	7.3	6.0	5.6	7.8
親に比べて、生活コストが上がっているから	43.7	37.4	36.8	32.4	38.9	36.4	37.8	44.8
その他	4.2	5.4	3.5	0.0	2.1	4.3	5.6	8.9
サンプルサイズ	590	609	734	34	823	621	90	359

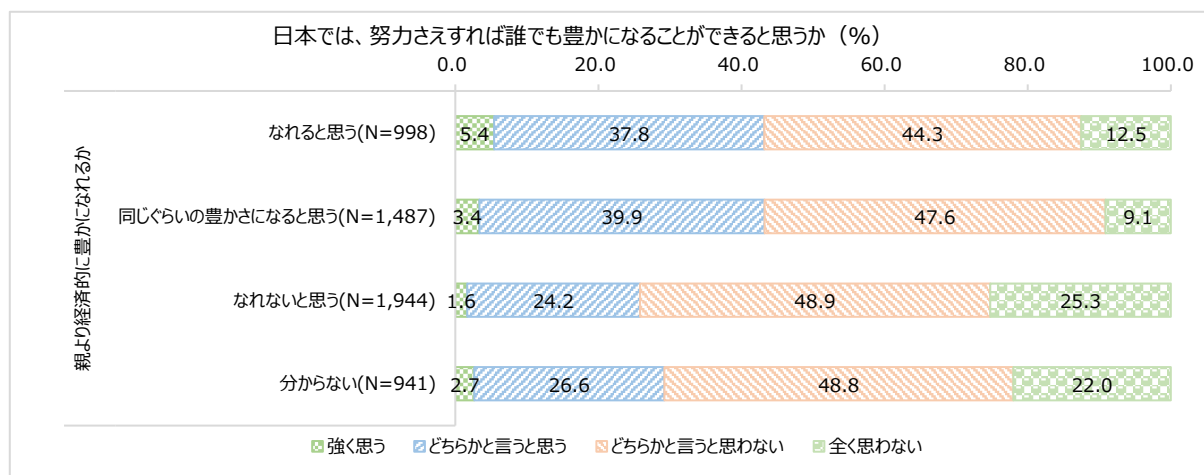
注：学歴についてはN=1,944、就業形態についてはN=1,927。

## 12. 親より経済的に豊かになれないことの影響

「親より経済的に豊かになれると思うか」という意識は、他の社会意識とどのような相関が見られるのか。まず、「親より経済的に豊かになれると思うか」の回答別に、「日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができると思うか」の回答傾向を見る。「親よ

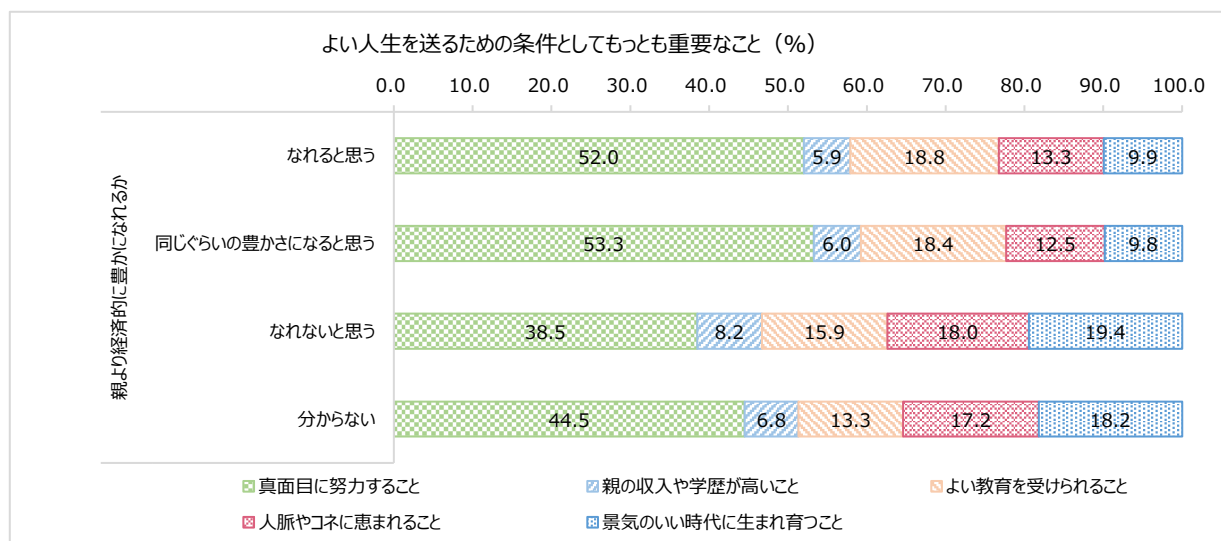
り経済的に豊かになれると思う」個人では、「強く思う」が 5.4%、「どちらかと言うと思う」が 37.8%である。「同じくらいの豊かさになると思う」の個人でも、「強く思う」が 3.4%、「どちらかと言うと思う」が 39.9%である。これに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」個人では、「強く思う」が 1.6%、「どちらかと言うと思う」が 24.2%と相対的に低く、「どちらかと言うと思わない」が 48.9%、「全く思わない」が 25.3%の割合が相対的に高い（図 12-1）。

図 12-1 親との経済的豊かさの差と努力に対する考え



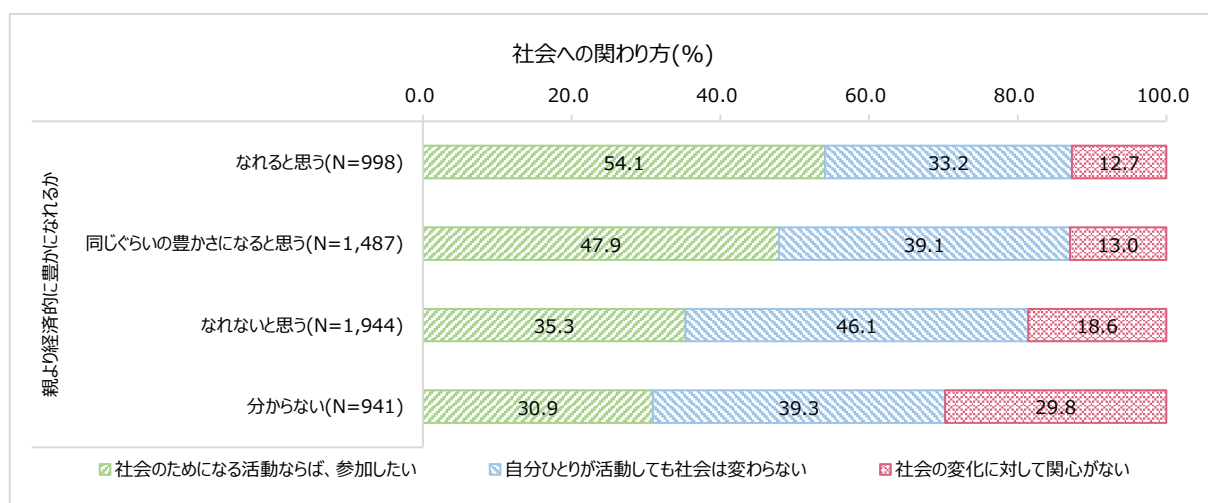
「親より経済的に豊かになれると思うか」の回答別に、「よい人生を送るための条件として最も重要なこと」の回答傾向を見る。「親より経済的に豊かになれると思う」個人では、「真面目に努力すること」が 52.0%で高く、次いで「よい教育を受けられること」が 18.8%である。「同じくらいの豊かさになると思う」の個人でも、「真面目に努力すること」が 53.3%で高く、次いで「よい教育を受けられること」が 18.4%である。これに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」個人では、「真面目に努力すること」は 38.5%で相対的に低く、「人脈やコネに恵まれること」という回答が 18.0%ある（図 12-2）。

図 12-2 親との経済的豊かさの差とよい人生を送るための条件としてもっとも重要なこと



「親より経済的に豊かになれると思うか」の回答別に、「社会への関わり方」の回答傾向を見る。「親より経済的に豊かになれると思う」個人では、「社会のためになる活動ならば、参加したい」が 54.1%であり、「同じくらいの豊かさになると思う」の個人でも、47.9%がそう回答している。これに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」個人では、「社会のためになる活動ならば、参加したい」は 35.3%と相対的に低く、「自分ひとりが活動しても社会は変わらない」46.1%、「社会の変化に対して関心がない」18.6%の割合が相対的に高い（図 12-3）。

図 12-3 親との経済的豊かさの差と社会への関わり方

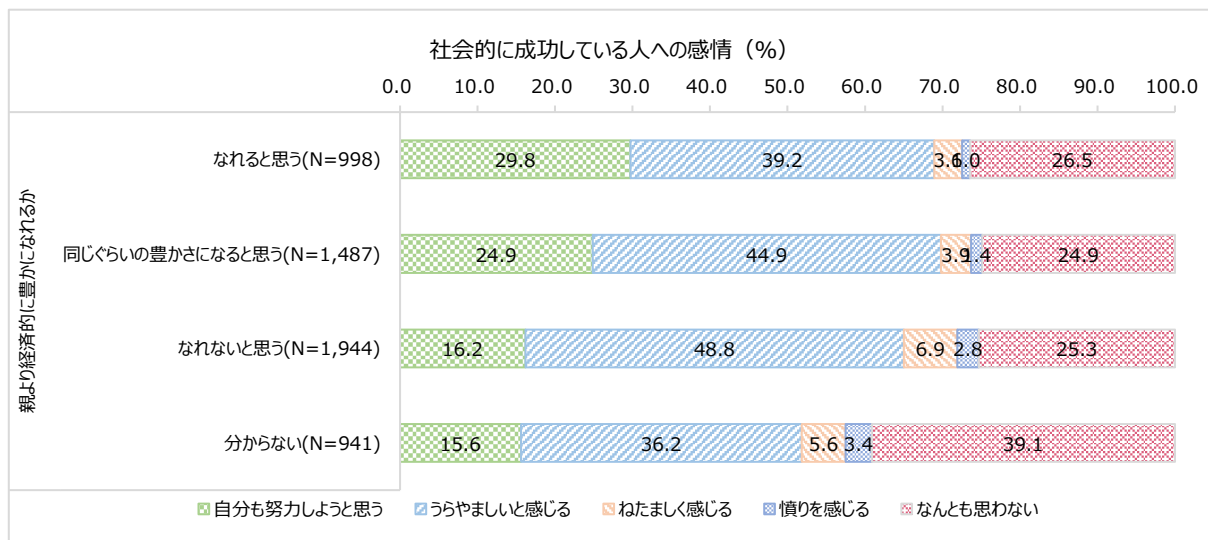


「親より経済的に豊かになれると思うか」の回答別に、「社会的に成功している人への感情」の回答傾向を見る。「うらやましいと感じる」割合が高いことは共通しているもの



の、「親より経済的に豊かになれると思う」個人では「自分も努力しようと思う」が 29.8%あり、「同じくらいの豊かさになると思う」の個人でも、24.9%がそう回答している。これに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」個人では、「自分も努力しようと思う」は 16.2%にとどまり、相対的に低い。また、「ねたましく感じる」という回答も 6.9%見られた（図 12-4）。

図 12-4 親との経済的豊かさと社会的に成功している人への感情



最後に、中間層出身であった個人が、「親より経済的に豊かになれるかと思うか」別に、社会への関わり方や社会的に成功している人への感情の回答に異なる傾向が見られるかを確認する。ここでは中間層の範囲として、15歳時の家庭の世帯年収が400～1000万円であることを用いる。

まず、15歳時の家庭の世帯年収が400～1000万円と回答した個人を対象に、「親より経済的に豊かになれるかと思うか」別の「社会への関わり方」の回答傾向を見る。「親より経済的に豊かになれるかと思う」個人では、「社会のためになる活動ならば、参加したい」が61.1%であり、「同じくらいの豊かさになるかと思う」の個人でも、49.1%がそう回答している。これに対し、「親より経済的に豊かになれないかと思う」個人では、「社会のためになる活動ならば、参加したい」は40.0%と相対的に低く、「自分ひとりが活動しても社会は変わらない」41.9%、「社会の変化に対して関心がない」18.1%の割合が相対的に高い（表 12-1）。

表 12-1 親との経済的な差と社会への関わり方

(15歳時の家庭の世帯年収が400万円～1000万円のサンプルに限定)

社会への関わり方	全サンプル	親より経済的に豊かになれるか			
		なれると思う	同じぐらいの豊かさになると思う	なれないと思う	分からない
社会のためになる活動ならば、参加したい	46.8	61.1	49.1	40.0	33.8
自分ひとりが活動しても社会は変わらない	38.6	28.9	40.5	41.9	38.8
社会の変化に対して関心がない	14.6	10.0	10.4	18.1	27.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
サンプルサイズ	1,372	280	432	580	80

次に、15歳時の家庭の世帯年収が400～1000万円と回答した個人を対象に、「親より経済的に豊かになれると思うか」別に「社会的に成功している人への感情」の回答傾向を見る。「うらやましいと感じる」割合が高いことは共通しているものの、「親より経済的に豊かになれると思う」個人では「自分も努力しようと思う」が33.6%あり、「同じぐらいの豊かさになると思う」の個人でも、26.9%がそう回答している。これに対し、「親より経済的に豊かになれないと思う」個人では、「自分も努力しようと思う」は16.7%にとどまり、相対的に低い。また、「ねたましく感じる」が5.5%、「憤りを感じる」が2.8%見られた(表12-2)。

表 12-2 親との経済的豊かさの差と社会的に成功している人への感情

(15歳時の家庭の世帯年収が400万円～1000万円のサンプルに限定)

社会的に成功している人への感情	全サンプル	親より経済的に豊かになれるか			
		なれると思う	同じぐらいの豊かさになると思う	なれないと思う	分からない
自分も努力しようと思う	23.6	33.6	26.9	16.7	21.3
うらやましいと感じる	46.5	38.6	46.8	51.4	37.5
ねたましく感じる	5.0	4.3	5.1	5.5	3.8
憤りを感じる	1.8	1.1	1.4	2.8	0.0
なんとも思わない	23.0	22.5	19.9	23.6	37.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
サンプルサイズ	1,372	280	432	580	80

## 参考文献

神林博史（2015）「階層帰属意識からみた戦後日本—総中流社会から格差社会へ」数土直紀（編）『社会意識からみた日本』第1章、pp.16-49、有斐閣

田中聡一郎（2020）「日本の中間層の推移：国民生活基礎調査（1985-2015）に基づく推計」

([https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2019/191011/201901012A\\_upload/201901012A0016.pdf](https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2019/191011/201901012A_upload/201901012A0016.pdf))

## 第 II 部 資料

# 資料1 調査票

## 「暮らしと意識に関する NHK・JILPT 共同調査」

この調査は、NHK と独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）が共同で実施する「暮らしと意識に関する調査」となります。皆様の暮らし向きと社会についての考え方を把握することを目的としています。本調査の調査結果については、今後の番組づくりに活かすとともに、政策研究に活用していく予定です。

また、このアンケートには次のような内容が含まれております。

- ・収入
- ・学歴

このアンケートにご記入いただいた内容は、個人情報保護に照らして厳格に管理、取り扱いします。すべて統計的に処理され、個人が特定されたり、推測されるような形でとりまとめたり、発表されたりすることはありません。安心してご回答ください。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

[ご回答にあたってのお願い]

- ・この調査は、20 歳～69 歳の方を対象にしています。
- ・特別に言及しない限り、2022 年 8 月 1 日現在の状況でご回答ください。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についてお伺いする場合があります。

調査主体：日本放送協会（NHK）・独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）

調査実施：株式会社インテージリサーチ

## 調査票

あなたご自身のことについて伺います。

Q1 あなたの性別をお答えください

- 1 男性      2 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

\_\_\_\_\_歳

Q3 あなたが現在お住まいの地域をお教えてください。

\_\_\_\_\_都道府県（プルダウン,1～47 都道府県、48 は海外）

Q4 あなたは現在結婚されていますか。

- 1 未婚（結婚したことがない）  
2 結婚している（内縁の場合も含む）  
3 離別・死別

あなたのこれまでの就学状況について伺います。

Q5\_1 あなたは、現在通学していますか。通学されていない方は、最後に通学された学校を卒業されましたか。

- 1 通学している（休学等を含む）    2 学校を卒業した    3 学校を中退した

Q5\_2 あなたが最後に通学した（または在学中の）学校はつぎのどれですか。

- 1 中学校    2 高校    3 専門学校    4 短大・高専    5 大学  
6 大学院    7 その他

Q5\_3 その学校を卒業（または中退）された年をお答えください。現在通学中の方は、卒業予定年をお答えください。

西暦\_\_\_\_\_年（プルダウン；西暦 1968 年～西暦 2026 年+その他）

就業について伺います。

Q6 8月1日現在、所得を伴うお仕事（アルバイトも含む）についていますか。最もあてはまるものをお答えください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

(1) あなた自身

- 1 おもに仕事 2 通学のかたわらに仕事 3 家事などのかたわらに仕事 4 仕事を休んでいる  
5 仕事を探している 6 おもに通学・家事・その他 【5～6はQ10へ】

(2) 配偶者

- 1 おもに仕事 2 通学のかたわらに仕事 3 家事などのかたわらに仕事 4 仕事を休んでいる  
5 仕事を探している 6 おもに通学・家事・その他

Q7 あなたのお仕事について伺います。2つ以上のお仕事をしている場合には、収入が多い方の仕事についてお答えください。

Q7\_1 あなたのお仕事の内容は、次のどれですか。【Q6 (1) = 1～4】

- 1 農林漁業作業者
- 2 採掘作業者
- 3 販売従事者（小売店、卸売店の店主や店員、外交員、不動産仲介など）
- 4 サービス職従事者（理容、美容、飲食店、旅館などの従業員、清掃員など）
- 5 管理的職種（国、自治体の議員、会社・団体、官公庁の課長以上など）
- 6 事務従事者（一般事務、会計事務、オペレーターなど、営業事務員など）
- 7 運輸・通信従事者（鉄道、車、船、航空機の運転従事者、車掌、有線・無線の通信士など）
- 8 製造・建築・保守・運搬などの作業者
- 9 情報処理技術者（システムエンジニア・プログラマーなど）
- 10 専門的・技術的職業従事者 ※情報処理技術者を除く  
（企業などの研究・技術者、保健医療、法務従事者、教員、芸術家など）
- 11 保安職業従事者（自衛官、警察官、消防員、ガードマンなど保安職業従事者）
- 12 その他（具体的に )

Q7\_2 就業形態は、次のどれにあてはまりますか。

(1) あなた自身 【Q6 (1) = 1～4】

- 1 会社などの経営者・役員
- 2 正規の職員・従業員
- 3 契約社員
- 4 アルバイト・パートタイマー



- 5 派遣社員
- 6 嘱託
- 7 自営業主（飲食店・卸小売店・農業等）
- 8 自由業者（医者・弁護士・会計士・税理士・作家等）
- 9 家族従業者（飲食店・卸小売店・農業等の家族従業者）
- 10 会社と雇用関係のない在宅就労・内職
- 11 委託労働・請負（雇用関係にない者）
- 12 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

(2) 配偶者【Q4=2 & Q6（2）=1～4】

- 1 会社などの経営者・役員
- 2 正規の職員・従業員
- 3 契約社員
- 4 アルバイト・パートタイマー
- 5 派遣社員
- 6 嘱託
- 7 自営業主（飲食店・卸小売店・農業等）
- 8 自由業者（医者・弁護士・会計士・税理士・作家等）
- 9 家族従業者（飲食店・卸小売店・農業等の家族従業者）
- 10 会社と雇用関係のない在宅就労・内職
- 11 委託労働・請負（雇用関係にない者）
- 12 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

Q7\_3 今の就業形態で働いている理由は、次のどれに近いですか。【Q7\_2（1）=3～6、10-11】※最もお考えに近いものをお選びください。

- 1 正規社員で働くことを希望していたが、雇ってくれる会社がなかったから
- 2 賃金・労働条件・待遇などがよかったから
- 3 個人的な事情から正規社員の労働条件では働けないから
- 4 自由な働き方や生活を優先したいから
- 5 家計を補助するため
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

Q8 あなたは今の仕事を続けることで所得を増やしたいと思いますか？

- 1 強く思う
- 2 どちらかといえば思う

- 3 どちらかといえば思わない
- 4 全く思わない

Q9 Q8でそう答えた理由のうちあなたの考えにもっとも近いものをお答え下さい。【Q8 = 3～4】

- 1 仕事で努力をしても報われないから
- 2 現在の生活水準を維持できればいいから
- 3 今の待遇に満足しているため
- 4 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q10 昨年1年間（1月～12月）の税込みの収入（年収）はいくらでしたか。税金、社会保険料などが差し引かれる前の金額をお答え下さい。複数のお仕事を持つ場合、その総額についてお答え下さい。なお、資産（金融、実物とも）売却は除きます。退職金、年金は含めません。※年収が分からない場合は、最も近いと思われるものをお答えください。

（1）あなた自身の仕事の収入（年収）

- 1 0～200万円未満
- 2 200～400万円未満
- 3 400～600万円未満
- 4 600～800万円未満
- 5 800～1000万円未満
- 6 1000万円～1200万円未満
- 7 1200万円～2000万円未満
- 8 2000万円以上

（2）世帯の年収（家計をともにする家族全員の収入額の合計）

- 1 0～200万円未満
- 2 200～400万円未満
- 3 400～600万円未満
- 4 600～800万円未満
- 5 800～1000万円未満
- 6 1000万円～1200万円未満
- 7 1200万円～2000万円未満
- 8 2000万円以上
- 9 分からない

(3) 配偶者の仕事の収入(年収)【Q4 = 2】

- 1 0～200万円未満
- 2 200～400万円未満
- 3 400～600万円未満
- 4 600～800万円未満
- 5 800～1000万円未満
- 6 1000万円～1200万円未満
- 7 1200万円～2000万円未満
- 8 2000万円以上
- 9 分からない

Q11 将来結婚をしたいと思いませんか。【Q4 = 1, 3】

- 1 結婚する予定がある
- 2 したい
- 3 なるべくしたい
- 4 どちらとも言えない
- 5 あまりしたくない
- 6 したくない

Q12 子どもは何人いますか？(いない場合は0人)

\_\_\_\_\_人

Q13 理想の子供の数は何人ですか？(いない場合は0人)

\_\_\_\_\_人

あなたの「中流」に対するイメージについて伺います。

Q14 あなたのイメージする「中流の暮らし」について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 世帯主が正社員として働いている
- 2 持ち家(一戸建て・マンションなど)に住んでいる
- 3 自家用車を持っている
- 4 結婚して、子供を育てている
- 5 年に一度以上、好きな場所に旅行に行ける
- 6 子どもに高等教育(大学進学など)を受けさせることができる
- 7 老後生活の資金のめどが立っている

- 8 自らの趣味にお金をかける余裕がある
- 9 毎月の生活費を細かく気にしなくてもよい
- 10 好きなときに外食を楽しめる
- 11 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

**Q15** あなたのイメージする「中流の暮らし」を送るには、少なくともどれくらいの年収が必要だと思いますか（有配偶の方は夫婦の合計年収、未婚の方は個人の年収）。以下のうちから最も考えに近いものをお答えください。

- 1 200 万円以上
- 2 400 万円以上
- 3 600 万円以上
- 4 800 万円以上
- 5 1000 万円以上
- 6 1200 万円以上
- 7 2000 万円以上

**Q16** あなたは、あなたがイメージする「中流の暮らし」をされていますか。

- 1 中流より上の暮らしをしている →Q18 へ
- 2 中流の暮らしをしている →Q18 へ
- 3 中流より下の暮らしをしている

**Q17** あなたは、あなたがイメージする「中流の暮らし」を送ることを目指していますか【Q16=3】

- 1 目指している
- 2 どちらかといえば目指している
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかと言えば目指していない
- 5 目指していない

**あなたが 15 歳（中学 3 年生）時の生活について伺います。**

**Q18** あなたが 15 歳時の家計の主な支え手はどちらでしたか。

- 1 父親
- 2 母親
- 3 両親
- 4 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

**Q19** あなたが 15 歳時の家庭の世帯年収についてお答えください。あてはまると思われるものを選んでください。

- 1 200 万円未満
- 2 200 万円～400 万円
- 3 400 万円～1000 万円
- 4 1000 万円以上
- 5 分からない

Q20 あなたが 15 歳時の主な家計の支え手の就業形態について、最もあてはまるものをお答えください

- 1 会社などの経営者・役員
- 2 正規の職員・従業員
- 3 契約社員
- 4 アルバイト・パートタイマー
- 5 派遣社員
- 6 嘱託
- 7 自営業主（飲食店・卸小売店・農業等）
- 8 自由業者（医者・弁護士・会計士・税理士・作家等）
- 9 家族従業者（飲食店・卸小売店・農業等の家族従業者）
- 10 会社と雇用関係のない在宅就労・内職
- 11 委託労働・請負（雇用関係にない者）
- 12 無職
- 13 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q21 あなたが 15 歳時の家庭の生活水準について、どのように感じていましたか。

- 1 暮らしにかなりの余裕があった
- 2 どちらかと言えば暮らしに余裕があった
- 3 どちらかと言えば暮らしに余裕はなかった
- 4 暮らしに余裕は全くなかった

Q22 あなたはあなたの親より経済的に豊かになれると思いますか。

- 1 親より経済的に豊かになれると思う
- 2 親と経済的に同じぐらいの豊かさになると思う
- 3 親より経済的に豊かになれないと思う
- 4 分からない

Q23 「親より経済的に豊かになれないと思う」理由として当てはまるものを全て選んでください。(複数回答)【Q22=3】

- 1 親とは雇用形態が異なるから
- 2 親とは就業先の給与水準が異なるから
- 3 親の時代と景気が異なるから
- 4 親と学歴が異なるから
- 5 親に比べて、生活コストが上がっているから
- 6 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

あなたの現在の暮らしぶりに関する意識について伺います。

Q24 現在の生活水準について、どのように感じていますか。

- 1 暮らしにかなりの余裕がある
- 2 どちらかと言えば暮らしに余裕がある
- 3 どちらかと言えば暮らしに余裕は無い
- 4 暮らしに余裕は全くない

Q25 あなたの現在の暮らしぶりについて、お答えください。

- |                                |      |       |
|--------------------------------|------|-------|
| 1 世帯主が正社員として働いている              | 1 はい | 2 いいえ |
| 2 持ち家(一戸建て・マンションなど)に住んでいる      | 1 はい | 2 いいえ |
| 3 自家用車を持っている                   | 1 はい | 2 いいえ |
| 4 結婚して、子供を育てている                | 1 はい | 2 いいえ |
| 5 年に一度以上、好きな場所に旅行に行ける          | 1 はい | 2 いいえ |
| 6 子どもに高等教育(大学進学など)を受けさせることができる | 1 はい | 2 いいえ |
| 7 老後生活の資金のめどが立っている             | 1 はい | 2 いいえ |
| 8 自らの趣味にお金をかける余裕がある            | 1 はい | 2 いいえ |
| 9 毎月の生活費を細かく気にしなくてもよい          | 1 はい | 2 いいえ |
| 10 好きなときに外食を楽しめる               | 1 はい | 2 いいえ |

Q26 日本の中で「生活水準」を5つの層に分けるとすれば、あなた自身の生活水準は、次のどれに入るとお考えですか。

1. 上    2. 中の上    3. 中の下    4. 下の上    5. 下の下    6. わからない

Q27 あなたの現在の消費スタイルについて、最も近いものをお答え下さい。

- 1 節約せず、いまの消費を重視している
- 2 節約をあまり意識せず消費している

- 3 節約のため、無駄な消費をしない
- 4 節約を最優先に、生活を切りつめている
- 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q28 あなたのお宅では、この2、3年の間に、何か節約していることがありますか。つぎにあげる費用についてお答えください。

- |                   |          |           |               |
|-------------------|----------|-----------|---------------|
| (1)食料品を購入する費用     | 1 節約している | 2 節約していない | 3 もともと支出していない |
| (2)衣服を購入する費用      | 1 節約している | 2 節約していない | 3 もともと支出していない |
| (3)書籍の購入・教育にかかる費用 | 1 節約している | 2 節約していない | 3 もともと支出していない |
| (4)交際費            | 1 節約している | 2 節約していない | 3 もともと支出していない |
| (5)娯楽・レジャーの費用     | 1 節約している | 2 節約していない | 3 もともと支出していない |

あなたの今後の生活について伺います。

Q29 将来に対する希望について、あなたの考えにもっとも近いものをお答え下さい。

- 1 希望がある
- 2 どちらかという希望がある
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかという希望がない
- 5 全く希望がない

Q30 将来の暮らし向きの見通しについて、最も近いものをお答えください。

- 1 今より暮らし向きは良くなる。
- 2 今の暮らし向きを維持できる
- 3 今より暮らし向きは悪くなる

Q31 よい人生を送るための条件として下記の項目はどの程度重要だと考えていますか。

- |                    |         |      |            |         |
|--------------------|---------|------|------------|---------|
| (1)真面目に努力すること      | 1 とても重要 | 2 重要 | 3 あまり重要でない | 4 重要でない |
| (2)親の収入や学歴が高いこと    | 1 とても重要 | 2 重要 | 3 あまり重要でない | 4 重要でない |
| (3)よい教育を受けられること    | 1 とても重要 | 2 重要 | 3 あまり重要でない | 4 重要でない |
| (4)人脈やコネに恵まれること    | 1 とても重要 | 2 重要 | 3 あまり重要でない | 4 重要でない |
| (5)景気のいい時代に生まれ育つこと | 1 とても重要 | 2 重要 | 3 あまり重要でない | 4 重要でない |

Q32 よい人生を送るための条件として、最も重要な項目はどれだと思いますか。※最もお気持ちに近いものをお選びください。

- 1 真面目に努力すること

- 2 親の収入や学歴が高いこと
- 3 よい教育を受けられること
- 4 人脈やコネに恵まれること
- 5 景気のいい時代に生まれ育つこと

Q33 あなたが理想とする働き方、所得について、最も近いものをお答えください。

- 1 同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）
- 2 転職を通じて、キャリアや所得を上げていく
- 3 所得にこだわらず、負担の軽い仕事を選び続ける
- 4 なるべく働かず、投資などの不労所得で生活していく
- 5 その他（具体的に ）

Q34 あなたが理想とする働き方を実現するために最も必要だと思うものはどれですか。

- 1 充実した人材育成制度
- 2 自己啓発による能力向上
- 3 企業経営の安定
- 4 仕事と家庭の両立支援
- 5 自由な転職市場
- 6 十分な社会保障制度（失業保険や公的な住宅補助など）
- 7 その他（具体的に ）

日本の社会について、あなたのお考えを伺います。

Q35 日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができると思いますか。

- 1 強く思う
- 2 どちらかというと思う
- 3 どちらかと言うと思わない
- 4 全く思わない

Q36 社会的に成功している人に対して抱く感情のうち、最も近いものをお答えください。

- 1 自分も努力しようと思う
- 2 うらやましいと感じる
- 3 ねたましく感じる
- 4 憤りを感じる
- 5 なんとも思わない



Q37 あなたの社会への関わり方に対する考えのうち、最も近いものをお答えください。

- 1 社会のためになる活動ならば、参加したい
- 2 自分ひとりが活動しても社会は変わらない
- 3 社会の変化に対して関心がない

Q38 現在の暮らし向きについて感じていることや、将来への期待・不安などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

---

# 資料2 付属統計表

## 統計利用上の注意

1. 本報告書の集計値は、表章単位未満を四捨五入しており、百分比の合計が 100.0 にならない場合がある。表章単位に満たない場合は、「0.0」と表示してある。
2. (複数回答) の表示のある統計表は、2つ以上の複数回答のため百分比は合計すると 100.0 を超える場合がある。

Q1 あなたの性別をお答えください。

		Total	男性	女性
Total		5,370 100.0	2,652 49.4	2,718 50.6
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	386 100.0	0 0.0
	男性30-39歳	485 100.0	485 100.0	0 0.0
	男性40-49歳	644 100.0	644 100.0	0 0.0
	男性50-59歳	591 100.0	591 100.0	0 0.0
	男性60-69歳	546 100.0	546 100.0	0 0.0
	女性20-29歳	383 100.0	0 0.0	383 100.0
	女性30-39歳	489 100.0	0 0.0	489 100.0
	女性40-49歳	640 100.0	0 0.0	640 100.0
	女性50-59歳	605 100.0	0 0.0	605 100.0
	女性60-69歳	601 100.0	0 0.0	601 100.0
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	1,237 100.0	0 0.0
	男性有配偶	1,415 100.0	1,415 100.0	0 0.0
	女性無配偶	1,192 100.0	0 0.0	1,192 100.0
	女性有配偶	1,526 100.0	0 0.0	1,526 100.0
地域ブロック	北海道	262 100.0	125 47.7	137 52.3
	東北	421 100.0	211 50.1	210 49.9
	関東	1,738 100.0	868 49.9	870 50.1
	中部	901 100.0	458 50.8	443 49.2
	近畿	883 100.0	430 48.7	453 51.3
	中国	352 100.0	177 50.3	175 49.7
	四国	205 100.0	97 47.3	108 52.7
	九州・沖縄	608 100.0	286 47.0	322 53.0

Q2 あなたの年齢をお答えください。

		Total	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
Total		5,370 100.0	769 14.3	974 18.1	1,284 23.9	1,196 22.3	1,147 21.4
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	386 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性30-39歳	485 100.0	0 0.0	485 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性40-49歳	644 100.0	0 0.0	0 0.0	644 100.0	0 0.0	0 0.0
	男性50-59歳	591 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	591 100.0	0 0.0
	男性60-69歳	546 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	546 100.0
	女性20-29歳	383 100.0	383 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性30-39歳	489 100.0	0 0.0	489 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性40-49歳	640 100.0	0 0.0	0 0.0	640 100.0	0 0.0	0 0.0
	女性50-59歳	605 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	605 100.0	0 0.0
	女性60-69歳	601 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	601 100.0
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	328 26.5	245 19.8	312 25.2	228 18.4	124 10.0
	男性有配偶	1,415 100.0	58 4.1	240 17.0	332 23.5	363 25.7	422 29.8
	女性無配偶	1,192 100.0	287 24.1	200 16.8	276 23.2	245 20.6	184 15.4
	女性有配偶	1,526 100.0	96 6.3	289 18.9	364 23.9	360 23.6	417 27.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	32 12.2	47 17.9	62 23.7	57 21.8	64 24.4
	東北	421 100.0	55 13.1	74 17.6	94 22.3	96 22.8	102 24.2
	関東	1,738 100.0	268 15.4	321 18.5	420 24.2	396 22.8	333 19.2
	中部	901 100.0	121 13.4	163 18.1	229 25.4	196 21.8	192 21.3
	近畿	883 100.0	131 14.8	158 17.9	203 23.0	205 23.2	186 21.1
	中国	352 100.0	49 13.9	63 17.9	83 23.6	77 21.9	80 22.7
	四国	205 100.0	25 12.2	39 19.0	50 24.4	45 22.0	46 22.4
	九州・沖縄	608 100.0	88 14.5	109 17.9	143 23.5	124 20.4	144 23.7

Q3 あなたが現在お住まいの地域をお教えてください。

	Total	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
Total	5,370 100.0	262 4.9	421 7.8	1,738 32.4	901 16.8	883 16.4	352 6.6	205 3.8	608 11.3	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	16 4.1	28 7.3	133 34.5	64 16.6	65 16.8	28 7.3	11 2.8	41 10.6
	男性30-39歳	485 100.0	24 4.9	37 7.6	162 33.4	86 17.7	76 15.7	30 6.2	18 3.7	52 10.7
	男性40-49歳	644 100.0	30 4.7	49 7.6	211 32.8	115 17.9	100 15.5	43 6.7	24 3.7	72 11.2
	男性50-59歳	591 100.0	26 4.4	47 8.0	202 34.2	99 16.8	102 17.3	37 6.3	22 3.7	56 9.5
	男性60-69歳	546 100.0	29 5.3	50 9.2	160 29.3	94 17.2	87 15.9	39 7.1	22 4.0	65 11.9
	女性20-29歳	383 100.0	16 4.2	27 7.0	135 35.2	57 14.9	66 17.2	21 5.5	14 3.7	47 12.3
	女性30-39歳	489 100.0	23 4.7	37 7.6	159 32.5	77 15.7	82 16.8	33 6.7	21 4.3	57 11.7
	女性40-49歳	640 100.0	32 5.0	45 7.0	209 32.7	114 17.8	103 16.1	40 6.3	26 4.1	71 11.1
	女性50-59歳	605 100.0	31 5.1	49 8.1	194 32.1	97 16.0	103 17.0	40 6.6	23 3.8	68 11.2
	女性60-69歳	601 100.0	35 5.8	52 8.7	173 28.8	98 16.3	99 16.5	41 6.8	24 4.0	79 13.1
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	61 4.9	100 8.1	424 34.3	210 17.0	196 15.8	81 6.5	38 3.1	127 10.3
	男性有配偶	1,415 100.0	64 4.5	111 7.8	444 31.4	248 17.5	234 16.5	96 6.8	59 4.2	159 11.2
	女性無配偶	1,192 100.0	60 5.0	94 7.9	381 32.0	185 15.5	213 17.9	69 5.8	39 3.3	151 12.7
	女性有配偶	1,526 100.0	77 5.0	116 7.6	489 32.0	258 16.9	240 15.7	106 6.9	69 4.5	171 11.2
地域ブロック	北海道	262 100.0	262 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東北	421 100.0	0 0.0	421 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	関東	1,738 100.0	0 0.0	0 0.0	1,738 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中部	901 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	901 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	近畿	883 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	883 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中国	352 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	352 100.0	0 0.0	0 0.0
	四国	205 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	205 100.0	0 0.0
	九州・沖縄	608 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	608 100.0

Q4 あなたは現在結婚されていますか。

		Total	未婚（結婚したことがない）	結婚している（内縁の場合も含む）	離別・死別
Total		5,370 100.0	1,885 35.1	2,941 54.8	544 10.1
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	323 83.7	58 15.0	5 1.3
	男性30-39歳	485 100.0	232 47.8	240 49.5	13 2.7
	男性40-49歳	644 100.0	268 41.6	332 51.6	44 6.8
	男性50-59歳	591 100.0	153 25.9	363 61.4	75 12.7
	男性60-69歳	546 100.0	65 11.9	422 77.3	59 10.8
	女性20-29歳	383 100.0	283 73.9	96 25.1	4 1.0
	女性30-39歳	489 100.0	171 35.0	289 59.1	29 5.9
	女性40-49歳	640 100.0	198 30.9	364 56.9	78 12.2
	女性50-59歳	605 100.0	130 21.5	360 59.5	115 19.0
	女性60-69歳	601 100.0	62 10.3	417 69.4	122 20.3
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	1,041 84.2	0 0.0	196 15.8
	男性有配偶	1,415 100.0	0 0.0	1,415 100.0	0 0.0
	女性無配偶	1,192 100.0	844 70.8	0 0.0	348 29.2
	女性有配偶	1,526 100.0	0 0.0	1,526 100.0	0 0.0
地域ブロック	北海道	262 100.0	90 34.4	141 53.8	31 11.8
	東北	421 100.0	141 33.5	227 53.9	53 12.6
	関東	1,738 100.0	644 37.1	933 53.7	161 9.3
	中部	901 100.0	307 34.1	506 56.2	88 9.8
	近畿	883 100.0	324 36.7	474 53.7	85 9.6
	中国	352 100.0	117 33.2	202 57.4	33 9.4
	四国	205 100.0	62 30.2	128 62.4	15 7.3
	九州・沖縄	608 100.0	200 32.9	330 54.3	78 12.8

Q5\_1 あなたは、現在通学していますか。通学されていない方は、最後に通学された学校を卒業されましたか。

		Total	通学している（休学等を含む）	学校を卒業した	学校を中退した
Total		5,370 100.00	126 2.35	5,026 93.59	218 4.06
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.00	50 12.95	320 82.90	16 4.15
	男性30-39歳	485 100.00	10 2.06	447 92.16	28 5.77
	男性40-49歳	644 100.00	7 1.09	598 92.86	39 6.06
	男性50-59歳	591 100.00	3 0.51	560 94.75	28 4.74
	男性60-69歳	546 100.00	0 0.00	529 96.89	17 3.11
	女性20-29歳	383 100.00	45 11.75	323 84.33	15 3.92
	女性30-39歳	489 100.00	5 1.02	456 93.25	28 5.73
	女性40-49歳	640 100.00	4 0.63	621 97.03	15 2.34
	女性50-59歳	605 100.00	1 0.17	577 95.37	27 4.46
	女性60-69歳	601 100.00	1 0.17	595 99.00	5 0.83
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.00	59 4.77	1,099 88.84	79 6.39
	男性有配偶	1,415 100.00	11 0.78	1,355 95.76	49 3.46
	女性無配偶	1,192 100.00	47 3.94	1,095 91.86	50 4.19
	女性有配偶	1,526 100.00	9 0.59	1,477 96.79	40 2.62
地域ブロック	北海道	262 100.00	6 2.29	248 94.66	8 3.05
	東北	421 100.00	6 1.43	395 93.82	20 4.75
	関東	1,738 100.00	46 2.65	1,620 93.21	72 4.14
	中部	901 100.00	17 1.89	844 93.67	40 4.44
	近畿	883 100.00	20 2.27	830 94.00	33 3.74
	中国	352 100.00	8 2.27	332 94.32	12 3.41
	四国	205 100.00	5 2.44	189 92.20	11 5.37
	九州・沖縄	608 100.00	18 2.96	568 93.42	22 3.62

Q5\_2 あなたが最後に通学した（または在学中の）学校はつぎのどれですか。

		Total	中学校	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院	その他
Total		5,370 100.0	70 1.3	1,689 31.5	780 14.5	651 12.1	1,952 36.4	191 3.6	37 0.7
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	3 0.8	105 27.2	47 12.2	10 2.6	193 50.0	22 5.7	6 1.6
	男性30-39歳	485 100.0	9 1.9	124 25.6	61 12.6	16 3.3	238 49.1	32 6.6	5 1.0
	男性40-49歳	644 100.0	14 2.2	203 31.5	111 17.2	22 3.4	247 38.4	44 6.8	3 0.5
	男性50-59歳	591 100.0	11 1.9	219 37.1	65 11.0	24 4.1	246 41.6	23 3.9	3 0.5
	男性60-69歳	546 100.0	6 1.1	180 33.0	31 5.7	19 3.5	283 51.8	23 4.2	4 0.7
	女性20-29歳	383 100.0	1 0.3	100 26.1	71 18.5	30 7.8	173 45.2	4 1.0	4 1.0
	女性30-39歳	489 100.0	6 1.2	92 18.8	100 20.4	81 16.6	192 39.3	15 3.1	3 0.6
	女性40-49歳	640 100.0	4 0.6	191 29.8	122 19.1	151 23.6	153 23.9	15 2.3	4 0.6
	女性50-59歳	605 100.0	9 1.5	236 39.0	92 15.2	154 25.5	102 16.9	9 1.5	3 0.5
	女性60-69歳	601 100.0	7 1.2	239 39.8	80 13.3	144 24.0	125 20.8	4 0.7	2 0.3
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	24 1.9	408 33.0	182 14.7	39 3.2	508 41.1	61 4.9	15 1.2
	男性有配偶	1,415 100.0	19 1.3	423 29.9	133 9.4	52 3.7	699 49.4	83 5.9	6 0.4
	女性無配偶	1,192 100.0	15 1.3	362 30.4	211 17.7	204 17.1	367 30.8	21 1.8	12 1.0
	女性有配偶	1,526 100.0	12 0.8	496 32.5	254 16.6	356 23.3	378 24.8	26 1.7	4 0.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	5 1.9	107 40.8	45 17.2	31 11.8	65 24.8	7 2.7	2 0.8
	東北	421 100.0	5 1.2	177 42.0	62 14.7	46 10.9	119 28.3	8 1.9	4 1.0
	関東	1,738 100.0	15 0.9	433 24.9	275 15.8	192 11.0	741 42.6	77 4.4	5 0.3
	中部	901 100.0	13 1.4	321 35.6	119 13.2	102 11.3	304 33.7	32 3.6	10 1.1
	近畿	883 100.0	12 1.4	271 30.7	113 12.8	127 14.4	327 37.0	27 3.1	6 0.7
	中国	352 100.0	5 1.4	125 35.5	42 11.9	46 13.1	120 34.1	11 3.1	3 0.9
	四国	205 100.0	5 2.4	71 34.6	25 12.2	29 14.1	65 31.7	8 3.9	2 1.0
	九州・沖縄	608 100.0	10 1.6	184 30.3	99 16.3	78 12.8	211 34.7	21 3.5	5 0.8



Q5\_3 その学校を卒業（または中退）された年をお答えください。現在通学中の方は、卒業予定年をお答えください。

		Total	1979年以前	1980－1989	1990－1999	2000－2009	2010年以降	その他
Total		5,370 100.0	713 13.3	1,282 23.9	1,210 22.5	987 18.4	1,049 19.5	129 2.4
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	1 0.3	0 0.0	21 5.4	8 2.1	352 91.2	4 1.0
	男性30-39歳	485 100.0	0 0.0	18 3.7	11 2.3	297 61.2	145 29.9	14 2.9
	男性40-49歳	644 100.0	13 2.0	22 3.4	386 59.9	195 30.3	14 2.2	14 2.2
	男性50-59歳	591 100.0	14 2.4	357 60.4	202 34.2	7 1.2	3 0.5	8 1.4
	男性60-69歳	546 100.0	280 51.3	247 45.2	3 0.5	2 0.4	2 0.4	12 2.2
	女性20-29歳	383 100.0	0 0.0	0 0.0	14 3.7	5 1.3	355 92.7	9 2.3
	女性30-39歳	489 100.0	1 0.2	20 4.1	11 2.2	292 59.7	158 32.3	7 1.4
	女性40-49歳	640 100.0	15 2.3	12 1.9	409 63.9	169 26.4	9 1.4	26 4.1
	女性50-59歳	605 100.0	20 3.3	405 66.9	147 24.3	7 1.2	6 1.0	20 3.3
	女性60-69歳	601 100.0	369 61.4	201 33.4	6 1.0	5 0.8	5 0.8	15 2.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	78 6.3	227 18.4	274 22.2	242 19.6	393 31.8	23 1.9
	男性有配偶	1,415 100.0	230 16.3	417 29.5	349 24.7	267 18.9	123 8.7	29 2.0
	女性無配偶	1,192 100.0	118 9.9	234 19.6	264 22.1	189 15.9	343 28.8	44 3.7
	女性有配偶	1,526 100.0	287 18.8	404 26.5	323 21.2	289 18.9	190 12.5	33 2.2
地域ブロック	北海道	262 100.0	46 17.6	59 22.5	59 22.5	49 18.7	46 17.6	3 1.1
	東北	421 100.0	76 18.1	93 22.1	94 22.3	70 16.6	77 18.3	11 2.6
	関東	1,738 100.0	196 11.3	401 23.1	397 22.8	331 19.0	368 21.2	45 2.6
	中部	901 100.0	127 14.1	212 23.5	198 22.0	166 18.4	168 18.6	30 3.3
	近畿	883 100.0	112 12.7	219 24.8	204 23.1	156 17.7	172 19.5	20 2.3
	中国	352 100.0	43 12.2	86 24.4	90 25.6	58 16.5	68 19.3	7 2.0
	四国	205 100.0	33 16.1	53 25.9	38 18.5	40 19.5	34 16.6	7 3.4
	九州・沖縄	608 100.0	80 13.2	159 26.2	130 21.4	117 19.2	116 19.1	6 1.0

Q6 8月1日現在、所得を伴うお仕事（アルバイトも含む）についていますか。最もあてはまるものをお答えください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

あなた自身：

	Total	あなた自身						
		おもに仕事	通学のかたわらに仕事	家事などのかたわらに仕事	仕事を休んでいる	仕事を探している	おもに通学・家事・その他	
Total	5,370 100.0	3,644 67.9	46 0.9	506 9.4	188 3.5	236 4.4	750 14.0	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	297 76.9	19 4.9	9 2.3	7 1.8	20 5.2	34 8.8
	男性30-39歳	485 100.0	424 87.4	5 1.0	5 1.0	12 2.5	24 4.9	15 3.1
	男性40-49歳	644 100.0	581 90.2	0 0.0	1 0.2	14 2.2	25 3.9	23 3.6
	男性50-59歳	591 100.0	516 87.3	0 0.0	13 2.2	16 2.7	25 4.2	21 3.6
	男性60-69歳	546 100.0	386 70.7	0 0.0	21 3.8	30 5.5	28 5.1	81 14.8
	女性20-29歳	383 100.0	256 66.8	20 5.2	29 7.6	23 6.0	15 3.9	40 10.4
	女性30-39歳	489 100.0	275 56.2	2 0.4	69 14.1	38 7.8	26 5.3	79 16.2
	女性40-49歳	640 100.0	377 58.9	0 0.0	118 18.4	19 3.0	29 4.5	97 15.2
	女性50-59歳	605 100.0	339 56.0	0 0.0	120 19.8	9 1.5	25 4.1	112 18.5
	女性60-69歳	601 100.0	193 32.1	0 0.0	121 20.1	20 3.3	19 3.2	248 41.3
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	951 76.9	22 1.8	32 2.6	44 3.6	87 7.0	101 8.2
	男性有配偶	1,415 100.0	1,253 88.6	2 0.1	17 1.2	35 2.5	35 2.5	73 5.2
	女性無配偶	1,192 100.0	893 74.9	20 1.7	67 5.6	34 2.9	57 4.8	121 10.2
	女性有配偶	1,526 100.0	547 35.8	2 0.1	390 25.6	75 4.9	57 3.7	455 29.8
地域ブロック	北海道	262 100.0	169 64.5	2 0.8	21 8.0	12 4.6	14 5.3	44 16.8
	東北	421 100.0	298 70.8	1 0.2	26 6.2	18 4.3	19 4.5	59 14.0
	関東	1,738 100.0	1,167 67.1	19 1.1	175 10.1	72 4.1	68 3.9	237 13.6
	中部	901 100.0	640 71.0	8 0.9	87 9.7	27 3.0	31 3.4	108 12.0
	近畿	883 100.0	572 64.8	7 0.8	104 11.8	25 2.8	43 4.9	132 14.9
	中国	352 100.0	245 69.6	5 1.4	27 7.7	10 2.8	18 5.1	47 13.4
	四国	205 100.0	138 67.3	1 0.5	19 9.3	4 2.0	9 4.4	34 16.6
	九州・沖縄	608 100.0	415 68.3	3 0.5	47 7.7	20 3.3	34 5.6	89 14.6

配偶者：

	Total	配偶者						
		おもに仕事	通学のかたわら に仕事	家事などのかた わらに仕事	仕事を休んで いる	仕事を探して いる	おもに通学・家 事・その他	
Total	2,941 100.0	1,907 64.8	5 0.2	357 12.1	95 3.2	35 1.2	542 18.4	
性別×年齢階級	男性20-29歳	58 100.0	29 50.0	0 0.0	7 12.1	9 15.5	1 1.7	12 20.7
	男性30-39歳	240 100.0	134 55.8	3 1.3	31 12.9	17 7.1	2 0.8	53 22.1
	男性40-49歳	332 100.0	178 53.6	0 0.0	83 25.0	5 1.5	5 1.5	61 18.4
	男性50-59歳	363 100.0	178 49.0	0 0.0	87 24.0	9 2.5	9 2.5	80 22.0
	男性60-69歳	422 100.0	131 31.0	0 0.0	94 22.3	17 4.0	3 0.7	177 41.9
	女性20-29歳	96 100.0	87 90.6	1 1.0	3 3.1	2 2.1	2 2.1	1 1.0
	女性30-39歳	289 100.0	276 95.5	1 0.3	4 1.4	4 1.4	1 0.3	3 1.0
	女性40-49歳	364 100.0	336 92.3	0 0.0	13 3.6	4 1.1	3 0.8	8 2.2
	女性50-59歳	360 100.0	324 90.0	0 0.0	5 1.4	5 1.4	4 1.1	22 6.1
	女性60-69歳	417 100.0	234 56.1	0 0.0	30 7.2	23 5.5	5 1.2	125 30.0
性別×配偶状態	男性無配偶							
	男性有配偶	1,415 100.0	650 45.9	3 0.2	302 21.3	57 4.0	20 1.4	383 27.1
	女性無配偶							
	女性有配偶	1,526 100.0	1,257 82.4	2 0.1	55 3.6	38 2.5	15 1.0	159 10.4
地域ブロック	北海道	141 100.0	80 56.7	0 0.0	15 10.6	6 4.3	4 2.8	36 25.5
	東北	227 100.0	148 65.2	0 0.0	20 8.8	5 2.2	4 1.8	50 22.0
	関東	933 100.0	593 63.6	2 0.2	125 13.4	32 3.4	8 0.9	173 18.5
	中部	506 100.0	344 68.0	0 0.0	64 12.6	11 2.2	8 1.6	79 15.6
	近畿	474 100.0	299 63.1	1 0.2	72 15.2	14 3.0	6 1.3	82 17.3
	中国	202 100.0	139 68.8	0 0.0	19 9.4	10 5.0	1 0.5	33 16.3
	四国	128 100.0	80 62.5	2 1.6	7 5.5	5 3.9	3 2.3	31 24.2
	九州・沖縄	330 100.0	224 67.9	0 0.0	35 10.6	12 3.6	1 0.3	58 17.6

Q7\_1 あなたのお仕事の内容は、次のどれですか。あなたのお仕事について伺います。2  
つ以上のお仕事をしている場合には、収入が多い方の仕事についてお答えください。

	Total	農林漁 業作業 者	採掘作 業者	販売従 事者 (小売 店、卸売 店の店主 や店員、 外交員、 不動産 仲介など)	サービス 職従事 者(理 容、美 容、飲食 店、旅館 などの従 業員、清 掃員など)	管理的 職種 (国、自 治体の議 員、会 社・団 体、官公 庁の課長 以上など)	事務従 事者 (一般 事務、会 計事務、 オペレー ターなど、 営業事 務員など)	運輸・通 信従事 者(鉄 道、車、 船、航空 機の運転 従事者、 車掌、有 線・無線 の通信士 など)	製造・建 築・保 守・運搬 などの作 業者	情報処 理技術 者(シス テムエン ジニア・プ ログラマ ーなど)	専門的・ 技術的 職業従 事者 ※情報 処理技 術者を除 く(企業 などの研 究・技術 者、保健 医療、法 務従事 者、教 員、芸術 家など)	保安職 業従事 者(自 衛官、警 察官、消 防員、 ガードマン など保安 職業従 事者)	その他	
Total	4,384 100.0	79 1.8	4 0.1	435 9.9	424 9.7	194 4.4	919 21.0	210 4.8	586 13.4	131 3.0	721 16.4	102 2.3	579 13.2	
性別×年齢階級	男性20-29歳	332 100.0	8 2.4	1 0.3	36 10.8	33 9.9	8 2.4	49 14.8	20 6.0	78 23.5	21 6.3	45 13.6	10 3.0	23 6.9
	男性30-39歳	446 100.0	9 2.0	1 0.2	41 9.2	38 8.5	15 3.4	69 15.5	27 6.1	78 17.5	21 4.7	83 18.6	27 6.1	37 8.3
	男性40-49歳	596 100.0	9 1.5	1 0.2	58 9.7	40 6.7	33 5.5	76 12.8	46 7.7	130 21.8	28 4.7	87 14.6	22 3.7	66 11.1
	男性50-59歳	545 100.0	16 2.9	1 0.2	40 7.3	34 6.2	64 11.7	59 10.8	61 11.2	83 15.2	27 5.0	71 13.0	13 2.4	76 13.9
	男性60-69歳	437 100.0	15 3.4	0 0.0	31 7.1	36 8.2	41 9.4	61 14.0	35 8.0	57 13.0	7 1.6	58 13.3	22 5.0	74 16.9
	女性20-29歳	328 100.0	2 0.6	0 0.0	31 9.5	54 16.5	6 1.8	86 26.2	7 2.1	29 8.8	8 2.4	65 19.8	2 0.6	38 11.6
	女性30-39歳	384 100.0	3 0.8	0 0.0	49 12.8	45 11.7	2 0.5	114 29.7	4 1.0	31 8.1	9 2.3	82 21.4	2 0.5	43 11.2
	女性40-49歳	514 100.0	2 0.4	0 0.0	65 12.6	50 9.7	9 1.8	185 36.0	5 1.0	51 9.9	6 1.2	84 16.3	2 0.4	55 10.7
	女性50-59歳	468 100.0	4 0.9	0 0.0	53 11.3	55 11.8	6 1.3	159 34.0	3 0.6	28 6.0	3 0.6	82 17.5	1 0.2	74 15.8
	女性60-69歳	334 100.0	11 3.3	0 0.0	31 9.3	39 11.7	10 3.0	61 18.3	2 0.6	21 6.3	1 0.3	64 19.2	1 0.3	93 27.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,049 100.0	29 2.8	1 0.1	96 9.2	94 9.0	30 2.9	139 13.3	95 9.1	217 20.7	60 5.7	129 12.3	28 2.7	131 12.5
	男性有配偶	1,307 100.0	28 2.1	3 0.2	110 8.4	87 6.7	131 10.0	175 13.4	94 7.2	209 16.0	44 3.4	215 16.5	66 5.0	145 11.1
	女性無配偶	1,014 100.0	8 0.8	0 0.0	108 10.7	124 12.2	15 1.5	317 31.3	14 1.4	83 8.2	14 1.4	181 17.9	2 0.2	148 14.6
	女性有配偶	1,014 100.0	14 1.4	0 0.0	121 11.9	119 11.7	18 1.8	288 28.4	7 0.7	77 7.6	13 1.3	196 19.3	6 0.6	155 15.3
地域ブロック	北海道	204 100.0	6 2.9	0 0.0	19 9.3	26 12.7	9 4.4	35 17.2	12 5.9	21 10.3	1 0.5	46 22.5	6 2.9	23 11.3
	東北	343 100.0	11 3.2	0 0.0	37 10.8	36 10.5	18 5.2	71 20.7	18 5.2	45 13.1	7 2.0	45 13.1	7 2.0	48 14.0
	関東	1,433 100.0	15 1.0	1 0.1	145 10.1	137 9.6	76 5.3	333 23.2	78 5.4	129 9.0	70 4.9	225 15.7	24 1.7	200 14.0
	中部	762 100.0	14 1.8	1 0.1	62 8.1	77 10.1	30 3.9	138 18.1	34 4.5	142 18.6	12 1.6	133 17.5	24 3.1	95 12.5
	近畿	708 100.0	9 1.3	1 0.1	90 12.7	59 8.3	20 2.8	156 22.0	36 5.1	116 16.4	21 3.0	104 14.7	17 2.4	79 11.2
	中国	287 100.0	4 1.4	1 0.3	25 8.7	22 7.7	17 5.9	46 16.0	13 4.5	47 16.4	7 2.4	57 19.9	8 2.8	40 13.9
	四国	162 100.0	5 3.1	0 0.0	19 11.7	16 9.9	6 3.7	35 21.6	5 3.1	29 17.9	0 0.0	25 15.4	3 1.9	19 11.7
	九州・沖縄	485 100.0	15 3.1	0 0.0	38 7.8	51 10.5	18 3.7	105 21.6	14 2.9	57 11.8	13 2.7	86 17.7	13 2.7	75 15.5

Q7\_2 就業形態は、次のどれにあてはまりますか。お仕事について伺います。2つ以上のお仕事をしている場合には、収入が多い方の仕事についてお答えください。

あなた自身：

	Total	あなた自身												
		会社などの 経営者・役員	正規の 職員・従業員	契約社 員	アルバイト・パート タイマー	派遣社 員	嘱託	自営業 主(飲食店・卸 小売店・農 業等)	自由業 者(医 者・弁護 士・会計 士・税理 士・作家 等)	家族従 業者 (飲食 店・卸小 売店・農 業等の 家族従 業者)	会社と 雇用関 係のない 在宅就 労・内職	委託労 働・請負 (雇用 関係に ない者)	その他	
Total	4,384 100.0	133 3.0	2,415 55.1	266 6.1	929 21.2	148 3.4	79 1.8	196 4.5	64 1.5	39 0.9	26 0.6	39 0.9	50 1.1	
性別×年齢階級	男性20-29歳	332 100.0	7 2.1	225 67.8	17 5.1	55 16.6	9 2.7	1 0.3	5 1.5	1 0.3	3 0.9	0 0.0	6 1.8	3 0.9
	男性30-39歳	446 100.0	11 2.5	342 76.7	12 2.7	30 6.7	18 4.0	1 0.2	14 3.1	6 1.3	4 0.9	1 0.2	4 0.9	3 0.7
	男性40-49歳	596 100.0	21 3.5	468 78.5	20 3.4	25 4.2	11 1.8	1 0.2	23 3.9	12 2.0	3 0.5	1 0.2	5 0.8	6 1.0
	男性50-59歳	545 100.0	26 4.8	397 72.8	20 3.7	26 4.8	7 1.3	3 0.6	34 6.2	12 2.2	3 0.6	6 1.1	6 1.1	5 0.9
	男性60-69歳	437 100.0	37 8.5	126 28.8	72 16.5	59 13.5	5 1.1	45 10.3	59 13.5	18 4.1	2 0.5	3 0.7	1 0.2	10 2.3
	女性20-29歳	328 100.0	3 0.9	186 56.7	18 5.5	92 28.0	17 5.2	0 0.0	3 0.9	4 1.2	1 0.3	1 0.3	2 0.6	1 0.3
	女性30-39歳	384 100.0	4 1.0	200 52.1	15 3.9	125 32.6	15 3.9	4 1.0	3 0.8	1 0.3	3 0.8	5 1.3	4 1.0	5 1.3
	女性40-49歳	514 100.0	3 0.6	238 46.3	35 6.8	171 33.3	32 6.2	5 1.0	17 3.3	3 0.6	1 0.2	2 0.4	4 0.8	3 0.6
	女性50-59歳	468 100.0	5 1.1	178 38.0	31 6.6	194 41.5	22 4.7	9 1.9	17 3.6	3 0.6	4 0.9	3 0.6	0 0.0	2 0.4
女性60-69歳	334 100.0	16 4.8	55 16.5	26 7.8	152 45.5	12 3.6	10 3.0	21 6.3	4 1.2	15 4.5	4 1.2	7 2.1	12 3.6	
性別×配偶状態	男性無配偶	1,049 100.0	27 2.6	634 60.4	72 6.9	131 12.5	42 4.0	9 0.9	66 6.3	22 2.1	8 0.8	8 0.8	18 1.7	12 1.1
	男性有配偶	1,307 100.0	75 5.7	924 70.7	69 5.3	64 4.9	8 0.6	42 3.2	69 5.3	27 2.1	7 0.5	3 0.2	4 0.3	15 1.1
	女性無配偶	1,014 100.0	17 1.7	513 50.6	72 7.1	276 27.2	61 6.0	10 1.0	32 3.2	10 1.0	4 0.4	4 0.4	7 0.7	8 0.8
	女性有配偶	1,014 100.0	14 1.4	344 33.9	53 5.2	458 45.2	37 3.6	18 1.8	29 2.9	5 0.5	20 2.0	11 1.1	10 1.0	15 1.5
地域ブロック	北海道	204 100.0	6 2.9	102 50.0	17 8.3	53 26.0	4 2.0	4 2.0	9 4.4	1 0.5	4 2.0	0 0.0	3 1.5	1 0.5
	東北	343 100.0	9 2.6	187 54.5	25 7.3	58 16.9	14 4.1	9 2.6	25 7.3	2 0.6	4 1.2	2 0.6	1 0.3	7 2.0
	関東	1,433 100.0	54 3.8	817 57.0	81 5.7	289 20.2	56 3.9	19 1.3	43 3.0	31 2.2	4 0.3	8 0.6	13 0.9	18 1.3
	中部	762 100.0	11 1.4	434 57.0	29 3.8	178 23.4	22 2.9	17 2.2	32 4.2	12 1.6	9 1.2	3 0.4	11 1.4	4 0.5
	近畿	708 100.0	24 3.4	370 52.3	50 7.1	160 22.6	21 3.0	13 1.8	34 4.8	9 1.3	8 1.1	9 1.3	2 0.3	8 1.1
	中国	287 100.0	6 2.1	164 57.1	20 7.0	57 19.9	11 3.8	3 1.0	15 5.2	1 0.3	3 1.0	2 0.7	4 1.4	1 0.3
	四国	162 100.0	8 4.9	84 51.9	10 6.2	30 18.5	6 3.7	4 2.5	11 6.8	2 1.2	3 1.9	0 0.0	0 0.0	4 2.5
	九州・沖縄	485 100.0	15 3.1	257 53.0	34 7.0	104 21.4	14 2.9	10 2.1	27 5.6	6 1.2	4 0.8	2 0.4	5 1.0	7 1.4

配偶者：

	Total	配偶者											
		会社などの 経営者・役員	正規の 職員・従業員	契約社 員	アルバイト・パート タイマー	派遣社 員	嘱託	自営業 主（飲食店・卸 小売店・農業 等）	自由業 者（医 者・弁護 士・会計 士・税理 士・作家 等）	家族従 業者 （飲食 店・卸小 売店・農 業等の 家族従 業者）	会社と 雇用関 係のない 在宅就 労・内職	委託労 働・請負 （雇用 関係に ない者）	その他
Total	2,364 100.0	125 5.3	1,261 53.3	121 5.1	558 23.6	32 1.4	28 1.2	116 4.9	24 1.0	22 0.9	18 0.8	23 1.0	36 1.5
性別×年齢階級	男性20-29歳	45 100.0	1 2.2	27 60.0	0 0.0	12 26.7	0 0.0	0 0.0	3 6.7	1 2.2	0 0.0	1 2.2	0 0.0
	男性30-39歳	185 100.0	3 1.6	103 55.7	4 2.2	59 31.9	4 2.2	0 0.0	3 1.6	0 0.0	3 1.6	4 2.2	2 1.1
	男性40-49歳	266 100.0	1 0.4	94 35.3	12 4.5	133 50.0	7 2.6	2 0.8	4 1.5	3 1.1	5 1.9	2 0.8	2 0.8
	男性50-59歳	274 100.0	4 1.5	78 28.5	23 8.4	145 52.9	3 1.1	1 0.4	7 2.6	0 0.0	4 1.5	2 0.7	3 1.1
	男性60-69歳	242 100.0	6 2.5	45 18.6	19 7.9	128 52.9	4 1.7	9 3.7	7 2.9	3 1.2	5 2.1	6 2.5	1 0.4
	女性20-29歳	93 100.0	6 6.5	79 84.9	2 2.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0	2 2.2	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0
	女性30-39歳	285 100.0	21 7.4	249 87.4	1 0.4	2 0.7	2 0.7	0 0.0	6 2.1	3 1.1	0 0.0	0 0.0	1 0.4
	女性40-49歳	353 100.0	25 7.1	288 81.6	5 1.4	7 2.0	2 0.6	0 0.0	15 4.2	3 0.8	2 0.6	1 0.3	3 0.8
	女性50-59歳	334 100.0	29 8.7	228 68.3	20 6.0	11 3.3	6 1.8	4 1.2	27 8.1	4 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性60-69歳	287 100.0	29 10.1	70 24.4	35 12.2	60 20.9	4 1.4	12 4.2	42 14.6	6 2.1	2 0.7	1 0.3	11 3.8
性別×配偶状態	男性無配偶												
	男性有配偶	1,012 100.0	15 1.5	347 34.3	58 5.7	477 47.1	18 1.8	12 1.2	24 2.4	7 0.7	17 1.7	15 1.5	8 0.8
	女性無配偶												
	女性有配偶	1,352 100.0	110 8.1	914 67.6	63 4.7	81 6.0	14 1.0	16 1.2	92 6.8	17 1.3	5 0.4	3 0.2	15 1.1
地域ブロック	北海道	101 100.0	7 6.9	52 51.5	7 6.9	21 20.8	0 0.0	0 0.0	5 5.0	2 2.0	1 1.0	0 0.0	2 2.0
	東北	173 100.0	13 7.5	94 54.3	8 4.6	36 20.8	2 1.2	1 0.6	6 3.5	3 1.7	1 0.6	2 1.2	4 2.3
	関東	752 100.0	47 6.3	403 53.6	47 6.3	178 23.7	13 1.7	8 1.1	24 3.2	9 1.2	4 0.5	6 0.8	3 0.4
	中部	419 100.0	19 4.5	224 53.5	18 4.3	101 24.1	8 1.9	4 1.0	26 6.2	3 0.7	2 0.5	5 1.2	2 0.5
	近畿	386 100.0	19 4.9	192 49.7	24 6.2	103 26.7	2 0.5	4 1.0	25 6.5	2 0.5	4 1.0	2 0.5	5 1.3
	中国	168 100.0	5 3.0	94 56.0	6 3.6	42 25.0	3 1.8	5 3.0	8 4.8	0 0.0	2 1.2	1 0.6	2 1.2
	四国	94 100.0	4 4.3	54 57.4	4 4.3	15 16.0	3 3.2	0 0.0	3 3.2	1 1.1	3 3.2	1 1.1	1 1.1
	九州・沖縄	271 100.0	11 4.1	148 54.6	7 2.6	62 22.9	1 0.4	6 2.2	19 7.0	4 1.5	5 1.8	1 0.4	4 1.5

Q7\_3 今の就業形態で働いている理由は、次のどれに近いですか。※最もお考えに近いものをお選びください。

	Total	正規社員で働くことを希望していたが、雇ってくれる会社がなかったから	賃金・労働条件・待遇などがよかったから	個人的な事情から正規社員の労働条件では働けないから	自由な働き方や生活を優先したいから	家計を補助するため	その他	
Total	1,487 100.0	203 13.7	212 14.3	169 11.4	491 33.0	337 22.7	75 5.0	
性別×年齢階級	男性20-29歳	88 100.0	11 12.5	22 25.0	12 13.6	34 38.6	5 5.7	4 4.5
	男性30-39歳	66 100.0	15 22.7	9 13.6	6 9.1	27 40.9	5 7.6	4 6.1
	男性40-49歳	63 100.0	22 34.9	11 17.5	7 11.1	18 28.6	5 7.9	0 0.0
	男性50-59歳	68 100.0	11 16.2	7 10.3	14 20.6	30 44.1	4 5.9	2 2.9
	男性60-69歳	185 100.0	24 13.0	27 14.6	13 7.0	50 27.0	50 27.0	21 11.4
	女性20-29歳	130 100.0	18 13.8	19 14.6	20 15.4	54 41.5	10 7.7	9 6.9
	女性30-39歳	168 100.0	19 11.3	21 12.5	29 17.3	53 31.5	43 25.6	3 1.8
	女性40-49歳	249 100.0	32 12.9	37 14.9	29 11.6	76 30.5	69 27.7	6 2.4
	女性50-59歳	259 100.0	39 15.1	33 12.7	24 9.3	71 27.4	83 32.0	9 3.5
	女性60-69歳	211 100.0	12 5.7	26 12.3	15 7.1	78 37.0	63 29.9	17 8.1
性別×配偶状態	男性無配偶	280 100.0	63 22.5	46 16.4	37 13.2	106 37.9	18 6.4	10 3.6
	男性有配偶	190 100.0	20 10.5	30 15.8	15 7.9	53 27.9	51 26.8	21 11.1
	女性無配偶	430 100.0	77 17.9	77 17.9	67 15.6	144 33.5	39 9.1	26 6.0
	女性有配偶	587 100.0	43 7.3	59 10.1	50 8.5	188 32.0	229 39.0	18 3.1
地域ブロック	北海道	81 100.0	9 11.1	22 27.2	11 13.6	17 21.0	18 22.2	4 4.9
	東北	109 100.0	17 15.6	18 16.5	10 9.2	31 28.4	23 21.1	10 9.2
	関東	466 100.0	53 11.4	58 12.4	45 9.7	182 39.1	110 23.6	18 3.9
	中部	260 100.0	34 13.1	33 12.7	36 13.8	77 29.6	70 26.9	10 3.8
	近畿	255 100.0	35 13.7	39 15.3	31 12.2	80 31.4	55 21.6	15 5.9
	中国	97 100.0	15 15.5	12 12.4	12 12.4	30 30.9	21 21.6	7 7.2
	四国	50 100.0	10 20.0	7 14.0	5 10.0	17 34.0	8 16.0	3 6.0
	九州・沖縄	169 100.0	30 17.8	23 13.6	19 11.2	57 33.7	32 18.9	8 4.7

Q8 あなたは今の仕事を続けることで所得を増やしたいと思いますか。

		Total	強く思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	全く思わない
Total		4,384 100.0	1,037 23.7	2,501 57.0	660 15.1	186 4.2
性別×年齢階級	男性20-29歳	332 100.0	103 31.0	159 47.9	48 14.5	22 6.6
	男性30-39歳	446 100.0	132 29.6	234 52.5	53 11.9	27 6.1
	男性40-49歳	596 100.0	153 25.7	361 60.6	61 10.2	21 3.5
	男性50-59歳	545 100.0	111 20.4	332 60.9	80 14.7	22 4.0
	男性60-69歳	437 100.0	61 14.0	247 56.5	100 22.9	29 6.6
	女性20-29歳	328 100.0	91 27.7	165 50.3	53 16.2	19 5.8
	女性30-39歳	384 100.0	95 24.7	226 58.9	54 14.1	9 2.3
	女性40-49歳	514 100.0	138 26.8	301 58.6	65 12.6	10 1.9
	女性50-59歳	468 100.0	111 23.7	276 59.0	69 14.7	12 2.6
	女性60-69歳	334 100.0	42 12.6	200 59.9	77 23.1	15 4.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,049 100.0	233 22.2	597 56.9	151 14.4	68 6.5
	男性有配偶	1,307 100.0	327 25.0	736 56.3	191 14.6	53 4.1
	女性無配偶	1,014 100.0	253 25.0	582 57.4	148 14.6	31 3.1
	女性有配偶	1,014 100.0	224 22.1	586 57.8	170 16.8	34 3.4
地域ブロック	北海道	204 100.0	47 23.0	116 56.9	31 15.2	10 4.9
	東北	343 100.0	108 31.5	177 51.6	46 13.4	12 3.5
	関東	1,433 100.0	344 24.0	823 57.4	212 14.8	54 3.8
	中部	762 100.0	169 22.2	425 55.8	131 17.2	37 4.9
	近畿	708 100.0	168 23.7	416 58.8	95 13.4	29 4.1
	中国	287 100.0	59 20.6	171 59.6	43 15.0	14 4.9
	四国	162 100.0	35 21.6	92 56.8	30 18.5	5 3.1
	九州・沖縄	485 100.0	107 22.1	281 57.9	72 14.8	25 5.2



Q9 Q8 でそう答えた理由のうちあなたの考えに最も近いものをお答え下さい。

		Total	仕事で努力をしても 報われないから	現在の生活水準を 維持できればいいから	今の待遇に満足して いるため	その他
Total		846 100.0	304 35.9	329 38.9	140 16.5	73 8.6
性別×年齢階級	男性20-29歳	70 100.0	32 45.7	16 22.9	14 20.0	8 11.4
	男性30-39歳	80 100.0	42 52.5	21 26.3	6 7.5	11 13.8
	男性40-49歳	82 100.0	46 56.1	25 30.5	5 6.1	6 7.3
	男性50-59歳	102 100.0	43 42.2	42 41.2	10 9.8	7 6.9
	男性60-69歳	129 100.0	22 17.1	76 58.9	23 17.8	8 6.2
	女性20-29歳	72 100.0	30 41.7	22 30.6	10 13.9	10 13.9
	女性30-39歳	63 100.0	24 38.1	23 36.5	9 14.3	7 11.1
	女性40-49歳	75 100.0	31 41.3	29 38.7	10 13.3	5 6.7
	女性50-59歳	81 100.0	25 30.9	25 30.9	24 29.6	7 8.6
	女性60-69歳	92 100.0	9 9.8	50 54.3	29 31.5	4 4.3
性別×配偶状態	男性無配偶	219 100.0	99 45.2	75 34.3	23 10.5	22 10.1
	男性有配偶	244 100.0	86 35.2	105 43.0	35 14.3	18 7.4
	女性無配偶	179 100.0	76 42.5	60 33.5	30 16.8	13 7.3
	女性有配偶	204 100.0	43 21.1	89 43.6	52 25.5	20 9.8
地域ブロック	北海道	41 100.0	12 29.3	18 43.9	10 24.4	1 2.4
	東北	58 100.0	26 44.8	20 34.5	7 12.1	5 8.6
	関東	266 100.0	95 35.7	98 36.8	44 16.5	29 10.9
	中部	168 100.0	65 38.7	68 40.5	24 14.3	11 6.5
	近畿	124 100.0	36 29.0	55 44.4	24 19.4	9 7.3
	中国	57 100.0	19 33.3	23 40.4	9 15.8	6 10.5
	四国	35 100.0	11 31.4	13 37.1	6 17.1	5 14.3
	九州・沖縄	97 100.0	40 41.2	34 35.1	16 16.5	7 7.2

Q10 昨年1年間（1月～12月）の税込みの収入（年収）はいくらでしたか。税金、社会保険料などが差し引かれる前の金額をお答え下さい。複数のお仕事を持つ場合、その総額についてお答え下さい。なお、資産（金融、実物とも）売却は除きます。退職金、年金は含めます。※年収が分からない場合は、最も近いと思われるものをお答えください。

あなた自身の仕事の収入（年収）：

	Total	あなた自身の仕事の収入（年収）								
		0～200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円～1200万円未満	1200万円～2000万円未満	2000万円以上	
Total	5,370 100.0	2,027 37.8	1,581 29.4	996 18.5	429 8.0	177 3.3	76 1.4	44 0.8	40 0.7	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	135 35.0	166 43.0	67 17.4	11 2.8	3 0.8	0 0.0	0 0.0	4 1.0
	男性30-39歳	485 100.0	81 16.7	121 24.9	187 38.6	67 13.8	18 3.7	5 1.0	1 0.2	5 1.0
	男性40-49歳	644 100.0	98 15.2	162 25.2	183 28.4	122 18.9	51 7.9	13 2.0	9 1.4	6 0.9
	男性50-59歳	591 100.0	83 14.0	129 21.8	149 25.2	105 17.8	61 10.3	33 5.6	19 3.2	12 2.0
	男性60-69歳	546 100.0	136 24.9	211 38.6	102 18.7	40 7.3	26 4.8	15 2.7	11 2.0	5 0.9
	女性20-29歳	383 100.0	172 44.9	155 40.5	53 13.8	2 0.5	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性30-39歳	489 100.0	244 49.9	155 31.7	64 13.1	15 3.1	6 1.2	2 0.4	1 0.2	2 0.4
	女性40-49歳	640 100.0	325 50.8	202 31.6	84 13.1	22 3.4	4 0.6	2 0.3	0 0.0	1 0.2
	女性50-59歳	605 100.0	344 56.9	155 25.6	67 11.1	34 5.6	3 0.5	1 0.2	0 0.0	1 0.2
	女性60-69歳	601 100.0	409 68.1	125 20.8	40 6.7	11 1.8	4 0.7	5 0.8	3 0.5	4 0.7
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	391 31.6	445 36.0	249 20.1	86 7.0	37 3.0	13 1.1	4 0.3	12 1.0
	男性有配偶	1,415 100.0	142 10.0	344 24.3	439 31.0	259 18.3	122 8.6	53 3.7	36 2.5	20 1.4
	女性無配偶	1,192 100.0	471 39.5	487 40.9	176 14.8	38 3.2	10 0.8	5 0.4	1 0.1	4 0.3
	女性有配偶	1,526 100.0	1,023 67.0	305 20.0	132 8.7	46 3.0	8 0.5	5 0.3	3 0.2	4 0.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	104 39.7	76 29.0	48 18.3	19 7.3	8 3.1	0 0.0	1 0.4	6 2.3
	東北	421 100.0	173 41.1	138 32.8	62 14.7	32 7.6	8 1.9	4 1.0	0 0.0	4 1.0
	関東	1,738 100.0	598 34.4	462 26.6	359 20.7	171 9.8	78 4.5	35 2.0	21 1.2	14 0.8
	中部	901 100.0	335 37.2	289 32.1	170 18.9	66 7.3	20 2.2	10 1.1	6 0.7	5 0.6
	近畿	883 100.0	347 39.3	250 28.3	157 17.8	72 8.2	31 3.5	13 1.5	5 0.6	8 0.9
	中国	352 100.0	133 37.8	114 32.4	66 18.8	23 6.5	10 2.8	4 1.1	2 0.6	0 0.0
	四国	205 100.0	92 44.9	51 24.9	36 17.6	14 6.8	5 2.4	3 1.5	2 1.0	2 1.0
	九州・沖縄	608 100.0	245 40.3	201 33.1	98 16.1	32 5.3	17 2.8	7 1.2	7 1.2	1 0.2

配偶者の仕事の収入（年収）：

	Total	配偶者の仕事の収入（年収）									
		0～200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円～1200万円未満	1200万円～2000万円未満	2000万円以上	分からない	
Total	2,941 100.0	956 32.5	588 20.0	444 15.1	225 7.7	96 3.3	39 1.3	17 0.6	13 0.4	563 19.1	
性別×年齢階級	男性20-29歳	58 100.0	22 37.9	15 25.9	11 19.0	3 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	6 10.3
	男性30-39歳	240 100.0	105 43.8	57 23.8	43 17.9	6 2.5	5 2.1	1 0.4	0 0.0	1 0.4	22 9.2
	男性40-49歳	332 100.0	186 56.0	63 19.0	27 8.1	14 4.2	4 1.2	2 0.6	0 0.0	2 0.6	34 10.2
	男性50-59歳	363 100.0	204 56.2	58 16.0	28 7.7	15 4.1	3 0.8	2 0.6	1 0.3	0 0.0	52 14.3
	男性60-69歳	422 100.0	299 70.9	52 12.3	18 4.3	7 1.7	4 0.9	1 0.2	0 0.0	0 0.0	41 9.7
	女性20-29歳	96 100.0	5 5.2	34 35.4	25 26.0	9 9.4	3 3.1	1 1.0	1 1.0	0 0.0	18 18.8
	女性30-39歳	289 100.0	7 2.4	62 21.5	99 34.3	48 16.6	14 4.8	6 2.1	0 0.0	2 0.7	51 17.6
	女性40-49歳	364 100.0	15 4.1	61 16.8	76 20.9	54 14.8	31 8.5	9 2.5	4 1.1	0 0.0	114 31.3
	女性50-59歳	360 100.0	28 7.8	61 16.9	62 17.2	47 13.1	23 6.4	14 3.9	4 1.1	2 0.6	119 33.1
	女性60-69歳	417 100.0	85 20.4	125 30.0	55 13.2	22 5.3	9 2.2	3 0.7	7 1.7	5 1.2	106 25.4
性別×配偶状態	男性無配偶										
	男性有配偶	1,415 100.0	816 57.7	245 17.3	127 9.0	45 3.2	16 1.1	6 0.4	1 0.1	4 0.3	155 11.0
	女性無配偶										
	女性有配偶	1,526 100.0	140 9.2	343 22.5	317 20.8	180 11.8	80 5.2	33 2.2	16 1.0	9 0.6	408 26.7
地域ブロック	北海道	141 100.0	51 36.2	23 16.3	29 20.6	10 7.1	4 2.8	2 1.4	1 0.7	1 0.7	20 14.2
	東北	227 100.0	79 34.8	55 24.2	23 10.1	16 7.0	3 1.3	1 0.4	0 0.0	1 0.4	49 21.6
	関東	933 100.0	291 31.2	129 13.8	159 17.0	81 8.7	49 5.3	22 2.4	10 1.1	7 0.8	185 19.8
	中部	506 100.0	177 35.0	105 20.8	73 14.4	37 7.3	15 3.0	2 0.4	2 0.4	2 0.4	93 18.4
	近畿	474 100.0	153 32.3	105 22.2	67 14.1	34 7.2	16 3.4	4 0.8	2 0.4	1 0.2	92 19.4
	中国	202 100.0	61 30.2	55 27.2	31 15.3	18 8.9	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	35 17.3
	四国	128 100.0	39 30.5	33 25.8	15 11.7	9 7.0	3 2.3	3 2.3	0 0.0	0 0.0	26 20.3
	九州・沖縄	330 100.0	105 31.8	83 25.2	47 14.2	20 6.1	5 1.5	4 1.2	2 0.6	1 0.3	63 19.1

世帯の年収（家計をともにする家族全員の収入額の合計）

	Total	世帯の年収（家計をともにする家族全員の収入額の合計）									
		0～200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円～1200万円未満	1200万円～2000万円未満	2000万円以上	分からない	
Total	5,370 100.0	450 8.4	956 17.8	990 18.4	722 13.4	444 8.3	222 4.1	191 3.6	55 1.0	1,340 25.0	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	31 8.0	90 23.3	59 15.3	47 12.2	20 5.2	11 2.8	13 3.4	6 1.6	109 28.2
	男性30-39歳	485 100.0	34 7.0	65 13.4	127 26.2	88 18.1	62 12.8	13 2.7	13 2.7	7 1.4	76 15.7
	男性40-49歳	644 100.0	51 7.9	94 14.6	137 21.3	128 19.9	77 12.0	33 5.1	21 3.3	6 0.9	97 15.1
	男性50-59歳	591 100.0	49 8.3	79 13.4	99 16.8	101 17.1	67 11.3	34 5.8	50 8.5	9 1.5	103 17.4
	男性60-69歳	546 100.0	68 12.5	143 26.2	101 18.5	65 11.9	42 7.7	24 4.4	24 4.4	5 0.9	74 13.6
	女性20-29歳	383 100.0	27 7.0	78 20.4	73 19.1	37 9.7	22 5.7	13 3.4	5 1.3	3 0.8	125 32.6
	女性30-39歳	489 100.0	28 5.7	74 15.1	90 18.4	82 16.8	38 7.8	25 5.1	8 1.6	4 0.8	140 28.6
	女性40-49歳	640 100.0	40 6.3	98 15.3	107 16.7	74 11.6	47 7.3	24 3.8	26 4.1	1 0.2	223 34.8
	女性50-59歳	605 100.0	50 8.3	93 15.4	105 17.4	58 9.6	36 6.0	28 4.6	21 3.5	4 0.7	210 34.7
	女性60-69歳	601 100.0	72 12.0	142 23.6	92 15.3	42 7.0	33 5.5	17 2.8	10 1.7	10 1.7	183 30.4
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	175 14.1	301 24.3	226 18.3	126 10.2	71 5.7	20 1.6	22 1.8	13 1.1	283 22.9
	男性有配偶	1,415 100.0	58 4.1	170 12.0	297 21.0	303 21.4	197 13.9	95 6.7	99 7.0	20 1.4	176 12.4
	女性無配偶	1,192 100.0	170 14.3	284 23.8	180 15.1	68 5.7	37 3.1	27 2.3	12 1.0	4 0.3	410 34.4
	女性有配偶	1,526 100.0	47 3.1	201 13.2	287 18.8	225 14.7	139 9.1	80 5.2	58 3.8	18 1.2	471 30.9
地域ブロック	北海道	262 100.0	30 11.5	62 23.7	50 19.1	34 13.0	22 8.4	4 1.5	4 1.5	5 1.9	51 19.5
	東北	421 100.0	49 11.6	91 21.6	68 16.2	52 12.4	35 8.3	11 2.6	8 1.9	4 1.0	103 24.5
	関東	1,738 100.0	119 6.8	252 14.5	304 17.5	243 14.0	162 9.3	92 5.3	95 5.5	21 1.2	450 25.9
	中部	901 100.0	67 7.4	165 18.3	160 17.8	134 14.9	79 8.8	26 2.9	28 3.1	4 0.4	238 26.4
	近畿	883 100.0	69 7.8	160 18.1	164 18.6	110 12.5	64 7.2	44 5.0	25 2.8	13 1.5	234 26.5
	中国	352 100.0	29 8.2	72 20.5	68 19.3	54 15.3	36 10.2	9 2.6	8 2.3	2 0.6	74 21.0
	四国	205 100.0	19 9.3	36 17.6	42 20.5	30 14.6	6 2.9	11 5.4	8 3.9	2 1.0	51 24.9
	九州・沖縄	608 100.0	68 11.2	118 19.4	134 22.0	65 10.7	40 6.6	25 4.1	15 2.5	4 0.7	139 22.9

Q11 将来結婚をしたいと思いますか。

	Total	結婚する予定がある	したい	なるべくしたい	どちらとも言えない	あまりしたくない	したくない	
Total	2,429 100.0	96 4.0	468 19.3	390 16.1	676 27.8	221 9.1	578 23.8	
性別×年齢階級	男性20-29歳	328 100.0	22 6.7	99 30.2	74 22.6	63 19.2	27 8.2	43 13.1
	男性30-39歳	245 100.0	6 2.4	56 22.9	58 23.7	64 26.1	18 7.3	43 17.6
	男性40-49歳	312 100.0	11 3.5	70 22.4	64 20.5	81 26.0	28 9.0	58 18.6
	男性50-59歳	228 100.0	4 1.8	29 12.7	33 14.5	97 42.5	18 7.9	47 20.6
	男性60-69歳	124 100.0	1 0.8	11 8.9	10 8.1	53 42.7	11 8.9	38 30.6
	女性20-29歳	287 100.0	24 8.4	116 40.4	55 19.2	57 19.9	17 5.9	18 6.3
	女性30-39歳	200 100.0	17 8.5	44 22.0	31 15.5	51 25.5	22 11.0	35 17.5
	女性40-49歳	276 100.0	10 3.6	33 12.0	44 15.9	93 33.7	32 11.6	64 23.2
	女性50-59歳	245 100.0	1 0.4	10 4.1	17 6.9	78 31.8	39 15.9	100 40.8
	女性60-69歳	184 100.0	0 0.0	0 0.0	4 2.2	39 21.2	9 4.9	132 71.7
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	44 3.6	265 21.4	239 19.3	358 28.9	102 8.2	229 18.5
	男性有配偶							
	女性無配偶	1,192 100.0	52 4.4	203 17.0	151 12.7	318 26.7	119 10.0	349 29.3
	女性有配偶							
地域ブロック	北海道	121 100.0	3 2.5	11 9.1	21 17.4	37 30.6	16 13.2	33 27.3
	東北	194 100.0	7 3.6	39 20.1	27 13.9	50 25.8	23 11.9	48 24.7
	関東	805 100.0	35 4.3	165 20.5	132 16.4	226 28.1	73 9.1	174 21.6
	中部	395 100.0	13 3.3	82 20.8	59 14.9	106 26.8	32 8.1	103 26.1
	近畿	409 100.0	16 3.9	79 19.3	75 18.3	117 28.6	31 7.6	91 22.2
	中国	150 100.0	3 2.0	25 16.7	23 15.3	46 30.7	17 11.3	36 24.0
	四国	77 100.0	1 1.3	19 24.7	10 13.0	19 24.7	13 16.9	15 19.5
	九州・沖縄	278 100.0	18 6.5	48 17.3	43 15.5	75 27.0	16 5.8	78 28.1

Q12 子どもは何人いますか。(いない場合は0人)

	Total	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人
Total	5,370 100.0	2,659 49.5	794 14.8	1,348 25.1	492 9.2	52 1.0	16 0.3	3 0.1	1 0.0	5 0.1
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	343 88.9	22 5.7	16 4.1	2 0.5	1 0.3	2 0.5	0 0.0	0 0.0
	男性30-39歳	485 100.0	292 60.2	81 16.7	82 16.9	28 5.8	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0
	男性40-49歳	644 100.0	365 56.7	81 12.6	139 21.6	50 7.8	6 0.9	2 0.3	0 0.0	1 0.2
	男性50-59歳	591 100.0	257 43.5	95 16.1	174 29.4	49 8.3	14 2.4	1 0.2	1 0.2	0 0.0
	男性60-69歳	546 100.0	150 27.5	78 14.3	221 40.5	89 16.3	6 1.1	1 0.2	0 0.0	1 0.2
	女性20-29歳	383 100.0	312 81.5	44 11.5	22 5.7	4 1.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性30-39歳	489 100.0	242 49.5	107 21.9	95 19.4	37 7.6	4 0.8	1 0.2	1 0.2	0 0.0
	女性40-49歳	640 100.0	320 50.0	95 14.8	160 25.0	50 7.8	8 1.3	5 0.8	1 0.2	0 0.0
	女性50-59歳	605 100.0	238 39.3	105 17.4	196 32.4	57 9.4	6 1.0	2 0.3	0 0.0	1 0.2
	女性60-69歳	601 100.0	140 23.3	86 14.3	243 40.4	126 21.0	5 0.8	1 0.2	0 0.0	0 0.0
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	1,097 88.7	39 3.2	67 5.4	23 1.9	8 0.6	2 0.2	0 0.0	1 0.1
	男性有配偶	1,415 100.0	310 21.9	318 22.5	565 39.9	195 13.8	20 1.4	5 0.4	1 0.1	1 0.1
	女性無配偶	1,192 100.0	908 76.2	99 8.3	125 10.5	49 4.1	6 0.5	2 0.2	0 0.0	3 0.3
	女性有配偶	1,526 100.0	344 22.5	338 22.1	591 38.7	225 14.7	18 1.2	7 0.5	2 0.1	1 0.1
地域ブロック	北海道	262 100.0	133 50.8	43 16.4	55 21.0	26 9.9	3 1.1	2 0.8	0 0.0	0 0.0
	東北	421 100.0	204 48.5	60 14.3	108 25.7	44 10.5	2 0.5	2 0.5	0 0.0	1 0.2
	関東	1,738 100.0	929 53.5	265 15.2	401 23.1	116 6.7	18 1.0	3 0.2	3 0.2	1 0.1
	中部	901 100.0	434 48.2	116 12.9	248 27.5	95 10.5	6 0.7	2 0.2	0 0.0	0 0.0
	近畿	883 100.0	429 48.6	130 14.7	230 26.0	81 9.2	9 1.0	3 0.3	0 0.0	0 0.0
	中国	352 100.0	167 47.4	46 13.1	100 28.4	37 10.5	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0
	四国	205 100.0	86 42.0	28 13.7	58 28.3	30 14.6	2 1.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0
	九州・沖縄	608 100.0	277 45.6	106 17.4	148 24.3	63 10.4	11 1.8	2 0.3	0 0.0	0 0.0

Q13 理想の子どもの数は何人ですか。(いない場合は0人)

		Total	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
Total		5,370 100.0	1,615 30.1	460 8.6	2,045 38.1	1,112 20.7	81 1.5	57 1.1
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	130 33.7	38 9.8	166 43.0	48 12.4	2 0.5	2 0.5
	男性30-39歳	485 100.0	134 27.6	56 11.5	200 41.2	85 17.5	6 1.2	4 0.8
	男性40-49歳	644 100.0	218 33.9	71 11.0	243 37.7	95 14.8	7 1.1	10 1.6
	男性50-59歳	591 100.0	196 33.2	57 9.6	206 34.9	112 19.0	13 2.2	7 1.2
	男性60-69歳	546 100.0	124 22.7	30 5.5	213 39.0	161 29.5	10 1.8	8 1.5
	女性20-29歳	383 100.0	95 24.8	23 6.0	174 45.4	76 19.8	7 1.8	8 2.1
	女性30-39歳	489 100.0	111 22.7	46 9.4	226 46.2	90 18.4	10 2.0	6 1.2
	女性40-49歳	640 100.0	259 40.5	59 9.2	207 32.3	104 16.3	4 0.6	7 1.1
	女性50-59歳	605 100.0	214 35.4	51 8.4	200 33.1	128 21.2	8 1.3	4 0.7
	女性60-69歳	601 100.0	134 22.3	29 4.8	210 34.9	213 35.4	14 2.3	1 0.2
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	596 48.2	110 8.9	387 31.3	128 10.3	9 0.7	7 0.6
	男性有配偶	1,415 100.0	206 14.6	142 10.0	641 45.3	373 26.4	29 2.0	24 1.7
	女性無配偶	1,192 100.0	572 48.0	83 7.0	360 30.2	154 12.9	13 1.1	10 0.8
	女性有配偶	1,526 100.0	241 15.8	125 8.2	657 43.1	457 29.9	30 2.0	16 1.1
地域ブロック	北海道	262 100.0	103 39.3	21 8.0	80 30.5	53 20.2	1 0.4	4 1.5
	東北	421 100.0	119 28.3	32 7.6	153 36.3	99 23.5	8 1.9	10 2.4
	関東	1,738 100.0	571 32.9	160 9.2	658 37.9	307 17.7	24 1.4	18 1.0
	中部	901 100.0	270 30.0	66 7.3	355 39.4	194 21.5	12 1.3	4 0.4
	近畿	883 100.0	249 28.2	88 10.0	356 40.3	155 17.6	22 2.5	13 1.5
	中国	352 100.0	92 26.1	27 7.7	133 37.8	97 27.6	0 0.0	3 0.9
	四国	205 100.0	49 23.9	13 6.3	84 41.0	55 26.8	3 1.5	1 0.5
	九州・沖縄	608 100.0	162 26.6	53 8.7	226 37.2	152 25.0	11 1.8	4 0.7

Q14 あなたのイメージする「中流の暮らし」について、あてはまるものを全て選んでください。(複数回答)

	Total	世帯主が正社員として働いている	持ち家(一戸建て・マンションなど)に住んでいる	自家用車を持っている	結婚して、子どもを育てている	年に一度以上、好きな場所に旅行に行ける	子どもに高等教育(大学進学など)を受けさせることができる	老後生活の資金のめどが立っている	自らの趣味にお金をかける余裕がある	毎月の生活費を細かく気にしなくてもよい	好きなときに外食を楽しむ	その他	
Total	5,370 100.0	3,382 63.0	3,284 61.2	3,193 59.5	2,563 47.7	2,612 48.6	2,470 46.0	2,536 47.2	2,838 52.8	2,245 41.8	2,249 41.9	69 1.3	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	245 63.5	179 46.4	182 47.2	184 47.7	154 39.9	112 29.0	180 46.6	108 28.0	140 36.3	8 2.1	
	男性30-39歳	485 100.0	307 63.3	253 52.2	263 54.2	252 52.0	223 46.0	199 41.0	227 46.8	165 34.0	183 37.7	7 1.4	
	男性40-49歳	644 100.0	410 63.7	358 55.6	353 54.8	307 47.7	280 43.5	261 40.5	268 41.6	315 48.9	242 37.6	213 33.1	9 1.4
	男性50-59歳	591 100.0	362 61.3	346 58.5	356 60.2	281 47.5	234 39.6	240 40.6	241 40.8	295 49.9	223 37.7	213 36.0	6 1.0
	男性60-69歳	546 100.0	258 47.3	388 71.1	332 60.8	252 46.2	241 44.1	251 46.0	301 55.1	302 55.3	235 43.0	203 37.2	8 1.5
	女性20-29歳	383 100.0	243 63.4	202 52.7	199 52.0	201 52.5	193 50.4	158 41.3	136 35.5	186 48.6	150 39.2	160 41.8	4 1.0
	女性30-39歳	489 100.0	352 72.0	307 62.8	315 64.4	264 54.0	280 57.3	249 50.9	224 45.8	272 55.6	233 47.6	256 52.4	8 1.6
	女性40-49歳	640 100.0	457 71.4	405 63.3	415 64.8	303 47.3	354 55.3	326 50.9	324 50.6	360 56.3	292 45.6	325 50.8	4 0.6
	女性50-59歳	605 100.0	404 66.8	402 66.4	390 64.5	262 43.3	316 52.2	303 50.1	328 54.2	329 54.4	262 43.3	275 45.5	10 1.7
	女性60-69歳	601 100.0	344 57.2	444 73.9	388 64.6	257 42.8	337 56.1	343 57.1	403 67.1	372 61.9	335 55.7	281 46.8	5 0.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	685 55.4	607 49.1	604 48.8	527 42.6	451 36.5	436 35.2	454 36.7	581 47.0	414 33.5	412 33.3	20 1.6
	男性有配偶	1,415 100.0	897 63.4	917 64.8	882 62.3	749 52.9	681 48.1	655 46.3	667 47.1	738 52.2	559 39.5	540 38.2	18 1.3
	女性無配偶	1,192 100.0	732 61.4	688 57.7	676 56.7	473 39.7	615 51.6	518 43.5	594 49.8	658 55.2	553 46.4	555 46.6	14 1.2
	女性有配偶	1,526 100.0	1,068 70.0	1,072 70.2	1,031 67.6	814 53.3	865 56.7	861 56.4	821 53.8	861 56.4	719 47.1	742 48.6	17 1.1
地域ブロック	北海道	262 100.0	168 64.1	153 58.4	165 63.0	122 46.6	126 48.1	123 46.9	124 47.3	138 52.7	118 45.0	106 40.5	2 0.8
	東北	421 100.0	250 59.4	274 65.1	260 61.8	201 47.7	202 48.0	191 45.4	206 48.9	228 54.2	178 42.3	159 37.8	5 1.2
	関東	1,738 100.0	1,145 65.9	1,064 61.2	931 53.6	824 47.4	884 50.9	803 46.2	815 46.9	936 53.9	721 41.5	767 44.1	26 1.5
	中部	901 100.0	541 60.0	565 62.7	573 63.6	430 47.7	415 46.1	411 45.6	422 46.8	468 51.9	371 41.2	377 41.8	14 1.6
	近畿	883 100.0	555 62.9	543 61.5	522 59.1	431 48.8	444 50.3	415 47.0	410 46.4	471 53.3	380 43.0	370 41.9	10 1.1
	中国	352 100.0	219 62.2	213 60.5	228 64.8	171 48.6	159 45.2	163 46.3	170 48.3	186 52.8	148 42.0	138 39.2	3 0.9
	四国	205 100.0	130 63.4	118 57.6	128 62.4	94 45.9	94 45.9	94 45.9	88 42.9	104 50.7	75 36.6	84 41.0	1 0.5
	九州・沖縄	608 100.0	374 61.5	354 58.2	386 63.5	290 47.7	288 47.4	270 44.4	301 49.5	307 50.5	254 41.8	248 40.8	8 1.3



Q15 あなたのイメージする「中流の暮らし」を送るには、少なくともどれくらいの年収が必要だと思いますか（有配偶の方は夫婦の合計年収、未婚の方は個人の年収）。以下のうちから最も考えに近いものをお答えください。

	Total	200万円以上	400万円以上	600万円以上	800万円以上	1000万円以上	1200万円以上	2000万円以上	
Total	5,370 100.0	177 3.3	1,021 19.0	1,899 35.4	1,344 25.0	650 12.1	165 3.1	114 2.1	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	24 6.2	90 23.3	133 34.5	84 21.8	39 10.1	6 1.6	10 2.6
	男性30-39歳	485 100.0	21 4.3	94 19.4	171 35.3	118 24.3	58 12.0	9 1.9	14 2.9
	男性40-49歳	644 100.0	12 1.9	114 17.7	211 32.8	173 26.9	91 14.1	29 4.5	14 2.2
	男性50-59歳	591 100.0	13 2.2	90 15.2	216 36.5	138 23.4	92 15.6	23 3.9	19 3.2
	男性60-69歳	546 100.0	14 2.6	97 17.8	189 34.6	146 26.7	80 14.7	15 2.7	5 0.9
	女性20-29歳	383 100.0	23 6.0	89 23.2	141 36.8	83 21.7	30 7.8	10 2.6	7 1.8
	女性30-39歳	489 100.0	19 3.9	104 21.3	176 36.0	115 23.5	45 9.2	19 3.9	11 2.3
	女性40-49歳	640 100.0	18 2.8	112 17.5	242 37.8	173 27.0	65 10.2	17 2.7	13 2.0
	女性50-59歳	605 100.0	19 3.1	114 18.8	205 33.9	159 26.3	84 13.9	13 2.1	11 1.8
	女性60-69歳	601 100.0	14 2.3	117 19.5	215 35.8	155 25.8	66 11.0	24 4.0	10 1.7
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	69 5.6	313 25.3	467 37.8	235 19.0	113 9.1	18 1.5	22 1.8
	男性有配偶	1,415 100.0	15 1.1	172 12.2	453 32.0	424 30.0	247 17.5	64 4.5	40 2.8
	女性無配偶	1,192 100.0	62 5.2	332 27.9	456 38.3	218 18.3	89 7.5	10 0.8	25 2.1
	女性有配偶	1,526 100.0	31 2.0	204 13.4	523 34.3	467 30.6	201 13.2	73 4.8	27 1.8
地域ブロック	北海道	262 100.0	12 4.6	55 21.0	94 35.9	68 26.0	23 8.8	5 1.9	5 1.9
	東北	421 100.0	16 3.8	86 20.4	155 36.8	103 24.5	46 10.9	6 1.4	9 2.1
	関東	1,738 100.0	40 2.3	278 16.0	587 33.8	483 27.8	230 13.2	83 4.8	37 2.1
	中部	901 100.0	30 3.3	192 21.3	315 35.0	211 23.4	106 11.8	18 2.0	29 3.2
	近畿	883 100.0	29 3.3	167 18.9	320 36.2	217 24.6	105 11.9	28 3.2	17 1.9
	中国	352 100.0	12 3.4	67 19.0	135 38.4	93 26.4	39 11.1	3 0.9	3 0.9
	四国	205 100.0	10 4.9	45 22.0	79 38.5	35 17.1	24 11.7	8 3.9	4 2.0
	九州・沖縄	608 100.0	28 4.6	131 21.5	214 35.2	134 22.0	77 12.7	14 2.3	10 1.6

Q16 あなたは、あなたがイメージする「中流の暮らし」をされていますか。

		Total	中流より上の暮らしをしている	中流の暮らしをしている	中流より下の暮らしをしている
Total		5,370 100.0	317 5.9	2,061 38.4	2,992 55.7
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	22 5.7	123 31.9	241 62.4
	男性30-39歳	485 100.0	26 5.4	167 34.4	292 60.2
	男性40-49歳	644 100.0	32 5.0	224 34.8	388 60.2
	男性50-59歳	591 100.0	57 9.6	210 35.5	324 54.8
	男性60-69歳	546 100.0	34 6.2	210 38.5	302 55.3
	女性20-29歳	383 100.0	24 6.3	156 40.7	203 53.0
	女性30-39歳	489 100.0	29 5.9	186 38.0	274 56.0
	女性40-49歳	640 100.0	34 5.3	239 37.3	367 57.3
	女性50-59歳	605 100.0	30 5.0	255 42.1	320 52.9
	女性60-69歳	601 100.0	29 4.8	291 48.4	281 46.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	63 5.1	326 26.4	848 68.6
	男性有配偶	1,415 100.0	108 7.6	608 43.0	699 49.4
	女性無配偶	1,192 100.0	58 4.9	386 32.4	748 62.8
	女性有配偶	1,526 100.0	88 5.8	741 48.6	697 45.7
地域ブロック	北海道	262 100.0	18 6.9	81 30.9	163 62.2
	東北	421 100.0	14 3.3	140 33.3	267 63.4
	関東	1,738 100.0	130 7.5	715 41.1	893 51.4
	中部	901 100.0	41 4.6	349 38.7	511 56.7
	近畿	883 100.0	64 7.3	348 39.4	471 53.3
	中国	352 100.0	15 4.3	133 37.8	204 58.0
	四国	205 100.0	12 5.9	70 34.1	123 60.0
	九州・沖縄	608 100.0	23 3.8	225 37.0	360 59.2

Q17 あなたは、あなたがイメージする「中流の暮らし」を送ることを目指していますか。

		Total	目指している	どちらかと言え ば目指している	どちらとも言え ない	どちらかと言え ば目指していな い	目指していない
Total		2,992 100.0	331 11.1	849 28.4	1,308 43.7	283 9.5	221 7.4
性別×年齢階級	男性20-29歳	241 100.0	41 17.0	86 35.7	86 35.7	10 4.1	18 7.5
	男性30-39歳	292 100.0	47 16.1	101 34.6	102 34.9	28 9.6	14 4.8
	男性40-49歳	388 100.0	57 14.7	111 28.6	159 41.0	27 7.0	34 8.8
	男性50-59歳	324 100.0	38 11.7	75 23.1	153 47.2	27 8.3	31 9.6
	男性60-69歳	302 100.0	13 4.3	51 16.9	152 50.3	51 16.9	35 11.6
	女性20-29歳	203 100.0	38 18.7	85 41.9	58 28.6	12 5.9	10 4.9
	女性30-39歳	274 100.0	28 10.2	102 37.2	119 43.4	20 7.3	5 1.8
	女性40-49歳	367 100.0	38 10.4	100 27.2	174 47.4	31 8.4	24 6.5
	女性50-59歳	320 100.0	21 6.6	95 29.7	154 48.1	32 10.0	18 5.6
	女性60-69歳	281 100.0	10 3.6	43 15.3	151 53.7	45 16.0	32 11.4
性別×配偶状態	男性無配偶	848 100.0	95 11.2	230 27.1	364 42.9	76 9.0	83 9.8
	男性有配偶	699 100.0	101 14.4	194 27.8	288 41.2	67 9.6	49 7.0
	女性無配偶	748 100.0	78 10.4	209 27.9	341 45.6	74 9.9	46 6.2
	女性有配偶	697 100.0	57 8.2	216 31.0	315 45.2	66 9.5	43 6.2
地域ブロック	北海道	163 100.0	12 7.4	47 28.8	75 46.0	16 9.8	13 8.0
	東北	267 100.0	30 11.2	84 31.5	110 41.2	21 7.9	22 8.2
	関東	893 100.0	116 13.0	217 24.3	394 44.1	94 10.5	72 8.1
	中部	511 100.0	45 8.8	164 32.1	215 42.1	48 9.4	39 7.6
	近畿	471 100.0	54 11.5	130 27.6	212 45.0	52 11.0	23 4.9
	中国	204 100.0	19 9.3	68 33.3	81 39.7	19 9.3	17 8.3
	四国	123 100.0	11 8.9	41 33.3	57 46.3	5 4.1	9 7.3
	九州・沖縄	360 100.0	44 12.2	98 27.2	164 45.6	28 7.8	26 7.2

Q18 あなたが15歳時の家計の主な支え手はどなたでしたか。

		Total	父親	母親	両親	その他
Total		5,370 100.0	3,987 74.2	493 9.2	833 15.5	57 1.1
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	259 67.1	53 13.7	69 17.9	5 1.3
	男性30-39歳	485 100.0	371 76.5	42 8.7	71 14.6	1 0.2
	男性40-49歳	644 100.0	518 80.4	43 6.7	74 11.5	9 1.4
	男性50-59歳	591 100.0	440 74.5	57 9.6	88 14.9	6 1.0
	男性60-69歳	546 100.0	419 76.7	38 7.0	86 15.8	3 0.5
	女性20-29歳	383 100.0	263 68.7	50 13.1	65 17.0	5 1.3
	女性30-39歳	489 100.0	361 73.8	61 12.5	63 12.9	4 0.8
	女性40-49歳	640 100.0	471 73.6	58 9.1	102 15.9	9 1.4
	女性50-59歳	605 100.0	448 74.0	55 9.1	93 15.4	9 1.5
	女性60-69歳	601 100.0	437 72.7	36 6.0	122 20.3	6 1.0
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	899 72.7	121 9.8	203 16.4	14 1.1
	男性有配偶	1,415 100.0	1,108 78.3	112 7.9	185 13.1	10 0.7
	女性無配偶	1,192 100.0	831 69.7	132 11.1	207 17.4	22 1.8
	女性有配偶	1,526 100.0	1,149 75.3	128 8.4	238 15.6	11 0.7
地域ブロック	北海道	262 100.0	192 73.3	27 10.3	40 15.3	3 1.1
	東北	421 100.0	282 67.0	41 9.7	92 21.9	6 1.4
	関東	1,738 100.0	1,380 79.4	135 7.8	207 11.9	16 0.9
	中部	901 100.0	643 71.4	83 9.2	159 17.6	16 1.8
	近畿	883 100.0	663 75.1	82 9.3	134 15.2	4 0.5
	中国	352 100.0	247 70.2	35 9.9	65 18.5	5 1.4
	四国	205 100.0	143 69.8	16 7.8	44 21.5	2 1.0
	九州・沖縄	608 100.0	437 71.9	74 12.2	92 15.1	5 0.8

Q19 あなたが15歳時の家庭の世帯年収についてお答えください。あてはまると思われるものを選んでください。

		Total	200万円未満	200万円～400万円	400万円～1000万円	1000万円以上	分からない
Total		5,370 100.0	199 3.7	641 11.9	1,372 25.5	317 5.9	2,841 52.9
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	23 6.0	50 13.0	99 25.6	40 10.4	174 45.1
	男性30-39歳	485 100.0	12 2.5	53 10.9	174 35.9	35 7.2	211 43.5
	男性40-49歳	644 100.0	18 2.8	70 10.9	208 32.3	47 7.3	301 46.7
	男性50-59歳	591 100.0	12 2.0	83 14.0	158 26.7	36 6.1	302 51.1
	男性60-69歳	546 100.0	28 5.1	107 19.6	140 25.6	23 4.2	248 45.4
	女性20-29歳	383 100.0	18 4.7	46 12.0	93 24.3	11 2.9	215 56.1
	女性30-39歳	489 100.0	16 3.3	48 9.8	142 29.0	28 5.7	255 52.2
	女性40-49歳	640 100.0	21 3.3	55 8.6	133 20.8	46 7.2	385 60.2
	女性50-59歳	605 100.0	21 3.5	57 9.4	120 19.8	31 5.1	376 62.1
	女性60-69歳	601 100.0	30 5.0	72 12.0	105 17.5	20 3.3	374 62.2
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	57 4.6	185 15.0	329 26.6	76 6.1	590 47.7
	男性有配偶	1,415 100.0	36 2.5	178 12.6	450 31.8	105 7.4	646 45.7
	女性無配偶	1,192 100.0	47 3.9	136 11.4	251 21.1	54 4.5	704 59.1
	女性有配偶	1,526 100.0	59 3.9	142 9.3	342 22.4	82 5.4	901 59.0
地域ブロック	北海道	262 100.0	14 5.3	41 15.6	64 24.4	13 5.0	130 49.6
	東北	421 100.0	30 7.1	61 14.5	93 22.1	19 4.5	218 51.8
	関東	1,738 100.0	48 2.8	147 8.5	465 26.8	141 8.1	937 53.9
	中部	901 100.0	29 3.2	118 13.1	214 23.8	39 4.3	501 55.6
	近畿	883 100.0	32 3.6	104 11.8	228 25.8	62 7.0	457 51.8
	中国	352 100.0	10 2.8	46 13.1	90 25.6	14 4.0	192 54.6
	四国	205 100.0	5 2.4	30 14.6	47 22.9	9 4.4	114 55.6
	九州・沖縄	608 100.0	31 5.1	94 15.5	171 28.1	20 3.3	292 48.0

Q20 あなたが15歳時の主な家計の支え手の就業形態について、最もあてはまるものをお答えください。

	Total	会社などの経営者・役員	正規の職員・従業員	契約社員	アルバイト・パート・タイマー	派遣社員	嘱託	自営業主（飲食店・卸小売店・農業者等）	自由業者（医者・弁護士・会計士・税理士・作家等）	家族従業者（飲食店・卸小売店・農業者等の家族従業者）	会社と雇用関係のない在宅就労・内職	委託労働・請負（雇用関係にない者）	無職	その他
Total	5,370 100.0	523 9.7	3,463 64.5	66 1.2	148 2.8	14 0.3	13 0.2	807 15.0	72 1.3	59 1.1	13 0.2	29 0.5	63 1.2	100 1.9
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	37 9.6	276 71.5	10 2.6	15 3.9	5 1.3	19 4.9	5 1.3	3 0.8	0 0.0	1 0.3	9 2.3	5 1.3
	男性30-39歳	485 100.0	38 7.8	357 73.6	6 1.2	15 3.1	0 0.0	42 8.7	7 1.4	3 0.6	1 0.2	0 0.0	10 2.1	5 1.0
	男性40-49歳	644 100.0	61 9.5	437 67.9	5 0.8	14 2.2	1 0.2	87 13.5	7 1.1	9 1.4	1 0.2	7 1.1	5 0.8	10 1.6
	男性50-59歳	591 100.0	57 9.6	362 61.3	8 1.4	16 2.7	0 0.0	115 19.5	7 1.2	3 0.5	2 0.3	3 0.5	9 1.5	8 1.4
	男性60-69歳	546 100.0	47 8.6	312 57.1	9 1.6	9 1.6	0 0.0	119 21.8	5 0.9	14 2.6	1 0.2	9 1.6	2 0.4	19 3.5
	女性20-29歳	383 100.0	48 12.5	270 70.5	8 2.1	14 3.7	4 1.0	23 6.0	6 1.6	1 0.3	0 0.0	0 0.0	7 1.8	2 0.5
	女性30-39歳	489 100.0	41 8.4	343 70.1	7 1.4	20 4.1	2 0.4	49 10.0	6 1.2	4 0.8	1 0.2	0 0.0	8 1.6	5 1.0
	女性40-49歳	640 100.0	68 10.6	416 65.0	7 1.1	24 3.8	1 0.2	86 13.4	7 1.1	6 0.9	2 0.3	2 0.3	3 0.5	16 2.5
	女性50-59歳	605 100.0	61 10.1	359 59.3	5 0.8	16 2.6	0 0.0	119 19.7	8 1.3	8 1.3	4 0.7	2 0.3	7 1.2	13 2.1
	女性60-69歳	601 100.0	65 10.8	331 55.1	1 0.2	5 0.8	1 0.2	148 24.6	14 2.3	8 1.3	1 0.2	5 0.8	3 0.5	17 2.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	109 8.8	809 65.4	17 1.4	43 3.5	5 0.4	174 14.1	12 1.0	13 1.1	2 0.2	7 0.6	22 1.8	22 1.8
	男性有配偶	1,415 100.0	131 9.3	935 66.1	21 1.5	26 1.8	1 0.1	208 14.7	19 1.3	19 1.3	3 0.2	13 0.9	13 0.9	25 1.8
	女性無配偶	1,192 100.0	131 11.0	763 64.0	15 1.3	41 3.4	6 0.5	150 12.6	19 1.6	11 0.9	4 0.3	4 0.3	17 1.4	28 2.3
	女性有配偶	1,526 100.0	152 10.0	956 62.6	13 0.9	38 2.5	2 0.1	275 18.0	22 1.4	16 1.0	4 0.3	5 0.3	11 0.7	25 1.6
地域ブロック	北海道	262 100.0	24 9.2	163 62.2	6 2.3	11 4.2	1 0.4	36 13.7	6 2.3	1 0.4	0 0.0	0 0.0	5 1.9	8 3.1
	東北	421 100.0	36 8.6	248 58.9	9 2.1	9 2.1	2 0.5	78 18.5	2 0.5	8 1.9	3 0.7	3 0.7	6 1.4	14 3.3
	関東	1,738 100.0	208 12.0	1,142 65.7	11 0.6	38 2.2	7 0.4	230 13.2	30 1.7	15 0.9	5 0.3	10 0.6	14 0.8	26 1.5
	中部	901 100.0	68 7.5	590 65.5	15 1.7	34 3.8	1 0.1	153 17.0	8 0.9	9 1.0	1 0.1	7 0.8	6 0.7	5 0.6
	近畿	883 100.0	92 10.4	568 64.3	8 0.9	23 2.6	3 0.3	132 14.9	8 0.9	10 1.1	2 0.2	6 0.7	14 1.6	15 1.7
	中国	352 100.0	22 6.3	242 68.8	4 1.1	10 2.8	0 0.0	51 14.5	2 0.6	7 2.0	0 0.0	1 0.3	7 2.0	6 1.7
	四国	205 100.0	22 10.7	123 60.0	2 1.0	6 2.9	0 0.0	41 20.0	2 1.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	2 1.0	6 2.9
	九州・沖縄	608 100.0	51 8.4	387 63.7	11 1.8	17 2.8	0 0.0	86 14.1	14 2.3	8 1.3	2 0.3	2 0.3	9 1.5	20 3.3

Q21 あなたが15歳時の家庭の生活水準について、どのように感じていましたか。

	Total	暮らしにかなりの余裕があった	どちらかと言えば暮らしに余裕があった	どちらかと言えば暮らしに余裕はなかった	暮らしに余裕は全くなかった	
Total	5,370 100.0	356 6.6	2,631 49.0	1,923 35.8	460 8.6	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	36 9.3	202 52.3	114 29.5	34 8.8
	男性30-39歳	485 100.0	39 8.0	277 57.1	136 28.0	33 6.8
	男性40-49歳	644 100.0	44 6.8	314 48.8	223 34.6	63 9.8
	男性50-59歳	591 100.0	24 4.1	241 40.8	264 44.7	62 10.5
	男性60-69歳	546 100.0	23 4.2	225 41.2	246 45.1	52 9.5
	女性20-29歳	383 100.0	27 7.0	223 58.2	106 27.7	27 7.0
	女性30-39歳	489 100.0	32 6.5	280 57.3	136 27.8	41 8.4
	女性40-49歳	640 100.0	52 8.1	315 49.2	221 34.5	52 8.1
	女性50-59歳	605 100.0	39 6.5	279 46.1	231 38.2	56 9.3
	女性60-69歳	601 100.0	40 6.7	275 45.8	246 40.9	40 6.7
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	81 6.5	627 50.7	410 33.1	119 9.6
	男性有配偶	1,415 100.0	85 6.0	632 44.7	573 40.5	125 8.8
	女性無配偶	1,192 100.0	93 7.8	617 51.8	379 31.8	103 8.6
	女性有配偶	1,526 100.0	97 6.4	755 49.5	561 36.8	113 7.4
地域ブロック	北海道	262 100.0	14 5.3	101 38.5	114 43.5	33 12.6
	東北	421 100.0	24 5.7	190 45.1	160 38.0	47 11.2
	関東	1,738 100.0	135 7.8	914 52.6	564 32.5	125 7.2
	中部	901 100.0	47 5.2	425 47.2	344 38.2	85 9.4
	近畿	883 100.0	74 8.4	440 49.8	305 34.5	64 7.2
	中国	352 100.0	14 4.0	172 48.9	136 38.6	30 8.5
	四国	205 100.0	13 6.3	103 50.2	72 35.1	17 8.3
	九州・沖縄	608 100.0	35 5.8	286 47.0	228 37.5	59 9.7

Q22 あなたはあなたの親より経済的に豊かになれると思いますか。

		Total	親より経済的に豊か になれると思う	親と経済的に同じぐ らいの豊かさになると 思う	親より経済的に豊か になれないと思う	分からない
Total		5,370 100.0	998 18.6	1,487 27.7	1,944 36.2	941 17.5
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	65 16.8	112 29.0	118 30.6	91 23.6
	男性30-39歳	485 100.0	67 13.8	148 30.5	190 39.2	80 16.5
	男性40-49歳	644 100.0	111 17.2	153 23.8	253 39.3	127 19.7
	男性50-59歳	591 100.0	116 19.6	166 28.1	197 33.3	112 19.0
	男性60-69歳	546 100.0	148 27.1	161 29.5	153 28.0	84 15.4
	女性20-29歳	383 100.0	59 15.4	127 33.2	123 32.1	74 19.3
	女性30-39歳	489 100.0	67 13.7	139 28.4	212 43.4	71 14.5
	女性40-49歳	640 100.0	109 17.0	134 20.9	293 45.8	104 16.3
	女性50-59歳	605 100.0	116 19.2	158 26.1	228 37.7	103 17.0
	女性60-69歳	601 100.0	140 23.3	189 31.4	177 29.5	95 15.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	156 12.6	297 24.0	483 39.0	301 24.3
	男性有配偶	1,415 100.0	351 24.8	443 31.3	428 30.2	193 13.6
	女性無配偶	1,192 100.0	132 11.1	290 24.3	538 45.1	232 19.5
	女性有配偶	1,526 100.0	359 23.5	457 29.9	495 32.4	215 14.1
地域ブロック	北海道	262 100.0	58 22.1	64 24.4	86 32.8	54 20.6
	東北	421 100.0	89 21.1	97 23.0	156 37.1	79 18.8
	関東	1,738 100.0	325 18.7	493 28.4	645 37.1	275 15.8
	中部	901 100.0	162 18.0	241 26.7	335 37.2	163 18.1
	近畿	883 100.0	144 16.3	276 31.3	302 34.2	161 18.2
	中国	352 100.0	66 18.8	95 27.0	122 34.7	69 19.6
	四国	205 100.0	34 16.6	61 29.8	75 36.6	35 17.1
	九州・沖縄	608 100.0	120 19.7	160 26.3	223 36.7	105 17.3



Q23 「親より経済的に豊かになれないと思う」理由として当てはまるものを全て選んでください。(複数回答)

		Total	親とは雇用形態が異なるから	親とは就業先の給与水準が異なるから	親の時代と景気が異なるから	親と学歴が異なるから	親に比べて、生活コストが上がっているから	その他
Total		1,944 100.0	590 30.3	815 41.9	1,183 60.9	133 6.8	760 39.1	84 4.3
性別×年齢階級	男性20-29歳	118 100.0	39 33.1	61 51.7	58 49.2	20 16.9	46 39.0	6 5.1
	男性30-39歳	190 100.0	54 28.4	104 54.7	101 53.2	27 14.2	57 30.0	7 3.7
	男性40-49歳	253 100.0	66 26.1	120 47.4	169 66.8	16 6.3	85 33.6	10 4.0
	男性50-59歳	197 100.0	46 23.4	66 33.5	118 59.9	11 5.6	83 42.1	9 4.6
	男性60-69歳	153 100.0	42 27.5	41 26.8	89 58.2	2 1.3	63 41.2	5 3.3
	女性20-29歳	123 100.0	42 34.1	60 48.8	61 49.6	14 11.4	38 30.9	3 2.4
	女性30-39歳	212 100.0	71 33.5	112 52.8	134 63.2	13 6.1	96 45.3	7 3.3
	女性40-49歳	293 100.0	89 30.4	126 43.0	195 66.6	20 6.8	116 39.6	14 4.8
	女性50-59歳	228 100.0	85 37.3	78 34.2	152 66.7	7 3.1	96 42.1	8 3.5
	女性60-69歳	177 100.0	56 31.6	47 26.6	106 59.9	3 1.7	80 45.2	15 8.5
性別×配偶状態	男性無配偶	483 100.0	153 31.7	220 45.5	274 56.7	53 11.0	157 32.5	34 7.0
	男性有配偶	428 100.0	94 22.0	172 40.2	261 61.0	23 5.4	177 41.4	3 0.7
	女性無配偶	538 100.0	215 40.0	235 43.7	327 60.8	31 5.8	207 38.5	33 6.1
	女性有配偶	495 100.0	128 25.9	188 38.0	321 64.8	26 5.3	219 44.2	14 2.8
地域ブロック	北海道	86 100.0	28 32.6	39 45.3	52 60.5	10 11.6	35 40.7	3 3.5
	東北	156 100.0	52 33.3	67 42.9	91 58.3	14 9.0	66 42.3	5 3.2
	関東	645 100.0	198 30.7	285 44.2	410 63.6	51 7.9	249 38.6	26 4.0
	中部	335 100.0	93 27.8	131 39.1	212 63.3	17 5.1	137 40.9	20 6.0
	近畿	302 100.0	95 31.5	124 41.1	180 59.6	20 6.6	111 36.8	14 4.6
	中国	122 100.0	40 32.8	48 39.3	72 59.0	4 3.3	45 36.9	3 2.5
	四国	75 100.0	24 32.0	31 41.3	50 66.7	3 4.0	28 37.3	3 4.0
	九州・沖縄	223 100.0	60 26.9	90 40.4	116 52.0	14 6.3	89 39.9	10 4.5

Q24 現在の生活水準について、どのように感じていますか。

	Total	暮らしにかなりの余裕がある	どちらかと言えば暮らしに余裕がある	どちらかと言えば暮らしに余裕は無い	暮らしに余裕は全くない	
Total	5,370 100.0	164 3.1	2,161 40.2	2,247 41.8	798 14.9	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	17 4.4	163 42.2	146 37.8	60 15.5
	男性30-39歳	485 100.0	16 3.3	199 41.0	189 39.0	81 16.7
	男性40-49歳	644 100.0	19 3.0	225 34.9	276 42.9	124 19.3
	男性50-59歳	591 100.0	12 2.0	206 34.9	274 46.4	99 16.8
	男性60-69歳	546 100.0	18 3.3	227 41.6	242 44.3	59 10.8
	女性20-29歳	383 100.0	18 4.7	169 44.1	144 37.6	52 13.6
	女性30-39歳	489 100.0	13 2.7	198 40.5	211 43.1	67 13.7
	女性40-49歳	640 100.0	19 3.0	231 36.1	290 45.3	100 15.6
	女性50-59歳	605 100.0	15 2.5	237 39.2	251 41.5	102 16.9
	女性60-69歳	601 100.0	17 2.8	306 50.9	224 37.3	54 9.0
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	38 3.1	416 33.6	523 42.3	260 21.0
	男性有配偶	1,415 100.0	44 3.1	604 42.7	604 42.7	163 11.5
	女性無配偶	1,192 100.0	40 3.4	438 36.7	487 40.9	227 19.0
	女性有配偶	1,526 100.0	42 2.8	703 46.1	633 41.5	148 9.7
地域ブロック	北海道	262 100.0	4 1.5	103 39.3	100 38.2	55 21.0
	東北	421 100.0	12 2.9	144 34.2	188 44.7	77 18.3
	関東	1,738 100.0	59 3.4	763 43.9	677 39.0	239 13.8
	中部	901 100.0	21 2.3	350 38.8	397 44.1	133 14.8
	近畿	883 100.0	33 3.7	367 41.6	366 41.4	117 13.3
	中国	352 100.0	10 2.8	127 36.1	163 46.3	52 14.8
	四国	205 100.0	4 2.0	83 40.5	92 44.9	26 12.7
	九州・沖縄	608 100.0	21 3.5	224 36.8	264 43.4	99 16.3

Q25 あなたの現在の暮らしぶりについて、お答えください。

	Total	世帯主 が正社 員として 働いてい る	持ち家 (一戸 建て・マ ンション など)に 住んでい る	自家用 車を持っ ている	結婚し て、子ど もを育て ている	年に一 度以 上、好き な場所 に旅行に 行ける	子ども に高等教 育(大 学進学 など)を 受けさせ ることが できる	老後生 活の資 金のめど が立って いる	自らの趣 味にお金 をかける 余裕があ る	毎月の 生活費 を細かく 気にしな くてもよい	好きなと きに外食 を楽しめ る	
Total	5,370 100.0	3,435 64.0	3,562 66.3	4,203 78.3	2,327 43.3	2,725 50.7	2,312 43.1	1,330 24.8	2,719 50.6	1,722 32.1	2,906 54.1	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	294 76.2	197 51.0	253 65.5	52 13.5	190 49.2	76 19.7	63 16.3	229 59.3	110 28.5	190 49.2
	男性30-39歳	485 100.0	359 74.0	268 55.3	359 74.0	186 38.4	247 50.9	175 36.1	89 18.4	257 53.0	150 30.9	272 56.1
	男性40-49歳	644 100.0	471 73.1	398 61.8	520 80.7	265 41.1	286 44.4	247 38.4	95 14.8	290 45.0	189 29.3	300 46.6
	男性50-59歳	591 100.0	428 72.4	427 72.3	482 81.6	292 49.4	265 44.8	275 46.5	142 24.0	278 47.0	178 30.1	290 49.1
	男性60-69歳	546 100.0	202 37.0	453 83.0	461 84.4	288 52.7	297 54.4	325 59.5	240 44.0	292 53.5	226 41.4	311 57.0
	女性20-29歳	383 100.0	293 76.5	171 44.6	254 66.3	84 21.9	222 58.0	84 21.9	41 10.7	222 58.0	110 28.7	224 58.5
	女性30-39歳	489 100.0	381 77.9	286 58.5	376 76.9	226 46.2	251 51.3	187 38.2	83 17.0	235 48.1	141 28.8	277 56.6
	女性40-49歳	640 100.0	451 70.5	421 65.8	523 81.7	289 45.2	303 47.3	257 40.2	116 18.1	273 42.7	172 26.9	316 49.4
	女性50-59歳	605 100.0	380 62.8	437 72.2	483 79.8	314 51.9	299 49.4	307 50.7	157 26.0	288 47.6	194 32.1	333 55.0
	女性60-69歳	601 100.0	176 29.3	504 83.9	492 81.9	331 55.1	365 60.7	379 63.1	304 50.6	355 59.1	252 41.9	393 65.4
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	691 55.9	674 54.5	810 65.5	59 4.8	503 40.7	189 15.3	198 16.0	642 51.9	358 28.9	600 48.5
	男性有配偶	1,415 100.0	1,063 75.1	1,069 75.5	1,265 89.4	1,024 72.4	782 55.3	909 64.2	431 30.5	704 49.8	495 35.0	763 53.9
	女性無配偶	1,192 100.0	582 48.8	687 57.6	757 63.5	139 11.7	574 48.2	260 21.8	224 18.8	597 50.1	330 27.7	628 52.7
	女性有配偶	1,526 100.0	1,099 72.0	1,132 74.2	1,371 89.8	1,105 72.4	866 56.7	954 62.5	477 31.3	776 50.9	539 35.3	915 60.0
地域ブロック	北海道	262 100.0	159 60.7	140 53.4	204 77.9	108 41.2	116 44.3	100 38.2	55 21.0	119 45.4	77 29.4	128 48.9
	東北	421 100.0	262 62.2	312 74.1	377 89.5	191 45.4	175 41.6	180 42.8	94 22.3	185 43.9	103 24.5	204 48.5
	関東	1,738 100.0	1,176 67.7	1,106 63.6	1,149 66.1	704 40.5	1,002 57.7	758 43.6	457 26.3	970 55.8	633 36.4	1,035 59.6
	中部	901 100.0	565 62.7	638 70.8	818 90.8	411 45.6	448 49.7	377 41.8	215 23.9	450 49.9	280 31.1	488 54.2
	近畿	883 100.0	551 62.4	614 69.5	651 73.7	385 43.6	479 54.2	390 44.2	240 27.2	451 51.1	304 34.4	503 57.0
	中国	352 100.0	216 61.4	241 68.5	309 87.8	157 44.6	157 44.6	155 44.0	80 22.7	166 47.2	106 30.1	161 45.7
	四国	205 100.0	129 62.9	156 76.1	187 91.2	101 49.3	78 38.0	93 45.4	52 25.4	96 46.8	57 27.8	99 48.3
	九州・沖縄	608 100.0	377 62.0	355 58.4	508 83.6	270 44.4	270 44.4	259 42.6	137 22.5	282 46.4	162 26.6	288 47.4

Q26 日本の中で「生活水準」を5つの層に分けるとすれば、あなた自身の生活水準は、次のどれに入りますか。

		Total	上	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない
Total		5,370 100.0	36 0.7	908 16.9	2,059 38.3	1,273 23.7	606 11.3	488 9.1
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	5 1.3	56 14.5	121 31.3	115 29.8	47 12.2	42 10.9
	男性30-39歳	485 100.0	4 0.8	69 14.2	191 39.4	120 24.7	65 13.4	36 7.4
	男性40-49歳	644 100.0	5 0.8	81 12.6	231 35.9	179 27.8	102 15.8	46 7.1
	男性50-59歳	591 100.0	4 0.7	117 19.8	212 35.9	140 23.7	89 15.1	29 4.9
	男性60-69歳	546 100.0	3 0.5	110 20.1	229 41.9	111 20.3	49 9.0	44 8.1
	女性20-29歳	383 100.0	2 0.5	60 15.7	137 35.8	105 27.4	38 9.9	41 10.7
	女性30-39歳	489 100.0	3 0.6	72 14.7	210 42.9	123 25.2	44 9.0	37 7.6
	女性40-49歳	640 100.0	4 0.6	95 14.8	231 36.1	147 23.0	83 13.0	80 12.5
	女性50-59歳	605 100.0	3 0.5	110 18.2	239 39.5	123 20.3	58 9.6	72 11.9
	女性60-69歳	601 100.0	3 0.5	138 23.0	258 42.9	110 18.3	31 5.2	61 10.1
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	12 1.0	119 9.6	385 31.1	353 28.5	237 19.2	131 10.6
	男性有配偶	1,415 100.0	9 0.6	314 22.2	599 42.3	312 22.0	115 8.1	66 4.7
	女性無配偶	1,192 100.0	6 0.5	150 12.6	391 32.8	318 26.7	168 14.1	159 13.3
	女性有配偶	1,526 100.0	9 0.6	325 21.3	684 44.8	290 19.0	86 5.6	132 8.7
地域ブロック	北海道	262 100.0	3 1.1	41 15.6	87 33.2	65 24.8	41 15.6	25 9.5
	東北	421 100.0	5 1.2	60 14.3	140 33.3	110 26.1	66 15.7	40 9.5
	関東	1,738 100.0	13 0.7	351 20.2	687 39.5	356 20.5	165 9.5	166 9.6
	中部	901 100.0	2 0.2	141 15.6	350 38.8	237 26.3	98 10.9	73 8.1
	近畿	883 100.0	8 0.9	159 18.0	319 36.1	213 24.1	99 11.2	85 9.6
	中国	352 100.0	2 0.6	44 12.5	154 43.8	92 26.1	35 9.9	25 7.1
	四国	205 100.0	1 0.5	32 15.6	74 36.1	58 28.3	22 10.7	18 8.8
	九州・沖縄	608 100.0	2 0.3	80 13.2	248 40.8	142 23.4	80 13.2	56 9.2

Q27 あなたの現在の消費スタイルについて、最も近いものをお答え下さい。

		Total	節約せず、いまの消費を重視している	節約をあまり意識せず消費している	節約のため、無駄な消費をしない	節約を最優先に、生活を切り詰めている	その他
Total		5,370 100.0	159 3.0	1,469 27.4	3,160 58.8	561 10.4	21 0.4
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	16 4.1	98 25.4	219 56.7	53 13.7	0 0.0
	男性30-39歳	485 100.0	20 4.1	137 28.2	278 57.3	47 9.7	3 0.6
	男性40-49歳	644 100.0	20 3.1	157 24.4	376 58.4	90 14.0	1 0.2
	男性50-59歳	591 100.0	23 3.9	151 25.5	337 57.0	79 13.4	1 0.2
	男性60-69歳	546 100.0	10 1.8	157 28.8	325 59.5	52 9.5	2 0.4
	女性20-29歳	383 100.0	15 3.9	91 23.8	233 60.8	43 11.2	1 0.3
	女性30-39歳	489 100.0	16 3.3	140 28.6	293 59.9	39 8.0	1 0.2
	女性40-49歳	640 100.0	17 2.7	177 27.7	380 59.4	63 9.8	3 0.5
	女性50-59歳	605 100.0	12 2.0	156 25.8	380 62.8	51 8.4	6 1.0
	女性60-69歳	601 100.0	10 1.7	205 34.1	339 56.4	44 7.3	3 0.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	45 3.6	327 26.4	668 54.0	194 15.7	3 0.2
	男性有配偶	1,415 100.0	44 3.1	373 26.4	867 61.3	127 9.0	4 0.3
	女性無配偶	1,192 100.0	34 2.9	325 27.3	691 58.0	136 11.4	6 0.5
	女性有配偶	1,526 100.0	36 2.4	444 29.1	934 61.2	104 6.8	8 0.5
地域ブロック	北海道	262 100.0	7 2.7	77 29.4	142 54.2	36 13.7	0 0.0
	東北	421 100.0	13 3.1	106 25.2	244 58.0	57 13.5	1 0.2
	関東	1,738 100.0	53 3.0	509 29.3	1,004 57.8	162 9.3	10 0.6
	中部	901 100.0	17 1.9	256 28.4	527 58.5	99 11.0	2 0.2
	近畿	883 100.0	31 3.5	244 27.6	512 58.0	91 10.3	5 0.6
	中国	352 100.0	13 3.7	84 23.9	220 62.5	34 9.7	1 0.3
	四国	205 100.0	9 4.4	56 27.3	120 58.5	20 9.8	0 0.0
	九州・沖縄	608 100.0	16 2.6	137 22.5	391 64.3	62 10.2	2 0.3

Q28 あなたのお宅では、この2、3年の間に、何か節約していることがありますか。つぎにあげる費用についてお答えください。

		Total	食料品を購入する費用		
			節約している	節約していない	もともと支出していない
Total		5,370 100.0	3,483 64.9	1,716 32.0	171 3.2
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	230 59.6	114 29.5	42 10.9
	男性30-39歳	485 100.0	302 62.3	161 33.2	22 4.5
	男性40-49歳	644 100.0	402 62.4	225 34.9	17 2.6
	男性50-59歳	591 100.0	395 66.8	183 31.0	13 2.2
	男性60-69歳	546 100.0	346 63.4	196 35.9	4 0.7
	女性20-29歳	383 100.0	252 65.8	102 26.6	29 7.6
	女性30-39歳	489 100.0	327 66.9	144 29.4	18 3.7
	女性40-49歳	640 100.0	441 68.9	186 29.1	13 2.0
	女性50-59歳	605 100.0	410 67.8	185 30.6	10 1.7
	女性60-69歳	601 100.0	378 62.9	220 36.6	3 0.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	766 61.9	390 31.5	81 6.5
	男性有配偶	1,415 100.0	909 64.2	489 34.6	17 1.2
	女性無配偶	1,192 100.0	766 64.3	368 30.9	58 4.9
	女性有配偶	1,526 100.0	1,042 68.3	469 30.7	15 1.0
地域ブロック	北海道	262 100.0	169 64.5	85 32.4	8 3.1
	東北	421 100.0	267 63.4	139 33.0	15 3.6
	関東	1,738 100.0	1,110 63.9	583 33.5	45 2.6
	中部	901 100.0	601 66.7	262 29.1	38 4.2
	近畿	883 100.0	551 62.4	293 33.2	39 4.4
	中国	352 100.0	229 65.1	115 32.7	8 2.3
	四国	205 100.0	139 67.8	59 28.8	7 3.4
	九州・沖縄	608 100.0	417 68.6	180 29.6	11 1.8

		Total	衣服を購入する費用		
			節約している	節約していない	もともと支出していない
Total		5,370 100.0	3,827 71.3	1,205 22.4	338 6.3
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	223 57.8	103 26.7	60 15.5
	男性30-39歳	485 100.0	327 67.4	109 22.5	49 10.1
	男性40-49歳	644 100.0	466 72.4	134 20.8	44 6.8
	男性50-59歳	591 100.0	426 72.1	122 20.6	43 7.3
	男性60-69歳	546 100.0	385 70.5	139 25.5	22 4.0
	女性20-29歳	383 100.0	274 71.5	88 23.0	21 5.5
	女性30-39歳	489 100.0	371 75.9	100 20.4	18 3.7
	女性40-49歳	640 100.0	484 75.6	134 20.9	22 3.4
	女性50-59歳	605 100.0	446 73.7	127 21.0	32 5.3
	女性60-69歳	601 100.0	425 70.7	149 24.8	27 4.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	800 64.7	286 23.1	151 12.2
	男性有配偶	1,415 100.0	1,027 72.6	321 22.7	67 4.7
	女性無配偶	1,192 100.0	843 70.7	287 24.1	62 5.2
	女性有配偶	1,526 100.0	1,157 75.8	311 20.4	58 3.8
地域ブロック	北海道	262 100.0	182 69.5	63 24.0	17 6.5
	東北	421 100.0	311 73.9	73 17.3	37 8.8
	関東	1,738 100.0	1,211 69.7	428 24.6	99 5.7
	中部	901 100.0	649 72.0	184 20.4	68 7.5
	近畿	883 100.0	598 67.7	232 26.3	53 6.0
	中国	352 100.0	262 74.4	75 21.3	15 4.3
	四国	205 100.0	152 74.1	41 20.0	12 5.9
	九州・沖縄	608 100.0	462 76.0	109 17.9	37 6.1

		Total	書籍の購入・教育にかかる費用		
			節約している	節約していない	もともと支出していない
Total		5,370 100.0	2,235 41.6	1,834 34.2	1,301 24.2
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	154 39.9	116 30.1	116 30.1
	男性30-39歳	485 100.0	194 40.0	172 35.5	119 24.5
	男性40-49歳	644 100.0	281 43.6	236 36.6	127 19.7
	男性50-59歳	591 100.0	286 48.4	186 31.5	119 20.1
	男性60-69歳	546 100.0	246 45.1	181 33.2	119 21.8
	女性20-29歳	383 100.0	166 43.3	97 25.3	120 31.3
	女性30-39歳	489 100.0	187 38.2	183 37.4	119 24.3
	女性40-49歳	640 100.0	257 40.2	238 37.2	145 22.7
	女性50-59歳	605 100.0	235 38.8	219 36.2	151 25.0
	女性60-69歳	601 100.0	229 38.1	206 34.3	166 27.6
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	535 43.2	328 26.5	374 30.2
	男性有配偶	1,415 100.0	626 44.2	563 39.8	226 16.0
	女性無配偶	1,192 100.0	485 40.7	331 27.8	376 31.5
	女性有配偶	1,526 100.0	589 38.6	612 40.1	325 21.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	100 38.2	91 34.7	71 27.1
	東北	421 100.0	194 46.1	127 30.2	100 23.8
	関東	1,738 100.0	661 38.0	664 38.2	413 23.8
	中部	901 100.0	407 45.2	275 30.5	219 24.3
	近畿	883 100.0	362 41.0	316 35.8	205 23.2
	中国	352 100.0	166 47.2	112 31.8	74 21.0
	四国	205 100.0	81 39.5	68 33.2	56 27.3
	九州・沖縄	608 100.0	264 43.4	181 29.8	163 26.8



	Total	交際費			
		節約している	節約していない	もともと支出していない	
Total	5,370 100.0	2,720 50.7	1,785 33.2	865 16.1	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	152 39.4	129 33.4	105 27.2
	男性30-39歳	485 100.0	238 49.1	152 31.3	95 19.6
	男性40-49歳	644 100.0	369 57.3	172 26.7	103 16.0
	男性50-59歳	591 100.0	328 55.5	167 28.3	96 16.2
	男性60-69歳	546 100.0	296 54.2	166 30.4	84 15.4
	女性20-29歳	383 100.0	174 45.4	146 38.1	63 16.4
	女性30-39歳	489 100.0	235 48.1	176 36.0	78 16.0
	女性40-49歳	640 100.0	347 54.2	204 31.9	89 13.9
	女性50-59歳	605 100.0	310 51.2	218 36.0	77 12.7
	女性60-69歳	601 100.0	271 45.1	255 42.4	75 12.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	554 44.8	373 30.2	310 25.1
	男性有配偶	1,415 100.0	829 58.6	413 29.2	173 12.2
	女性無配偶	1,192 100.0	569 47.7	439 36.8	184 15.4
	女性有配偶	1,526 100.0	768 50.3	560 36.7	198 13.0
地域ブロック	北海道	262 100.0	137 52.3	74 28.2	51 19.5
	東北	421 100.0	225 53.4	128 30.4	68 16.2
	関東	1,738 100.0	856 49.3	624 35.9	258 14.8
	中部	901 100.0	452 50.2	289 32.1	160 17.8
	近畿	883 100.0	450 51.0	304 34.4	129 14.6
	中国	352 100.0	176 50.0	117 33.2	59 16.8
	四国	205 100.0	94 45.9	72 35.1	39 19.0
	九州・沖縄	608 100.0	330 54.3	177 29.1	101 16.6

	Total	娯楽・レジャーの費用			
		節約している	節約していない	もともと支出していない	
Total	5,370 100.0	2,879 53.6	1,820 33.9	671 12.5	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	171 44.3	152 39.4	63 16.3
	男性30-39歳	485 100.0	249 51.3	172 35.5	64 13.2
	男性40-49歳	644 100.0	369 57.3	201 31.2	74 11.5
	男性50-59歳	591 100.0	327 55.3	187 31.6	77 13.0
	男性60-69歳	546 100.0	310 56.8	170 31.1	66 12.1
	女性20-29歳	383 100.0	190 49.6	149 38.9	44 11.5
	女性30-39歳	489 100.0	250 51.1	188 38.4	51 10.4
	女性40-49歳	640 100.0	362 56.6	208 32.5	70 10.9
	女性50-59歳	605 100.0	344 56.9	179 29.6	82 13.6
	女性60-69歳	601 100.0	307 51.1	214 35.6	80 13.3
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	584 47.2	424 34.3	229 18.5
	男性有配偶	1,415 100.0	842 59.5	458 32.4	115 8.1
	女性無配偶	1,192 100.0	621 52.1	409 34.3	162 13.6
	女性有配偶	1,526 100.0	832 54.5	529 34.7	165 10.8
地域ブロック	北海道	262 100.0	132 50.4	91 34.7	39 14.9
	東北	421 100.0	232 55.1	119 28.3	70 16.6
	関東	1,738 100.0	901 51.8	643 37.0	194 11.2
	中部	901 100.0	491 54.5	294 32.6	116 12.9
	近畿	883 100.0	459 52.0	328 37.1	96 10.9
	中国	352 100.0	198 56.3	115 32.7	39 11.1
	四国	205 100.0	111 54.1	67 32.7	27 13.2
	九州・沖縄	608 100.0	355 58.4	163 26.8	90 14.8

Q29 将来に対する希望について、あなたの考えに最も近いものをお答え下さい。

		Total	希望がある	どちらかと言う と希望がある	どちらとも言え ない	どちらかと言う と希望がない	全く希望がな い
Total		5,370 100.0	296 5.5	1,246 23.2	2,493 46.4	920 17.1	415 7.7
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	51 13.2	109 28.2	144 37.3	53 13.7	29 7.5
	男性30-39歳	485 100.0	44 9.1	143 29.5	187 38.6	64 13.2	47 9.7
	男性40-49歳	644 100.0	35 5.4	113 17.5	283 43.9	130 20.2	83 12.9
	男性50-59歳	591 100.0	23 3.9	100 16.9	312 52.8	111 18.8	45 7.6
	男性60-69歳	546 100.0	17 3.1	115 21.1	302 55.3	88 16.1	24 4.4
	女性20-29歳	383 100.0	38 9.9	132 34.5	132 34.5	55 14.4	26 6.8
	女性30-39歳	489 100.0	32 6.5	141 28.8	197 40.3	88 18.0	31 6.3
	女性40-49歳	640 100.0	23 3.6	147 23.0	301 47.0	110 17.2	59 9.2
	女性50-59歳	605 100.0	22 3.6	128 21.2	292 48.3	116 19.2	47 7.8
	女性60-69歳	601 100.0	11 1.8	118 19.6	343 57.1	105 17.5	24 4.0
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	77 6.2	233 18.8	545 44.1	229 18.5	153 12.4
	男性有配偶	1,415 100.0	93 6.6	347 24.5	683 48.3	217 15.3	75 5.3
	女性無配偶	1,192 100.0	63 5.3	247 20.7	508 42.6	253 21.2	121 10.2
	女性有配偶	1,526 100.0	63 4.1	419 27.5	757 49.6	221 14.5	66 4.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	17 6.5	50 19.1	120 45.8	49 18.7	26 9.9
	東北	421 100.0	19 4.5	96 22.8	186 44.2	77 18.3	43 10.2
	関東	1,738 100.0	110 6.3	421 24.2	790 45.5	290 16.7	127 7.3
	中部	901 100.0	47 5.2	212 23.5	400 44.4	173 19.2	69 7.7
	近畿	883 100.0	47 5.3	210 23.8	423 47.9	145 16.4	58 6.6
	中国	352 100.0	18 5.1	71 20.2	177 50.3	57 16.2	29 8.2
	四国	205 100.0	5 2.4	49 23.9	107 52.2	32 15.6	12 5.9
	九州・沖縄	608 100.0	33 5.4	137 22.5	290 47.7	97 16.0	51 8.4

Q30 将来の暮らし向きの見通しについて、最も近いものをお答えください。

		Total	今より暮らし向きは良くなる	今の暮らし向きを維持できる	今より暮らし向きは悪くなる
Total		5,370 100.0	514 9.6	2,859 53.2	1,997 37.2
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	86 22.3	191 49.5	109 28.2
	男性30-39歳	485 100.0	75 15.5	270 55.7	140 28.9
	男性40-49歳	644 100.0	66 10.2	324 50.3	254 39.4
	男性50-59歳	591 100.0	37 6.3	288 48.7	266 45.0
	男性60-69歳	546 100.0	22 4.0	315 57.7	209 38.3
	女性20-29歳	383 100.0	80 20.9	219 57.2	84 21.9
	女性30-39歳	489 100.0	50 10.2	281 57.5	158 32.3
	女性40-49歳	640 100.0	56 8.8	333 52.0	251 39.2
	女性50-59歳	605 100.0	27 4.5	292 48.3	286 47.3
	女性60-69歳	601 100.0	15 2.5	346 57.6	240 39.9
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	141 11.4	609 49.2	487 39.4
	男性有配偶	1,415 100.0	145 10.2	779 55.1	491 34.7
	女性無配偶	1,192 100.0	119 10.0	578 48.5	495 41.5
	女性有配偶	1,526 100.0	109 7.1	893 58.5	524 34.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	21 8.0	133 50.8	108 41.2
	東北	421 100.0	36 8.6	204 48.5	181 43.0
	関東	1,738 100.0	170 9.8	949 54.6	619 35.6
	中部	901 100.0	74 8.2	471 52.3	356 39.5
	近畿	883 100.0	91 10.3	475 53.8	317 35.9
	中国	352 100.0	30 8.5	202 57.4	120 34.1
	四国	205 100.0	19 9.3	112 54.6	74 36.1
	九州・沖縄	608 100.0	73 12.0	313 51.5	222 36.5

Q31 よい人生を送るための条件として下記の項目はどの程度重要だと考えていますか。

		Total	真面目に努力すること			
			とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない
Total		5,370 100.0	1,010 18.8	3,621 67.4	639 11.9	100 1.9
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	112 29.0	219 56.7	44 11.4	11 2.8
	男性30-39歳	485 100.0	106 21.9	300 61.9	65 13.4	14 2.9
	男性40-49歳	644 100.0	143 22.2	386 59.9	92 14.3	23 3.6
	男性50-59歳	591 100.0	91 15.4	401 67.9	84 14.2	15 2.5
	男性60-69歳	546 100.0	68 12.5	400 73.3	68 12.5	10 1.8
	女性20-29歳	383 100.0	96 25.1	245 64.0	39 10.2	3 0.8
	女性30-39歳	489 100.0	96 19.6	339 69.3	48 9.8	6 1.2
	女性40-49歳	640 100.0	116 18.1	447 69.8	68 10.6	9 1.4
	女性50-59歳	605 100.0	92 15.2	436 72.1	69 11.4	8 1.3
	女性60-69歳	601 100.0	90 15.0	448 74.5	62 10.3	1 0.2
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	237 19.2	760 61.4	199 16.1	41 3.3
	男性有配偶	1,415 100.0	283 20.0	946 66.9	154 10.9	32 2.3
	女性無配偶	1,192 100.0	210 17.6	841 70.6	128 10.7	13 1.1
	女性有配偶	1,526 100.0	280 18.3	1,074 70.4	158 10.4	14 0.9
地域ブロック	北海道	262 100.0	36 13.7	194 74.0	28 10.7	4 1.5
	東北	421 100.0	72 17.1	275 65.3	60 14.3	14 3.3
	関東	1,738 100.0	347 20.0	1,153 66.3	208 12.0	30 1.7
	中部	901 100.0	157 17.4	614 68.1	114 12.7	16 1.8
	近畿	883 100.0	169 19.1	615 69.6	82 9.3	17 1.9
	中国	352 100.0	67 19.0	237 67.3	43 12.2	5 1.4
	四国	205 100.0	46 22.4	128 62.4	28 13.7	3 1.5
	九州・沖縄	608 100.0	116 19.1	405 66.6	76 12.5	11 1.8

		Total	親の収入や学歴が高いこと			
			とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない
Total		5,370 100.0	472 8.8	2,198 40.9	2,259 42.1	441 8.2
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	56 14.5	168 43.5	135 35.0	27 7.0
	男性30-39歳	485 100.0	53 10.9	207 42.7	177 36.5	48 9.9
	男性40-49歳	644 100.0	62 9.6	242 37.6	270 41.9	70 10.9
	男性50-59歳	591 100.0	39 6.6	230 38.9	267 45.2	55 9.3
	男性60-69歳	546 100.0	21 3.8	210 38.5	266 48.7	49 9.0
	女性20-29歳	383 100.0	52 13.6	168 43.9	136 35.5	27 7.0
	女性30-39歳	489 100.0	42 8.6	214 43.8	200 40.9	33 6.7
	女性40-49歳	640 100.0	66 10.3	274 42.8	257 40.2	43 6.7
	女性50-59歳	605 100.0	51 8.4	231 38.2	278 46.0	45 7.4
女性60-69歳	601 100.0	30 5.0	254 42.3	273 45.4	44 7.3	
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	130 10.5	458 37.0	519 42.0	130 10.5
	男性有配偶	1,415 100.0	101 7.1	599 42.3	596 42.1	119 8.4
	女性無配偶	1,192 100.0	121 10.2	480 40.3	510 42.8	81 6.8
	女性有配偶	1,526 100.0	120 7.9	661 43.3	634 41.5	111 7.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	30 11.5	93 35.5	113 43.1	26 9.9
	東北	421 100.0	45 10.7	157 37.3	182 43.2	37 8.8
	関東	1,738 100.0	157 9.0	758 43.6	678 39.0	145 8.3
	中部	901 100.0	72 8.0	369 41.0	387 43.0	73 8.1
	近畿	883 100.0	78 8.8	369 41.8	370 41.9	66 7.5
	中国	352 100.0	24 6.8	135 38.4	163 46.3	30 8.5
	四国	205 100.0	11 5.4	87 42.4	88 42.9	19 9.3
	九州・沖縄	608 100.0	55 9.0	230 37.8	278 45.7	45 7.4

		Total	よい教育を受けられること			
			とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない
Total		5,370 100.0	901 16.8	3,312 61.7	1,023 19.1	134 2.5
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	95 24.6	214 55.4	60 15.5	17 4.4
	男性30-39歳	485 100.0	98 20.2	279 57.5	98 20.2	10 2.1
	男性40-49歳	644 100.0	137 21.3	374 58.1	112 17.4	21 3.3
	男性50-59歳	591 100.0	73 12.4	367 62.1	139 23.5	12 2.0
	男性60-69歳	546 100.0	47 8.6	360 65.9	124 22.7	15 2.7
	女性20-29歳	383 100.0	82 21.4	225 58.7	68 17.8	8 2.1
	女性30-39歳	489 100.0	86 17.6	314 64.2	80 16.4	9 1.8
	女性40-49歳	640 100.0	124 19.4	389 60.8	108 16.9	19 3.0
	女性50-59歳	605 100.0	90 14.9	387 64.0	114 18.8	14 2.3
	女性60-69歳	601 100.0	69 11.5	403 67.1	120 20.0	9 1.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	219 17.7	703 56.8	272 22.0	43 3.5
	男性有配偶	1,415 100.0	231 16.3	891 63.0	261 18.4	32 2.3
	女性無配偶	1,192 100.0	207 17.4	724 60.7	230 19.3	31 2.6
	女性有配偶	1,526 100.0	244 16.0	994 65.1	260 17.0	28 1.8
地域ブロック	北海道	262 100.0	43 16.4	156 59.5	55 21.0	8 3.1
	東北	421 100.0	69 16.4	257 61.1	82 19.5	13 3.1
	関東	1,738 100.0	341 19.6	1,071 61.6	288 16.6	38 2.2
	中部	901 100.0	137 15.2	540 59.9	196 21.8	28 3.1
	近畿	883 100.0	129 14.6	560 63.4	180 20.4	14 1.6
	中国	352 100.0	53 15.1	219 62.2	67 19.0	13 3.7
	四国	205 100.0	24 11.7	131 63.9	45 22.0	5 2.4
	九州・沖縄	608 100.0	105 17.3	378 62.2	110 18.1	15 2.5

		Total	人脈やコネに恵まれること			
			とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない
Total		5,370 100.0	828 15.4	3,159 58.8	1,211 22.6	172 3.2
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	95 24.6	213 55.2	64 16.6	14 3.6
	男性30-39歳	485 100.0	122 25.2	270 55.7	80 16.5	13 2.7
	男性40-49歳	644 100.0	119 18.5	397 61.6	101 15.7	27 4.2
	男性50-59歳	591 100.0	81 13.7	340 57.5	151 25.5	19 3.2
	男性60-69歳	546 100.0	41 7.5	287 52.6	193 35.3	25 4.6
	女性20-29歳	383 100.0	85 22.2	217 56.7	74 19.3	7 1.8
	女性30-39歳	489 100.0	77 15.7	317 64.8	82 16.8	13 2.7
	女性40-49歳	640 100.0	90 14.1	432 67.5	101 15.8	17 2.7
	女性50-59歳	605 100.0	80 13.2	361 59.7	150 24.8	14 2.3
	女性60-69歳	601 100.0	38 6.3	325 54.1	215 35.8	23 3.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	260 21.0	684 55.3	247 20.0	46 3.7
	男性有配偶	1,415 100.0	198 14.0	823 58.2	342 24.2	52 3.7
	女性無配偶	1,192 100.0	194 16.3	737 61.8	230 19.3	31 2.6
	女性有配偶	1,526 100.0	176 11.5	915 60.0	392 25.7	43 2.8
地域ブロック	北海道	262 100.0	37 14.1	159 60.7	61 23.3	5 1.9
	東北	421 100.0	62 14.7	219 52.0	121 28.7	19 4.5
	関東	1,738 100.0	288 16.6	1,041 59.9	357 20.5	52 3.0
	中部	901 100.0	138 15.3	542 60.2	194 21.5	27 3.0
	近畿	883 100.0	139 15.7	506 57.3	218 24.7	20 2.3
	中国	352 100.0	47 13.4	215 61.1	76 21.6	14 4.0
	四国	205 100.0	30 14.6	125 61.0	41 20.0	9 4.4
	九州・沖縄	608 100.0	87 14.3	352 57.9	143 23.5	26 4.3



		Total	景気のいい時代に生まれ育つこと			
			とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない
Total		5,370 100.0	912 17.0	3,012 56.1	1,284 23.9	162 3.0
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	100 25.9	203 52.6	71 18.4	12 3.1
	男性30-39歳	485 100.0	113 23.3	246 50.7	108 22.3	18 3.7
	男性40-49歳	644 100.0	133 20.7	356 55.3	130 20.2	25 3.9
	男性50-59歳	591 100.0	88 14.9	313 53.0	177 29.9	13 2.2
	男性60-69歳	546 100.0	44 8.1	289 52.9	194 35.5	19 3.5
	女性20-29歳	383 100.0	93 24.3	215 56.1	63 16.4	12 3.1
	女性30-39歳	489 100.0	93 19.0	289 59.1	92 18.8	15 3.1
	女性40-49歳	640 100.0	123 19.2	381 59.5	117 18.3	19 3.0
	女性50-59歳	605 100.0	75 12.4	354 58.5	157 26.0	19 3.1
	女性60-69歳	601 100.0	50 8.3	366 60.9	175 29.1	10 1.7
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	250 20.2	650 52.5	295 23.8	42 3.4
	男性有配偶	1,415 100.0	228 16.1	757 53.5	385 27.2	45 3.2
	女性無配偶	1,192 100.0	230 19.3	670 56.2	252 21.1	40 3.4
	女性有配偶	1,526 100.0	204 13.4	935 61.3	352 23.1	35 2.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	49 18.7	146 55.7	61 23.3	6 2.3
	東北	421 100.0	73 17.3	203 48.2	132 31.4	13 3.1
	関東	1,738 100.0	312 18.0	969 55.8	411 23.6	46 2.6
	中部	901 100.0	172 19.1	492 54.6	212 23.5	25 2.8
	近畿	883 100.0	138 15.6	517 58.6	202 22.9	26 2.9
	中国	352 100.0	49 13.9	215 61.1	76 21.6	12 3.4
	四国	205 100.0	26 12.7	120 58.5	53 25.9	6 2.9
	九州・沖縄	608 100.0	93 15.3	350 57.6	137 22.5	28 4.6

Q32 よい人生を送るための条件として、最も重要な項目はどれだと思いますか。※最もお気持ちに近いものをお選びください。

		Total	真面目に努力すること	親の収入や学歴が高いこと	よい教育を受けられること	人脈やコネに恵まれること	景気のいい時代に生まれ育つこと
Total		5,370 100.0	2,478 46.1	372 6.9	896 16.7	830 15.5	794 14.8
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	149 38.6	34 8.8	62 16.1	78 20.2	63 16.3
	男性30-39歳	485 100.0	194 40.0	32 6.6	81 16.7	118 24.3	60 12.4
	男性40-49歳	644 100.0	291 45.2	51 7.9	107 16.6	104 16.1	91 14.1
	男性50-59歳	591 100.0	300 50.8	42 7.1	75 12.7	91 15.4	83 14.0
	男性60-69歳	546 100.0	336 61.5	20 3.7	73 13.4	52 9.5	65 11.9
	女性20-29歳	383 100.0	150 39.2	34 8.9	73 19.1	72 18.8	54 14.1
	女性30-39歳	489 100.0	198 40.5	30 6.1	98 20.0	90 18.4	73 14.9
	女性40-49歳	640 100.0	258 40.3	58 9.1	114 17.8	102 15.9	108 16.9
	女性50-59歳	605 100.0	284 46.9	37 6.1	105 17.4	89 14.7	90 14.9
	女性60-69歳	601 100.0	318 52.9	34 5.7	108 18.0	34 5.7	107 17.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	524 42.4	84 6.8	181 14.6	251 20.3	197 15.9
	男性有配偶	1,415 100.0	746 52.7	95 6.7	217 15.3	192 13.6	165 11.7
	女性無配偶	1,192 100.0	499 41.9	94 7.9	194 16.3	198 16.6	207 17.4
	女性有配偶	1,526 100.0	709 46.5	99 6.5	304 19.9	189 12.4	225 14.7
地域ブロック	北海道	262 100.0	125 47.7	18 6.9	40 15.3	35 13.4	44 16.8
	東北	421 100.0	199 47.3	33 7.8	61 14.5	64 15.2	64 15.2
	関東	1,738 100.0	809 46.5	116 6.7	305 17.5	263 15.1	245 14.1
	中部	901 100.0	399 44.3	71 7.9	147 16.3	136 15.1	148 16.4
	近畿	883 100.0	411 46.5	71 8.0	141 16.0	136 15.4	124 14.0
	中国	352 100.0	154 43.8	17 4.8	70 19.9	64 18.2	47 13.4
	四国	205 100.0	103 50.2	9 4.4	25 12.2	36 17.6	32 15.6
	九州・沖縄	608 100.0	278 45.7	37 6.1	107 17.6	96 15.8	90 14.8

Q33 あなたが理想とする働き方、所得について、最も近いものをお答えください。

	Total	同じ会社で長く働き続ける（終身雇用）	転職を通じて、キャリアや所得を上げていく	所得にこだわらず、負担の軽い仕事を選び続ける	なるべく働かず、投資などの不労所得で生活していく	その他	
Total	5,370 100.0	2,710 50.5	1,277 23.8	669 12.5	610 11.4	104 1.9	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	151 39.1	93 24.1	69 17.9	69 17.9	4 1.0
	男性30-39歳	485 100.0	195 40.2	96 19.8	72 14.8	117 24.1	5 1.0
	男性40-49歳	644 100.0	297 46.1	155 24.1	81 12.6	98 15.2	13 2.0
	男性50-59歳	591 100.0	328 55.5	118 20.0	73 12.4	66 11.2	6 1.0
	男性60-69歳	546 100.0	343 62.8	121 22.2	43 7.9	27 4.9	12 2.2
	女性20-29歳	383 100.0	135 35.2	119 31.1	62 16.2	63 16.4	4 1.0
	女性30-39歳	489 100.0	207 42.3	130 26.6	86 17.6	52 10.6	14 2.9
	女性40-49歳	640 100.0	337 52.7	150 23.4	83 13.0	56 8.8	14 2.2
	女性50-59歳	605 100.0	340 56.2	164 27.1	56 9.3	35 5.8	10 1.7
	女性60-69歳	601 100.0	377 62.7	131 21.8	44 7.3	27 4.5	22 3.7
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	516 41.7	255 20.6	223 18.0	229 18.5	14 1.1
	男性有配偶	1,415 100.0	798 56.4	328 23.2	115 8.1	148 10.5	26 1.8
	女性無配偶	1,192 100.0	554 46.5	299 25.1	178 14.9	132 11.1	29 2.4
	女性有配偶	1,526 100.0	842 55.2	395 25.9	153 10.0	101 6.6	35 2.3
地域ブロック	北海道	262 100.0	131 50.0	62 23.7	32 12.2	33 12.6	4 1.5
	東北	421 100.0	239 56.8	89 21.1	39 9.3	42 10.0	12 2.9
	関東	1,738 100.0	838 48.2	433 24.9	221 12.7	215 12.4	31 1.8
	中部	901 100.0	458 50.8	206 22.9	108 12.0	114 12.7	15 1.7
	近畿	883 100.0	432 48.9	222 25.1	117 13.3	99 11.2	13 1.5
	中国	352 100.0	192 54.5	76 21.6	45 12.8	32 9.1	7 2.0
	四国	205 100.0	120 58.5	44 21.5	22 10.7	15 7.3	4 2.0
	九州・沖縄	608 100.0	300 49.3	145 23.8	85 14.0	60 9.9	18 3.0

Q34 あなたが理想とする働き方を実現するために最も必要だと思うものはどれですか。

		Total	充実した人材育成制度	自己啓発による能力向上	企業経営の安定	仕事と家庭の両立支援	自由な転職市場	十分な社会保障制度 (失業保険や公的な住宅補助など)	その他
Total		5,370 100.0	614 11.4	780 14.5	1,056 19.7	1,578 29.4	330 6.1	932 17.4	80 1.5
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	67 17.4	58 15.0	80 20.7	78 20.2	40 10.4	55 14.2	8 2.1
	男性30-39歳	485 100.0	59 12.2	88 18.1	94 19.4	124 25.6	43 8.9	66 13.6	11 2.3
	男性40-49歳	644 100.0	74 11.5	101 15.7	157 24.4	153 23.8	54 8.4	94 14.6	11 1.7
	男性50-59歳	591 100.0	58 9.8	95 16.1	139 23.5	143 24.2	33 5.6	110 18.6	13 2.2
	男性60-69歳	546 100.0	51 9.3	121 22.2	122 22.3	144 26.4	31 5.7	74 13.6	3 0.5
	女性20-29歳	383 100.0	49 12.8	38 9.9	50 13.1	148 38.6	39 10.2	58 15.1	1 0.3
	女性30-39歳	489 100.0	49 10.0	48 9.8	69 14.1	215 44.0	19 3.9	82 16.8	7 1.4
	女性40-49歳	640 100.0	61 9.5	68 10.6	108 16.9	218 34.1	35 5.5	139 21.7	11 1.7
	女性50-59歳	605 100.0	80 13.2	73 12.1	116 19.2	185 30.6	23 3.8	118 19.5	10 1.7
	女性60-69歳	601 100.0	66 11.0	90 15.0	121 20.1	170 28.3	13 2.2	136 22.6	5 0.8
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	169 13.7	207 16.7	262 21.2	225 18.2	108 8.7	238 19.2	28 2.3
	男性有配偶	1,415 100.0	140 9.9	256 18.1	330 23.3	417 29.5	93 6.6	161 11.4	18 1.3
	女性無配偶	1,192 100.0	140 11.7	136 11.4	223 18.7	298 25.0	82 6.9	296 24.8	17 1.4
	女性有配偶	1,526 100.0	165 10.8	181 11.9	241 15.8	638 41.8	47 3.1	237 15.5	17 1.1
地域ブロック	北海道	262 100.0	34 13.0	38 14.5	58 22.1	61 23.3	9 3.4	60 22.9	2 0.8
	東北	421 100.0	53 12.6	63 15.0	80 19.0	123 29.2	18 4.3	81 19.2	3 0.7
	関東	1,738 100.0	196 11.3	256 14.7	361 20.8	499 28.7	131 7.5	262 15.1	33 1.9
	中部	901 100.0	96 10.7	132 14.7	165 18.3	264 29.3	57 6.3	172 19.1	15 1.7
	近畿	883 100.0	105 11.9	135 15.3	171 19.4	255 28.9	46 5.2	158 17.9	13 1.5
	中国	352 100.0	40 11.4	54 15.3	64 18.2	119 33.8	20 5.7	52 14.8	3 0.9
	四国	205 100.0	21 10.2	33 16.1	40 19.5	64 31.2	12 5.9	31 15.1	4 2.0
	九州・沖縄	608 100.0	69 11.3	69 11.3	117 19.2	193 31.7	37 6.1	116 19.1	7 1.2

Q35 日本では、努力さえすれば誰でも豊かになることができますか。

		Total	強く思う	どちらかと言うと思う	どちらかと言うと思わない	全く思わない
Total		5,370 100.0	161 3.0	1,690 31.5	2,560 47.7	959 17.9
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	40 10.4	138 35.8	148 38.3	60 15.5
	男性30-39歳	485 100.0	27 5.6	181 37.3	173 35.7	104 21.4
	男性40-49歳	644 100.0	17 2.6	191 29.7	284 44.1	152 23.6
	男性50-59歳	591 100.0	22 3.7	182 30.8	268 45.3	119 20.1
	男性60-69歳	546 100.0	4 0.7	198 36.3	272 49.8	72 13.2
	女性20-29歳	383 100.0	24 6.3	153 39.9	146 38.1	60 15.7
	女性30-39歳	489 100.0	7 1.4	166 33.9	236 48.3	80 16.4
	女性40-49歳	640 100.0	11 1.7	172 26.9	338 52.8	119 18.6
	女性50-59歳	605 100.0	3 0.5	162 26.8	340 56.2	100 16.5
	女性60-69歳	601 100.0	6 1.0	147 24.5	355 59.1	93 15.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	61 4.9	385 31.1	528 42.7	263 21.3
	男性有配偶	1,415 100.0	49 3.5	505 35.7	617 43.6	244 17.2
	女性無配偶	1,192 100.0	32 2.7	338 28.4	605 50.8	217 18.2
	女性有配偶	1,526 100.0	19 1.2	462 30.3	810 53.1	235 15.4
地域ブロック	北海道	262 100.0	7 2.7	69 26.3	131 50.0	55 21.0
	東北	421 100.0	7 1.7	111 26.4	213 50.6	90 21.4
	関東	1,738 100.0	49 2.8	576 33.1	795 45.7	318 18.3
	中部	901 100.0	31 3.4	276 30.6	425 47.2	169 18.8
	近畿	883 100.0	33 3.7	272 30.8	431 48.8	147 16.6
	中国	352 100.0	8 2.3	113 32.1	166 47.2	65 18.5
	四国	205 100.0	5 2.4	69 33.7	96 46.8	35 17.1
	九州・沖縄	608 100.0	21 3.5	204 33.6	303 49.8	80 13.2

Q36 社会的に成功している人に対して抱く感情のうち、最も近いものをお答えください。

	Total	自分も努力しよ うと思う	うらやましいと感 じる	ねたましく感じる	憤りを感じる	なんとも思わない	
Total	5,370 100.0	1,129 21.0	2,349 43.7	281 5.2	117 2.2	1,494 27.8	
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	98 25.4	141 36.5	39 10.1	18 4.7	90 23.3
	男性30-39歳	485 100.0	120 24.7	202 41.6	23 4.7	18 3.7	122 25.2
	男性40-49歳	644 100.0	118 18.3	252 39.1	49 7.6	26 4.0	199 30.9
	男性50-59歳	591 100.0	112 19.0	233 39.4	35 5.9	13 2.2	198 33.5
	男性60-69歳	546 100.0	148 27.1	192 35.2	24 4.4	6 1.1	176 32.2
	女性20-29歳	383 100.0	87 22.7	170 44.4	28 7.3	7 1.8	91 23.8
	女性30-39歳	489 100.0	78 16.0	272 55.6	25 5.1	1 0.2	113 23.1
	女性40-49歳	640 100.0	127 19.8	320 50.0	23 3.6	10 1.6	160 25.0
	女性50-59歳	605 100.0	105 17.4	300 49.6	22 3.6	10 1.7	168 27.8
	女性60-69歳	601 100.0	136 22.6	267 44.4	13 2.2	8 1.3	177 29.5
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	254 20.5	444 35.9	103 8.3	50 4.0	386 31.2
	男性有配偶	1,415 100.0	342 24.2	576 40.7	67 4.7	31 2.2	399 28.2
	女性無配偶	1,192 100.0	222 18.6	575 48.2	54 4.5	21 1.8	320 26.8
	女性有配偶	1,526 100.0	311 20.4	754 49.4	57 3.7	15 1.0	389 25.5
地域ブロック	北海道	262 100.0	45 17.2	111 42.4	15 5.7	11 4.2	80 30.5
	東北	421 100.0	84 20.0	179 42.5	25 5.9	14 3.3	119 28.3
	関東	1,738 100.0	387 22.3	746 42.9	85 4.9	40 2.3	480 27.6
	中部	901 100.0	156 17.3	428 47.5	47 5.2	22 2.4	248 27.5
	近畿	883 100.0	192 21.7	395 44.7	49 5.5	8 0.9	239 27.1
	中国	352 100.0	66 18.8	149 42.3	19 5.4	10 2.8	108 30.7
	四国	205 100.0	50 24.4	83 40.5	8 3.9	3 1.5	61 29.8
	九州・沖縄	608 100.0	149 24.5	258 42.4	33 5.4	9 1.5	159 26.2

Q37 あなたの社会への関わり方に対する考えのうち、最も近いものをお答えください。

		Total	社会のためになる活動 ならば、参加したい	自分ひとりが活動しても 社会は変わらない	社会の変化に対して関 心がない
Total		5,370 100.0	2,230 41.5	2,179 40.6	961 17.9
性別×年齢階級	男性20-29歳	386 100.0	132 34.2	164 42.5	90 23.3
	男性30-39歳	485 100.0	181 37.3	199 41.0	105 21.6
	男性40-49歳	644 100.0	230 35.7	286 44.4	128 19.9
	男性50-59歳	591 100.0	262 44.3	237 40.1	92 15.6
	男性60-69歳	546 100.0	278 50.9	202 37.0	66 12.1
	女性20-29歳	383 100.0	133 34.7	170 44.4	80 20.9
	女性30-39歳	489 100.0	162 33.1	221 45.2	106 21.7
	女性40-49歳	640 100.0	271 42.3	245 38.3	124 19.4
	女性50-59歳	605 100.0	264 43.6	250 41.3	91 15.0
	女性60-69歳	601 100.0	317 52.7	205 34.1	79 13.1
性別×配偶状態	男性無配偶	1,237 100.0	458 37.0	494 39.9	285 23.0
	男性有配偶	1,415 100.0	625 44.2	594 42.0	196 13.9
	女性無配偶	1,192 100.0	449 37.7	495 41.5	248 20.8
	女性有配偶	1,526 100.0	698 45.7	596 39.1	232 15.2
地域ブロック	北海道	262 100.0	94 35.9	117 44.7	51 19.5
	東北	421 100.0	170 40.4	179 42.5	72 17.1
	関東	1,738 100.0	743 42.8	692 39.8	303 17.4
	中部	901 100.0	346 38.4	385 42.7	170 18.9
	近畿	883 100.0	364 41.2	357 40.4	162 18.3
	中国	352 100.0	134 38.1	151 42.9	67 19.0
	四国	205 100.0	102 49.8	68 33.2	35 17.1
	九州・沖縄	608 100.0	277 45.6	230 37.8	101 16.6

Q38 現在の暮らし向きについて感じていることや、将来への期待・不安などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

(自由記述の抜粋)

1. 老後や将来への心配

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
55	女性	既婚	老後の資金に不安。年金がちゃんともらえるのか、物価が上がって生活していけるのか不安。
64	男性	既婚	物価上昇が続くため、年金収入だけでは、今の生活を維持することに限界を感じており、将来に希望が持てない。
64	女性	既婚	年金生活者なので、年金が減っていくことには少し不安があります。
41	男性	未婚	将来自分たちの老後年金と貯蓄だけで生活できるのか不安。
33	男性	未婚	現在は何とか生活できているが、親の死後どうなるかを想像しただけでも恐ろしくなっている。
46	女性	既婚	老後資金を貯蓄しないと長生きできないのではないかと不安
56	男性	既婚	現在の暮らし向きは比較的余裕はあると思う。しかし、この先どうなるかわからない。子どもがいないので、将来的な不安を持っている。
24	女性	未婚	今の生活は滞りないが今後の生活や扶養者ができたときはやっていけないと思う不安が大きい。
61	女性	既婚	今現在、暮らしていくことだけで精一杯で、老後への蓄えもなく年金もきちんと払ってこなかったもので、この先がとて不安です。
37	女性	既婚	子どもの教育資金、老後の資金等の金銭的な不安が大きい。
50	女性	既婚	老後に不安を感じる。物価や電気や水道代が上昇しているのに賃金が上がらないので貯金ができない。
48	男性	既婚	年金で生活ができるのか不安。
36	女性	未婚	今は何不自由なく親と暮らし仕事も頑張っているが、親の年齢や家の劣化、自分の仕事を続けられるか不安は尽きない。散財している訳ではないが食費は好きに使っている。貯金が少ないため、将来親の収入がなくなった後などの暮らしが心配。
60	男性	既婚	子供がいないため老後、特にどちらか一人残った時が不安です。
67	女性	既婚	老老介護の立場になり、自分が介護される時、どうなっているかなと思う。ある程度の蓄えがないと、自分の納得の行く施設では暮らせないと思う。
56	女性	既婚	夫婦ともに還暦に近づいている年齢に。障がい者の方までではないものの、身体に不調があり、思うように仕事ができない状況。将来が不安でしかない。
40	女性	未婚	今後の職場の経営状況や自身の仕事への意欲によっては安定収入が望めなくなるかもしれない。独身なので、将来的に生活に困窮するのではないかと不安がある。
30	女性	未婚	最近転職をして収入が減り将来への不安を感じています。
33	女性	既婚	投資をしたほうがよいとは思いつつも知識不足で不安で手が出せず、でも日々の生活に追われて勉強する時間もない現状で将来が不安です。
54	女性	離別・死別	親の介護で時短勤務しているから貯金が増えない。子供もいないし自分の老後が心配。
27	男性	未婚	私自身が景気が良い時代を生きていないので、将来に希望を持ってない。切り詰めた生活をせざるをえない。
28	女性	未婚	本来なら貯金があったり、結婚をして配偶者がいるなど、自分の年齢では将来を見据えて準備すべき時であるのに、現状、身体面での問題により思うように働けず、結婚の予定もなく親を頼って生活するしかない。親も高齢のため先が長くはないので、一人になった時の不安がとて大きい。
53	男性	未婚	病気療養中のため、老後に心配がある。
32	女性	既婚	現在、共働きで頑張っているため中流レベルの生活を維持できているが、なんらかの事情で夫婦のうちどちらかが退職しなくてはならなくなったら、かなり生活は厳しくなると思う。子ども2人を大学に入れることが目標だが、これ以上給与据え置きで物価高が続けば難しいと思う。
57	女性	既婚	先代まで、専業の米農家で、今は、定年退職した主人が、身内で食べる程度に作って、田んぼ、畑、山林を管理しているが、後継ぎもいないし、お墓にしても、今後どうするのか。
64	男性	離別・死別	自営をしていて廃業。会社勤めを始めたが将来的に年金の額が少なく体が丈夫であれば働き続けなければならない現状。不安だらけです。
48	男性	未婚	40代で独身でお金には困ってないけど結婚してなくて子供もいないので病気とかになった時に周りに面倒を見てくれる人がいないので不安になる時がある。
53	女性	未婚	親に仕送りしているが、自分の老後は誰も経済的援助してもらえないので、不安。
41	女性	既婚	夫が働けなくなった時の補償がない会社に勤めているため不安。子どもたちが成長するにしたがって、学費等お金がかかるため奨学金を利用して返していけるのか不安。期待は出来ない人生なため、将来が不安。
55	女性	既婚	子供がいないし老後は誰にも託せない。将来年金もあてにならないだろうし、独りになったら家を処分して安価な安心出来る老人施設に誰でも入れるようになったらいいなと皆と話しています。
46	女性	未婚	結婚してなく子供もいないので老後働けなくなったら金銭面や生活していけるかが不安です。



## 2. 子育て、結婚、家族関連

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
48	男性	既婚	子どもが多いと経済的には苦しいが、心は豊かに暮らせる。
27	女性	既婚	子どもが2人いて3人目を考えるとき、本当は3人目がほしいけど今ある少ない暮らしの余裕が全てなくなるんじゃないかと思ひ踏み出せない。国や市の子育て世代への優遇や補助の少なさ、あらゆる物価の値上がりに伴わない増えない収入。不安しかない。
45	女性	既婚	これから子ども達が受験、進学するため、塾などの教育資金を確保することができるか。老後の資金が残せるか不安です。
24	女性	既婚	子供のためには早く仕事復帰したらいいことはわかっているが、子供の成長を見逃したくない。
55	男性	未婚	経済的に不安はないが、家庭を持たなかった（結婚しなかったのは）失敗。
36	女性	未婚	子どもの保育園がクラス閉鎖になり仕事が出来なくなった。家賃も払えず今が1番大変な時だと思う
64	女性	離別・死別	親の介護の行方終われば自由だがいつまで続くのか不安。
34	女性	既婚	保育園の待機児童数を減らしてほしい。入園できなければ復職できず第二子を諦めざるをえない
48	女性	既婚	光熱費、食糧費が最近急激に上がり、子供たちを食べさせることを第一優先としている。習い事等も値上げが増え、今後何か切らないと生活が厳しくなる。コロナ禍で主人の仕事も業績が上がらず、給料は全く上がらないが、子供の教育費に支出が増え、私自身も仕事を追加で探さなくてはならない状況。私の体が壊れるか、子どもたちに我慢させるか選択を迫られている。
45	女性	離別・死別	ひとり親家庭です。転職し正規の雇用で働きたいと動き始めた頃に娘が不登校。今の職場は融通が利くのでそのまま継続して転職は諦めました。転職せずに収入を上げられる方法を知りたいです。娘が不登校のまま引きこもりになったりしたら生活はどうなるのだろうと不安な日々です。
36	男性	既婚	子どもを大学まで進学させる費用と老後が心配。資産運用に興味があるがやり方が分からず困っている。
21	男性	未婚	未婚率が上がることで自身も結婚できないと感じる点が不安であり、コロナ禍の影響などできちんとした職につけるのか不安である。
44	男性	既婚	休職中であるが、保育園に入れるか不安、持ち家もなく、老後の資金の目処も立たない。ゼロ歳の娘の教育資金は目処は立っていないが何とかしてやりたい。
59	女性	既婚	配偶者の健康状態。
37	女性	既婚	両親が遠方のため、夫婦二人で子供3人育てています。将来の子供たちの学費が一番心配です。夫は仕事が忙しく、私は子育てがあるので、パートでしか働きません。もう少し収入を上げないと子供たちに不慣れな思いをさせてしまうのではないかと不安です。子供たちには自分たちと同じように大学まで行かせてあげたいと思っています。
68	男性	離別・死別	自分達は特に困る事はないが、子供たち、孫たちの将来を考えると不安でいっぱいです。
41	女性	離別・死別	保険制度や医療制度が自分達が高齢者になった頃にどのようになっているのかが不安。祖父母の介護時には専業主婦である母が中心的存在として働いていたが自分も弟も勤労者なので同じようにケアできる気がないので両親に健康問題が発生したときどうになってしまうのか不安。
43	女性	離別・死別	1人で子ども2人を育てていけるか不安。
67	男性	未婚	疎遠ではないが親族との関係が希薄なこと。
32	女性	既婚	夫婦2人なら経済的に余裕があるが、今後子育てを始めたら今の経済力で大丈夫なのか不安に感じる。
62	女性	既婚	来年初めて孫が受験するので是非公立高校に合格してほしい。今一番の願いです。
36	女性	未婚	コロナも影響していると思うが、どのように出会いを作ったらよいかわからず出会いが全然ないように感じて結婚したいのに結婚できない。結婚しないと自分の老後の人生が不安で所得も不安で幸せな生活を送れないと思っている。
60	男性	既婚	現在再雇用で収入が極端に減ったうえに、住民税が高く生活は非常にきつい。家を持っているが、異動により現在は社宅に住んでいる。家内の親の面倒を見る必要があり、元の家には戻れず、新しい住居を探す必要があり、これが最大の懸念点である。
65	男性	既婚	孫の世代は、どうなるか、心配だ。
68	男性	既婚	介護がだんだん重くのしかかってきている。先行きに不安だらけです。
54	女性	離別・死別	1人親で子供達の教育にお金が掛かり老後資金が全くない。でも、なるべく子供達に負担はかけたくない。
57	女性	既婚	身体が不自由になった家族をかかえての将来は不安。
59	女性	離別・死別	子供が働かないため子供の将来が心配。
44	女性	既婚	子供を育てる事で精一杯なため、他の事を考える余裕も時間も労力もない。
43	男性	既婚	物価が上がり、今の収入でも苦しいのにもっと苦しくなってしまうと思うと不安になる。子供の将来のためにお金をかけたいが、それができないことがもどかしい。子供の可能性を狭めてしまっている気がする。

### 3. 金銭関連

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
50	男性	未婚	金銭面での不安が大いにある。
46	女性	既婚	値上げラッシュで生活費が増えるが収入は増えない。
36	女性	既婚	家族のために働き方をセーブしているが、家計が回るか不安。
47	男性	既婚	所得は増えないが、支出は増え、インフレが進んで更に暮らしが厳しくなっている。
48	女性	離別・死別	身体への負担が大きく賃金が安く、稼働日数で収入が変動する上に物価の上昇とこれからの教育費用で頭がいたい。
44	女性	既婚	景気も悪く、フルタイムで働いても所得が少ない。贅沢したいと思わないが、年1国内旅行に行けるくらいの余裕を持ちたい。子どもたちの事も含め、将来への不安しかない。
32	男性	既婚	収入が増えない。周りの収入は増えている。比べてしまい不安になる。
27	女性	既婚	私は子供のころとても貧乏でした。それに比べたら今はまだ余裕があるかもしれませんが。ただこれから子供が大きくなり、養っていくにはまだお金に関して不安はありません。
39	女性	既婚	このコロナ禍の中、収入が減らないか心配。
54	男性	既婚	中々、貯金が貯まらない。
34	女性	既婚	正社員からパートになったので、貯蓄額が減って不安。
42	女性	離別・死別	手取りが少ない。母子手当と児童手当がなくなったら家賃を滞納してしまうかも。
29	女性	既婚	給与は上がらない、ボーナスは減らされる状況で普通の生活でかかる費用が増えていく事に対して不安を感じている。子供のために貯金をしたいが、出来ない。今現在暮らしていく中で、ガソリンは生活する上で必要不可欠な存在なのでガソリンの値上がりが厳しい。
49	女性	離別・死別	母親の年金と自分の障害年金暮らしで貯蓄も出来ず、母親が亡くなったら生活を維持できない不安みれの生活です。
54	女性	離別・死別	賃金が安すぎて、働いてもまともな暮らしが出来ない。税金を安くしてほしい。
34	女性	既婚	税金が上がって所得が減るのでさらに切り詰めた生活をしないと赤字になってしまう。ローンがあるので払えるか分からない。
69	男性	既婚	孫2人を育てているので、預貯金が底をつき始めているので、将来が不安。
28	男性	未婚	奨学金の返済に、子供の教育費、家の購入等々先を考えるとお金に対しておかなりの不安がある。
27	女性	既婚	物価が上がっているのに給料が上がらない。夫婦ともに奨学金の返済。きついです。
31	男性	未婚	交通事故により障害が残ることに労力が事故前より出てきている。それにより労働賃金が健常者に比べ低くなった。死なないうちだけのお金しか貰えないのは苦労がある。多少でも趣味などに使えるお金が稼げるようになるか、それに見合った対価があれば良い。
32	女性	既婚	子育てしながら働く時に、預け先の確保やそれに対する出費に負担感を感じる。
54	女性	離別・死別	給料が下がり、さらに節約の日々になる。
46	男性	既婚	教育費が高過ぎる。要介護になったときの生活が不安（自分も親も）。
52	男性	既婚	子供の教育費がかかり過ぎて貯蓄もなく、年金も期待できず、老後は不安しかありません。
32	女性	既婚	本当はもう一人子どもがほしいが、経済的な理由で諦めている。昨今、ものの値上がりが続く中、給与自体は上がらないことに不安を感じている。
22	女性	未婚	貯金ができない、価格高騰はいつまで続くのか、コロナウイルスの影響による収入減が痛い。
46	女性	既婚	給料は上がらないのに何でも値上げばかり続いて家計が赤字になる一方で将来が不安だらけ。
47	男性	未婚	所得が上がらず物価は上がっている事。医療費が高い事。光熱費が高い。
35	女性	既婚	給料は上がらないのに、支出ばかり増えるため、貯金もできないし、子どもに習い事もさせてあげられず、子どもの将来をせばめてしまっているのではないかと思う。
66	女性	既婚	夫の年金が少なく、生活費には足りないので貯蓄を切り崩したり、保険を解約したりしているが、残り少なくなってしまった。
38	男性	既婚	毎月の給与やボーナス時の額面に対する税金のかかり方を見ると、いつもテンションが下がります。
41	女性	既婚	県外に住む両親ともに障害があり、頻繁に実家に帰らなくてはならず、本当は働きたいが働けない。親も自分も貯金が出来ず、自分の老後のお金がなく不安である。
53	女性	既婚	子供の教育費にお金がかかりすぎて自分たちの老後の資金がためられない。
38	女性	既婚	子供2人ほしいけど金銭的に余裕がなくて2人目を作れない。貯金も底をつきそうで将来が不安でしかない。旦那の稼ぎが少なすぎて家計は火の車。将来に期待などない。今で精一杯。
62	女性	既婚	私の癌治療にお金がかかるため、貯蓄できない。
67	女性	既婚	娘、孫との同居ですが、生活費は年金で賄っているため、目減りすると生活費が大変です。年金が減ることのないようになればよいのですが。
34	女性	既婚	収入は上がらないのに物価ばかり上がっていくため、生活が苦しくなる。このまま収入は変わらないが物価ばかり上がると思うのでさらに厳しくなる。子供が小さいので思うように教育をさせてあげられないと思う。

#### 4. 仕事関連

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
47	女性	離別・死別	正社員になれず、給与も増えない。何歳まで雇ってもらえるかも分からない。でも年々医療費は増えていく。余裕など全くない暮らしをしているので、将来が不安。
52	女性	未婚	何歳になるまで働けば良いのか？高齢になっても雇ってくれるところはあるのか。
34	男性	未婚	転職が出来なくなる不安感があります。
55	女性	未婚	フルタイムで10年勤めていてもアルバイト扱いは納得できない
24	女性	未婚	社会人5年目でも給料は微々たる物しか上がっておらず、仕事量と給料が釣り合っていない
27	男性	未婚	病気を持っているため転職が期待できないこと。
29	男性	未婚	教員だが、休みがなく時間外労働に対する賃金はかなり低い。魅力も低く、このままでは過労死するのではないかとと思っている。
39	女性	未婚	どんなに働いても税金が、上がり手取りが増えない。保育士という職業は賃金が安すぎる。貯金も出来ない。体力や専門性も多く求められる。社会的に底辺と言われている。全部、自分だけの頑張りじゃどうにもならない事ばかりで、将来に希望がもてない。
68	女性	既婚	コロナで仕事が少ない。
31	男性	未婚	非正規のフリーランスとして働くことが一生できるか不安がある。
39	男性	既婚	仕事を辞めたが次の仕事が見つかっていないため不安。
49	女性	未婚	働いているがスキルも身に付かず給料も安い。年齢も高いのでもう諦めている。
53	女性	既婚	年齢が50代なのでパートに応募しても希望の職に受からない。介護や掃除など自分にはできない、向いてない仕事は沢山あるが、それに応募して受かって長く続かないと思うので、応募していない。毎日節約ばかりで疲れた。食費、光熱費はもちろん、趣味の読書の本を買う事も減らして、楽しみがない。
32	女性	既婚	一応公務員であり、毎月一定のお金は入ってきますが、勤務時間内に仕事が終わらずブラックだと感じます。もうちょっと割に合う仕事になってくれないと、子育てとの両立は難しく、課題です。
21	女性	未婚	努力して大学に入学し、国家資格を取得する予定だが、その資格を活かせる職の収入は良いとは言えない。
26	女性	未婚	昇給がしにくい職業なので、このまま続けても収入があまり上がらないような気がする。
44	女性	既婚	主人も自分も非正規労働者のため、いつ無職になるか分からない。離島に住んでいるため、職種も求人も限られており、このまま暮らしていけるのか不安。
42	女性	離別・死別	今の仕事は好きだが、契約社員という立場が不安。正社員への登用試験もあるが年齢的に難しく不安。
20	男性	未婚	ブラック企業を減らしてほしい。田舎ほど、パワハラ企業が多い。
55	女性	既婚	段々体力がなくなってきていると感じるのでもう少し仕事量を減らしたいが生活を維持するためには難しい事。
47	女性	未婚	体調に合わせて仕事をできるようにしたい。
47	女性	未婚	収入に安定性のない仕事なのでいつも追われている感や不安がある。この仕事を続けながら他にも収入源を見出し、投資などもしながら余裕のある暮らしを目指したい。
44	女性	未婚	何年働いたって最低賃金のまま。有給も断るブラック企業があることを知ってください。転職を考えると、体の都合でできないこともあります。
53	男性	未婚	コロナ禍で外国人旅行者が激減したため、仕事を解雇され年齢的にも新たな仕事はなかなか難しくアルバイト等では収入は限られこの先どうなるのか不安でしかない。

5. 社会環境や経済情勢

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
52	女性	未婚	やはりこれからの日本の景気などコロナ渦のこの先も気になります。
50	女性	既婚	物価は上昇するが、賃金は上がらない。
64	女性	既婚	超高齢社会、少子化による福祉の衰退が心配。
48	男性	既婚	コロナが流行しなかったとしても、日本は人口減少が始まっていて経済的には縮小傾向にある。その中でどの程度生活を維持、向上できるかについて不安がある。
41	女性	未婚	物価高騰に対しては少し不安を感じます。積立など色々と自分なりに努力をして、将来は人に迷惑をかけずに生きることができればと思っています。真面目にちゃんと努力してきた人が報われる国になってほしいです。
66	女性	既婚	税金や介護保険料など支払わなければならないものが毎年上がって(制度が変えられていく)のが不安。
42	男性	未婚	コロナがおさまらないのが不安。
62	女性	未婚	物価が高騰しているのが 心配です。
41	女性	離別・死別	物価の上昇が不安、特にガソリン。
27	男性	既婚	子供のことや自分の仕事に対する将来の希望はあるけど、今現在は光熱費や物価の高騰が一気に押し寄せてきてそれに対処することで精一杯。
43	女性	既婚	少子化で子供たちが将来、今の自分たちより苦しい生活になるんじゃないかと不安。
68	女性	既婚	退職し海外旅行三昧を予定していたが、コロナが蔓延し予定していた旅行等楽しい退職後の生活が一変！今後どうなる事やら不安が一杯。今若者はもっと可哀想に思う。
35	男性	既婚	給与があがらないのに物価高が続いている。
48	女性	未婚	コロナによってこれからの働き方や生活が変わったが、以前のような生活に戻れないような気がする。これからは、悲観的にならずに、その上でどのようにすればよいか考えていきたい。
62	女性	未婚	社会保障制度の崩壊が叫ばれている昨今、これからの社会保障制度に不安があります。
66	女性	既婚	コロナ禍が長いのがつらい。
43	男性	既婚	高齢者が増えてきて、十分な老後サービスが受けられないような気がする。
49	女性	既婚	コロナで制限されることが多く、日時的にストレスが多い。子供にも不便を感じさせていると思う。
25	男性	未婚	コロナ感染拡大が心配。
34	男性	未婚	コロナで仕事がない、早く物価を何とかしてほしい。
38	女性	既婚	いつになったら、コロナが終息して、コロナ前の生活に戻れるのか…マスクなし、人混みなど気にせず、自由に旅行などが楽しめる日が来ることを心待ちにしています。
57	女性	既婚	コロナが早く終息して自由にあちこち旅行に行きたい。
66	女性	既婚	コロナによって主人の会社の業績が左右されるが、何の保証もないこと。
62	女性	離別・死別	とにかく今は、コロナが一番不安。このまま次から次へと変異して行って、収束しない気がする。
44	女性	既婚	親の世代に比べて、収入面では豊かになっていると思う。しかし、さまざまな物の情報量が多過ぎて、自分軸の判断ができずに心の豊かさがたもてていない。便利だけど、不便を感じる。色々なことに流され、疲れてしまう。よりよい環境を子どもに与えてあげたいと思うと、できないことに目がいき叱ってしまい、自己肯定感をさげることになっていて、よかれと思うことがよくない方向へ進んでいく。もう少し時の流れがゆっくりなら豊かさを感じられるのかもしれない。
58	女性	未婚	贅沢をせずに暮らしていけば大丈夫と思っていたが、最近の物価の高騰には驚いている。
47	女性	既婚	値上げが短期間で進むが収入は上がらず、不安が多すぎて先行きに希望が持てない。
27	女性	未婚	日本の景気はコロナ前の状態にはもう戻らないと思っている。(景気がよくなったとしても物価上昇率が高く、給料が上がることは期待出来ないから)
52	男性	既婚	今は現役なので多少物価が上昇しても問題はないが、リタイア後の過度な円安や物価が上昇をするのではと考えると消費より貯蓄を優先してしまう
67	女性	既婚	自分が動く事が自由に出来なくなった時には、施設でお世話になりたいと思うが、その時に入れる所があるのか。どんどん高齢化していて、若い人が居なくなり施設も満杯？

6. 不満、期待

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
67	男性	既婚	努力の必要は認めるが、それを評価されるのかは別問題。はっきり言ってほとんど評価されない。成功している人は努力したからと言うが、端から見ればほとんど運にしか見えない。
65	女性	既婚	国の発展のため、国民の幸福のため、政治家は誰も本気で働いてほしい！高齢化社会少子化問題に真剣に取り組まないと！そして物価高もなんとかしてほしい！安心して暮らせる世の中であってほしいと期待します！
48	女性	離別・死別	国は母子家庭などの弱者に対して冷たい！
53	女性	既婚	家族みんなが健康でいられることが、将来の希望につながっています。しかしながら、経済的なことの不安はぬぐえないのも事実です。ひとり親や所得が低いかたへの支援はあっても、そのギリギリのラインであってはまらない家庭には支援が届かない。
46	男性	既婚	物価や税金、社会福祉費の上昇に現在の給与が全く追いついていない。何らかの節約、我慢を常に強いられている。働き、給与を得ている者に対して生活保護受給者がより多くのお金を手にする社会、将来の公的年金制度など不安は尽きない。
26	女性	未婚	国などはお金を取るばかりで何も還ってこない。年金も取られるばかりで、自分がもらえる頃には少ないばかりかもらえることすらできないかもしれない。憤りさえ感じます。
28	女性	既婚	少子化と言いつつ子どもに対する給付を減らしたり、子どもを育てる環境が整っていない。3歳未満の保育料が高い。私たち子育て世代はカツカツの生活で生きていくしかないので希望はない。国葬なんかする前に困ってる国民を助けてほしい。
36	女性	既婚	物価高が続くのに給料は上がらない。税金など引かれる物は多いのに還元されていない気がする。子育てしながら働きやすい社会になってほしい。年金は払うだけ払わされて戻ってこない気がする
35	女性	既婚	賃金は上がらないのに税金や物価だけがどんどん上がっていく。子供への手当はあるが完全無償ではないし学歴で差が出ることは今でも変わらないので、教育資金の積立が結局必要。家計の補填を国がしているつもりかもしれないが、何だかんだ別のところで搾取されているので暮らしぶりは悪くなるばかりだと感じている。
39	女性	既婚	家事がエンドレス、以前のようにフルで仕事をしたいが、今の制度（パートの〇万円の壁）が足枷になっている。
47	男性	既婚	一部の人だけでなく、真面目な国民全てがそれぞれ裕福に暮らせるのか不安。何もかもが自己責任社会になってほしくない。
63	女性	既婚	老後は周りに迷惑をかけたくない。だから、認知症や寝たきり老人にはなりたくない。老人ホームなども、高額ではなくて誰でも入れるホームが増えると良いと思う。
48	女性	既婚	病気で働けなくなったときに企業だけでなく国や自治体からの支援などを充実してほしい。
32	女性	既婚	今コロナの世界で不安だがいつか落ち着いたら、努力している分認めてもらえる社会になればと期待している。
42	女性	離別・死別	このご時世で一人親世帯とかのことをもっと考えてほしい。なかなか一人で子供を満足させる生活をするのは難しい
59	女性	既婚	選挙における投票率の低さに憤りを感じる。国民の政治への関心のなさによる、日本の将来が不安。
41	女性	既婚	現在育児休暇中だが、一人で子育てをするのはかなりきついため、配偶者も育児休暇を取得するのが当たり前の社会になってほしい。
34	女性	離別・死別	正社員になってもっとお金を稼ぎたい。シングルマザーでお金に余裕はないけれど、将来子どものために財産となるものを1つでも残してあげたい。
62	女性	既婚	雇用にこだわらない自由度の高い働き方がもっと広まってほしい。終身雇用や会社での出世などにより経済的な保証のある時代は終わったと思う。現状、雇用でない働き方をしているが、収入に波があり、それを前提とした暮らしをしている。

7. その他

年齢	性別	婚姻状態	自由記述
62	女性	既婚	親の介護の最中。自身の体調不良で、介護は先が見えない！ 孫の成長に少しでも関わりたい気持ちがあっても、体がついていかない！ 家も古くなり、建て替えも考えるが、お金がない。
65	女性	既婚	5月より高齢者の仲間入りとなった。毎月病院にお世話になっているけれども無理をせず現状維持でいければと思っている！ 収入に関しては年金だけが頼りなので、無駄遣いすることなくでもたまには楽しみたい事もあろうかと思うので健康に気をつけてこれからを送っていかれたらと思っています。
66	女性	既婚	特別な意見はないです。家族皆が健康で元気な毎日が送れたら1番幸せかと常に思っています。
49	男性	未婚	親がいなくなったら相当苦しくなって希望がない。
49	女性	離別・死別	節電や食品ロスを減らすため消費期限の迫った商品を選ぶようにしている。
48	男性	既婚	案外、削ぎ落とすと生活がつまらなくなる娯楽というのは少ないかもしれない。
39	女性	既婚	今を生きることに精一杯で将来への期待は考えられないが、日々苦勞を乗り越え頑張って生活していることで良い未来があることを願っている。
64	男性	既婚	健康面で不安がある。
54	女性	既婚	期待、不安は若い世代の人でないと分からないことが多いかもしれません。私たちの世代はもう子育てが終わり、老後と親の心配、あと、障害のある子供がおりますのでそちらの心配があります。お金の事やらはもうあまり考えていません。
60	女性	未婚	病気を色々持っているのでもいつまで今の生活ができるかは常に気にしている。
22	男性	未婚	人と関わることに疲れたので就職したくない。税金が今よりも高くなればおそらくホームレスになるかも。
24	女性	未婚	資格取得のための試験に受からず人生しんどい。
39	女性	未婚	私自身障害があるために仕事につくことが難しいです。大学で資格を取得し、好きな仕事につけるよう頑張りたいと思っています。ただ、経済的に恵まれることだけが、幸せではないと考えています。お金がなくても幸せな人が身近にいます。
33	女性	既婚	子育てとノンキャリアからの仕事への取り組みとの両立ができるか不安。貯金をしながら生活を向上させることができるか不安。病気を抱えながら家事・育児と仕事ができるか不安。
35	男性	未婚	住んでいる地域が過疎消滅地域になっていて、10年以内に草刈りや地域活動さままらなくなってしまう状態です。人手をなんとかしてほしいです。まず、補助金よりも人手です。
65	男性	既婚	新型コロナウイルスの終息が不透明、自分の健康状態、そして、子供の就職問題。
51	女性	既婚	東京などの都会に比べ 公共交通機関が使いにくい地方でガソリン高値に苦しんでいる国民に手を差し伸べてほしい。
63	女性	既婚	自分のライフスタイルに合った生活の向上を図りながら、心身ともに健康的な毎日を送りたい。普段は無駄な浪費をせず、年に一度は旅行などで贅沢をしたい。できれば中古でもマイホームを持ちたいと思う。
65	女性	既婚	加齢に対する体調管理。
61	女性	離別・死別	体力の衰えを実感しているので、いつまで働けるのか不安。
46	女性	既婚	病気の治療中なので、今後医療費がかかることが不安である。
62	女性	既婚	60代夫婦ですが元気なうちは仕事継続し贅沢をせず人並みの生活を維持しつつ遠方の孫達とコロナ終息後には時々行き来したいと思います。
38	女性	既婚	健康問題。産後持病を持って働けなくなった。どうか体調を良くして社会復帰したい。
43	女性	既婚	目の前の支払いや急な出費があると大変です。どちらの両親も元気ですが、病気や介護が必要になると、また生活が更に大変になると思います。健康が一番大事です。
57	女性	既婚	これからの長い人生の中でひとつの節目が近づいているが、健康の大切さを自覚しながらアクティブに動けるように努力したい。
46	男性	未婚	身体的な衰えを日に日に感じ始めているが、通院ができるほど経済的に余裕がないので、このまま不調をほっておいたまま死んでいくかもしれないと思うと悲しい。
60	女性	既婚	跡取り問題と土地の処分について将来への不安が大きい。
51	女性	既婚	持ち家がないので、老後住むところがない。
60	女性	既婚	自身の不安は余り感じていないがこれから子供の時代になってこの不安定な世の中を遅く生き抜けるかとても不安。期待は感じられない。
69	女性	既婚	歳を重ねていくことにより、健康に不安を感じている。

---

JILPT 調査シリーズ No. 228

暮らしと意識に関する NHK・JILPT 共同調査

発行年月日 2023 年 3 月 31 日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

---

©2023 JILPT